令　和　２　年　度　決　算

主　要　施　策　成　果　報　告　書

第六次鳴門市総合計画 実施計画

令和２年(2020年)度－令和４年(2022年)度

実績 兼 評価シート まとめ

鳴　　門　　市

目　次

1．主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和２年度実績及び令和３年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書　・・・　1

（２）鳴門市総合計画実施計画 令和２年度実績　・・・　1

（３）令和３年度　鳴門市行政評価　・・・・・・　2

（４）総合計画体系図　・・・・・・　3

（５）成長戦略　・・・・・・　5

2．令和２年度決算の概要

（１）各会計の決算額の状況　・・・・・・　7

（２）普通会計決算の概要　・・・・・・　8

① 普通会計決算規模等　・・・・・・　8

② 各種財政指標の推移　・・・・・・　11

3．実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方　・・・・・・　12

（２）事業一覧表【組織機構順】　・・・・・・　14

（３）各実施計画兼評価シート

- 企 画 総 務 部
- 市 民 環 境 部
- 健 康 福 祉 部
- 経 済 建 設 部
- 消　防　本　部
- 企　　業　　局
- 教 育 委 員 会

【参考】令和２年度決算における入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

１.主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和２年度実績及び令和３年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書

地方自治法第２３３条第５項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第六次鳴門市総合計画に基づき、令和２年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

（２）鳴門市総合計画実施計画　令和２年度実績

本市では、第六次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、向こう3か年の具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和２年度末時の進捗状況をまとめたものである。

◆推進体制

①事務事業担当部署による内部評価
　事業担当課による総合計画実施計画兼評価シートの作成。
②総合計画策定委員会による内部評価
　総合計画実施計画兼評価シートを、策定委員会にて審議し、内部評価の最終決定とする。
③総合計画審議会による外部評価
　策定委員会を経て、総合計画審議会にて外部の視点からの評価を受ける。
④市議会への報告による外部評価
　市議会においての外部評価を受ける。
⑤最終的な評価の決定
　策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

（３）令和３年度　鳴門市行政評価

◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方に基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

＜鳴門市行政評価の4つのねらい＞
①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
③事業の効果的で効率的な執行
④職員の意識改革による政策形成能力の向上

◆令和３年度実施方針

① 公正の確保と透明性向上のため市民との情報の共有化を推進する。
② 鳴門市自治基本条例第２５条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
ⅰ 評価の対象：事務事業
ⅱ 評価の機関：内部
ⅲ 評価の時期：令和２年度に実施した事務事業に対する事後評価

◆評価対象となる事務事業

令和２年度総合計画実施計画（R2-4）に掲載されている事務事業

132事業

◆令和４年度の予算及び事業の推進との関係

行政評価結果については、令和４年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

（4）総合計画体系図

将来都市像	結びあう絆が創る　笑顔と魅力うずまく鳴門

【基本政策(大項目)】　【政策(中項目)】　【小項目・施策】

1　うきうき活力と魅力あふれるまちづくり

- **(1)　豊かで活力あふれるまち　なると**
  - **産業**
    - 01 産業の振興と経営基盤の充実強化
    - 02 雇用の安定
  - **農林水産業**
    - 03 農業の振興
    - 04 畜産業の振興
    - 05 林業の振興
    - 06 水産業の振興
    - 07 公設地方卸売市場の効率的運営
- **(2)　伝えたい魅力あふれるまち　なると**
  - **観光**
    - 01 観光・交流のまちづくり
  - **シティプロモーション**
    - 02 シティプロモーションの推進
  - **国際・国内交流**
    - 03 国際・国内交流の推進
  - **文化財**
    - 04 文化財の保護と活用

2　ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり

- **(1)　ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると**
  - **人権**
    - 01 人権の尊重
  - **男女共同参画**
    - 02 男女共同参画社会の実現
  - **地域福祉**
    - 03 地域福祉の総合的推進
  - **高齢者福祉**
    - 04 高齢者福祉の推進
  - **障がい者福祉**
    - 05 障がい者福祉の推進
  - **低所得者福祉**
    - 06 低所得者福祉の推進
  - **保健・医療**
    - 07 健康・医療対策の推進
  - **社会保障**
    - 08 国民健康保険制度の円滑な実施
    - 09 後期高齢者医療制度の円滑な実施
    - 10 介護保険制度の円滑な実施
    - 11 国民年金制度の推進
- **(2)　子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると**
  - **子どものまち**
    - 01 地域で子どもを育てる活動支援
  - **児童福祉**
    - 02 児童福祉の推進
  - **ひとり親家庭等の福祉**
    - 03 ひとり親家庭等の自立支援の推進
- **(3)　たくましく生きる力を育むまち　なると**
  - **教育行政**
    - 01 教育行政の充実
  - **学校教育**
    - 02 幼稚園教育の充実
    - 03 義務教育の充実
  - **大学連携**
    - 04 大学連携の推進
- **(4)　生きがいあふれるまち　なると**
  - **生涯学習**
    - 01 生涯学習の推進
  - **図書館**
    - 02 市民参加の図書館運営の推進
  - **スポーツ・レクリエーション**
    - 03 生涯スポーツの振興
  - **文化振興**
    - 04 暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進

3　しっかり安心・快適住み良いまちづくり

(1)　安心して暮らせるまち　なると

危機管理・防災
- 01 災害に負けないまちづくりの推進

消防
- 02 消防体制の充実

救急
- 03 救急救助・医療体制の充実

交通安全
- 04 交通安全対策の充実

防犯
- 05 犯罪のない安全なまちづくりの推進

(2)　快適に暮らせるまち　なると

居住環境
- 01 良好な居住環境の整備

市街地
- 02 活気に満ちた市街地の形成

上水道
- 03 安全で強靭な水道の持続

道路
- 04 安全で快適な道路の整備

交通
- 05 新しい公共交通網の確立

ごみ処理
- 06 自然と共生できる循環型社会づくりの推進

エネルギー使用
- 07 地球温暖化・省エネ対策の推進

消費生活
- 08 消費者政策の推進

火葬場・墓地
- 09 火葬場・墓地の適正な運営・管理

(3)　身近に自然を体感できるまち　なると

自然環境
- 01 自然環境の保全と生活環境づくり

公園・緑地
- 02 緑の保全と創出

生活排水対策
- 03 生活排水対策の推進

河川・海岸
- 04 自然環境に配慮した水辺空間の整備

4　おおきく躍動　みんなで創る　まちづくり

(1)　全員参加で創る　まち　なると

市民参画・市民協働
- 01 市民参画・市民協働の推進

コミュニティ
- 02 地域のまちづくりの推進

ボランティア・NPO
- 03 ボランティア・NPO法人の活動促進

情報の共有化
- 04 情報の共有化の推進

行財政運営
- 05 効率的・効果的な行財政運営の推進

（５）成長戦略

戦略１　地域の資源を活かし市民が誇れる　魅力づくり

～地域の魅力があふれるまち　なると～

１　ブランド力の向上

１　鳴門の魅力づくり

① 鳴門海峡の渦潮の世界遺産化推進
② 観光ブランドづくり
③ 農水産物のブランド化の推進
④ アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクトの推進
⑤ 四国八十八箇所霊場と遍路道、世界遺産化への協力

２　鳴門の魅力発信

① 「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション
② イメージアップの推進
③ 鳴門ブランドの情報発信強化

３　イベント等の活用

① 鳴門市阿波おどり・花火大会のさらなる活性化
② 民間事業者との連携強化
③ 大型イベント等の誘致・開催の検討

２　誘客の促進とにぎわいと交流の創出

１　基盤整備

① 鳴門駅周辺の整備
② 外国人観光客の誘客促進
③ 文化財の保護と活用
④ 公園の整備

２　誘客の促進

① 体験型・滞在型観光の振興
② にぎわいと交流の創出
③ 国際・国内交流の推進
④ コンベンションの誘致

戦略２　住んでみたい　住み続けたいまちづくり

～ だれもが満足するまち　なると ～

１　いきいきと働くことができるまちづくり

１　新たな産業の創出

① まちづくりエリア活用による雇用創出
② 企業誘致の推進
③ 新たなビジネス展開
④ 農漁業における新たな商品開発と六次産業化の推進

２　市内産業の振興

① エコノミックガーデニングの推進
② ブランド産地生産増進対策
③ 農業の高度化
④ 農業・漁業経営の安定化
⑤ ふるさと納税を活用した地場産品のＰＲ
⑥ 広域連携による産業振興
⑦ 道の駅の活用と設置の検討

３　雇用支援と後継者対策

① 市内企業への就職支援
② 農漁業の後継者対策

２　住み心地の良いまちづくり

１　移住者への支援

① 移住交流の促進
② 政府関係機関の誘致及び企業本社機能の移転誘致

２　社会資本等の整備

① 危機管理・防災体制の強化
② 消防・救急体制の充実
③ 道路の整備・維持管理
④ 公共下水道事業の推進と水洗化率の向上
⑤ 合併処理浄化槽の普及促進
⑥ 浸水対策の実施
⑦ 安心・快適な給水の確保

３　住環境の整備

① 公共交通機関の確保と整備
② 住宅ストックの有効活用
③ 住宅のリフォーム支援の実施
④ 木造住宅の耐震診断支援・改修支援の実施
⑤ 空き家の適正管理及び除却の促進
⑥ 都市計画マスタープランの推進
⑦ 商店街等の基盤強化
⑧ 公共施設等総合管理の検討
⑨ 地域医療を考える医療連携強化（鳴門病院等）

４　循環型社会の形成

① 循環型社会への取り組み
② 地球温暖化・省エネ対策の推進

戦略３　健やかで元気に 笑顔あふれる ひとづくり

～ 一人ひとりが主役のまち　なると ～

1 健やかで元気に 笑顔あふれる　ひとづくり

1　恋愛・出産の支援
① 恋活・婚活の支援
② 妊産婦健康管理事業
③ 出産前の子育てサポート

2　子育ての環境支援
① 子ども・子育て支援事業計画の推進
② 子育て相談・支援のワンストップ窓口の設置
③ 子どものまちの推進

3　保護者への支援
① 子どもの医療費助成
② 女性子ども支援センター事業の推進
③ 子育て施策のＰＲ
④ 保育料の軽減

4　仕事と子育ての両立支援
① 保育所・認定こども園における子どもの発達支援
② 民間保育施設の施設整備への支援
③ 保育環境のさらなる充実
④ 健診・発達相談の実施
⑤ 幼児教育の推進
⑥ 児童クラブでの児童の預かり支援

5　市民の健康づくり
① 健康なると21の推進
② がん検診の実施
③ 特定健診・特定保健指導の推進
④ 国民健康保険被保険者に対する保健事業の実施

6　福祉サービスの充実
① 高齢者福祉の推進
② 地域包括ケアシステムの構築
③ 障がい者福祉の推進

2 鳴門のまちを担う ひとづくり

1　教育の充実
① 教育行政の充実
② 就学前教育の充実
③ 義務教育の充実
④ 校種間連携の充実
⑤ 小中学校における学力向上の取り組み

2　教育環境の充実
① 鳴門教育大学と連携した教育環境の整備
② 多様な教育環境の研究
③ 学校や幼稚園での防災
④ 幼・小・中における給食の実施
⑤ 学校（園）施設の耐震化及び教育環境の改善等

3　生きがいづくり
① 生涯学習の推進
② 各種学級（女性・成人・高齢者学級）の開設
③ スポーツ活動の推進

3 人が輝く仕組みづくり

1　環境づくり
① 市民参画・協働の推進
② 情報の共有化の推進
③ 男女共同参画社会の実現

2　活動の促進
① ボランティア・NPO法人の活動促進
② コミュニティビジネスの推進
③ 大学連携の推進

２．令和２年度決算の概要

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止をはじめ、市民生活や地域活動等への支援、地域経済対策などを優先課題として取り組んだ結果、歳入歳出ともに過去最大の決算規模となった。

新型コロナウイルス感染症の影響に迅速に対応するため、８回にわたる補正予算を計上し、「第１弾」から「第９弾」までの緊急支援策を打ち出した。また、ウイズコロナやアフターコロナを見据える中で、引き続き本市の将来都市像の実現に向け、「第六次鳴門市総合計画」や令和２年３月に策定した「なると未来づくり総合戦略２０２０」に基づく施策についても積極的に取り組むとともに、新庁舎整備事業や道の駅「くるくる なると」整備事業などの大規模事業など、市政発展に資する事業に重点をおいて取り組んだ。

（１）各会計の決算額の状況

（単位：千円）

年　度 / 会計区分	令和２年度			令和元年度		
	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	33,528,976	32,485,163	1,043,813	26,031,235	25,123,829	907,406
特別会計	23,030,717	22,817,651	213,066	24,633,750	24,276,196	357,554
国民健康保険事業特別会計	7,118,012	7,061,802	56,210	7,408,532	7,377,343	31,189
後期高齢者医療特別会計	978,847	955,467	23,380	939,432	915,628	23,804
介護保険事業特別会計	6,804,049	6,670,573	133,476	6,704,107	6,437,814	266,293
光熱水費等支出特別会計	527,826	527,826	-	568,848	568,848	-
給与費等管理特別会計	4,823,393	4,823,393	-	4,937,896	4,937,896	-
公債費管理特別会計	2,778,590	2,778,590	-	3,156,145	3,156,145	-
公共下水道事業特別会計	-	-	-	911,359	880,010	31,349
住宅新築資金等貸付事業特別会計	-	-	-	7,431	2,512	4,919
合　計	56,559,693	55,302,814	1,256,879	50,664,985	49,400,025	1,264,960

（２）普通会計決算の概要

① 普通会計決算規模等

令和２年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。）の歳入決算額は、約３３５億２千万円であり、前年度に比べて約７５億３千万円の増となっている。その主な要因は、特別定額給付金給付事業補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫補助金が約６７億２千万円、市債が約３億６千万円の増などの影響による。

一方、歳出決算額は、約３２４億８千万円であり、前年度に比べて約７４億円の増となっている。その主な要因は、特別定額給付金事業や新型コロナウイルス感染症対策として水道料金免除に係る水道事業会計への繰出金などによる補助費等の増（約６５億４千万円の増）、財政調整基金等への積立金の増（約２億７千万円の増）、道の駅「くるくる なると」整備事業などによる投資的経費の増（約３億円の増）などの影響による。

歳入決算額と歳出決算額との差引額である、形式収支は約１０億４千万円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である、実質収支は約８億５千万円の黒字となっている。

実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である、単年度収支は約１億３千万円の黒字となっている。また、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である、実質単年度収支は、約１億８千万円の赤字となっている。

積立金残高は約４４億８千万円であり、前年度に比べて約４億６千万円の増、地方債現在高は約２６８億６千万円であり、同約３千万円の減、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約１６３億１千円であり、同約２千万円の減となっている。

（単位：千円）

区　分	令和２年度	令和元年度	平成30年度
歳入決算額（A）	33,519,827	25,988,660	25,642,818
歳出決算額（B）	32,476,014	25,076,335	24,580,703
歳入歳出差引額【形式収支】（C） （A）－（B）	1,043,813	912,325	1,062,115
翌年度へ繰り越すべき財源（D）	189,658	191,182	331,583
実質収支（E） （C）－（D）	854,155	721,143	730,532
単年度収支（F） （E）－前年度（E）	133,012	▲ 9,389	65,165
財政調整基金への積立（G）	713,531	423,152	908,866
地方債繰上償還金（H）	-	-	-
財政調整基金からの取崩（I）	1,025,927	608,463	206,524
実質単年度収支 （F）＋（G）＋（H）－（I）	▲ 179,384	▲ 194,700	767,507
積立金残高（年度末時点）	4,480,417	4,019,370	3,465,618
地方債現在高（年度末時点）	26,856,560	26,884,613	27,249,978
※臨時財政対策債除く	16,313,181	16,334,077	16,703,712

◆普通会計歳入決算額

（単位：千円）

区　分	令和２年度 A	構成比	令和元年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
市　　税	7,277,551	21.7%	7,488,588	▲ 211,037	▲ 2.8%
地方譲与税	203,947	0.6%	202,928	1,019	0.5%
利子割交付金	9,091	0.0%	8,239	852	10.3%
配当割交付金	52,545	0.2%	56,472	▲ 3,927	▲ 7.0%
株式譲渡所得割交付金	51,875	0.2%	29,189	22,686	77.7%
地方消費税交付金	1,174,366	3.5%	959,639	214,727	22.4%
ゴルフ場利用税交付金	38,189	0.1%	42,668	▲ 4,479	▲ 10.5%
自動車税環境性能割交付金	14,163	0.0%	29,478	▲ 15,315	▲ 52.0%
法人事業税交付金	60,302	0.2%	-	60,302	皆増
地方特例交付金	40,067	0.1%	111,812	▲ 71,745	▲ 64.2%
地方交付税	4,498,641	13.4%	4,236,119	262,522	6.2%
うち普通交付税	4,047,821	12.1%	3,748,413	299,408	8.0%
うち特別交付税	450,820	1.3%	487,706	▲ 36,886	▲ 7.6%
交通安全対策特別交付金	8,475	0.0%	7,581	894	11.8%
分担金及び負担金	119,219	0.4%	160,643	▲ 41,424	▲ 25.8%
使　用　料	147,721	0.4%	182,816	▲ 35,095	▲ 19.2%
手　数　料	103,985	0.3%	104,257	▲ 272	▲ 0.3%
国庫支出金	10,425,021	31.1%	3,702,596	6,722,425	181.6%
県支出金	1,973,670	5.9%	2,063,568	▲ 89,898	▲ 4.4%
財産収入	312,556	0.9%	269,910	42,646	15.8%
寄　附　金	349,929	1.0%	407,539	▲ 57,610	▲ 14.1%
繰　入　金	2,524,264	7.5%	2,060,784	463,480	22.5%
繰　越　金	912,325	2.7%	1,062,115	▲ 149,790	▲ 14.1%
諸　収　入	612,450	1.8%	556,619	55,831	10.0%
地　方　債	2,609,475	7.8%	2,245,100	364,375	16.2%
合　計	33,519,827	100.0%	25,988,660	7,531,167	29.0%

◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区　分	令和２年度 A	構成比	令和元年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
義務的経費	13,471,183	41.5%	12,896,861	574,322	4.5%
人件費	4,828,694	14.9%	4,397,620	431,074	9.8%
扶助費	5,863,877	18.1%	5,723,119	140,758	2.5%
公債費	2,778,612	8.6%	2,776,122	2,490	0.1%
物件費	3,385,655	10.4%	3,390,238	▲ 4,583	▲ 0.1%
維持補修費	355,631	1.1%	279,328	76,303	27.3%
補助費等	7,684,754	23.7%	1,145,740	6,539,014	570.7%
うち水道事業会計への繰出金	216,740	0.7%	18,330	198,410	1,082.4%
うちモーターボート競走事業会計への繰出金	1,328	0.0%	16,680	▲ 15,352	▲ 92.0%
うち下水道事業会計への繰出金	477,188	1.5%	-	477,188	皆増
積立金	1,780,124	5.5%	1,510,414	269,710	17.9%
うち財政調整基金への積立金	713,531	2.2%	423,152	290,379	68.6%
うち減債基金への積立金	400,276	1.2%	222,127	178,149	80.2%
投資及び出資金・貸付金	39,709	0.1%	-	39,709	皆増
繰出金	2,753,724	8.5%	3,150,039	▲ 396,315	▲ 12.6%
投資的経費	3,005,234	9.3%	2,703,715	301,519	11.2%
うち普通建設事業費	3,005,234	9.3%	2,703,715	301,519	11.2%
うち災害復旧事業費	-	-	-	-	-
合　計	32,476,014	100.0%	25,076,335	7,399,679	29.5%

◆普通会計歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

区　分	令和２年度 A	構成比	令和元年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
議　会　費	226,125	0.7%	232,061	▲ 5,936	▲ 2.6%
総　務　費	10,547,208	32.5%	4,081,098	6,466,110	158.4%
民　生　費	9,538,805	29.4%	9,401,895	136,910	1.5%
衛　生　費	2,486,291	7.7%	1,881,634	604,657	32.1%
労　働　費	357	0.0%	1,096	▲ 739	▲ 67.4%
農林水産業費	472,664	1.5%	522,215	▲ 49,551	▲ 9.5%
商　工　費	389,728	1.2%	271,533	118,195	43.5%
土　木　費	2,084,788	6.4%	1,772,775	312,013	17.6%
消　防　費	948,687	2.9%	905,997	42,690	4.7%
教　育　費	3,001,421	9.2%	3,213,229	▲ 211,808	▲ 6.6%
災害復旧費	-	-	-	-	-
公　債　費	2,778,612	8.6%	2,776,122	2,490	0.1%
諸支出金	1,328	0.0%	16,680	▲ 15,352	▲ 92.0%
合　計	32,476,014	100.0%	25,076,335	7,399,679	29.5%

② 各種財政指標の推移

区　分	令和２年度	令和元年度	平成30年度
経常収支比率 （財政構造の弾力性。低いほど良い）	97.3%	96.7%	95.8%
財政力指数（３カ年平均） （財政力の強さ。高いほど良い）	0.64	0.65	0.64
実質収支比率 （財政の健全性。３～５％が望ましい）	6.2%	5.4%	5.5%
実質公債費比率（３カ年平均） （地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い）	13.2%	14.0%	14.9%
将来負担比率 （地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い）	127.7%	128.1%	116.5%

３.実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和２年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

①【計画ベース】の見方

ⅰ　基本情報について

新規事業又は継続事業の別や総合計画体系中の分類など、事業の基本的な情報を示している。

ⅱ　事業概要について

事業の目的・指針・内容等を示したもの。なお「当初からの変更点」については、補正予算などにおいて当初予定の事業内容から変更があった場合に変更点について示している。

また、事業の評価指標となる、成果指標等の目標値を示している。

ⅲ　積算基礎について

事業の予算費目、財源となる補助制度（事業期間）等を示している。

ⅳ　事業費推移について

令和３年度及び令和４年度の事業費については、「第六次鳴門市総合計画実施計画令和３年（２０２１年）度～令和５年（２０２３年）度」に記載している事業費を示している。

②【実績ベース】の見方

ⅰ　実施結果について

令和２年度に実施した事業の内容、成果、今後の目標等について示したもの。

なお、「事業費推移」中の「最終事業費」については、「決算額（前年度からの繰越額含む）」と「令和３年度への繰越額」の合計額を示したもの。

ⅱ　進捗状況欄の評価区分について

令和２年度に実施した事業の内容、結果についての評価を示したもの。

なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

⑴ 前倒し実施

次年度以降の目標を前倒しで達成したもの

⑵ 計画どおり

当初の予定どおり、目標や計画内容が達成に向かっているもの

⑶ ほぼ計画どおり

当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの

⑷ 遅れている（事業全体の進捗状況欄のみに適用）

当初の予定より達成状況が下回っており、目標や計画内容の達成が困難と見込まれるもの

⑸　未達成

取り組み目標や計画内容が達成できなかったもの

⑹ 未着手

計画内容に着手できなかったもの

ⅲ　成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)

A:目標を達成できた(１００％以上のもの)

B:おおむね目標を達成できた(７０％以上のもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(５０％～７０％間のもの)

D:目標を達成出来なかった(５０％未満のもの)

ⅳ　今後の方向性について

令和２年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう２年間の事業の方向性を下記の５区分により示したもの。

1.廃止：事業の廃止を検討するもの。

2.要改善：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

3.現状維持：事業の対象・目標・内容等が適切で見直しの必要がないもの。

4.現状維持(新型コロナ)　：令和２年度は新型コロナウィルス感染症の影響により、事業が中止又は縮小実施となったが、今後も事業を継続することで、目的を達成することが期待できるもの。

5.拡充：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大・充実すべきもの。

（２）掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	132事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	56事業
ほぼ計画どおり	62事業
未達成	7事業
未着手	0事業
完了	7事業
終了	0事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	64事業	廃止	0事業
B	31事業	要改善	0事業
C	15事業	現状維持	63事業
D	22事業	現状維持(新型コロナ)	36事業
		拡充	26事業
		令和2年度完了（終了）事業	7事業

（単位：円）

No.	担当課	事務事業名	R２年度事業費 計画ベース	R２年度事業費 決算額	進捗状況	成果指標に対する評価	今後の方向性
1	総務課	情報公開・個人情報保護事務	8,868,000	7,324,568	ほぼ計画どおり	B	拡充
2	総務課・デジタル戦略室	電子申請等共同受付システム構築事業	576,000	575,672	計画どおり	A	現状維持
3	契約検査室	入札改革推進事業	2,838,000	2,511,500	計画どおり	A	現状維持
4	人事課	職員人財育成研修事業	5,649,000	4,126,413	計画どおり	B	現状維持
5	税務課	市税徴収率向上対策事業	9,214,000	8,943,183	計画どおり	A	現状維持
6	秘書広報課	広報活動の充実	13,730,000	12,834,800	計画どおり	A	拡充
7	秘書広報課	イメージアップ戦略推進事業	3,689,000	3,050,914	計画どおり	A	拡充
8	デジタル戦略室	電子自治体情報化戦略推進事業	—	—	計画どおり	A	現状維持
9	戦略企画課	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	1,055,000	432,878	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
10	戦略企画課・スポーツ課	ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業	7,000,000	4,713,584	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
11	戦略企画課・秘書広報課	四国のゲートウェイ推進事業（イベント開催支援・シティプロモーション）	10,500,000	9,244,500	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
12	戦略企画課	地域婚活支援事業	800,000	—	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
13	戦略企画課	公共交通対策事業	161,475,000	157,261,648	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
14	戦略企画課	総合戦略推進事業（鳴門市の未来を担う人材育成）	8,000,000	8,000,000	計画どおり	A	現状維持
15	戦略企画課	「ふるさと納税寄附金」等推進事業	197,301,000	164,628,214	計画どおり	A	拡充
16	特定事業推進課	四国のゲートウェイ推進事業（道の駅整備）	367,701,000	341,432,995	計画どおり	A	現状維持
17	特定事業推進課	新庁舎建設事業	232,315,000	218,616,200	計画どおり	A	現状維持
18	危機管理課	地震等災害対策普及啓発事業	1,159,000	556,935	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
19	危機管理課	自主防災組織活動促進事業	3,905,000	3,526,804	計画どおり	A	現状維持
20	危機管理課	災害用備蓄事業	12,315,000	11,274,765	計画どおり	A	現状維持
21	危機管理課	ハザードマップ作成・見直し事業	31,184,000	31,178,950	ほぼ計画どおり	A	現状維持
22	市民協働推進課	消費者相談窓口充実事業	7,581,000	6,092,277	ほぼ計画どおり	B	現状維持
23	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	4,107,000	2,390,531	計画どおり	A	拡充
24	市民協働推進課	自治振興会連携促進事業	11,004,000	11,004,000	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
25	市民協働推進課	コミュニティ助成事業	2,400,000	2,400,000	計画どおり	A	現状維持
26	スポーツ課	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	10,230,000	9,390,798	ほぼ計画どおり	C	拡充
27	スポーツ課	スポーツ大会・合宿誘致推進事業	3,327,000	3,244,880	ほぼ計画どおり	B	拡充
28	スポーツ課	鳴門市スポーツ協会運営支援事業	1,245,000	1,245,000	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
29	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブ支援事業	200,000	200,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
30	スポーツ課	市民総参加型スポーツイベント実施事業	17,000	16,330	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
31	スポーツ課	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業	1,800,000	1,800,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
32	文化交流推進課	第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画策定事業	2,470,000	2,434,663	完了	A	－
33	文化交流推進課	文化振興事業	1,138,000	1,127,540	ほぼ計画どおり	B	現状維持
34	文化交流推進課・観光振興課	国際・国内交流事業	221,000	173,637	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
35	文化交流推進課	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	4,565,000	2,224,753	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
36	文化交流推進課・ドイツ館	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	3,250,000	3,249,100	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
37	環境政策課	環境学習推進事業	323,000	187,225	ほぼ計画どおり	B	現状維持
38	環境政策課	地球温暖化対策実行計画推進事業	223,000	189,000	計画どおり	A	現状維持
39	環境政策課	いぬねこ愛護推進事業	1,011,000	896,840	ほぼ計画どおり	B	拡充
40	環境政策課	水域環境改善・浄化対策事業	3,280,000	1,778,975	ほぼ計画どおり	C	現状維持
41	クリーンセンター廃棄物対策課	ごみ減量対策事業	54,622,000	40,743,543	ほぼ計画どおり	B	現状維持
42	クリーンセンター廃棄物対策課	資源ごみ対策事業	11,590,000	9,425,025	計画どおり	A	現状維持
43	クリーンセンター廃棄物対策課	不法投棄監視市民パトロール支援事業	335,000	320,945	計画どおり	A	現状維持
44	保険課	国民健康保険料収納対策事業	6,179,000	5,489,348	計画どおり	A	現状維持
45	保険課	国保保健事業	25,243,000	20,496,579	計画どおり	A	現状維持
46	保険課	特定健診・特定保健指導事業	52,786,000	39,300,696	ほぼ計画どおり	B	現状維持
47	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	1,309,000	947,145	ほぼ計画どおり	B	現状維持
48	健康増進課	がん検診事業	17,000,000	16,894,547	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
49	健康増進課	子育て世代支援事業（鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業）	49,675,000	36,635,541	計画どおり	A	拡充
50	健康増進課	子どもの発達支援事業	814,000	735,938	計画どおり	B	現状維持
51	健康増進課	救急医療対策事業	15,733,000	15,515,363	計画どおり	B	現状維持
52	健康増進課	地域医療連携強化事業	275,000	3,472	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
53	長寿介護課	高齢者無料バス優待事業	6,308,000	6,307,700	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
54	長寿介護課	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業	4,133,000	3,601,273	完了	A	－
55	長寿介護課	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	214,581,000	178,990,283	ほぼ計画どおり	A	拡充
56	長寿介護課	地域支援事業（包括的な支援事業及び任意事業）	132,924,000	116,712,334	計画どおり	A	現状維持
57	長寿介護課・社会福祉課	災害時要援護者避難支援登録制度推進事業	1,593,000	1,514,396	ほぼ計画どおり	B	現状維持
58	人権推進課	人権啓発推進事業	337,000	225,540	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
59	人権推進課	男女共同参画推進事業	3,865,000	3,463,994	計画どおり	A	現状維持
60	人権推進課	女性子ども支援事業	1,997,000	1,441,507	計画どおり	A	現状維持
61	人権福祉センター	人権文化祭開催事業	1,273,000	673,162	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
62	社会福祉課	地域生活支援事業	88,996,000	79,612,493	ほぼ計画どおり	B	現状維持
63	社会福祉課	基幹相談支援センター設置・業務委託	10,000,000	9,558,857	完了	A	－
64	社会福祉課	障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業	3,944,000	3,520,359	完了	A	－
65	社会福祉課	心身障害者等無料バス優待事業	1,677,000	1,337,331	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
66	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	40,126,000	35,363,275	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
67	子どもいきいき課	子どものまち推進事業	240,000	22,800	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)

No.	担当課	事務事業名	R２年度事業費 計画ベース	R２年度事業費 決算額	進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性
68	子どもいきいき課	放課後児童健全育成事業	144,244,000	144,243,999	計画どおり	B	拡充
69	子どもいきいき課	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）	14,542,000	14,542,000	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
70	子どもいきいき課	子育て支援体制整備事業（保育所における巡回相談事業）	510,000	504,957	計画どおり	A	現状維持
71	子どもいきいき課	ファミリーサポートセンター事業	9,599,000	9,599,000	ほぼ計画どおり	A	現状維持
72	子どもいきいき課	子どもの居場所づくり推進事業	2,039,000	639,466	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
73	まちづくり課	住宅ストックの有効活用	51,431,000	46,736,800	計画どおり	A	現状維持
74	まちづくり課	木造住宅耐震化促進事業	39,108,000	25,550,802	ほぼ計画どおり	B	拡充
75	まちづくり課	住宅安心リフォーム支援事業	9,014,000	8,561,186	計画どおり	A	拡充
76	まちづくり課	空家等対策事業	22,985,000	21,124,300	計画どおり	A	拡充
77	土木課	排水機場樋門整備事業	280,000,000	287,554,100	計画どおり	A	現状維持
78	土木課	道路橋梁長寿命化事業	339,080,000	225,592,500	計画どおり	A	拡充
79	土木課	河川改良事業	170,800,000	53,472,900	ほぼ計画どおり	B	現状維持
80	土木課	道路舗装修繕計画策定	109,533,000	108,513,800	計画どおり	A	拡充
81	下水道課	公共下水道維持管理事業（雨水）	149,671,000	149,439,431	計画どおり	A	現状維持
82	下水道課	公共下水道整備事業（汚水）	593,332,000	303,319,392	ほぼ計画どおり	B	現状維持
83	下水道課	下水道普及促進事業	17,000,000	11,768,500	計画どおり	A	現状維持
84	下水道課	合併処理浄化槽普及促進事業	17,439,000	10,194,807	ほぼ計画どおり	C	現状維持
85	公園緑地課	ドイツ村公園整備事業	1,923,000	1,762,187	ほぼ計画どおり	B	現状維持
86	公園緑地課	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	4,068,000	100,720	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
87	商工政策課	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）	7,838,000	2,932,111	計画どおり	A	現状維持
88	商工政策課	地場産品振興対策事業	1,197,000	713,349	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
89	商工政策課	就職マッチング事業	338,000	331,377	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
90	商工政策課	企業誘致推進事業	310,000	309,100	計画どおり	A	現状維持
91	商工政策課	移住交流支援事業	1,893,000	302,463	計画どおり	A	現状維持
92	商工政策課	中心市街地活性化推進事業	—	—	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
93	観光振興課	なると観光ブランド化推進事業（鳴門海峡の世界遺産化に向けて）	3,000,000	2,103,740	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
94	観光振興課	阿波踊り振興事業	—	—	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
95	観光振興課	観光ボランティアガイド育成事業	—	—	ほぼ計画どおり	B	現状維持
96	観光振興課	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業	3,114,000	1,980,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
97	観光振興課	広域観光推進事業	3,110,000	3,094,000	計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
98	観光振興課	コンベンション誘致支援事業	500,000	250,000	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
99	農林水産課	鳴門ブランドの強化	37,074,000	32,111,534	ほぼ計画どおり	B	拡充
100	農林水産課	コウノトリブランド推進事業	1,159,000	481,892	計画どおり	A	拡充
101	農林水産課	連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）	2,185,000	1,612,400	計画どおり	A	拡充
102	農林水産課	多面的機能支払交付金事業	50,479,000	50,101,139	ほぼ計画どおり	B	現状維持
103	農林水産課	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）	2,738,000	2,644,128	ほぼ計画どおり	A	拡充
104	水産振興室	海面環境保全推進事業	1,928,000	1,927,200	ほぼ計画どおり	C	現状維持
105	水産振興室	ブランド産地推進事業（水産）	15,757,000	10,798,032	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
106	消防総務課	消防団車両・資機材等整備事業	30,949,000	30,574,500	計画どおり	A	現状維持
107	消防総務課	消防施設耐震化推進事業	174,756,000	150,361,600	ほぼ計画どおり	A	拡充
108	警防課	救急救命士等養成事業	3,274,000	2,930,474	計画どおり	A	拡充
109	水道企画課	水道事業経営基盤強化推進事業	—	—	計画どおり	A	現状維持
110	浄水場	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	76,600,000	66,000,000	計画どおり	A	現状維持
111	ボートレース企画課・ボートレース事業課	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	—	—	計画どおり	A	現状維持
112	教育総務課	地場産品の活用と食育の推進事業	40,000	37,217	計画どおり	A	現状維持
113	教育総務課	学校安全施設整備事業	71,230,000	62,129,742	計画どおり	A	現状維持
114	教育総務課	小中学校特別教室等空調設備整備事業	309,599,000	51,771,000	計画どおり	A	現状維持
115	学校教育課	学校づくり計画推進事業	718,000	497,930	ほぼ計画どおり	B	現状維持
116	学校教育課	幼児教育支援センター事業	120,000	110,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
117	学校教育課	一時預かり事業	42,565,000	38,557,485	計画どおり	A	現状維持
118	学校教育課	学力向上対策推進事業	2,681,000	1,517,461	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
119	学校教育課・教育支援室	特別支援教育推進事業	53,793,000	42,229,698	計画どおり	A	現状維持
120	学校教育課	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	1,790,000	1,699,905	計画どおり	A	現状維持
121	学校教育課	学園都市化構想連携協力推進事業	441,000	154,671	計画どおり	A	現状維持
122	教育支援室	外国語教育推進事業	7,707,000	6,284,863	ほぼ計画どおり	B	現状維持
123	教育支援室	校務用・教育用コンピュータ整備事業	365,447,000	349,969,620	完了	A	ー
124	教育支援室	小中学校電子黒板整備事業	29,536,000	24,754,662	完了	A	ー
125	生涯学習人権課	福永家住宅・塩田保存活用事業	2,333,000	2,186,761	ほぼ計画どおり	B	拡充
126	生涯学習人権課	史跡等地域文化財保存活用事業	2,626,000	2,069,930	ほぼ計画どおり	B	拡充
127	生涯学習人権課	人権教育推進事業	2,483,000	2,275,250	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
128	生涯学習人権課	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業	466,000	295,924	計画どおり	A	拡充
129	生涯学習人権課	公民館活用推進事業	27,204,000	27,068,928	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
130	生涯学習人権課	公民館耐震化事業	248,790,000	242,124,980	完了	A	ー
131	生涯学習人権課	放課後子供教室推進事業	6,506,000	5,542,686	ほぼ計画どおり	A	拡充
132	図書館	NPO法人との協働による図書館運営事業	25,410,000	25,410,000	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
合計		132事業	5,481,223,000	4,340,602,117			

各実施計画兼評価シート

企　画　総　務　部

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.1

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	情報公開・個人情報保護事務	担当部署	総務課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		鳴門市情報公開条例・鳴門市個人情報保護条例 鳴門市情報公開・個人情報保護審査会条例
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始：平成　14　年度
(小項目)		情報の共有化		
施策	4	情報の共有化の推進		終期：未定
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努める。	事業内容（R2）	①公文書の開示手続の円滑な執行に努めるとともに、不服申立て等に対し、情報公開・個人情報保護審査会を開催する。 ②文書量の削減を含めた現行のファイリングシステムによる文書管理の方法の見直しを行う。
実施方針	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報公開開示請求件数	93	133	－	－	－	件
	2	保有個人情報開示請求件数	18	19	－	－	－	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		審査請求件数	4	2	0	0	0	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	03	文書費	
事業1	003	情報公開関係費	事業期間
事業2	01	情報公開関係費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	8,868	0	8,868	8,778	4,044

事務事業名	情報公開・個人情報保護事務

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	情報公開については120件、保有個人情報については16件（職員採用試験結果等10件の簡易開示含む）の開示請求に対し、開示等を行った。なお、情報公開に係る4件の諮問案件（うち前年度諮問案件2件）及び個人情報取扱事務に係る2件の諮問案件について諮問するため、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、5件の答申を出した。 また、文書管理制度の再構築に向け、紙文書等の削減の実地指導及び作業に取り組んだ。 一部の事務について、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」で義務付けられている「特定個人情報保護評価」を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報公開開示請求件数	163	120	－	－	－	件
	2	保有個人情報開示請求件数	23	16	－	－	－	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		審査請求件数	2	2	0	0	0	件
		目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		560,143	0	7,324,568	0	7,324,568
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	95,464	0	71,732	0	71,732
		一般財源	464,679	0	7,252,836	0	7,252,836

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	審査請求件数	
	目標	0	件
	実績	2	件
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	2件の審査請求については、同一人から以前より同事案について繰返し審査請求されているものであり、総評すると概ね目標は達成できている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	全庁的にファイリングシステムを導入し、文書管理に取り組んでいるが、文書量が年々増加する中、情報の更新方法及び文書の検索方法、全庁的な情報の共有という面での課題がある。 また、維持管理のためのファイル基準表の作成、文書の引継ぎ及び廃棄文書の処理等についても、所属により作業にばらつきが見られ、新庁舎への移転に向け、執務室内の文書量の削減も必要となったことから、不要な紙文書の削減、現行のファイリングシステムによる文書管理の方法を見直し、将来的な働き方改革を見据え、より効率的に業務が遂行でき、適正な文書管理を可能とした制度を再構築する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	引き続き、適切な公文書の開示と、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及びファイリングシステムの適正な維持管理、備品・消耗品の供給等を行い、文書管理に努め、併行して文書管理制度の再構築を図る。 また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。
	令和4年度	引き続き、適切な公文書の開示と、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及び文書管理制度再構築後の維持管理指導を行う。 また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.2

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業	担当部署	総務課・デジタル戦略室

総合計画体系			根拠法令計画など	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始：平成　14　年度
（小項目）		情報の共有化		
施策	4	情報の共有化の推進		
基本事業	3	ICTを活用した市民サービスの推進		終期：未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	行政上サービスの向上と行政事務の効率化・高度化のため、オンラインによる申請・届出システムを確立する。	事業内容（R2）	①電子申請が利用可能な手続の周知を行い、届出利用件数の増加を図る。 ②電子申請が利用可能な手続の拡大に取り組み、利用者の利便性の向上を図る。
実施方針	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	手続件数	34	38	39	40	41	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		電子申請・届出利用件数	340	320	330	340	350	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	03	文書費	
事業1	004	電子申請・文書管理システム関係費	事業期間
事業2	01	電子申請・文書管理システム関係費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	576	0	576	576	576

事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	昨年度の状況を踏まえ、手続件数を増加させるために電子申請に適しているような手続きはないか調査を行い、既存の手続きに関しても、より利用しやすいものになるよう見直しを行った。また、ふるさと鳴門便や職員採用試験の申込等の4件の手続きについて、電子申請の受付を開始した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	手続件数	37	40	41	42	43	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		電子申請・届出利用件数	407	1,129	410	410	410	件
		目標達成率(実績/目標)		342.1	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		573,166	0	575,672	0	575,672
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	573,166	0	575,672	0	575,672

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	電子申請・届出利用件数		成果指標に対する所見	申請件数の増加に加え、電子申請が活用できる申請については手続きを開始するなど、一定の成果を上げている。
	目標	330	件		
	実績	1,129	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市においては、既に手続きのひとつとして根付いているものであり、必要な手続きとなっている。更なる申請件数の増加を図るため、若年層や中年層のインターネット利用率が高い世代に電子申請が普及するよう努めるとともに、子育てワンストップサービス等のマイナンバー制度を活用したワンストップサービスによる電子申請についても有効に活用していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。
	令和4年度	前年度の利用状況を踏まえ、手続件数及び届出利用件数の増加をはかる。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.3

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	入札改革推進事業	担当部署	契約検査室

総合計画体系			根拠法令計画など	地方自治法
基本政策(大項目)	4	大きく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始：平成 21 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると		
(小項目)		情報の共有化		
施策	4	情報の共有化の推進		終期：未定
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上		

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①入札業務の透明性・公平性の確保 ②入札業務の競争性の確保	事業内容（R2）	①建設工事及び測量コンサルタント業務 ・電子入札による指名競争入札及び制限付一般競争入札の継続実施 ・建設工事における発注情報の公表 ・入札情報および入札結果のホームページでの公開 ②物品等 ・応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札の継続実施 ・入札情報および入札結果のホームページでの公開
実施方針	①建設工事及び測量・コンサルタント業務の電子入札を推進する ②入札情報及び入札結果の公表を推進する ③入札不調の低減に取り組む	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	工事等入札件数	221	200	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	124	110	110	110	110	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		工事等の電子入札の割合	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のホームページでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のホームページでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のホームページでの公開	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	01	一般管理費	
事業1	014	契約管理事務費	事業期間
事業2	01	契約管理事務費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,838	0	2,838	2,843	2,838

事務事業名	入札改革推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	建設工事及び測量・コンサルタント等業務においては、電子入札を継続し、金額や内容に応じて指名競争入札又は制限付一般競争入札における執行を継続した。また、入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を継続し、半期ごとに発注情報を公開した。 物品等については、内容等に応じて応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札による執行を継続した。また入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を行った。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	工事等入札件数	198	203	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	124	160	110	110	110	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		工事等の電子入札の割合	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,837,940	0	2,511,500	0	2,511,500
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,837,940	0	2,511,500	0	2,511,500

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	工事等の電子入札の割合			工事及び測量・コンサルタント等業務における電子入札の完全実施を継続することで、透明性・競争性・公平性が確保できた。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市では、市内業者の振興及び育成の観点から、市内業者を優先した発注を行っているが、競争性を高めることと、市内業者の受注確保は相反するものであり、迅速な事業の執行の観点から、工事等の全ての案件で制限付一般競争入札を執行することは難しい。当面の間は、市内業者の受注機会確保を優先した運用を行う。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、国や県の動向に合わせ、入札改革を進めていく。
	令和4年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、国や県の動向に合わせ、入札改革を進めていく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.4

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	職員人材育成研修事業	担当部署	人事課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市「人財」育成基本方針
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始：平成　12　年度
(小項目)		行財政運営		
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		
基本事業	4	適正な人事管理の推進		終期：未定

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民満足度の高い行政サービスを提供できる職員を育成する。	事業内容（R2）	①第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修を活用する。 ②専門的な知識や能力の向上を図るものについては、アカデミー、自治大学校等へ積極的に派遣を実施する。
実施方針	「職員として求められる能力」等の習得及び向上を図るため職員研修を実施する。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、アカデミー、自治大学校等の外部研修機関への派遣を中止。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	派遣研修等への派遣職員数	199	230	230	230	230	人
	2	庁内研修の受講者数	1,955	1,700	1,700	1,700	1,700	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		アンケート中「役立つ」「やや役立つ」の比率	94	93	95	95	95	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	研修計画に基づき実施した	研修計画に基づき実施する	研修計画に基づき実施する	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	02	人事管理費	
事業1	08	職員研修費	事業期間
事業2	01	職員研修費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	7,667	△ 2,018	5,649	8,523	8,523

事務事業名	職員人材育成研修事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、接遇研修をはじめ公務員倫理研修や認知症サポーター養成講座等、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修に多くの職員が参加した。 市町村アカデミー及び自治大学校等の外部研修機関が実施する研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、派遣を見送った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	派遣研修等への派遣職員数	185	174	230	230	230	人
	2	庁内研修の受講者数	2,207	2,056	1,700	1,700	1,700	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		アンケート中「役立つ」「やや役立つ」の比率	92.1	93.7	95	95	95	%
		目標達成率(実績/目標)		98.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		4,710,456	0	4,126,413	0	4,126,413
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	571,277	0	200,004	0	200,004
		一般財源	4,139,179	0	3,926,409	0	3,926,409

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	アンケート中「役立つ」「やや役立つ」の比率		成果指標に対する所見	目標数値は若干達成できていないが、より具体的に職員の研修ニーズを把握し、引き続き必要と思われる研修を効率的かつ効果的に実施していく必要がある。
	目標	95	%		
	実績	93.7	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	職員数の減少に伴い、職員1人の業務量が増大しているため研修への参加を敬遠する傾向にあるが、より市民満足度の高い行政サービスを提供するには、専門的な知識の習得及び能力の向上を図ることは不可欠である。また、外部研修機関への派遣については、知識の習得だけでなく、他の自治体職員との交流を通じて得られるものも多いことから、研修への参加の意義やメリット等を積極的に周知し、より一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画・実施していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	引き続き、第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や国の動向等を注視しながら市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣を行う。また、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を積極的に行う。 さらに、「職員に求められる能力」を調査・研究し、市民サービスの向上に効果ある研修を今後も検討していく。
	令和4年度	引き続き、取り組みを継続する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.5

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市税徴収率向上対策事業	担当部署	税務課

総合計画体系			根拠法令計画など	国税徴収法、地方税法、鳴門市賦課徴収条例
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始：平成 13 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると		
(小項目)		行財政運営		
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期：未定
基本事業	2	財政の健全化		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	主要財源の安定的な確保及び税負担の公平性確保を目的とする。
実施方針	①納税義務者が市税を完納し、税負担の公平性を保つ。 ②税収が確保された状態を目指す。
事業内容（R2）	①徳島滞納整理機構との連携や滞納処分の早期着手、現年度収入未済額の早期　回収などにより、滞納繰越額の圧縮を進める。 ②口座振替の周知を行うなど口座振替加入率向上へ向けた継続的な取り組みを実施する。 ③未課税家屋について調査を進める。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	現年度収入未済額	59,539	65,308	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	51,805	51,000	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		市税徴収率（現年+滞繰）	96.6	96.3	94.0	95.0	95.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める。	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	02	徴税費	
目	02	賦課徴収費	
事業1	004	徴税費	事業期間
事業2	01	徴税費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	9,214	0	9,214	6,676	6,676

事務事業名	市税徴収率向上対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・未納者に対し早期納付を促すため、納付催告を実施。また、滞納整理では税務調査による担税力の把握、その後の催告等によってもなお納付に応じない者への滞納処分を実施した。 高額・悪質案件については、徳島滞納整理機構と連携し、未済額の回収に努めた。 ・未課税家屋調査について、年次計画を基に1班体制（家屋担当職員2名及び会計年度任用職員1名）で調査及び課税を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	現年度収入未済額	73,145	93,546	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	50,089	49,774	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市税徴収率（現年+滞繰）	96.0	96.1	95.0	95.0	95.0	%
		目標達成率(実績/目標)		102.2	－	－	－	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
		計	13,314,258	0	8,943,183	0	8,943,183
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	13,314,258	0	8,943,183	0	8,943,183

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	市税徴収率（現年+滞繰）			取り組み目標を達成し、県内8市の市税徴収率と比較しても高水準を維持できている。
	目標	94.0	%		
	実績	96.1	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も、現年度収入未済額を着実に減少させると共に、滞納繰越額の更なる圧縮を図っていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	現年度の未納をできるだけ減らし、当年度内で完納となる取り組みを更に進める。具体的には、税務調査により納税者の担税力を把握し、早期に滞納処分を実施し未済額の回収に努める。また、徳島県東部県税局職員長期派遣者の協力を得て、滞納が多い金額層（世帯）に向けて、共同催告を実施することで、滞納解消・徴収率向上を目指す。
	令和4年度	現年度の未納をできるだけ減らし、当年度内で完納となる取り組みを更に進める。具体的には、税務調査により納税者の担税力を把握し、早期に滞納処分を実施し未済額の回収に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.6

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広報活動の充実	担当部署	秘書広報課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始：昭和　26　年度
(小項目)		情報の共有化		
施策	4	情報の共有化の推進		終期：未定
基本事業	1	広報活動の充実		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市からの行政情報などをわかりやすく市民に周知するため、読みやすく魅力ある「広報なると」の紙面づくり、また、多くの市民に視聴してもらえる見やすく親しまれるテレビ広報番組づくりを行う。
実施方針	効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施
事業内容（R2）	①広報紙 より多くの市民の方に広報紙を読んでいただけるよう、スマートフォンやタブレット端末を活用した新たな情報発信手段の導入について検討を進めるとともに、見やすさやわかりやすさを重視したレイアウト・文字の大きさなどビジュアル面についても他市町村の広報紙を参考にリニューアル化に向け検討を進める。 ②テレビ広報 地域で活躍する団体の活動紹介や国際交流員による語学講座などテレビという媒体を生かした市民にも親しみやすい番組制作を行う。 ③広報モニター 広報モニターから幅広い意見を抽出し、紙面・テレビ番組づくりに生かす。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙での市政の特集実施回数	8	8	8	8	8	回
	2	テレビ広報での市長の施策紹介回数	2	2	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		広報モニターの肯定的評価	86.3	84.0	70.0	70.0	70.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	スマートフォンやタブレット端末を活用した新たな情報発信手段の調査を開始。	先進的な広報活動を行う他市町村の取り組みについての調査・研究。	先進的な広報活動を行う他市町村の取り組みについての調査・研究	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	04	広報広聴費	
事業1	001	広報なると発行経費	事業期間：昭和26年度～
事業2	01	広報なると発行経費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	13,730	0	13,730	13,724	13,724

事務事業名	広報活動の充実

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和2年度実施内容	令和元年度に改定した「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、職員一人ひとりが同プランの理解を深め、市としてより効率的かつ効果的な広報を実践できるよう職員向け研修を実施した。 若年層に対してはSNSの積極的な活用、高齢者・聴覚障がい者の方には、より分かりやすい情報発信を行うことができるよう、テレビ広報の番組内容を字幕対応とするなど、ターゲットを意識した広報活動に取り組んだほか、広報なるとにおいては、「Close up Shining Woman」と題し、鳴門で活躍する女性を特集するコーナーを新たに設けるなど、内容の充実を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙での市政の特集実施回数	9	14	8	8	8	回
	2	テレビ広報での市長の施策紹介回数	2	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		広報モニターの肯定的評価	85.1	86.7	70	70	70	%
		目標達成率(実績/目標)		123.9	－	－	－	%

事業費推移(円)	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		12,760,730	0	12,834,800	0	12,834,800
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	838,118	0	855,082	0	855,082
		一般財源	11,922,612	0	11,979,718	0	11,979,718

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価	
	目標	70	%
	実績	86.7	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	目標は達成したためA評価とするが、今後も内容をより充実させ、一層の効率化を図るため、市民や広報モニターの評価を向上させるように努力する。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	広報紙においては、市民の方から「内容が難しい」「わかりにくい」との声がある。また、情報を受け取る市民は、若年層から高齢層まで幅広い世代であることから、その世代に適した情報発信や市民等の目線に立ったわかりやすい情報発信に取り組む必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。また、現在活用されている市公式SNSについて、各媒体の特性に応じた利活用を検討するとともに、情報のすみ分けを行うことで、効果的な情報発信と各媒体の利用価値を高める。
	令和4年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.7

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	イメージアップ戦略推進事業	担当部署	秘書広報課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　27　年度
(小項目)		シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定
基本事業	2	イメージアップの推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	さまざまなツールを活用した広報を戦略的に展開し、本市のイメージアップと定住人口の拡大を目指す。	事業内容（R2）	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を作成し、市内の小学校5・6年生や市内外の各施設に配布する。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外の各施設等へ配布する。 ③写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」を実施する。
実施方針	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「鳴門やけん」制作巻数	2	1	1	1	1	巻数
	2	「Narustagram」応募作品数	1,368	1,400	1,500	1,500	1,500	点
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		イメージアップ事業実施数	4	4	3	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①「鳴門やけん」の作成 ②「NARUTO MADE」の作成 ③「Narustagram」の実施	①「鳴門やけん」の作成 ②「NARUTO MADE」の作成 ③「Narustagram」の実施	①「鳴門やけん」の作成 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「Narustagram」の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	08	企画費		
事業1	008	イメージアップ推進事業費	事業期間	平成27年度～
事業2	01	イメージアップ推進事業費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,689	0	3,689	1,535	1,535

事務事業名	イメージアップ戦略推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」のダイジェスト版を新たに作成するとともに、バックナンバーについても増刷し、市内外へ配布した。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外へ配布した。 ③写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」を開催した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「鳴門やけん」制作巻数	1	1	0	未定	未定	巻
	2	「Narustagram」応募作品数	1,281	1,865	1,200	1,200	1,200	点
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		イメージアップ事業実施数	4	3	2	2	2	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		3,115,244	0	3,050,914	0	3,050,914
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,115,244	0	3,050,914	0	3,050,914

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	イメージアップ事業実施数	
	目標	3	件
	実績	3	件
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	様々な媒体を通して多角的な情報発信ができたと考える。今後も継続的に実施することにより、効果を高めていきたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業実施6年目を終えて、鳴門市の主要な素材については、ある程度取り上げてきたことから、今後新たな素材の選定について検討を重ねる必要があると考えている。また、テーマについても、大きく変更することも検討すべきであると考えている。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を増刷し、市内外へ配布。 ②写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。
	令和4年度	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を作成し、市内外へ配布。 ②写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.8

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業	担当部署	デジタル戦略室

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
(小項目)		行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期	未定
基本事業	5	ICTを活用した行政運営の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	情報化による業務の高度化や効率化を推進するため、鳴門市情報化計画「第5次なるとeーブラン」に基づき、情報システムの全体最適化等を図る。	事業内容（R2）	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努める。
実施方針	①情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②全庁的な視点による効果的なICT投資の推進を行う。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目（事業）数	44	未定	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②基幹業務システム更新計画の策定	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②基幹業務システム更新 ③庁内ネットワーク端末更新	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②ペーパーレス会議システム導入	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計			
款			
項			
目			
事業1			事業期間
事業2			

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	－	－	－	－	－

事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図った。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努めた。 ③事務改善や効率化を図ることを目的としたペーパーレス会議システムの導入を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目（事業）数	72	48	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		－	－	－	－	－
	財源内訳	国庫支出金	－	－	－	－	－
		県支出金	－	－	－	－	－
		地方債	－	－	－	－	－
		使用料・手数料	－	－	－	－	－
		その他	－	－	－	－	－
		一般財源	－	－	－	－	－

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合		成果指標に対する所見	全庁的な視点での情報化投資の推進を図るとともに、ペーパーレス会議システムの導入についても予定通り、完了した。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各業務システム間の情報連携が重要になっている状況であることから、今後も引き続き、情報化投資の一元管理体制の徹底を図り、全庁的な視点での効果的な情報化投資の推進に努める必要がある。また、国の「デジタル庁」の動向等にも注視しながら、適時適切な対応を図る必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①自治体向け申込み・アンケートフォーム及びビジネスチャットを導入することにより、市民の利便性向上や行政内部の事務改善・効率化を図る。 ②情報化投資の一元管理体制の徹底を図るなど、ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。 ③国の「デジタル庁」の動向等に注視しながら、適時適切な対応を図る。
	令和4年度	①次期鳴門市情報化計画「第6次なるとe-プラン（仮称）」の策定を行い、さらなる行政のデジタル化を推進していく。 ②情報化投資の一元管理体制の徹底を図るなど、ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。 ③国の「デジタル庁」の動向等に注視しながら、適時適切な対応を図る。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.9

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	担当部署	戦略企画課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間 開始	平成 28 年度
(小項目)		産業		
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化	終期	未定
基本事業	1	地場産業の育成・振興		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門の経済の活性化につながる新事業を創出させるため。	事業内容（R2）	①多くの応募者の確保のため、部門を分けたり、今まで以上に商工関係団体や金融機関等と連携し事業を実施する。 ②今までの受賞者・受賞プランを広報し、受賞者へのフォローを行うとともに、新たなビジネスプランの発掘を行う。
実施方針	①なるとビジネスプランコンテストを開催する。 ②今までの受賞プランの紹介及び事業実現化に向けての支援を行う。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		創業社数	0	0	1	1	1	社

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	①募集 ②事業者説明会 ③プラン作成講座 ④最終選考会	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	08	企画費	
事業1	07	総合戦略推進費	事業期間
事業2	01	総合戦略推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,055	0	1,055	1,055	1,055

事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	新型コロナウイルスが日常生活や経済に様々な影響を与えている現在の状況を踏まえ、ビジネスプランコンテストを中止し、同コンテストの特別企画として、日常時と非常時のフェーズを超えて活躍するフェーズフリーなモノ、コトに関するアイデアコンテストを実施し、集まったアイデアを共有することで、全国の事業者や個人が安全安心に生活できる社会づくりを推進した。 55件の応募があり、最優秀賞1名、優秀賞7名、アイデア賞15名を決定した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		創業社数	1	0	1	1	1	社
		目標達成率(実績/目標)		0.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		904,360	0	432,878	0	432,878
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	904,360	0	432,878	0	432,878

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	創業社数	
	目標	1	社
	実績	0	社
	評価	D:目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、急遽フェーズフリーアイデアコンテスト実施に方針変更を行ったため、目標の達成には至らなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度はビジネスプランコンテストを開催していないが、令和元年度までに年々応募者数は減少傾向にあったため、多くの応募者確保のため部門を分けるなど、今まで以上に商工関係団体や金融機関等と連携し事業を実施していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	令和元年度までの実施内容を見直し部門を分けて実施することで、新事業の創出につなげる。
	令和4年度	令和3年度の実施状況を見ながら、内容を検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.10

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業	担当部署	戦略企画課・スポーツ課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始：平成 28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると		
(小項目)		観光		
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期：未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①交流人口の増加及び地域経済活性化 ②市民の健康増進、地域活性化	事業内容（R2）	①地方版自転車活用推進計画の策定 ②環境整備 ・サイクリングコースの確定と調査 ③市民の自転車利用促進 ・サイクリスト・企業等団体の活動への支援 ④大鳴門橋サイクリング道整備早期実現への取り組み ・地域関係団体による「早期実現協議会」（仮）の設立 ・周知啓発 ⑤健康づくり関連イベント実施 ・グルメライド等の実施
実施方針	①自転車活用推進計画の策定 ②サイクリングコースの環境整備 ③市民の自転車利用の促進 ④大鳴門橋サイクリング道整備早期実現に向けて取り組む ⑤健康づくり関連イベントの実施	当初からの変更点	9月補正△14,000千円 3月補正△3,550千円

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	海峡またぎ（自転車輸送）利用者数	170	300	360	380	400	人
	2	レンタサイクル利用者数	23	200	300	300	300	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		関連イベントへの参加者数	－	8,000	10,000	10,000	10,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①自転車輸送の実施 ②レンタサイクル開始 ③関連イベント実施 ④PR動画製作	①サイクルバスの実施 ②路線バスでの自転車輸送開始 ③レンタサイクル実施 ④関連イベント実施 ⑤PR動画製作	①推進計画の策定 ②協議会の設立 ③サイクルコースの調査 ④継続事業の実施	未定	未定

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	地方創生推進交付金（1/2） ふるさと活性化基金繰入金
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	08	企画費	
事業1	07	総合戦略推進費	事業期間
事業2	01	総合戦略推進費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	24,550	△ 17,550	7,000	6,100	－

事務事業名	ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①鳴門市自転車活用推進計画を策定し、鳴門の抱える課題の整理を行い、地域資源・地域特性を活かした自転車活用施策の検討を行った。 ②自転車で走る上で路面整備が必要な個所も多いため、コースカルテを作成し、修繕が必要な箇所の情報を把握した。 ③コースマップを更新するとともに、おもてなしスポットなどについて、ASAサイクリング特設ウェブサイトにて周知を行った。 ④鳴門海峡の自転車輸送、レンタサイクル事業を継続して実施した。 ⑤関連イベントの実施、鳴門・南あわじ渦潮グルメライドについては新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、開催を見送った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	海峡またぎ（自転車輸送）利用者数	293	152	200	300	400	人
	2	レンタサイクル利用者数	213	271	300	300	300	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		関連イベントへの参加者数	1,774	423	1,000	2,000	2,000	人
		目標達成率(実績/目標)		4.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		26,888,499	0	4,713,584	0	4,713,584
	財源内訳	国庫支出金	13,444,249	0	2,356,792	0	2,356,792
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	13,444,250	0	2,356,792	0	2,356,792
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	関連イベントへの参加者数		新型コロナウイルスの影響により自転車イベントが中止となり、目標人数減となった。しかしながら、自転車輸送等の取り組みは、サイクルツーリズムの機運を高めることに一定の効果があった。
	目標	10,000	人	
	実績	423	人	
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	徳島県と兵庫県が「大鳴門橋の下部空間を活かした自転車道の整備」を検討しており、実現すれば多くの観光客増加や、地域の活性化が見込まれるが、実現されるまでに本市、南あわじ市含めサイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を計画的に行っていく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	サイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を引き続き行う。 鳴門市自転車活用推進計画を推進し、地域資源・地域特性を活かした自転車活用施策の検討を行う。
	令和4年度	R3年度の状況を考慮しながら検討

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.11

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業 （イベント開催支援・シティプロモーション）	担当部署	戦略企画課・秘書広報課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると	事業期間	開始：平成 28 年度
（小項目）		観光		
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期：未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☑ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	四国の玄関口となるべく、ソフト事業として、四国内外から集客できるイベントを開催し、四国の玄関口としてのブランド化を図り、交流人口の増加を目的とする。	事業内容（R2）	①民間団体との共催によるイベントの開催支援。 ・民間団体への協力をベースとしたイベント開催支援を行う。 ・市所有のLED等イルミネーション設備を民間団体へ貸出し設置等の補助を行う。 ②広報 ・鳴門市プロモーションCM・動画「Beyond Naruto」を活用したシティプロモーションを行う。
実施方針	①四国ゲートフェスタ鳴門（イベント）の開催支援 ②広報（鳴門市プロモーションCM・動画の活用）	当初からの変更点	四国のゲートフェスタ鳴門 負担金：3月補正△3,000千円

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		交流人口の増加	24,000	16,000	9,000	10,000	10,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	肉フェスの実施 イルミネーションの実施 四国の拠点施設整備の基本計画策定等	肉フェスの実施 イルミネーションの実施	①民間団体との共催によるイベント開催支援 ②広報（CM動画の活用）	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	地方創生推進交付金（1/2） ふるさと活性化基金繰入金
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	08	企画費	
事業1	07	総合戦略推進費	事業期間
事業2	01	総合戦略推進費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	13,500	△ 3,000	10,500	6,520	4,200

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業(イベント開催支援・シティプロモーション)

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和2年度実施内容	①民間団体との共催によるイベントの開催支援 ・アフターコロナ期における交流人口の増加を目指し、「四国の肉グルメフェス」の内容等を見直した上で民間団体が主催となって実施するグルメイベントに対し、共催という形で支援を行うため関係機関等と協議を重ねていたが、新型コロナウイルスの影響により中止。 ・市所有のLED等イルミネーション設備を民間団体へ貸出し設置等の補助を実施した。 ②広報については、ぐろ～かるPR動画大賞を受賞した市プロモーション動画「Beyond Naruto」を活用し、広く県内外への情報発信を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		交流人口の増加	16,000	3,000	10,000	10,000	10,000	人
		目標達成率(実績/目標)		33.3	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		243,802,460	0	9,244,500	0	9,244,500
	財源内訳	国庫支出金	23,637,222	0	4,622,250	0	4,622,250
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	148,300,000	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	23,637,222	0	4,622,250	0	4,622,250
		一般財源	48,228,016	0	0	0	0

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の増加	成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響により大型イベントが中止となり、交流人口が減少した。 広報については、市プロモーション動画「Beyond Naruto」を活用し、県内外へ情報発信を行い、一定の効果があった。
	目標	9,000 人		
	実績	3,000 人		
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	大型イベントについては、アフターコロナ期における交流人口の増加を目指し、費用対効果の観点を考慮し共催・補助の形で実施していく必要がある。 また、四国の玄関口としてのブランド化・定着化をよりいっそう高めるため、プロモーション動画等を活用するなど費用対効果の高い方法により、情報発信等を行っていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	①民間団体との共催によるイベントの開催支援。 ②西のゲート(道の駅第九の里)の受入環境整備を行う。
	令和4年度	事業の見直しを行いながら継続して実施。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.12

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域婚活支援事業	担当部署	戦略企画課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市総合戦略／笑顔と魅力うずまく地域婚活支援事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じる　まちづくり		
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始：平成　27　年度
(小項目)		子どものまち		
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援		
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	未婚化・晩婚化に歯止めをかける一助とする。	事業内容（R2）	①周知広報 ・広報なると及び市公式ウェブサイト等での周知 ・婚活イベント開催事業者への直接案内 ②補助金交付 ・鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、上限20万で補助金交付
実施方針	鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対する支援	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	婚活イベント支援数	3	3	3	3	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		婚活イベント開催におけるカップル成立数	8	5	10	10	10	組

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	3件のイベントに補助金交付	11月13日現在 2件のイベントを採択	企画提案募集 補助金交付	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	08	企画費		
事業1	005	その他の経費	事業期間	平成27年度開始
事業2	01	その他の経費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	800	0	800	800	800

事務事業名	地域婚活支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、市単独の補助によりイベントに補助金を交付し、市内での出逢いの場づくりを支援する。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、婚活イベントを行う事業者が少なく、募集時期をずらすなどして2回補助金の募集を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	婚活イベント支援数	2	0	3	3	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		婚活イベント開催におけるカップル成立数	5	0	5	5	5	組
		目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		292,000	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	292,000	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	婚活イベント開催におけるカップル成立数		新型コロナウイルス感染症の影響で、婚活イベント開催事業者からの応募がなかったため、目標の達成には至らなかった。
	目標	10	組	
	実績	0	組	
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが実施しにくい状況となっているが、オンライン婚活イベントなど新たな形でイベントを実施予定の事業者に対する支援を行っていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた上で、実施されるイベントに対して、補助を検討していく。
	令和4年度	令和3年度の状況を踏まえながら、継続して実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.13

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共交通対策事業	担当部署	戦略企画課
総合計画体系				根拠法令計画など	道路運送法・鳴門市地域バス運行条例／鳴門市乗合バス協定路線運行費等補助金
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適　すみよい町づくり		事業期間 開始	平成 20 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると			
（小項目）		交通		終期	未定
施策	5	新しい公共交通網の確立			
基本事業	2	公共交通機関の確保と整備			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の日常生活の足を確保するため、効率的で持続可能な公共交通網の構築を図る。	事業内容（R2）	①地域バス並びに協定路線について、継続的に利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容等の見直しを行う。 ②市民及び利用者にアンケートを実施して、現在の地域交通の課題を把握し、新しい公共交通のあり方を検討する。
実施方針	①地域バス・協定路線（徳島バス）等の見直し ②新公共交通の検討	当初からの変更点	【3月補正】11,822千円 ・マスクや消毒液など協定路線バスの運行に資する消耗品等の購入に必要な経費を補助金として支出するための増額補正。 ・徳島バス自社路線に対する市町村の負担金額が増額になったことによる増額補正。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		地域バス・協定路線乗車人数	236,669	236,669	236,669	236,669	236,669	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①協定路線（大麻線・鳴門公園線）の時刻見直し ②協定路線（北泊線）の便数見直し検討	①協定路線（北泊線・鳴門公園線・高島線）の便数見直し ②新公共交通の検討	①地域バス及び協定路線の運行内容見直し ②新公共交通の検討	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	08	企画費		
事業1	003	交通対策費	事業期間	平成20年度～
事業2	01	交通対策費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	149,653	11,822	161,475	161,848	161,848

事務事業名	公共交通対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	地域バス並びに協定路線について、継続的に利用状況の把握に努めた。また、新型コロナウイルス感染症対策として、運行前後の車内消毒、運転手のマスク装着、手指の消毒を徹底するとともに、利用者の方へのマスク装着及び手指消毒をお願いする掲示物を車内にを掲示し、安全なバス運行に努めた。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地域バス・協定路線乗車人数	234,924	163,760	150,000	150,000	150,000	人
		目標達成率(実績/目標)		69.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		146,760,288	0	157,261,648	0	157,261,648
	財源内訳	国庫支出金	0	0	1,501,000	0	1,501,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	1,021,727	0	695,536	0	695,536
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	145,738,561	0	155,065,112	0	155,065,112

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	地域バス・協定路線乗車人数		新型コロナウイルスの影響により、乗客数増加に至らなかったが、今後も公共交通のあり方について研究をすすめ、路線の効率化を図る。
	目標	236,669	人	
	実績	163,760	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域公共交通計画の策定に向け、乗客調査やアンケート調査を実施することで、公共交通の利用実態の把握に努め、路線の効率化など、利用実態に即した交通網の整備を検討する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	利用状況やニーズの調査を行い、実態把握に努める。 公共交通計画策定にむけて、市民及び利用客にヒアリング調査を行い、市民と協働で進めていく。
	令和4年度	前年度の取り組みを継続して実施し、実態把握に努める。 地域にとって望ましい公共交通の姿を明らかにし、本市の実状に応じた公共交通計画策定を目指す。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.14

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	総合戦略推進事業（鳴門市の未来を担う人材育成）	担当部署	戦略企画課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始：令和 2 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると		
（小項目）		市民参画・市民協働		
施策	1	市民参画・市民協働の推進		
基本事業	1	市民参画と協働の意識醸成と体制づくり		終期：未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	人口減少対策を実施するため、地方版総合戦略を推進するにあたり、未来の鳴門市を担う人材育成に重点を置いた施策を実施し、大学や地域と連携を図りながら、若い世代が「鳴門市に住み続けたい、帰ってきたい」と思えるまちづくりを目指す。	事業内容（R2）	①人材育成に係る教育推進施策の研究体制を構築 ・大学と行政（市・教育委員会等）との連携強化 ・地域ぐるみの人材育成施策の検討 ②地域と密着した活動機会の創出 ・シビックプライド醸成をはじめ、民間団体及び地域おこし協力隊などの力を活用した演劇等を通して、コミュニケーション力や表現力などを育成
実施方針	①人材育成に係る教育推進施策の研究体制を構築 ②地域と密着した活動機会の創出	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		アンケートで鳴門市に愛着を感じると回答した子どもの割合	－	－	90	90	90	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	―	―	①人材育成に係る教育推進施策の研究体制を構築 ②地域と密着した活動機会の創出	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	特別交付税措置
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	08	企画費	
事業1	007	総合戦略推進費	事業期間：平成27年度開始
事業2	01	総合戦略推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	8,000	0	8,000	9,400	9,600

事務事業名	総合戦略推進事業（鳴門市の未来を担う人材育成）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①鳴門教育大学との協力推進会議を開催し、今後の大学連携の進め方について意見交換を行った。 ②地域おこし協力隊によるミュージカルを感染予防対策を実施したうえで3公演実施し、延べ500名以上を動員するとともに、ミュージカルを通して、地域や学校、世代を越えた繋がりをつくり、鳴門市の未来を担う子どもたちのコミュニケーション能力や表現力の向上を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		アンケートで鳴門市に愛着を感じると回答した子どもの割合	―	94.4	90	90	90	%
		目標達成率(実績/目標)		104.9	―	―	―	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
		計	―	0	8,000,000	0	8,000,000
	財源内訳	国庫支出金	―	0	0	0	0
		県支出金	―	0	0	0	0
		地方債	―	0	0	0	0
		使用料・手数料	―	0	0	0	0
		その他	―	0	0	0	0
		一般財源	―	0	8,000,000	0	8,000,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	アンケートで鳴門市に愛着を感じると回答した子どもの割合		成果指標に対する所見	今後もミュージカル等を通じて、地域との連携を図るとともに、若い世代の人材育成に努める。
	目標	90	%		
	実績	94	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門教育大学をはじめとする県内大学との事業協力を積極的に推進し、人材育成につなげていく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、ミュージカル等のイベントの開催は難しいことが予想されるが、十分に感染症対策を行ったうえで可能な限りイベントを実施し、若い世代の人材育成に努める。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	地域おこし協力隊によるミュージカルを通じて、鳴門市の未来を担う子どもたちのコミュニケーション力の向上や表現力を育成することで、シビックプライドの醸成に取り組み、人口減少対策につなげていく。
	令和4年度	令和3年度の状況を踏まえながら、継続して実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.15

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業	担当部署	戦略企画課

総合計画体系			根拠法令計画など	地方税法等の一部を改正する法律
基本政策(大項目)	4	大きく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始：平成 20 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると		
(小項目)		行財政運営		
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期：未定
基本事業	2	財政の健全化		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市を応援したい、本市に貢献したいという納税者の気持ちを活かすことのできるようなわかりやすい「ふるさと納税寄附金制度」の運用	事業内容（R2）	①記念品の拡充による鳴門の地場産品のPR推進 ・市内事業所への記念品掲載の案内 ②寄附金の事業化の推進 ・予算編成時における使い道の検討 ・GCF実施の検討 ③ポータルサイト等での情報発信の強化 ・サイト掲載写真の更新等 ・サイトへの記念品詳細の充実や使い道の報告
実施方針	①記念品の拡充による鳴門の地場産品のPR推進 ②寄附金の事業化の推進 ③ポータルサイト等での情報発信の強化	当初からの変更点	寄付金額およびGCF実施事業費が想定よりも多く見込まれたため、報償費・委託料・補助金を増額補正した。 3月補正　報償費　21,000千円、委託料　14,000千円、補助金　401千円

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ふるさと納税寄附件数	14,128	16,000	16,000	16000	16,000	件
	2	リピーター数	2,546	2,500	2,500	2,500	2,500	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		寄附金額	317,188	320,000	320,000	320,000	320,000	千円

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	○ポータルサイト「さとふる」の追加 ○情報発信の強化	○記念品の拡充 ○情報発信の強化	○記念品の拡充 ○情報発信の強化	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	08	企画費	
事業1	006	ふるさと納税寄附金推進事業	事業期間：単年度繰り返し（平成20年度～）
事業2	01	ふるさと納税寄附金推進事業	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	161,900	35,401	197,301	230,538	230,538

事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①記念品の拡充により、鳴門の地場産品PRの推進を図り、継続した「なるとファン」づくりを行った。 ②ふるさと納税新制度を注視しつつ、効果的なPRを積極的に行い、新規寄附者の獲得に努めた。 ③寄附者の鳴門を応援したいという思いに迅速に応えていくため、寄附金の事業化を進めるとともに、寄附金活用報告を周知することで、リピーターの確保に努めた。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ふるさと納税寄附件数	18,306	18,169	20,000	20,000	20,000	件
	2	リピーター数	2,288	3,065	3,300	3,300	3,300	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		寄附金額	406,690	337,928	364,000	364,000	364,000	千円
		目標達成率(実績/目標)		105.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		188,603,649	0	164,628,214	0	164,628,214
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	188,603,649	0	164,628,214	0	164,628,214
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	寄附金額		成果指標に対する所見	記念品の品目追加や、ポータルサイトの写真の更新等により、リピーター数を増やすことにつながり、寄附金額が目標額を上回った。
	目標	320,000	千円		
	実績	337,928	千円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ふるさと納税制度の市場は今後も広がることが予想され、より多くの寄附をいただけるように、新たな記念品の追加・拡充や、鳴門の地場産品のPRについて工夫しながら行っていく必要がある。地域商社機能を持つ事業者へふるさと納税業務の一部を委託し、業務の効率化を図るとともに、委託事業者と連携することで、新規寄付者の獲得・リピーターの確保に努める。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	令和3年9月より地域商社機能を持つ事業者へふるさと納税業務の一部を委託し、業務の効率化を図るとともに、委託事業者と連携することで、新規寄付者の獲得・リピーターの確保に努める。
	令和4年度	前年度の取組みを継続実施するほか、諸般の情勢を勘案しつつ、ふるさと納税寄附金の拡充に向けて検討を進める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.16

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業（道の駅整備）	担当部署	特定事業推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市四国のゲートウェイ推進計画
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間 開始	平成 28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると			
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	令和4年度
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「人が集い　出会い交流し　地域に広がる　笑顔と元気うずまく道の駅」をコンセプトとした道の駅を整備する。	事業内容（R2）	①用地買収 ②建築に係る実施設計図書の策定 ③造成工事の開始
実施方針	次の4点を満たす道の駅を整備する。 ①快適な道路休憩施設の整備 ②利用者や消費者が求める情報を発信し、ひとを呼び込む情報発信機能の整備 ③地域の特性を活かした地域活性化や交流拠点づくり ④安心・安全でまちの新たな顔となる拠点づくり	当初からの変更点	

活動指標 実施した事業の活動量を示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	1							
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	道の駅の整備	基本計画策定	基本設計図書の策定	建築に係る実施設計図書の策定	竣工	開駅	—

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①基本計画の策定 ②国交省と基本協定の締結 ③対話型市場調査の実施	①指定管理候補者の選定 ②基本設計図書の策定 ③事業認定図書の策定	①用地買収 ②建築に係る実施設計図書の策定 ③造成工事の開始	①建築工事の着手 ②開駅準備 ③竣工	—

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計	地方創生拠点整備交付金（1/2）	
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	08	企画費		
事業1	018	道の駅整備事業費	事業期間	平成28年～令和4年
事業2	01	道の駅整備事業費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	291,600	76,101	367,701	1,712,400	—

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業（道の駅整備）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①事業認定告示を令和2年6月に受けた後に用地交渉を進め、10月には全ての用地買収に係る事務手続きを完了した。 ②建築に係る実施設計については、基本設計のコンセプトの維持と立地ポテンシャルを最大限に図ることを前提に施設の運営事業者と連携しながら進め、令和3年3月には実施設計図書を策定した。 ③用地買収完了後、令和2年11月に造成工事に着手し、令和4年春の開駅に向けて工事を開始した。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		道の駅の整備	基本設計図書の策定	建築に係る実施設計図書の策定	竣工	開駅	―	-
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		28,770,280	145,166,795	196,266,200	0	341,432,995
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	5,400,000	113,200,000	162,100,000	0	275,300,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	31,722,000	0	31,722,000
		一般財源	23,370,280	31,966,795	2,444,200	0	34,410,995

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	道の駅の整備			当初の予定どおり、国や関係機関等と連携しながら事業進捗を図ることができた。
	目標	建築に係る実施設計図書の策定			
	実績	建築に係る実施設計図書の策定			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	これまでに、基本計画や実施設計の策定、指定管理者の指定及び用地買収を終えており、今後については、令和4年春の開駅を目指し、各種工事等の早期完了に向けて、国や関係団体等と密接に連携しながら、鋭意、検討・準備を進める必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①建築工事の着手 ②開駅準備 ③竣工
	令和4年度	開駅

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.17

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	新庁舎建設事業	担当部署	特定事業推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市新庁舎建設基本計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成 29 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると			
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「市民の安全安心をまもり、絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」を実現した新庁舎の建設	事業内容（R2）	①DB事業者選定及び発注 ②オフィス環境整備業務 ③市民会館のアーカイブ事業
実施方針	基本計画に記載した五つの基本方針のもと、新庁舎建設を推進する。 ①誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを提供する庁舎 ②防災拠点にふさわしい、安全安心な庁舎 ③市民がつどい、親しまれる庁舎 ④経済的で将来の変化に対応できる庁舎 ⑤環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		新庁舎の建設	基本計画	基本設計	基本設計策定 実施設計着手	実施設計策定 着工	施工	—

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	基本計画	基本設計	基本設計策定 実施設計着手	実施	実施

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計	市町村役場機能緊急保全事業債	
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	07	財産管理費		
事業1	005	新庁舎建設事業費	事業期間	平成29年度～令和6年度
事業2	01	新庁舎建設事業費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	10,156	222,159	232,315	500,631	2,211,921

事務事業名	新庁舎建設事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	施設の配置や構造、平面レイアウトや地震･津波浸水対策、事業費の積算作業などに取り組み、令和2年5月に新庁舎整備に係る基本設計を策定した。 その後、実施設計・施工一括発注方式による事業者の選定を行い、令和3年1月に事業者を決定、同2月に実施設計に着手した。 そのほか、、老朽化が進み耐震性能も不足していた市民会館や旧簡易裁判所、旧堀部邸等の施設について解体工事を行うとともに、オフィス環境整備業務や市民会館のアーカイブ事業を行った。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		新庁舎の建設	基本設計着手	基本設計策定 実施設計着手	実施設計策定 工事着手	工事の推進	新庁舎完成	—
		目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		41,537,271	95,535,000	123,081,200	8,206,000	226,822,200
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	23,600,000	0	89,500,000	0	89,500,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	15,140,495	95,535,000	16,194,000	8,206,000	119,935,000
		一般財源	2,796,776	0	17,387,200	0	17,387,200

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	新庁舎の建設		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの感染拡大等の影響から、事業者公募期間の延伸も生じたが、予定どおり、年度内の事業者選定、実施設計への着手に繋げることができた。
	目標	基本設計策定 実施設計着手			
	実績	基本設計策定 実施設計着手			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題		新庁舎整備事業における重要なマイルストーンであった「令和2年度中の実施設計着手」は達成できたが、今後も、関係機関等からの意見聴取や財源確保に努めつつ、「市民の安心安全をまもり、絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」の実現に向け、着実に実施設計、施工を推し進めていく。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐4.現状維持(新型コロナ)　☐ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和3年度	実施設計策定着工
	令和4年度	施工

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.18

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業	担当部署	危機管理課

総合計画体系			根拠法令計画など	市地域防災計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間 開始	平成 16 年度
(小項目)		危機管理・防災		
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進	事業期間 終期	未定
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①防災意識の高揚を図る ②「自助」「共助」「近助」の意識の高揚を図る
実施方針	①各地区自主防災会への防災訓練実施の促進 ②出前講座、地域出前防災教室の実施
事業内容（R2）	①各地区自主防災会での防災訓練実施 避難訓練、資機材等取扱訓練、炊き出し訓練等の実施 ②出前講座、地域出前防災教室の実施 ③広報なると、市公式ウェブサイト等の活用
当初からの変更点	・令和2年9月実施予定の市総合防災訓練の中止 ・令和3年2～3月実施予定の防災イベントの中止

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	防災訓練	42	42	42	42	42	組織数
	2	出前講座・地域出前防災教室	22	22	30	30	30	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		自主防災会訓練実施組織数	42	42	42	42	42	組織数

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①各地区自主防災会防災訓練 ②出前講座、地域出前防災教室の実施 ③広報なると、市公式ウェブサイト等の活用	①各地区自主防災会防災訓練 ②出前講座、地域出前防災教室の実施 ③広報なると、市公式ウェブサイト等の活用	①各地区自主防災会防災訓練 ②出前講座、地域出前防災教室の実施 ③広報なると、市公式ウェブサイト等の活用	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	01	一般管理費		
事業1	012	防災事業費	事業期間	平成16年度～
事業2	01	防災事業費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,159	0	1,159	8,525	8,525

事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	各地区自主防災会において防災訓練を実施した。しかし新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小したり、やむなく訓練を中止した自主防災会も多くみられた。毎年防災の日である9月1日に実施していた「鳴門市総合防災訓練」も感染拡大防止の観点から中止となった。自主防災会に対しては、市や県立防災センターからのお知らせを情報共有することで、防災知識の普及啓発を図った。市民に対しては、感染症対策を講じたうえで、可能な範囲で出前講座を実施するとともに、防災行政無線の自動電話応答サービスの電話番号を記載したマグネットシートを広報なるとに折り込み、全戸配布した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	自主防災会訓練実施組織数	42	31	42	42	42	組織数
	2	出前講座・地域出前防災教室	18	11	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		自主防災会訓練実施組織数	42	31	42	42	42	組織数
		目標達成率(実績/目標)		73.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		202,719	0	556,935	0	556,935
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	202,719	0	556,935	0	556,935

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	自主防災会訓練実施組織数	
	目標	42	組織数
	実績	31	組織数
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、訓練を中止した自主防災会もあったため、訓練実施は100%とならなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域によって防災に対する意識や被害想定も異なることから各地域の実情や特色を把握し、それらを考慮した啓発活動の実施が課題である。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を縮小した自主防災会もあるため、活動低下に繋がらないよう啓発と支援を続けていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた各地区自主防災会での防災訓練実施を支援するとともに、出前講座や広報媒体を活用した啓発を実施する。また、コロナ禍の中での市総合防災訓練のあり方を検討し、実施する。
	令和4年度	各地区自主防災会での防災訓練実施を支援するとともに、出前講座や広報媒体を活用した啓発を実施する。市総合防災訓練については、感染症の状況等を見ながら規模を検討し、実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.19

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	自主防災組織活動促進事業	担当部署	危機管理課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画／鳴門市地震津波対策推進計画／鳴門市自主防災組織活動推進事業助成金交付要綱／自主防災組織育成助成金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始：平成　17　年度
(小項目)		危機管理・防災		
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①自主防災組織活動の活性化 ②防災意識の高揚や訓練等の自主的な防災活動の推進	事業内容（R2）	①コミュニティ助成事業の実施主体となる組織を選定するための要件を、各地区自主防災会に示し、各自主防災会の活動目標を明確化し、積極的な組織活動を促す。 ②防災組織の普及啓発 ③地域内の安全点検
実施方針	①組織運営等の各種助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図っていく。 ②幅広い世代に自主防災会の会合や訓練に参加してもらい、活動意欲の高揚を図る。	当初からの変更点	・コミュニティ助成事業の不採択により、自主防災組織育成助成金を不交付

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	自主防災会連絡協議会の開催	2	1	3	3	3	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	訓練・啓発等実施組織数	42	42	42	42	42	組織数

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	自主防災組織活動推進事業助成事業	継続	継続	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	コミュニティ助成事業（10/10　上限200万円）
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	01	一般管理費	
事業1	012	防災事業費	事業期間：単年度繰り返し（平成17年度から）
事業2	01	防災事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	5,905	△ 2,000	3,905	6,013	6,013

事務事業名	自主防災組織活動促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	組織活動の活性化に向け、組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。また、自主防災会に対して、市や県立防災センターからのお知らせを情報共有することで、防災知識の普及啓発及び活動意欲の高揚を図った。さらに、コミュニティ助成事業に市が推薦する組織を選定するための要件を、①防災組織の普及啓発、②地域内の安全点検、③防災訓練等の実績とし、各地区自主防災会に示し、活動目標を明確にすることで、自主防災会の積極的な活動を促し、活性化を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	自主防災会連絡協議会の開催	1	1	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		訓練・啓発等実施組織数	42	42	42	42	42	組織数
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		5,825,468	0	3,526,804	0	3,526,804
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,000,000	0	0	0	0
		一般財源	3,825,468	0	3,526,804	0	3,526,804

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	訓練・啓発等実施組織数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、訓練を中止した自主防災会もあったため、訓練実施は100%とならなかったが、市から自主防災会に対しては、継続的に防災に関する情報提供を行うことで啓発を実施できた。
	目標	42	組織数		
	実績	42	組織数		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	さらなる自主防災組織の活動推進に向けて、組織の財政的不安を解消する対策や組織活動の意欲の減少を防ぐ対策が必要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を縮小した自主防災会もあるため、活動低下に繋がらないよう啓発と支援を続けていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	組織活動の活性化に向け、組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を行う。さらに、コミュニティ助成事業に市が推薦する組織を選定するための要件を基に、次年度の推薦組織選定を行うとともに、次年度の組織選定に向け市自主防災会連絡協議会において同要件を各地区自主防災会に示し、自主防災会活動の活性化を図る。
	令和4年度	組織活動の活性化に向け、組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を行う。さらに、コミュニティ助成事業に市が推薦する組織を選定するための要件を基に、次年度の推薦組織選定を行うとともに、次年度の組織選定に向け市自主防災会連絡協議会において同要件を各地区自主防災会に示し、自主防災会活動の活性化を図る。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.20

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害用備蓄事業	担当部署	危機管理課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画・鳴門市地震津波対策推進計画・国民保護法第146条・災害対策基本法第49条
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間 開始	平成　17　年度
(小項目)		危機管理・防災		
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進	終期	未定
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	災害時に避難所での生活を余儀なくされた市民等が少しでも安心して過ごせるよう、計画的に災害用備蓄物資を整備する。	事業内容（R2）	①災害用備蓄品の買い換え ②賞味期限切れ間近となったアルファ化米を防災訓練や出前講座等に活用 ③災害用備蓄物資等の啓発 ④災害用備蓄資機材の整備
実施方針	①生命維持や生活に必要な食糧・飲料水等のほか、携帯トイレや生理用品などの避難生活に必要な物資について備蓄を進める。 ②市民への災害用備蓄物資の啓発や、災害用備蓄資機材の整備等についても継続して取り組んでいく。	当初からの変更点	令和4年度末までに目標数量を備蓄する予定としていた携帯トイレについて、令和2年度内に目標数量を備蓄することとした。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	携帯トイレ累計備蓄数	101,410	151,210	199,910	250,110	300,410	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		携帯トイレ累計備蓄数	101,410	151,210	199,910	250,110	300,410	枚

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	【購入予定】 ①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿漏れパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー　等	【購入予定】 ①携帯トイレ ②生理用品 ③紙おむつ ④尿漏れパッド ⑤飲料用備蓄コップ ⑥トイレットペーパー　等	【購入予定】 ①携帯トイレ	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計	名称：「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業費補助金 補助率：事業費の1／2、1避難所当たり250万円を上限	
款	03	民生費		
項	04	災害救助費		
目	01	災害救助費		
事業1	001	災害救助費	事業期間	単年度繰り返し（平成16年度から）
事業2	01	災害救助費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	7,062	5,253	12,315	9,677	9,677

事務事業名	災害用備蓄事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	県と市町村の役割分担や備蓄目標を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」で示された備蓄目標を達成しているアルファ化米や粉ミルクなどの賞味期限のあるものについて、更新を行った。賞味期限到来まで残り1年ほどを残して引き上げてきたアルファ化米は、自主防災会などに配布し、地区での防災訓練に活用してもらった。令和4年度までに必要数を備蓄する計画としていた携帯トイレについて、計画を前倒しし、令和2年度に必要数を備蓄し終えた。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	携帯トイレ累計備蓄数	151,200	300,410	－	－	－	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		携帯トイレ累計備蓄数	151,200	300,410	－	－	－	枚
		目標達成率(実績/目標)		150.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		5,410,374	0	11,274,765	0	11,274,765
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,661,000	0	4,202,000	0	4,202,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	3,000,000	0	0	0	0
		一般財源	749,374	0	7,072,765	0	7,072,765

積算基礎（細節ごとにご記入ください。公表の際には非表示とします。）

〇災害救助費
11.需用費
01.消耗品費　携帯トイレ　4,250円×1,492箱×1.1=6,975,100円[県補3,487,000円]　生理用品（11枚×2P）　354円×340個=120,360円
大人用紙おむつ（M20枚）　1,700×18袋=33,660円　乳児用おむつ　2,140円（S80枚入り4個＋M64枚入り8個＋L50枚入り10個）=47,080円
02.燃料費　ガソリン1L4缶入り　3,800円×5箱×1.1=20,900円
03.食糧費　アルファ化米　220円×10,000個×1.08=2,376,000円　液体ミルク　230円×432缶=99,360円
粉ミルク（27g48袋入り）　3,990円×12箱=47,880円　アレルギー対応粉ミルク（14.5g6本入り）　560円×40箱=22,400円
09.医薬材料費　マジックパウダー　2,650円×35個×1.1=102,025円
18.備品購入費　LPガス発電機　80,000円×5台×1.1=440,000円[県補220,000円]　簡易トイレ用テント　22,500円×40組×1.1=990,000円[県補495,000円]

合計　11,274,765円

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	携帯トイレ累計備蓄数	
	目標	199,910	枚
	実績	300,410	枚
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	携帯トイレについて、令和4年度までに約30万回分の備蓄を目標としていたが、県の補助金を活用して令和2年度末時点で目標数を前倒しで確保した。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害時に被災した市民が避難所等で安心した生活が送れるように、備蓄計画にある物資以外の備蓄を含め、本市の備蓄計画の見直しを検討する必要がある。 また、計画的な物資の備蓄を行う体制が整備されているが、災害時に迅速に対応するためには、保管場所や運搬方法等について検討を要する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の有効な避難所となる小中学校に備蓄を行うなど、分散備蓄に努める。
	令和4年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の有効な避難所となる小中学校に備蓄を行うなど、分散備蓄に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.21

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業	担当部署	危機管理課

総合計画体系

基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると
(小項目)		危機管理・防災
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備

根拠法令計画など	水防法・土砂災害警戒区域等における土砂災害対策の推進に関する法律　など
事業期間 開始	平成　27　年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①平時は市民等に各種災害の危険性や対応方法等の周知啓発 ②発災時に迅速かつ的確な避難行動に繋がるよう各種ハザードマップを作成する（見直し含む）。
実施方針	①各災害の被害想定を基にハザードマップを作成する。 ②市民に向けて周知啓発を行い、発災時に迅速な避難行動につなげる。 ③作成したハザードマップは、新しい情報等に基づいて適宜見直しを行う。
事業内容（R2）	①ハザードマップ作成 作成した「ため池マップ」、「浸水想定区域図」を基にハザードマップ作成の検討を行う。 ②周知啓発 これまでに作成したハザードマップ等について、出前講座等のなかで周知啓発を行う。 ③令和元年度に「新池川」の被害想定が見直されたことで、過去に作成したハザードマップの更新を行う。 ④徳島県が公表した「高潮浸水想定区域図」を基にハザードマップ作成の検討を行う。
当初からの変更点	・新池川ハザードマップ作成業務において、CUD（カラーユニバーサルデザイン）認証取得業務を追加 ・新池川ハザードマップ作成業務において、印刷業務を追加 ・令和元年度からの繰越事業として、ため池マップ等作成業務を追加

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップの周知	推進	推進	推進	推進	推進	
	2							

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ハザードマップの作成	0	0	2	1	見直し	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①ため池の選定 ②出前講座等での啓発 ③情報収集	①ため池マップ等の作成 ②出前講座等での啓発 ③高潮HM等の情報収集	①ハザードマップ作成 ②出前講座等での啓発 ③過去のハザードマップの更新	実施	実施

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	02	総務費
項	01	総務管理費
目	01	一般管理費
事業1	012	防災事業費
事業2	01	防災事業費

補助制度（名称、補助率など）

「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業費補助金
※補助対象経費の1/2以内で限度額200万円
農村地域防災減災事業補助金
※補助率10/10

事業期間

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,800	29,384	31,184	15,065	1,000

事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	既存のハザードマップ（土砂災害・洪水ハザードマップ、津波避難マップ、ため池ハザードマップ）について、市民課窓口や危機管理課等で配布をするとともに、出前講座においても参加者に配布し、講座のテーマに応じてハザードマップの説明を行った。 徳島県から想定最大規模の浸水想定区域図が示された新池川について、ハザードマップの更新を行った。 また、令和元年度からの繰越事業として、防災重点ため池の場所や管理者を示したため池マップ及びため池ごとの浸水想定区域図の作成を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップの周知	推進	推進	推進	推進	推進	
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ハザードマップの作成	0	2	1	見直し	見直し	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		59,400	28,000,000	3,178,950	0	31,178,950
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	28,000,000	561,000	0	28,561,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	59,400	0	2,617,950	0	2,617,950

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ハザードマップの作成	成果指標に対する所見	想定最大規模の浸水想定に基づく新池川のハザードマップの作成は年度内に完了した。 ため池マップ等の作成についても、年度内に完成し、公表できた。
	目標	2　件		
	実績	2　件		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後は令和2年1月に県が公表した高潮浸水想定に基づく高潮ハザードマップの作成及び平成30年3月に作成した土砂災害・洪水ハザードマップの更新を行う。更新に際しては、記載情報の更新のみを行うか、ハザードマップとしての見せ方を工夫した抜本的なリニューアルとするかの検討を要する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	県が公表した高潮浸水想定に基づく、ハザードマップの作成を行う。 土砂災害・洪水ハザードマップの更新を行う。
	令和4年度	新たな被害想定等の情報収集及び既存ハザードマップの記載情報の見直しを検討する。

各実施計画兼評価シート

市　民　環　境　部

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.22

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消費者相談窓口充実事業	担当部署	市民協働推進課

総合計画体系

基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると
（小項目）		消費生活
施策	8	消費者政策の推進
基本事業	1	消費生活センターの充実

根拠法令計画など		消費者安全法
事業期間	開始	昭和　50　年度
	終期	未定

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の消費生活の安定と向上を図るため、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行う。
実施方針	①消費生活に関する苦情・相談等の解決を図る。 ②消費者トラブル防止に向けた啓発を行う。 ③「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る。 ④エシカル消費の一つである食品ロス削減を中心に消費に関する施策についても充実を図る。
事業内容（R2）	①消費生活相談対応 市消費生活センターにおいて、相談員が常時2名体制で市民から消費生活に関する苦情・相談に応じて、助言や情報提供等を行う。スムーズな解決に向けて国民生活センター等での消費者研修に参加する。 ②啓発活動 広報等への啓発記事の掲載や市公式ウェブサイトでの周知・啓発、若者への啓発のほか、相談員による出前講座や講演などを実施する。 ③見守りネットワーク 消費者被害防止見守りネットワークの全体会議を開催し、消費者トラブルの状況や対処方法等を周知することにより、地域の見守り体制の強化を図る。 ④食品ロス削減 エシカル消費の一つである食品ロス削減を推進するため、フードドライブや啓発グッズの作成などを実施する。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	研修会等への参加回数	17	22	20	20	20	回
	2	出前講座啓発活動等実施回数	4	10	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		消費生活センター相談件数	354	300	300	300	300	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③啓発グッズの作成	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③集会等での啓発活動の実施 ④啓発グッズの作成	①消費生活相談員による相談対応 ②国民生活センター等での消費者研修の受講 ③出前講座や集会等での啓発活動 ④啓発グッズの作成 ⑤食品ロス削減に関する施策の推進	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	徳島県消費者行政強化事業補助金
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	01	社会福祉総務費	
事業1	006	消費生活関係費	事業期間
事業2	01	消費生活関係費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	7,581	0	7,581	7,917	7,917

事務事業名	消費者相談窓口充実事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行った。また、消費者行政に関する研修等に積極的に参加し、相談知識を深めた。②消費者被害防止見守りネットワークにおいて特殊詐欺の現状を報告すると共に、センターを活用していただけるよう依頼した。さらに、徳島県消費者政策課が構成員として加わり、体制の強化を図ることができた。③広報なるとや市公式ウェブサイト等に啓発記事を掲載したほか、啓発グッズの作成・配付、相談員による出前講座、職員による講話等を実施し、消費者トラブル防止に向けた啓発を行った。④より多くの市民に消費者問題への関心を深めてもらえるよう、食品ロス削減に関する講演会を他のイベントと同時開催するとともに、「フードドライブ」を常時行えるよう、庁舎内に「フードポスト」を設置した。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	研修会等への参加回数	27	19	20	20	20	回
	2	出前講座啓発活動等実施回数	11	6	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		消費生活センター相談件数	292	288	300	300	300	件
		目標達成率(実績/目標)		96.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算見込額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		5,225,416	0	6,092,277	0	6,092,277
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,583,000	0	1,240,000	0	1,240,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,642,416	0	4,852,277	0	4,852,277

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	消費生活センター相談件数		架空請求など明らかに詐欺と判別できる相談が減少し、通信販売・訪問販売等の契約トラブルに関する相談が主になってきている。相談件数は目標に少し届かなかったが、地道な周知等の結果、架空請求などに対し、市民が相談することなく自身で詐欺と判断できるようになってきたのではないかと思われる。変わりに、相談内容は複雑化している状況である。
	目標	300	件	
	実績	288	件	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消費者安全法の改正により、市消費生活センターに「消費生活相談員（有資格者）」を置くことが法定化されたことから、相談員の継続的な確保(報酬の引き上げや代替要員等）が課題となる。相談に対応するだけでなく、市民がトラブルに遭わない賢い消費者になるよう、広報なるとや市公式ウェブサイト等を活用した情報発信を強化するとともに、地域での出前講座やチラシ配付、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」の活用などで周知・啓発強化に努め、消費者教育の充実を継続して図る必要がある。特に、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により地域での啓発等の回数が激減したことから、少ない回数ながらも効果的に啓発等を図る必要がある。また、啓発等に関しては、現状は県の補助金を活用してグッズ作成等の事業を実施しているため、補助期間が終了した場合における予算の確保が必要である。なお、近年消費者トラブル防止以外にもエシカル消費や食品ロス削減といった新たな課題への対応が叫ばれているが、同センターは消費者トラブルへの相談・啓発等を主としているため、これらの課題は主に行政職員の役割となるが、「消費生活」という分類では相談員にとっても関連性は高いため、当該課題に対しても連携を図っていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	市消費生活センターにおいて、原則、常時2名体制で相談に応じる体制を維持し、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供を行う。また、地域の集会等に出向いての出前講座や講話の実施、啓発グッズの配付、消費者トラブル防止に向けた啓発を行うと共に、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る。 食品ロス削減に関し、市庁舎内設置した「フードポスト」を活用するとともに、食品ロス削減を含めた社会貢献につながるエシカル消費について講演会等を開催するなど、積極的な周知・啓発を図る。
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.23

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業	担当部署	市民協働推進課

総合計画体系

基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると
(小項目)		市民参画・市民協働
施策	1	市民参画・市民協働の推進
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進

根拠法令計画など：
鳴門市自治基本条例
市民との協働のまちづくり行政行動指針
鳴門市ボランティアセンター活動補助金
鳴門市ボランティア連絡協議会活動補助金
WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金

事業期間：開始　平成　23　年度／終期　未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☑ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的：「協働によるまちづくり」を推進するため、自治基本条例の周知を図るとともに、地域課題の解決に向けて市民等と行政が適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組んでいくための環境づくりを行う。

実施方針：
①市民活動団体等が主体的に取り組む公益的活動・まちづくり活動の支援
②自治基本条例や協働のまちづくりの周知啓発
③地域活動への参加促進・人材発掘
④ボランティア活動支援

事業内容（R2）：
①「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」の交付
②公用車、音響機器、テント等の無償貸し出し
③広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」による情報発信
④市民活動交流研修会の開催
⑤市民協働推進本部会議の開催と職場内研修の実施
⑥飛び込み型出前市長室の開催
⑦NPO法人の設立・運営や市民活動の相談支援
⑧市公式ウェブサイト「地域デビュー」の更新
⑨ボランティア活動にかかる補助金の交付

当初からの変更点：新型コロナウイルス感染予防を徹底しつつ、地域活動を推進していくために、交付金を活用し、各地区自治振興会へ消毒液等の消耗品を購入する。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標（実施した事業の活動量を示す指標）	1	市民との協働事業数	165	150	150	150	150	事業
	2	まちづくり・飛び込み型出前市長室開催回数	1	1	1	1	1	回

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	市民との協働事業数	165	150	150	150	150	事業

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④飛び込み型出前市長室	①WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金事業 ②市民活動相談支援 ③市民活動交流研修会 ④飛び込み型出前市長室	①市民活動団体等の活動支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般財源
款	02	総務費
項	01	総務管理費
目	13	生活振興費
事業1	01	自治振興関係費
事業2	01	自治振興関係費

補助制度（名称、補助率など）：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

事業期間：単年度繰り返し

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,412	695	4,107	3,919	3,264

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」について、SDGsの普及促進につながる事業及びフェーズフリーに関連する事業について募集し、地域・社会の課題解決に向けた支援を行った。 ②地域活動を支援するため、地域の団体に備品の貸し出しを行うとともに、市公式ウェブサイト等で周知を図った。 ③広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。 ④市民活動交流研修会を開催し、市民活動団体による活動報告をしていただいた。 ⑤市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、職場内研修の実施内容等について検討した。 ⑥地域デビューの促進を図るため、市公式ウェブサイトにおいて各種団体等の情報を掲載するとともに、地域デビュー手引きの周知に努めた。また、「町内会加入促進チラシ」を配付し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努めた。 ⑦予定していた飛び込み型出前市長室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 ⑧市ボランティアセンター及びボランティア連絡協議会に対し補助金を交付するなど、市内のボランティア活動の普及等の推進に努めた。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民との協働事業数	160	161	150	150	150	事業
	2	まちづくり・飛び込み型出前市長室開催回数	0	0	1	1	1	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市民との協働事業数	160	161	150	150	150	事業
		目標達成率(実績/目標)		107.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		2,600,995	0	2,390,531	0	2,390,531
	財源内訳	国庫支出金	0	0	279,374	0	279,374
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,250,000	0	1,236,000	0	1,236,000
		一般財源	350,995	0	875,157	0	875,157

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	市民との協働事業数			今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。
	目標	150	事業		
	実績	161	事業		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自治基本条例の理念の浸透を図るため、引き続き、広く周知・啓発を行っていくとともに、職員についても研修の充実を図るなどにより協働に対する意識改革を進める。 地域活動への参加促進を図るための、効果的な周知方法を検討する必要がある。

今後の方向性					
	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	・自治基本条例が施行10周年を迎えることから、広報紙での特集記事掲載や講演会等を開催し、意識向上を図る。 ・引き続き、「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」を活用するなど、地域の課題解決に向けた支援を行う。また、広報紙での「We Love なるとデー」や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の発信・集約を行う。 ・市民協働推進本部会議等を開催し、協働のまちづくりのさらなる拡充について検討を行う。 ・「町内会加入促進チラシ」を配付し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努める。
	令和4年度	令和3年度と同様（自治基本条例施行10周年関係を除く）。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.24

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	自治振興会連携促進事業	担当部署	市民協働推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	地域づくり事業活性化補助金交付要綱
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間 開始	平成 22 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると			
(小項目)		コミュニティ			
施策	2	地域のまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	1	コミュニティ活動の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	各地区の実情や特色などに合わせた地域住民による主体的な地域づくりの充実を図るため、協働のパートナーと位置づけた地区自治振興会との連携を促進し、活動を支援する。
実施方針	①地区自治振興会との信頼関係強化に向け、地域づくり活動を支援する。 ②地区自治振興会の行事や活動を広く市民に周知する。 ③町内会・自治会等への加入促進を図る。
事業内容（R2）	①地域づくり活動の支援 ・地区自治振興会がまちづくりの各分野で主体的に事業を実施できるよう「地域づくり事業活性化補助金」を交付する。 ・定期的に地区自治振興会会長会を開催し、各地区の活動情報や運営方法等の情報交換や協力関係を深めるなど活動の充実を図る。 ②活動等の周知 ・市公式ウェブサイト等を活用し、各地区の行事や活動状況等を発信する。 ③加入促進 ・町内会加入促進啓発ちらしを転入者等に配付し、加入の取り次ぎを行う。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地区自治振興会会長会の開催	9	9	9	9	9	回
	2	鳴門のまつり参加人数	15,000	10,000	8,000	8,000	8,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		地区自治振興会と協働して実施している事業	23	20	20	20	20	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会会長会の開催 ②鳴門のまつり開催	①地区自治振興会への補助金交付 ②地区自治振興会会長会の開催	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	13	生活振興費		
事業1	001	補助金	事業期間	単年度繰り返し
事業2	01	地域づくり事業活性化補助金		

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	11,004	0	11,004	11,004	11,004

事務事業名	自治振興会連携促進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和2年度実施内容	①市民の主体性を尊重しながら地域の課題解決を図るため、各地区自治振興会に「地域づくり事業活性化補助金」を交付し、各地区におけるまちづくり活動を支援した。また、随時、地区自治振興会会長会を開催するなど地域が抱える課題等の把握や市の施策への情報共有に努めた。 ②市公式ウェブサイト等を活用し、各地区自治振興会が行う活動・行事等を広く市民に周知した。 ③町内会(自治会)への加入促進チラシを転入者等に配付し、取り次ぎを行い、加入促進を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地区自治振興会会長会の開催	9	10	9	9	9	回
	2	鳴門のまつり参加人数	10,000	0 (開催見送り)	8,000	8,000	8,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地区自治振興会と協働して実施している事業	23	23	25	25	26	件
		目標達成率(実績/目標)		115.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		10,946,735	0	11,004,000	0	11,004,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,946,735	0	11,004,000	0	11,004,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	地区自治振興会と協働して実施している事業		新型コロナウイルスにより中止となった事業もあったが、今後も地区自治振興会との情報共有を図りながら、協働による取り組みを推進していく。
	目標	20	件	
	実績	23	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の主体性を尊重しながら協働によるまちづくりを推進するため、引き続き、「地域づくり事業活性化補助金」を各地区自治振興会に交付し、新型コロナウイルスに留意しながら各種の活動を支援していく。また、自治振興連合会とも連携しながら、町内会への加入促進や地域コミュニティ活動の担い手育成などの課題に対して検討をする必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①引き続き、「地域づくり事業活性化補助金」を交付し、各地区におけるまちづくり活動を支援する。 ②各地区自治振興会が行う活動・行事等を広く市民に周知していく。 ③町内会(自治会)への加入促進チラシを転入者等に配付し、取り次ぎを行い、加入促進を図る。
	令和4年度	令和3年度と同様。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.25

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コミュニティ助成事業	担当部署	市民協働推進課

総合計画体系			根拠法令計画など	コミュニティ助成事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間 開始	平成　年度
(小項目)		コミュニティ		
施策	2	地域のまちづくりの推進	事業期間 終期	未定
基本事業	1	コミュニティ活動の推進		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「一般コミュニティ助成事業」を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を図る。	事業内容（R2）	①「一般コミュニティ助成事業」の助成決定を受けて、地域コミュニティの活性化に向けて長江地区コミュニティ交流会が計画しているカローリング事業に必要な備品等の購入に対して補助金を交付する。
実施方針	(一財)自治総合センターが助成している「一般コミュニティ助成事業」を活用し、地域に密着して活動している団体が実施するコミュニティ活動に直接必要な設備等の整備に関する事業に補助金を交付する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成を受けた団体数（累計）	1（36）	1（37）	1（38）	1（39）	1（40）	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		当該助成事業補助金交付数 当該助成事業補助金交付数(累計)	1（36）	1（37）	1（38）	1（39）	1（40）	団体

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	一般コミュニティ助成事業の活用（1団体）	一般コミュニティ助成事業の活用（1団体）	コミュニティ助成事業補助金の交付	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	一般コミュニティ助成事業（限度額250万　補助率：10/10）
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	13	生活振興費	
事業1	003	補助金	事業期間　平成6年度～
事業2	08	コミュニティ活動補助金	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,400	0	2,400	2,500	2,500

事務事業名	コミュニティ助成事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	長江地区コミュニティ交流会に対し、地域におけるコミュニティ活動の活性化を図るため、必要な備品（カローリング用品）に対して助成を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成を受けた団体数 （累計）	1 （37）	1 （38）	1 （39）	1 （40）	1 （41）	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		当該助成事業補助金交付数 当該助成事業補助金交付数(累計)	1 （37）	1 （38）	39	40	41	団体
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		1,500,000	0	2,400,000	0	2,400,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	1,500,000	0	2,400,000	0	2,400,000
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	当該助成事業補助金交付数		成果指標に対する所見	毎年1団体ずつではあるが、コミュニティ活動の活性化に寄与しているものと考えている。
	目標	1（38）	団体		
	実績	1（38）	団体		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	当該補助金の財源である宝くじの普及広報事業の実施は流動的な部分もあるが、（一財）自治総合センターが同事業を継続する限りは、地域の要望に基づき、応募を続けていきたい。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	鳴南地域に対し、地域におけるコミュニティの活性化を図るため、必要な備品（神輿やお練道具）に対して助成を行う。
	令和4年度	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、応募・申請等の手続きを順次進める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.26

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」 なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	担当部署	スポーツ課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうきと活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　18　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	徳島ヴォルティスやホームタウン協議会加盟市町と連携し、イベント出展やPR事業を行い、鳴門市民のみならず他県から観光客が訪れることで新たな地域間交流の創出を目指す。	事業内容（R2）	①ホームゲームイベントで市の特産品PRや東京2020オリンピックの機運醸成を図るイベントを実施する。 ②アウェイゲーム会場で市の特産品PRや観光パンフレット配布等を行う。 ③転入者のホームゲーム無料招待やプロスポーツ応援ナンバープレートの交付、JR鳴門駅をはじめとした市内の装飾など応援機運を醸成する企画を実施する。 ④高齢者向けの健康教室や幼稚園児・小学生向けの運動教室を実施する。
実施方針	①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②アウェイゲームを活用した観光PR ③応援機運を醸成する企画の実施	当初からの変更点	◎9月補正 JR鳴門駅からポカリスエットスタジアムまでの「ヴォルティスロード」を整備することにより応援機運の醸成を図るとともに、まち歩きを促進することで渋滞対策、地域経済の活性化を図る。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民の機運醸成を図るイベント	9	8	8	8	8	回
	2	アウェイゲームでの観光PR	5	4	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		ホームゲーム平均観客数	4,997	5,736	6,000	6,000	6,400	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	①ホームゲーム開催時にイベントを実施 ②アウェイ会場で観光PRを実施 ③応援機運醸成企画を実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	17	スポーツ推進事業費		
事業1	007	徳島ヴォルティスホームタウン推進事業費	事業期間	平成18年度～
事業2	01	徳島ヴォルティスホームタウン推進事業費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,678	7,552	10,230	6,648	6,648

事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」 なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、ホームゲームおよびアウェイゲームでのPR事業や高齢者向けの健康教室が中止となった。公式戦も長期間にわたり延期となったが、再開の際にはプロスポーツ応援マスクシールを作成して盛り上げを図り、J1昇格の期待が高まりだしたシーズン終盤にはJ1昇格カウントダウン事業を実施し、7年ぶりのJ1昇格およびJ2初優勝を祝福した。 シーズン終了後にはJ1ホーム開幕戦に向けて応援機運を醸成する各種施策を展開。まず、ヴォルティスロード整備事業として、歩道のカラー舗装を行うとともに路面シールやデザインマンホール、街路樹看板を設置した。さらに、本市を訪れるサポーターの受け入れ環境整備・魅力発信事業として、ヴォルティスロードマップ・プロスポーツ観戦パスの作成やアウェイサポーター歓迎看板の設置、川東地区自治振興会の協力による青い花植えを実施。加えて、市職員が一丸となって応援するために手作りの開幕戦応援バッジを作成した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	イベント等応援機運醸成	8	13	8	8	8	回
	2	サポーター受入環境整備・魅力発信	4	5	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ホームゲーム平均観客数	5,736	3,101	6,000	6,400	6,800	人
		目標達成率(実績/目標)		51.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,768,316	0	9,390,798	0	9,390,798
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	1,768,000	0	9,390,798	0	9,390,798
		一般財源	316	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	ホームゲーム平均観客数	
	目標	6,000	人
	実績	3,101	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、観客の入場数を制限しているため目標を達成することができなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	J1リーグ戦は全国メディアでの露出や多くのサポーターの来場が予想されるなど、本市の魅力を発信する絶好の機会であり、地域経済の活性化にもつなげていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	アウェイサポーターの受け入れ環境整備・魅力発信に注力するとともに、5ヵ年計画で進めているヴォルティスロードの整備、鳴門市民デー・徳島県民デーなどホームイベントにおける賑わい創出、市民の応援機運を盛り上げる企画などを実施する。
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.27

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	スポーツ大会・合宿誘致推進事業	担当部署	スポーツ課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	令和　元　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	スポーツを「産業」として捉え、スポーツ大会・合宿を誘致開催することにより、スポーツの振興と交流人口の拡大による地域・経済の活性化を図る。	事業内容（R2）	①関西圏の旅行代理店等を訪問し、大学の体育会部活動・サークルをメインターゲットにスポーツ大会・合宿を誘致する。 ②徳島インディゴソックスと連携し、中国・韓国等野球の盛んな東アジア圏からのインバウンド合宿を誘致する。 ③Tリーグの本市での開催を目指し、県市卓球協会と連携しながら、Tリーグ事務局へのアプローチをすすめる。
実施方針	①大学等のスポーツ大会・合宿を誘致し、地域・経済の活性化を図る。 ②インバウンド合宿の誘致に取り組み、市内の子どもたちの国際交流を推進する。 ③「卓球」による健康づくりをすすめるため、卓球のプロリーグ「Tリーグ」の誘致・開催を目指す。	当初からの変更点	◎9月補正 大会・合宿誘致の取り組みをさらに推進していくため、官民連携組織となるスポーツコミッションの設立に向けた調査・研究を実施する。 ◎3月補正 インバウンド合宿の開催が困難なため予算を減額する。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	旅行代理店等訪問回数	2	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		スポーツ大会・合宿誘致実績	1	5	7	12	14	回

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	―	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	17	スポーツ推進事業費	
事業1	002	スポーツ振興費	事業期間：令和元年度～
事業2	02	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,327	2,000	3,327	4,327	4,327

事務事業名	スポーツ大会・合宿誘致推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりスポーツ活動を制限された子供たちの思い出づくりと、宿泊事業者をはじめ停滞する地域経済の活性化を目的として「鳴門de思い出づくり合宿」を実施。合宿の思い出写真・スポーツパスのプレゼントや市内スポーツ施設の使用料減免、コンベンション開催支援助成金を活用した宿泊費助成等により本市での合宿を支援した。 また、withコロナ時代の新たな合宿のあり方を模索する中で安心安全な受け入れ体制を構築するため、ホテルや練習場所等での感染予防講習を行った上で富山県の社会人硬式野球チームの合宿を受け入れる「モニタースポーツ合宿」を実施し、スポーツ合宿における新型コロナウイルス対策ガイドラインを策定した。 そのほか、スポーツを通じた地域活性化をさらに推進していくため、官民連携組織である「NARUTOスポーツコミッション」を設立した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	旅行代理店等訪問回数	4	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		スポーツ大会・合宿誘致実績	8	6	12	14	16	回
		目標達成率(実績/目標)		85.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,665,620	0	3,244,880	0	3,244,880
	財源内訳	国庫支出金	0	0	3,000,000	0	3,000,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	700,000	0	0	0	0
		一般財源	1,965,620	0	244,880	0	244,880

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	スポーツ大会・合宿誘致実績		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大により予定されていた大会・合宿のキャンセルが発生し、思うように事業を進められない中で、「鳴門de思い出づくり合宿」や「withコロナ時代におけるモニタースポーツ合宿」を開催することで一定の成果は得られた。
	目標	7	回		
	実績	6	回		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	官民連携してスポーツを通じた地域活性化に取り組むため、新たに設立したスポーツコミッションについて、スポーツ団体や観光事業者の方々が持つ知識や経験、ノウハウが最大限発揮できるようしっかりとした運営体制を構築する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	スポーツコミッション設立初年度であることから、インナーマーケティングを実施するなど、地域が連携して推進する体制づくりに取り組む。また、交流人口増加をはじめとしたアウター施策として、①スポーツ大会・合宿の誘致・開催②プロスポーツなどスポーツイベントの誘致・開催③スポーツツーリズムの推進④スポーツ関連産業の創出の4つを事業の柱に据え、各種施策の推進を図ることとする。
	令和4年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.28

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市スポーツ協会運営支援事業	担当部署	スポーツ課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 5 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると		終期：未定
(小項目)		スポーツ・レクリエーション		
施策	3	生涯スポーツの振興		
基本事業	2	スポーツ活動の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市スポーツ協会は、市内のスポーツ競技団体を統括する唯一の団体であり、継続的に運営できるように支援を行うことで、各競技団体の活動を推進し、スポーツの振興を図る。	事業内容（R2）	①国民体育大会等に出場する者に対して激励金を支出する。 ②スポーツ活動に貢献した者やスポーツ大会で優秀な成績を残した者を表彰する。 ③各競技団体において、市民体育祭など大会を開催するとともに、スポーツサイトで各団体の活動・大会スケジュールを紹介する。 ④各競技団体へ活動補助金を支出することで、加盟団体の普及活動や競技力向上の取り組みを促進する。
実施方針	①国民体育大会等の出場者に対して、激励金を支出するとともに、優秀な成績を残した者等を表彰することでスポーツ振興を図る。 ②各競技団体の活動等をスポーツサイトで紹介するとともに、各団体の活動を補助することで競技スポーツ・生涯スポーツを推進する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	スポーツ協会加盟競技者数	6,216	6,349	6,400	6,400	6,400	人
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	全国大会出場回数	36	31	20	20	20	回

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①国民体育大会等の出場者への激励金支出 ②各競技団体への活動補助金の支出 ③鳴門市スポーツ協会表彰式の実施	①国民体育大会等の出場者への激励金支出 ②各競技団体への活動補助金の支出 ③鳴門市スポーツ協会表彰式の実施	①国民体育大会等の出場者への激励金支出 ②各競技団体への活動補助金の支出 ③鳴門市スポーツ協会表彰式の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	17	スポーツ推進事業費	
事業1	004	スポーツ振興補助金	事業期間：平成5年度～
事業2	01	鳴門市体育協会運営支援事業補助金	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,245	0	1,245	1,245	1,245

事務事業名	鳴門市スポーツ協会運営支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	一部の競技団体において、新型コロナウイルス感染症防止策を徹底のもと、市民体育祭をはじめとする大会等を開催した。国民体育大会等へ出場する者に対して激励金の支出を行ったが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツ大会の中止・順延が相次ぎ、全国大会出場回数も減少した。1月末に表彰を行い、スポーツに貢献した者やスポーツ大会で優秀な成績を残した者の功績を称え、スポーツに対する意欲を喚起し、スポーツ振興を図った。各加盟団体への活動助成により、各団体の普及活動や競技力向上の取り組みの促進、競技人口の増加を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	スポーツ協会加盟競技者数	6,349	6,161	6,400	6,400	6,400	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		全国大会出場回数	35	8	20	20	20	回
		目標達成率(実績/目標)		40.0	―	―	―	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
		計	1,245,000	0	1,245,000	0	1,245,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,245,000	0	1,245,000	0	1,245,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	全国大会出場回数		全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、各競技、さまざまな種目において全国大会が延期や中止となったことから、目標を達成することができなかった。
	目標	20	回	
	実績	8	回	
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度より加盟団体への助成制度を見直し、大会の開催や学校への指導者派遣、生涯スポーツの推進等積極的な活動を行っている団体への補助を更に手厚くしている。今後も支援目的を明確にすることで、加盟団体の普及活動や競技力向上の取り組みの促進につながるよう、現状と課題を把握し、対応していく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	加盟団体の助成制度について、各競技団体の意見も聞きながら、より良い支援ができるよう検討していく。 各競技団体の活動等をスポーツサイト（市公式ウェブサイト）で紹介し、宣伝啓発の支援をすることで、市民のスポーツに対する関心を高める。
	令和4年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.29

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	担当部署	スポーツ課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 21 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると		
(小項目)		スポーツ・レクリエーション		
施策	3	生涯スポーツの振興		終期：未定
基本事業	2	スポーツ活動の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	生涯スポーツ社会の実現を目指して、誰もが気軽に参加できる住民主体の総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。	事業内容（R2）	①総合型地域スポーツクラブへ活動支援として補助金の支出や施設使用料の減免を行う。 ②将来的に自主財源でクラブを運営できる自立した組織となるよう取り組みをすすめる。 ③チャレンジデーを共同で実施するなど連携を図りながら、総合型地域スポーツクラブの知名度向上、普及促進を図る。
実施方針	総合型地域スポーツクラブに対して、活動支援として補助金の支出や活動施設の使用料の減免等を行うとともに、将来的には自主財源を主とする、自立した総合型地域スポーツクラブを目指す。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	プログラム開催回数	2,789	2,700	2,700	2,700	2,700	回
	2							

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	参加人数（のべ）	31,161	30,000	30,000	30,000	30,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①補助金の支出 ②活動施設の使用料の減免等	①補助金の支出 ②活動施設の使用料の減免等	①補助金の支出 ②活動施設の使用料の減免等	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	17	スポーツ推進事業費	
事業1	004	スポーツ振興補助金	事業期間：平成21年度～
事業2	06	総合型地域スポーツクラブ事業補助金	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	200	0	200	200	200

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	NARUTO総合型スポーツクラブ及び一般社団法人NICEに対して、活動支援として補助金の支出や活動施設の使用料の減免等を行うとともに、将来的には自主財源を主とする、自立した総合型地域スポーツクラブとなるよう支援を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	プログラム開催回数	2,498	1,971	2,700	2,700	2,700	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		参加人数（のべ）	30,471	26,821	30,000	30,000	30,000	人
		目標達成率(実績/目標)		89.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		200,000	0	200,000	0	200,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	200,000	0	200,000	0	200,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	参加人数（のべ）		成果指標に対する所見	高齢者向けの健康教室や子ども向けの運動教室など様々なプログラムを実施し、参加のべ人数も目標を概ね達成した。
	目標	30,000	人		
	実績	26,821	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	総合型地域スポーツクラブが地域に根ざしたクラブとなり、自主財源を主として継続的に自立した活動ができるための方策及び支援のあり方を、両団体を交えて協議しながら考えていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	引き続き、両団体が自主財源を主とし、継続的に自立した活動ができる総合型地域スポーツクラブとなるよう方策及び支援のあり方を検討していく。
	令和4年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.30

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業	担当部署	スポーツ課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 22 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると		
(小項目)		スポーツ・レクリエーション		
施策	3	生涯スポーツの振興		終期：未定
基本事業	2	スポーツ活動の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「チャレンジデー」への参加を通じて日常的なスポーツの習慣化や市民の健康増進、地域活性化を図る。
実施方針	5月最終水曜日午前0時から午後9時までの間に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の数を、人口規模がほぼ同じ自治体間で競うスポーツイベント「チャレンジデー」に参加する。
事業内容（R2）	①チャレンジデーの開催にあたり、市内の学校や企業、各団体への周知活動を行う。 ②実行委員会や地域団体が主催するスポーツイベントを開催することで参加率の向上を図る。 ③東京2020オリンピックの応援機運を盛り上げる企画を実施し、より多くの市民参加を促す。
当初からの変更点	◎3月補正 チャレンジデーが中止となったため、中止に伴う費用を除く予算を減額する。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加者数	37,235	38,479	35,000	35,000	35,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		参加率	63.6	66.6	60.0	60.0	60.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市スポーツアドバイザー里崎智也さんによるイベント会場訪問 ②第九とコウノトリの展示会および抽選会	①コバ☆トレの実施	①チャレンジデーへの参加	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	02	総務費		
項	01	総務管理費		
目	17	スポーツ推進事業費		
事業1	004	スポーツ振興補助金	事業期間	平成22年度～
事業2	07	チャレンジデー開催事業補助金		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	300	△ 283	17	300	300

事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	チャレンジデー自体は新型コロナウィルス感染拡大の影響のため中止となったが、代替企画として「おうちチャレンジデー」を実施し、チラシの配布や市広報への掲載などによって周知することで自宅での運動のきっかけを作ることができた。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加者数	38,479	0	35,000	35,000	35,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		参加率	66.6	0	60	60	60	%
		目標達成率(実績/目標)		0.0	－	－	－	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
		計	300,000	0	16,330	0	16,330
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	300,000	0	16,330	0	16,330

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	イベント参加者数	
	目標	60	%
	実績	0	%
	評価	D:目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	チャレンジデー自体はコロナウイルス感染症の影響により中止となったが、「おうちチャレンジデー」の周知を行うことで市民に運動のきっかけを提供することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チャレンジデーの認知度は高まってきていると実感しているが、イベント開催当日のみならず、運動を日常的に習慣化させるための施策を盛り込んでいく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	従来の取り組みに加え、ほかのイベントを並行して実施することでより関心を集め、参加率の向上を目指す。 また、各プログラムの実施にあたっては、参加者の検温、アルコール除菌やソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。
	令和4年度	令和3年度の実施内容からフィードバックし、実施内容を検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.31

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	マルチスポーツ･障がい者スポーツ推進事業	担当部署	スポーツ課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市スポーツ推進計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間	開始：平成　元　年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると			
(小項目)		スポーツ･レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興			終期：未定
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	子どもから高齢者、障がいの有無を問わず、スポーツ･運動する機会を創出することで、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す。	事業内容（R2）	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ･市内幼稚園･認定子ども園で、陸上･体操･リトミック等の運動教室を実施する。 ･幼児の運動能力調査を実施し、検証を行う。 ②障がい者スポーツの推進 ･車いすスポーツを体験する障がい者ふれあい交流授業を市内の小中学校で実施する。
実施方針	①幼児期にさまざまな運動･スポーツを体験する機会を創出することにより、しっかりと体を動かす土台を作り、児童期以降での運動能力向上につなげる。 ②障がい者スポーツの普及･促進により、障がいのある人とない人が一緒に活動できる地域社会を目指す。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業実施回数	—	85	85	85	85	回
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数	—	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		訪問指導･教室実施回数	—	88	88	88	88	回

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	—	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	17	スポーツ推進事業費	
事業1	002	スポーツ振興費	事業期間：令和元年度～
事業2	01	スポーツ振興費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額･繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,800	0	1,800	1,800	1,800

事務事業名	マルチスポーツ･障がい者スポーツ推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業では、市内の幼稚園・認定こども園10園に指導者を派遣して陸上・体操・ダンス等の運動指導を82回実施し、運動能力向上を図るとともにスポーツへの関心を高めた。さまざまなスポーツを体験することにより自分自身がどのような運動に適正があるのかを知ることは、子どもたちのスポーツ活動の可能性を広げるものでもある。また、事業実施後には運動能力調査による効果測定を行った。 障がい者スポーツ推進事業では、障がい者スポーツへの理解を深めるため、市内3小学校において車いすバスケットボールや車いすソフトボールの体験会を実施し、競技スポーツを行っている障がい者の方とふれあう機会を創出した。そのほか、勤労者体育センターにおいて定期的に車いすバスケットボール等を実施し、障がい者と健常者が交流し活動する場を提供した。

			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業実施回数	85	82	85	85	85	回
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		訪問指導・教室実施回数	88	85	88	88	88	回
		目標達成率(実績/目標)		96.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	訪問指導・教室実施回数	
	目標	88	回
	実績	85	回
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	幼児を対象に実施するマルチスポーツ推進事業では、コロナウイルスの感染拡大の影響により幼稚園等への訪問指導を予定どおり実施できず、目標達成にわずかに及ばなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業を実施していく上で、訪問する各幼稚園等と総合型地域スポーツクラブとの間で訪問日数・回数など綿密な連絡・調整が必要となる。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	子どもから高齢者・障がいの有無を問わず、さまざまなカテゴリーでスポーツ振興を図る観点から、総合型地域スポーツクラブと連携し、運動の機会を十分に提供できていない就学前の子どもや障がいのある方を対象とした事業を実施する。
	令和4年度	今年度の実施状況により次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.32

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画策定事業	担当部署	文化交流推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市文化のまちづくり条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成 29 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると			
(小項目)		文化振興			
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進		終期	
基本事業	1	「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」の策定			

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	平成19年4月に施行した「鳴門市文化のまちづくり条例」に基づき、本市の文化芸術の振興を計画的に推進するため、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。	事業内容（R2）	①「鳴門市文化のまちづくり審議会」の開催（3回） ②公募による市民会議を開催（3回） ③パブリックコメントの実施 ④第2期計画の策定
実施方針	第2期基本計画策定にあたり、市民を対象としたアンケート調査及び市民会議を開催し、市民の意見を集約・分析したうえで、今後の方針及び計画に広く取り入れる。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	審議会開催	1	2	3	－	－	回
	2	パブリックコメント実施	－	－	実施	－	－	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		第2期基本計画策定	－	－	策定	推進	推進	

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①審議会の開催 ②第2期計画の実績報告	①審議会の開催 ②市民アンケートの実施 ③市民会議委員の募集	①審議会の開催 ②市民会議の開催 ③パブリックコメントの実施 ④第2期計画の策定	計画の推進	計画の推進

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	14	文化交流費	
事業1	003	文化振興関係費	事業期間　平成29年度～令和2年度
事業2	01	文化振興関係費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,470	0	2,470	-	-

事務事業名	第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画策定事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①審議会の開催 「鳴門市文化のまちづくり審議会」の開催（3回） ②市民会議の開催 「鳴門市文化のまちづくり市民会議」の開催（3回）。市民委員を公募し、延べ21名の参加者が、鳴門再発見バスツアー等を体験し、「活力ある文化的なまち」について意見交換を行った。 ③パブリックコメントの募集 4件の意見が提出された、意見の反映を行った。 ④第2期文化のまちづくり基本計画を策定した。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	審議会開催	2	3	－	－	－	回
	2	パブリックコメント実施	－	実施	－	－	－	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		第2期基本計画策定	－	策定	推進	推進	推進	
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,028,336	0	2,434,663	0	2,434,663
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,028,336	0	2,434,663	0	2,434,663

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	第2期基本計画策定		市民アンケートや市民会議、審議会、パブリックコメントを経て、当初の計画通り、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定した。
	目標	策定		
	実績	策定		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.33

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	文化振興事業	担当部署	文化交流推進課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間 開始	昭和　46　年度
(小項目)		文化振興		
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進	事業期間 終期	未定
基本事業	2	市民が参加・体験する機会づくり		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流し、にぎわいづくりを推進する。	事業内容（R2）	①5月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊する。また、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。 ②文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行う。 ③令和3年度に文化協会創立50周年を迎えるにあたり、記念事業の実施を検討する。
実施方針	①文化事業を推進する。 ②文化芸術活動を支援し、活性化を図る。 ③文化のまちづくり基本計画を基礎とした文化振興活動を行う。	当初からの変更点	

			平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	芸術祭開催延べ日数	27	26	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	15	15	15	15	15	講座
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		文化協会加盟団体数	81	83	83	83	83	団体

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①芸術祭（文化展・市展・芸能祭）の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	①芸術祭（文化展・市展・芸能祭）の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の検討	①芸術祭（文化展・市展・芸能祭）の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の準備	①芸術祭（文化展・市展・芸能祭）の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年事業の実施	①芸術祭（文化展・市展・芸能祭）の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	14	文化交流費	
事業1	003	文化振興関係費	事業期間
事業2	01	文化振興関係費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,138	0	1,138	3,379	未定

事務事業名	文化振興事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①10月に市展を開催し、3月に市民文芸を発刊した。また、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努めた。 ②新型コロナウイルス感染症拡大のため、5月に予定されていた文化展及び11月に予定されていた芸能祭は中止となった。 ③令和3年度に文化協会創立50周年を迎えるにあたり、記念事業の実施を検討した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	芸術祭開催延べ日数	26	15	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	17	16	14	14	14	講座
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		文化協会加盟団体数	83	82	82	82	82	団体
		目標達成率(実績/目標)		98.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,130,768	0	1,127,540	0	1,127,540
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	1,200	0	3,660	0	3,660
		一般財源	1,129,568	0	1,123,880	0	1,123,880

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	文化協会加盟団体数		成果指標に対する所見	ほぼ計画どおり文化協会加盟団体目標数を達成することができた。
	目標	83	団体		
	実績	82	団体		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、芸術祭の開催を中止にせざるを得ない場合がある。 そのような状況下においても、オンラインでのギャラリー開催など、市民の方々の創作活動の発表の場を設け、文化振興に取り組んでいく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見極めながら、芸術祭の開催や市民文芸の発刊を行う。また、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。令和3年度に文化協会が創立50周年を迎えるにあたり、記念事業を実施する。
	令和4年度	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見極めながら、芸術祭の開催や市民文芸の発刊を行う。また、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.34

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国際・国内交流事業	担当部署	文化交流推進課・観光振興課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　49　年度
(小項目)		国際・国内交流			
施策	3	国際・国内交流の推進		終期	未定
基本事業	1	交流のひとづくり			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市と姉妹都市をはじめとする友好都市との交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、それぞれの都市との友好関係の強化を目指す。	事業内容（R2）	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 ・第23回リューネブルク市一般及び青少年親善使節団の受入 ②中国友好都市との交流 ・張家界市訪問団の受入 ③国内親善都市会津若松市との交流 ・会津まつりへの訪問 ④その他国外・国内都市との交流 ・ドイツ各都市からの合唱団の受入
実施方針	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流を図る ②中国友好都市との交流を図る ③国内親善都市会津若松市との交流を図る ④その他国外・国内都市との交流を推進する	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染拡大のため、以下の事業が中止となった。 ・第23回リューネブルク市一般及び青少年親善使節団の受入 ・ドイツ各都市からの合唱団の受入 ・会津まつりへの訪問 ・張家界市訪問団の受入

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数　リュ市／鳴門市	54	38	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数　リュ市／鳴門市	11	12	12	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		使節団新規参加者の割合 （リュ市/鳴門市）	54	58	60	60	60	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①第22回リューネブルク市親善使節団の受入 ②張家界市訪問団の受入 ③会津若松市の相互訪問	①第23回鳴門市親善使節団の派遣 ②張家界市訪問団の受入（未定） ③会津若松市への市民団の派遣	①第23回リューネブルク市一般及び青少年親善使節団の受入 ②張家界市訪問団の受入 ③会津まつりへの訪問 ④ドイツ各都市からの合唱団の受入	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	14	文化交流費	
事業1	001	姉妹都市関係費　及び　002交流推進費	事業期間
事業2	01	姉妹都市関係費　及び　01交流推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,969	△ 3,748	221	4,014	未定

事務事業名	国際・国内交流事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 第23回リューネブルク市親善使節団を受けるための調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、年度内の来鳴は中止となった。代わりに、両市長のオンライン会議を行い、両市の現状及び課題について共有を図った。 ②中国友好都市との交流 張家界市訪問団の受入に向けて調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、年度内の来鳴は中止となった。 ③その他国際・国内交流事業 ドイツ大使館より、在日ドイツ大使や陸軍大佐が来鳴され、交流を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数　リュ市／鳴門市	38	－	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数　リュ市／鳴門市	12	－	15	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		使節団新規参加者の割合 （リュ市/鳴門市）	58	－	60	60	60	%
		目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		9,331,955	0	173,637	0	173,637
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	1,400,000	0	0	0	0
		一般財源	7,931,955	0	173,637	0	173,637

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	未達成

成果指標に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合（リュ市/鳴門市）		成果指標に対する所見	第23回リューネブルク市親善使節団を受け入れるための調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、海外との往来が原則禁止となり、ドイツからの使節団も来鳴中止となった。
	目標	60	%		
	実績	－	%		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・海外との往来が難しいコロナ禍において、市民団の相互訪問が一時停止している状態である。今後は、相互訪問が難しい期間、オンライン会議等の代替イベントを考え、これまで以上に友好交流への促進へ取り組んでいく必要がある。また、コロナ終息後は、使節団の派遣・受入を継続して行い、未来の国際交流を担う人材育成に積極的に取り組んでいく必要がある。 ・張家界市との更なる交流を図るため、人材交流や観光資源等を活用した情報発信など友好交流促進への取り組みが必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルスの状況を注視しながら、リューネブルク市親善使節団の受入れの準備、もしくは、それに代わるオンライン交流などを検討し、市民間の末永い交流の友好を築く機会を創出する。 張家界市訪問団の受入をはじめとする交流事業等を通し、張家界市との交流を推進することで、友好関係の促進を図る。また、友好提携10周年の年となるため、記念イベントなどを検討する。
	令和4年度	新型コロナウイルスの状況を注視しながら、使節団の受入れ・派遣の準備、もしくは、それに代わるオンライン交流などを検討し、市民間の末永い交流の友好を築く機会を創出する。 引き続き、交流事業等を通し、張家界市との交流を推進することで、友好関係の促進を図る。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.35

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	担当部署	文化交流推進課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき　活力と魅力あふれる　まちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　25　年度
(小項目)		シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「第九」アジア初演に関連する観光・文化・歴史分野などの既存の資源を活用することで、「第九」アジア初演ブランドを推進し、地域活性や文化振興に繋げる。	事業内容（R2）	①第39回第九演奏会を開催 ②小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託 （全日本「第九を歌う会」連合会へ委託） ④ベートーヴェン生誕250周年企画展の開催
実施方針	①第九演奏会の開催。 ②なると「第九」の文化や歴史も合わせて学ぶ第九学習の実施。 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業の委託。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、以下の事業が中止となった。 ・第39回第九演奏会 ・「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託 （全日本「第九を歌う会」連合会へ委託）

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	1,104	1,000	1,000	1,000	1,000	人
	2	PRイベント実施回数	51	20	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		ドイツ館周辺への来訪者数	81,417	87,000	87,000	87,000	87,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	「第九」アジア初演100周年記念事業 ①開幕イベント ②記念式典及びレセプション ③松江豊寿所長銅像建立除幕式 ④よみがえる「第九」演奏会 ⑤第37回第九演奏会　など	①第38回第九演奏会 ②小学校で合唱講習実施 ③松江豊寿シンポジウム ④「なると第九」教育旅行誘致 ⑤第九合唱発表会　など	①第39回第九演奏会 ②小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託 ④ベートーヴェン生誕250周年企画展の開催	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 「なると第九」ブランド化推進基金繰入金
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	14	文化交流費	
事業1	003	文化振興関係費	事業期間
事業2	02	「なると第九」ブランド化推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,331	1,234	4,565	2,464	未定

事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③『12月16日に「第九」を歌おう』動画制作

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	446	300	400	400	400	人
	2	PRイベント実施回数	16	12	15	15	15	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ドイツ館周辺への来訪者数	76,718	35,966	40,000	40,000	40,000	人
		目標達成率(実績/目標)		41.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		8,452,053	0	2,224,753	0	2,224,753
	財源内訳	国庫支出金	0	0	1,456,500	0	1,456,500
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	6,000,000	0	660,000	0	660,000
		一般財源	2,452,053	0	108,253	0	108,253

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況	未達成
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数	成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、密の回避や県外移動の自粛が求められる状況であったことから、来訪者数が大幅に下落したものと思われる。
	目標	87,000 人		
	実績	35,966 人		
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市文化会館の休館や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「第九」演奏会は開催ができない状態となっている。 こうした状況に対応し、これからも「なると第九」のブランド化を推し進めていくため、効果的で効率的な方法について検討していきたい。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③「なると第九」紹介映像の作成
	令和4年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九関連イベントの実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.36

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	担当部署	文化交流推進課・ドイツ館
総合計画体系				根拠法令計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム
基本政策(大項目)	1	うきうき　活力と魅力あふれる　まちづくり		事業期間 開始	平成 28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると			
(小項目)		シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。
実施方針	①徳島県と共同し、県内外での周知啓発活動と、ユネスコへの申請書作成を進める。 ②ドイツ館における資料保存環境および展示内容を改善する。
事業内容（R2）	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理 ②県と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催 ③ユネスコ「世界の記憶」登録推進・ベートーヴェン生誕250周年記念講演会・企画展の開催 ④申請対象資料を公開する手段としてデジタル化作業、および図録の刊行と販売 ⑤館内における企画展示とイベントの実施
当初からの変更点	史料購入の必要が生じたため。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	調査検討委員会及び資料保存管理 調査検討委員会の開催回数	3	1	2	2	2	回
	2	周知啓発回数	11	8	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		ドイツ館周辺への来訪者数	81,417	87,000	87,000	87,000	87,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①保存管理計画策定 ②図録製作と販売 ③レプリカ作成 ④東京・京都での館外展 ⑤資料整理	①ドイツ兵の慰霊碑建設100周年記念事業 ②館外展 ③レプリカ作成 ④資料整理	①ベートーヴェン生誕250周年記念講演会・企画展の開催 ②図録製作と販売 ③資料整理	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	ふるさと活性化基金繰入金（ふる納）
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	14	文化交流費	
事業1	003	文化振興関係費	事業期間
事業2	02	「なると第九」ブランド化推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,078	172	3,250	1,588	未定

事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理 ②県と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催 ③ユネスコ「世界の記憶」登録推進・ベートーヴェン生誕250周年記念企画展の開催および公演動画の作成・配信 ④申請対象資料を公開する手段としてデジタル化作業、および図録の刊行と販売 ⑤館内における企画展示の実施

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	調査検討委員会及び資料保存管理 調査検討委員会の開催回数	0	1	1	1	1	回
	2	周知啓発回数	11	3	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ドイツ館周辺への来訪者数	76,718	35,966	40,000	40,000	40,000	人
		目標達成率(実績/目標)		41.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		4,399,357	0	3,249,100	0	3,249,100
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,500,000	0	200,000	0	200,000
		一般財源	1,899,357	0	3,049,100	0	3,049,100

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数	成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染予防対策により人の動きが大幅に制限されことが来訪者数の減に反映された。
	目標	87,000　人		
	実績	35,966　人		
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①　ユネスコ「世界の記憶」登録申請が、新たな制度で令和3年後半から再開される見込みとなった。新制度の内容が公表され次第、対応を進める。 ②　ユネスコ「世界の記憶」登録申請対象資料の安全な保存活用を進める。 ③　企画展などを通して板東俘虜収容所関連資料の周知広報を推進する。

今後の方向性	□　1.廃止	□　2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□　5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①企画展等を通した事業の周知広報活動、②申請対象外資料の台帳整理、③ユネスコ「世界の記憶」への登録申請準備
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.37

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	環境学習推進事業	担当部署	環境政策課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例、鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例施行規則、鳴門市環境基本計画、なると環境プラン推進計画2017	
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始：平成　20　年度
(小項目)		ごみ処理		
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進		終期：未定
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の環境問題への意識高揚	事業内容（R2）	環境学習・環境教育促進 ①絵手紙教室、エコクッキング等環境学習講座の開催 ②施設内見学ならびに紙漉き体験の実施 ③親子天体観測会等人気イベントの実施継続
実施方針	環境学習・環境教育を促進する	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	クリーンセンター視察数	12	40	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	26	35	35	35	35	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		環境学習館利用者数	7,147	8,300	8,300	8,300	8,300	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会（うずしおふれあい公園で開催）	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会（うずしおふれあい公園で開催）	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会の開催	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	02	清掃費/01保健衛生費	
目	04	ごみ対策費/06環境衛生費	
事業1	003	ごみ対策推進費/007環境基本計画推進事業費	事業期間
事業2	01	ごみ対策推進費/01環境基本計画推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	323	0	323	1,019	1,019

事務事業名	環境学習推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・環境学習講座の開催 ・施設見学、紙漉き体験 ・親子天体観測会（うずしおふれあい公園で開催） ※コロナのため、各実施回数は減少している。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	クリーンセンター視察数	12	9	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	27	17	35	35	35	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		環境学習館利用者数	7,244	6,969	8,300	8,300	8,300	人
		目標達成率(実績/目標)		84.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		255,217	0	187,225	0	187,225
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,400	0	0	0	0
		一般財源	252,817	0	187,225	0	187,225

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	環境学習館利用者数	
	目標	8,300	人
	実績	6,969	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	利用者数について、新型コロナウイルスの影響もあり、目標数には届かなかったものの、概ね達成したと判断する。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	イベントや講座数の増加については課題となっているが、担当職員1名主体で運営している現状では難しい。 利用者数増加についての方策を今後も検討していく必要があるが、新型コロナウイルスの影響も考慮し、感染拡大予防を第一に考えなければならない。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルスの影響を第一に考えながら、前年度事業の精査や新規取組等、利用者数増加に向けた方策について検討する。
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.38

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	担当部署	環境政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成 13 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			
(小項目)		エネルギー使用			
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進		終期	未定
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率先的実行			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①本市の温室効果ガス排出量の削減 ②本市における再生可能エネルギーの導入推進	事業内容（R2）	①温暖化対策の実施 ・「第４次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策継続 ・ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施 ・「第４次鳴門市地球温暖化対策実行計画」における推進施策の総括 ・「第５次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定に向けた調査・検討ならびに計画策定 ②太陽光発電の利用継続 ・屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続 ③再生可能エネルギー導入検討 ・再生可能エネルギーの導入可能性について検討
実施方針	①「鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策を実施する ②太陽光発電の効率的な利用を行う ③再生可能エネルギーの導入について検討する	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	電力使用量	21,462	21,400	21,400	21400	21,400	千kWh
	2	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	19,518.9	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	19,518.9	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市役所内でのクールビズ・ウォームビズ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ゴーヤ苗の配布、緑のカーテンコンテストの開催	①市役所内でのｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ｺﾞｰﾔ苗の配布、緑のｶｰﾃﾝｺﾝﾃｽﾄの開催 ④市有地等活用による自然ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続 ⑤再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入可能性について検討	①市役所内でのｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ｺﾞｰﾔ苗の配布、緑のｶｰﾃﾝｺﾝﾃｽﾄの開催 ④「第５次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定 ⑤市有地等活用による自然ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続 ⑥再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入可能性について検討	①市役所内でのｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ｺﾞｰﾔ苗の配布、緑のｶｰﾃﾝｺﾝﾃｽﾄの開催 ④市有地等活用による自然ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続 ⑤再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入可能性について検討	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	06	環境衛生費	
事業1	007	環境基本計画推進事業費	事業期間
事業2	01	環境基本計画推進事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	223	0	223	234	234

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策継続 ・ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施 ・「第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画」における推進施策の総括 ・「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定に向けた調査・検討ならびに計画策定 ・屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続 ・再生可能エネルギーの導入可能性について検討

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	電力使用量	20,898	21,660	19,524	19,524	19,524	千kWh
	2	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	21,270.3	17,590.9	20,022.9	20,022.9	20,022.9	t
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	21,270.3	17,590.9	20022.9	20022.9	20022.9	t
		目標達成率(実績/目標)		117.2%	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		88,424	0	189,000	0	189,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	88,424	0	189,000	0	189,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	成果指標に対する所見	クリーンセンターの灯油使用量が減少したこと等により、二酸化炭素換算排出量について目標達成につながった。
	目標	20,611 t		
	実績	17,591 t		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地球温暖化対策推進にあたり、職員一人一人の行動の変容が必要なため、クールビズ等の啓発を継続し、エネルギー使用量削減を目指していく。市職員が率先して節電等環境に配慮した行動をすすめ、職員自身の意識啓発ならびに市民・事業所等団体の自主的な取り組みを促していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく取り組みを推進することで、地球温暖化対策に市民とともに取り組んでいく。 市有地等活用による再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続と導入可能性について検討するとともに、事業者から問い合わせがあれば対応する。
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.39

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	いぬねこ愛護推進事業	担当部署	環境政策課

総合計画体系

基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると
(小項目)		自然環境
施策	1	自然環境の保全と生活環境づくり
基本事業	2	生存基盤としての自然の保全と活用

根拠法令計画など	徳島県動物愛護管理適正化地域活性化推進補助金交付要綱・動物の愛護及び管理に関する法律・徳島県動物の愛護及び管理に関する条例
事業期間 開始	平成 26 年度
事業期間 終期	未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の動物の愛護及び管理についての理解促進と公衆衛生の向上及び社会生活の安全を図る
実施方針	①飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部を助成する ②犬や猫の適正飼育について啓発活動に取り組む ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する
事業内容（R2）	①飼い犬及び猫の避妊・去勢手術推進事業 ・県獣医師会と協力し、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育についての啓発 ・広報紙や市公式ウェブサイトにおける適正飼育に関する啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業（令和2年度追加事業） ・市内及び近郊の動物病院と協力し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部助成実績	90	100	100	100	100	件
	2	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助実績	0	0	50	50	50	件

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計	90	100	150	150	150	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	04	衛生費
項	01	保健衛生費
目	06	環境衛生費
事業1	008	動物愛護管理適正化地域活性化推進事業
事業2	01	動物愛護管理適正化地域活性化推進事業

補助制度（名称、補助率など）

徳島県動物愛護管理適正化地域活性化推進補助金（県1／2）
※飼い犬及び猫の手術1件あたりの助成金額上限は5千円、
飼い主のいない猫の手術1件あたりの補助金額上限は10千円
（共に令和元年度基準）

事業期間

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,011	0	1,011	1,211	1,211

事務事業名	いぬねこ愛護推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・県獣医師会と協力し、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費用の一部助成 ・広報紙や市公式ウェブサイトにおける適正飼育に関する啓発 ・市内及び近郊の動物病院と協力し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部助成実績	97	84	100	100	100	件
	2	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助実績	令和2年度より実施	47	70	70	70	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計	97	131	170	170	170	件
		目標達成率(実績/目標)		87.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		495,000	0	896,840	0	896,840
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	247,000	0	448,000	0	448,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	136,959	0	136,959
		その他	0	0	18,000	0	18,000
		一般財源	248,000	0	293,881	0	293,881

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計		成果指標に対する所見	飼い犬・猫の手術助成件数は前年度より若干減少したが、新たに開始した飼い主のいない猫の手術費用補助金交付を含め概ね目標達成したと判断する
	目標	150	件		
	実績	131	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業を利用する犬・猫愛護者のみではなく、市民全体に事業の目的や意義、実施内容等を理解してもらうため、周知や啓発を継続していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術推進事業を同程度継続し、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用補助事業については、前年度の実施状況を鑑み、申請手続きの簡素化を行うとともに補助件数の上限を70件に引き上げる。
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.40

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業	担当部署	環境政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		EM活性液培養装置貸与実施要綱・水質汚濁防止法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	昭和 51 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると			
(小項目)		河川・海岸			
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備		終期	未定
基本事業	2	水辺環境の保全と再生			

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内の河川や水路の水域環境改善・浄化	事業内容（R2）	①水質調査の実施 ・市内各所における水質調査の実施継続 ②EM活用による水質浄化 ・EM活性液培養装置設置未設置地区への周知促進 ・機器の更新や培養に必要な資材等の提供
実施方針	①生活雑排水等で汚濁が進んでいる河川や水路の水質調査を実施するとともに水質改善の方法を検討する ②身近な水路において、EMを活用した水質浄化に取り組む	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数	8	11	12	13	13	箇所
	2	EM資材費	1,006	1,250	1,300	1,350	1,350	千円
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		EM培養装置貸与団体地区数	8	11	12	13	13	箇所

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区（川東）でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区（里浦）でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	06	環境衛生費/07公害対策費	
事業1	007	環境基本計画推進事業費/001対策事業費	事業期間
事業2	01	環境基本計画推進事業費/01対策事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,280	0	3,280	2,720	2,720

事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・市内各所における水質調査の実施継続 ・EM活性液培養装置設置未設置地区への周知促進 ・機器の更新や培養に必要な資材等の提供

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数	8	8	12	12	12	箇所
	2	EM資材費	973	1,016	1,344	1,344	1,344	千円
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		EM培養装置貸与団体地区数	8	8	12	12	12	箇所
		目標達成率(実績/目標)		66.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,845,474	0	1,778,975	0	1,778,975
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	1,262,000	0	1,038,000	0	1,038,000
		一般財源	583,474	0	740,975	0	740,975

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	EM培養装置貸与団体地区数		EM培養装置について新規貸与はなかったが、貸与団体地区においては継続的にEM活性液製造に取り組んだ。
	目標	12	箇所	
	実績	8	箇所	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EM普及のため、継続してEM培養装置の貸与について、継続貸与している地区は各々活動を進めているが、新規貸与する地区がここ数年なく、貸与地区数は伸び悩んでいる。このことから全域設置を目指して今後も周知と促進を図っていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	前年度の取り組みを継続し、市全域の水質改善を目指す。
	令和4年度	令和3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.41

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ごみ減量対策事業	担当部署	クリーンセンター廃棄物対策課

総合計画体系			根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始：平成　11　年度
(小項目)		ごみ処理		
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進		
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	ごみの減量や発生抑制、再資源化について具体的な取り組みや実効性のある啓発の推進
実施方針	①生ごみの減量対策を図る ②ごみの減量や発生抑制、再資源化について啓発を行う
事業内容（R2）	①生ごみ減量対策 ・EMボカシの無料配布 ・コンポストの斡旋 ・電気式生ごみ処理機の購入補助 ②啓発 ・小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布 ごみ減量スローガンコンクールを実施 ・オリジナルマイバック作成事業をPR ・雑がみ回収を推進
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EMボカシ無料配布	164	154	190	190	190	世帯
	2	コンポスト斡旋＋電気式生ごみ処理機購入補助	42	36	50	50	50	世帯
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,845	17,792	17,186	17,024	16,863	t

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	02	清掃費	
目	04	ごみ対策費	
事業1	002	ごみ減量対策事業費	事業期間
事業2	01	ごみ減量対策事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	54,622	0	54,622	58,970	58,970

事務事業名	ごみ減量対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	コンポスト34個 285,200 円　EMボカシ125個　145,970円 電気式生ごみ処理機32基 582,600円　計1,013,770円 小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布した。 オリジナルマイバッグ運動を呼び掛け、ごみ減量への啓発を図った。雑がみ回収専用手提げ袋を作成し、資源ごみ回収団体へ配布を行い雑がみの回収促進、啓発を行った。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EMボカシ無料配布	154	125	190	190	190	世帯
	2	コンポスト斡旋＋電気式生ごみ処理機購入補助	36	66	50	50	50	世帯
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,793	17,698	17,024	16,863	16,795	t
		目標達成率(実績/目標)		97.1	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		42,398,898	0	40,743,543	0	40,743,543
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	42,398,898	0	40,743,543	0	40,743,543
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		成果指標に対する所見	継続してごみ減量補助制度と啓発を行い、全体のごみ排出量に関して概ね目標を達成できたためB評価とする。
	目標	17,186	t		
	実績	17,698	t		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EMボカシ無料配布について、一定数の利用は継続してあるものの、減少傾向が見られるため、継続した広報活動により利用者増加への取り組みを強化する必要がある。 さらなるごみ減量に向けて各家庭における意識向上が図られるよう、今後も取り組みを進めていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	現在の事業を継続していくことに加えて、生ごみの水切りや雑がみ回収などについて、各地域団体へ出向いて説明と啓発を行い、ごみ減量に向けた取り組みがより一層強化できるよう働きかけていく。
	令和4年度	同上

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.42

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	資源ごみ対策事業	担当部署	クリーンセンター廃棄物対策課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市資源ごみ回収事業報奨金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成 5 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			
(小項目)		ごみ処理			
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進		終期	未定
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①資源ごみ回収団体に対する支援 ②市民の廃棄物に対する意識の高揚	事業内容（R2）	資源ごみ回収 ①資源ごみ回収団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付 ②資源ごみ回収団体の新設
実施方針	①資源ごみ回収団体に対し報奨金を交付し、資源の有効化とリサイクルの促進を図る ②資源ごみ回収制度の周知を図る	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	資源ごみ回収団体回収量	1,669	1,815	1,804	1795	1,786	t
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		資源ごみ回収団体数	196	197	198	198	198	団体

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	02	清掃費	
目	04	ごみ対策費	
事業1	001	資源ごみ対策費	事業期間
事業2	01	資源ごみ対策費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	11,590	0	11,590	13,395	13,395

事務事業名	資源ごみ対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	資源ごみ回収団体に対し、指定品目(新聞・雑誌・ダンボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類)の回収量に応じた報奨金(1kgあたり5円)を交付するとともに、雑がみ回収促進や啓発を図るため、雑がみ回収専用手提げ袋と、缶類の回収に必要なビニール袋を提供した。 また、資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	資源ごみ回収団体回収量	1,569	1,509	1,795	1784	1,774	t
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		資源ごみ回収団体数	199	201	201	201	201	団体
		目標達成率(実績/目標)		101.5	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		9,819,186	0	9,425,025	0	9,425,025
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	9,819,186	0	9,425,025	0	9,425,025
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	資源ごみ回収団体数		成果指標に対する所見	広報等で周知を図り、2団体の新規結成に至った。
	目標	198	団体		
	実績	201	団体		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業を進めることで、資源の有効活用はもとより、ごみ減量化によるごみ処理経費の削減やごみ処理施設への負担軽減等様々な効果が期待されることから、今後も引き続き取り組みは必要であると考えられる。 今後の課題としては、資源ごみ回収量が近年減少傾向にあることから、資源ごみ回収団体や市民の意見を取り入れながら、継続して制度の周知、資源ごみ回収団体へのきめ細やかな支援策を検討していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	引き続き、資源ごみ回収制度の周知を図るとともに、各団体の抱える課題や問題の解決に向け個別に支援していく。 また、資源ごみ回収団体の新設に努める。
	令和4年度	同上

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.43

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業	担当部署	クリーンセンター廃棄物対策課

総合計画体系			根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本政策(大項目)	3	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始：平成　17　年度
（小項目）		ごみ処理		
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進		
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策		終期：未定

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	廃棄物不適正処理の早期発見及び未然防止	事業内容（R2）	活動支援 ①不法投棄監視パトロール隊への資材の提供や回収物の受入 ②「鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対する補助金の交付
実施方針	不法投棄監視パトロール隊に対して活動の支援を行う	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	不法投棄連絡協議会の開催数	5	5	5	5	5	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		パトロール隊認定団体数	12	13	13	13	13	団体

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助金の交付	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助金の交付	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助金の交付	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	06	環境衛生費	
事業1	006	不法投棄対策費	事業期間
事業2	01	不法投棄対策費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	335	0	335	346	346

事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	市内各地の不法投棄監視パトロール隊の活動に対して資材の提供や回収物の受入の支援を行うとともに、「鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対して補助金を交付し、活動の支援を行っている。毎年行っている不法投棄物一斉撤去作業については、新型コロナウイルス感染防止のため、行わなかった。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	不法投棄連絡協議会の開催数	5	3	5	5	5	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		パトロール隊認定団体数	13	13	13	13	13	団体
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		409,867	0	320,945	0	320,945
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	409,867	0	320,945	0	320,945

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	パトロール隊認定団体数	
	目標	13	団体
	実績	13	団体
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	各地区のパトロール隊では、不法投棄を未然に防ぐためのネットや看板の設置、不法投棄物の回収など、活発な活動が行われた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	不法投棄の未然防止策や回収、撤去をパトロール隊が積極的に行っているにもかかわらず、不法投棄が続いているのが現状である。そのため、パトロール隊への支援を継続的に行うとともに、防護ネットや啓発看板、監視カメラ等の設置など、未然防止のための取り組み強化が必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	関係機関との連絡調整や資材の提供などを継続して行うとともに、補助金を支出することにより活動の幅が広がるよう支援していく。
	令和4年度	同上

各実施計画兼評価シート

健　康　福　祉　部

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.44

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国民健康保険料収納対策事業	担当部署	保険課

総合計画体系			根拠法令計画など	国民健康保険法、鳴門市国民健康保険条例等
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 12年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		社会保障		
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施		
基本事業	1	健全財政の確立		終期：未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国民健康保険及び介護保険、後期高齢者医療制度にかかる保険制度の安定経営を図るため、保険料収納率の向上及び納付義務者の利便性向上を図るための対策を講じる。
実施方針	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施
事業内容（R2）	①納付勧奨の実施 滞納者に対して、文書による催告及び夜間を利用した納付相談窓口の開設等により納付交渉を随時行うとともに、R2年度よりコールセンター方式による電話催告を実施し、収入未済額の縮減を図る。 ②口座振替利用の促進 当初納付書及び保険料更正通知書等に口座振替郵送用依頼書を同封し、口座振替加入促進を図る。 ③財産調査の実施 財産調査実施により納付者の納付能力の把握に努める。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	催告等発送数(国保)	10,921	11,000	13,000	13,000	13,000	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		国民健康保険料収納率(現年度)	95.9	95.7	94.3	94.3	94.3	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	11	国民健康保険事業特別会計	
款	01	総務費	
項	02	賦課徴収管理費	
目	01	賦課徴収総務費	
事業1	003	収納率向上特別対策事業費	事業期間
事業2	01	収納率向上特別対策事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	7,803	△ 1,624	6,179	7,937	7,937

事務事業名	国民健康保険料収納対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①保険料納付コールセンターを開設し、民間事業者へ委託することにより、民間事業者ならではのスキルやノウハウを活用した納付勧奨に繋げた。また、滞納者に対して、職員による電話催告や臨戸訪問等による納付交渉を行うなど、収入未済額の縮減を図った。 ②口座振替郵送用依頼書を窓口及び郵送等で配布するとともに、新たにチラシを作成し市内金融機関及び窓口でも更なる周知を図り、納付者に保険料納付の利便性や納め忘れ防止効果のある口座振替への切り替えを促した。 ③夜間を利用した納付相談窓口を開設するなど滞納者との接触を図り、生活状況や収入状況の把握に努め、滞納者の状況に即した柔軟な対応の実施につなげた。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	催告等発送数(国保)	11,192	10,051	11,000	11,000	11,000	枚
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		国民健康保険料収納率(現年度)	95.3	95.6	94.3	94.3	94.3	%
		目標達成率(実績/目標)		101.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		9,615,404	0	5,489,348	0	5,489,348
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,615,404	0	5,489,348	0	5,489,348

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	国民健康保険料収納率(現年度)	
	目標	94.3	%
	実績	95.6	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	目標収納率は達成できたものの、今後も更なる収納率向上を図る必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①夜間納付相談、電話催告などを継続し、滞納者との接触機会に努める。資力がありながら納付の求めに応じない滞納者については、生命保険や預貯金等の調査などを実施し、滞納整理を進める。 ②口座振替加入促進の取り組みを進めていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①保険料納付コールセンターによる効果的な納付勧奨を行うとともに、引き続き文書や電話による催告、累積滞納の未然防止に努める。 ②口座振替の加入促進のため、口座振替郵送用依頼書（はがき）及びチラシを配布し、納付時の利便性向上を図る。
	令和4年度	収納率向上の取り組みの継続

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.45

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国保保健事業	担当部署	保険課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると
(小項目)		社会保障
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施
基本事業	2	医療費適正化の推進

根拠法令計画など	国民健康保険法 国保法に基づく保健事業の実施等に関する指針 鳴門市保健事業実施計画（データヘルス計画）
事業期間 開始	平成　27年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制するとともに健康寿命の延伸を図る。
実施方針	①保健指導事業 ②糖尿病性腎症重症化予防事業 ③早期介入保健指導事業
事業内容（R2）	①保健指導 特定健康診査の結果に基づき受診指導や生活習慣の改善等保健指導を行う。また、糖尿病が強く疑われる方に対して、75g糖負荷試験を実施する。 ②糖尿病性腎症重症化予防 高額な医療費となる人工透析の導入が危惧される糖尿病性腎症の方に栄養指導等保健指導を実施する。 ③早期介入保健指導事業 20歳以上40歳未満の被保険者を対象に巡回健診車の日程にあわせて健康診査を実施し、生活習慣病予備群への保健指導を実施する。また、健康診査利用者の拡大を図るため、効果的な周知方法を検討する。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者への訪問実施数	198	297	330	365	400	件
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	重症化予防対象者への訪問率	87.6	70.0	70.0	70.0	70.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	11	国民健康保険事業特別会計
款	05	保健事業費
項	01	保健事業費
目	01	保健対策費
事業1	001	保健対策費
事業2	01	保健対策費

補助制度（名称、補助率など）	
国特別調整交付金（600万円を上限として対象経費の10割）	
事業期間	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	25,243	0	25,243	26,739	26,739

事務事業名	国保保健事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①保健師による保健指導及び受診勧奨において、具体例を用いた分かりやすい資料により、疾病への理解を深めた。 ②保健師及び管理栄養士による保健指導を実施するとともに、かかりつけ医と連携を図り、継続した支援・治療につなげた。また、糖尿病が強く疑われる方を対象に、75g糖負荷試験を実施し、発症及び重症化予防を図った。 ③広報誌やLINE等の活用により、若年からの健診の必要性を広く周知を行うとともに、健診申込者にアンケートを実施し、啓発手段の有効性の把握に努めた。また、健診の結果、生活習慣病予備群の方には保健指導を実施し、疾病の発症予防に繋げた。 ④医療費の現状や医療費を節約する方法について周知を行うなど医療費適正化のための啓発に努めた。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者への訪問実施数	252	287	365	400	400	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		重症化予防対象者への訪問率	84.8	97.6	70.0	70.0	70.0	%
		目標達成率(実績/目標)		139.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		18,408,120	0	20,496,579	0	20,496,579
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,724,000	0	4,136,810	0	4,136,810
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	16,684,120	0	16,359,769	0	16,359,769

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	重症化予防対象者への訪問率		成果指標に対する所見	事業対象者に対して概ね戸別訪問等による保健指導を実施することができた。
	目標	70.0	%		
	実績	97.6	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・特定健診も治療も受けていない方は、重症化の実態が不明であり、効果的な方策により特定健診の受診者を増やしていく必要がある。 ・医療費が高額となる疾患（虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症）や長期における入院の医療費の伸びを抑えることに加え、対象者の生活習慣病予防につなげていくための丁寧な保健指導を行い、治療や健診受診を継続していくための支援が必要である。 ・若年からの健診の必要性について、様々な媒体を活用してPRに努める。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	保健指導においては、健診データ等対象者の進捗管理を行い、必要に応じて医療機関と連携した保健指導を実施するとともに、特定健診未受診者に対しては受診勧奨を行い、継続受診者の増加を図る。 若年者健診の利用者拡大のため、効果的な周知方法を検討する。
	令和4年度	事業内容の効果検証・分析を行いながら、被保険者の生活習慣の改善や疾病に対する意識変化に繋げたい。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.46

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当部署	保険課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始：平成　20年度
(小項目)		社会保障		
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施		
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	生活習慣病に着目した特定健康診査・特定保健指導事業を実施することにより、生活習慣病の予防・重篤化予防に努め、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制する。	事業内容（R2）	①特定健康診査・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。受診者の内ﾒﾀﾎﾞﾘｯｸｼﾝﾄﾞﾛｰﾑの該当の方・予備群の方に対し特定保健指導を行う。 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 保健師等専門職をオペレーターに採用し、健康相談を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行い、受診意欲の高揚を図る。 ③検査項目の拡充 血圧の高い方や、不整脈が疑われる方に行っていた心電図検査を基本健診項目に組み込み、虚血性心疾患の予防を図る。 ④みなし健診事業 生活習慣病等により治療中の特定健診未受診者に対し、本人の同意のもと、医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用できるようルール整備を行う。
実施方針	①特定健康診査・特定保健指導の実施 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 ③検査項目の拡充 ④みなし健診（特定健診情報提供）事業	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特定健康診査受診者数	3,333	4,411	4,916	5,411	5,897	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		特定健康診査受診率	31.7	40.0	45.0	50.0	55.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	●コールセンター方式による受診勧奨の実施	●コールセンター方式による受診勧奨の実施	①コールセンター方式による受診勧奨の実施 ②検査項目の拡充 ③みなし健診事業	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	11	国民健康保険事業特別会計	特定健診等に係る国庫負担金（対象経費の1／3） 特定健診等に係る県負担金（対象経費の1／3） 国特別調整交付金（対象経費の10割）
款	05	保健事業費	
項	02	特定健康診査等事業費	
目	01	特定健康診査等事業費	
事業1	001	特定健診・特定保健事業費	事業期間
事業2	01	特定健診・特定保健事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	52,786	0	52,786	57,575	57,575

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・頸部エコー検査とPSA検査を付加した巡回バスによる特定健診を健康増進課が実施するがん検診と同時に年4回実施した。 ・受診勧奨においては、対象者の特性に合わせた勧奨通知の送付や、保健師等専門職による電話勧奨を行い、受診意欲高揚に努めた。 ・鳴門市医師会の協力によりみなし健診を開始し、受診率の向上を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特定健康診査受診者数	3,291	3,795	5,411	5,897	6,373	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		特定健康診査受診率	32.2	37.1	50.0	55.0	60.0	%
		目標達成率(実績/目標)		82.4	－	－	－	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
		計	30,831,732	0	39,300,696	0	39,300,696
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	20,222,000	0	18,023,190	0	18,023,190
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,609,732	0	21,277,506	0	21,277,506

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	特定健康診査受診率	
	目標	45.0	%
	実績	37.1	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	コールセンター方式による受診勧奨や、新たにみなし健診を実施したことで、受診率は増加したものの、目標とする受診率には達しなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には義務化されていない制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないことや、現に生活習慣病治療中であっても健診対象となることなどから、受診の必要性が理解されにくい。 また、対象者の属性や受診歴、過去の受診結果等状況に応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や受診行動を促す必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	コールセンター方式による受診勧奨について、これまでの受診歴や健診結果を有効活用したより効果的な勧奨を実施する。 鳴門市医師会と連携し、みなし健診の利用率向上のための手法の改善に取り組む。 他医療保険者と連携した受診率向上に向けた取り組みを行う。
	令和4年度	さらなる受診率向上のため、勧奨手法の研究、工夫を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.47

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民の健康づくり対策事業	担当部署	健康増進課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち　なると
(小項目)		保健・医療
施策	7	健康・医療対策の推進
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21（第二次）」の推進

根拠法令計画など		健康増進法、自殺対策基本法、「健康なると21（第二次）」
事業期間	開始	平成　17　年度
	終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「健康なると21（第二次）」計画に基づき、肥満予防、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行い、市民の健康づくりを推進する。
実施方針	①「健康なると21（第二次）」を推進し、市民の健康の維持・向上に取り組む。 ②食生活改善事業（栄養教室、食のネットワーク会議等）の実施及び食育推進のための人材を育成する。 ③「鳴門市自殺対策計画」に基づき、自殺予防の取り組みを推進する。
事業内容（R2）	①健康相談、健康教育等各種保健事業を通して「健康なると21（第二次）」計画の後期アクションプランの取り組みを継続する。 ②ヘルスメイトの地域での自主活動を推進するため、研修会の実施や活動の支援を継続する。また「親子の食育教室」の継続実施等食育推進に積極的に取り組むとともに、広報等による「食からの健康づくりに関する情報発信」を行う。 ③自殺対策計画に基づき啓発活動を継続する。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスメイトの地域での活動回数	10	12	12	12	12	回
	2	ワークショップの参加者数	21	21	21	21	21	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		ヘルスメイトの数	29	29	29	30	30	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①健康なると21（第二次）ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	①健康なると21（第二次）ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	①健康なると21（第二次）ワークショップの開催 ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③親子ヘルシークッキング教室の開催 ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	健康増進事業費補助金（補助率2／3） 地域自殺対策緊急強化事業費補助金（補助率1／2）
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	03・05	予防費・健康増進費	
事業1	001・002・004・005・006	健康教育費・健康相談費・自殺予防対策費・健康増進対策事業費・その他の事業費	事業期間
事業2	01	健康教育費・健康相談費・自殺予防対策費・健康増進対策事業費・栄養改善事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,309	0	1,309	1,405	1,405

事務事業名	市民の健康づくり対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	健康なると21推進ワークショップは、コロナ感染拡大防止対策のため、書面開催にて実施。健康づくりに関する各団体の取り組み状況の調査及び情報提供（・健康づくりに関する取り組みについて・自殺予防に関する取り組みについて・コロナ禍の影響で取り組めなかったこと)及び、市からの情報提供・健康増進課の取り組みを紹介した。 ヘルスメイトの地域での活動は、コロナ禍のため依頼数は前年度より減少するものの、感染予防対策をしながら実施した。また、食育推進のための食ネット通信の発刊を継続することができた。 自殺予防対策として、広報に自殺対策に関する記事の掲載や予防啓発パネルを作成し庁内・量販店での掲示、各種リーフレットを配布し広報や啓発に努めた。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスメイトの地域での活動回数	10	7	12	12	13	回
	2	ワークショップの参加者数	21	25	21	21	21	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ヘルスメイトの数	29	25	30	30	30	人
		目標達成率(実績/目標)		86.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		997,646	0	947,145	0	947,145
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	357,000	0	313,000	0	313,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	92,500	0	68,000	0	68,000
		一般財源	548,146	0	566,145	0	566,145

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ヘルスメイトの数	成果指標に対する所見	コロナの影響を受け、ヘルスメイト会員が減少したが継続的な活動を実施することが出来た。
	目標	29 人		
	実績	25 人		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	健康なると21（第二次）後期アクションプラン及び鳴門市自殺対策計画に基づき、市役所内外の関係者と共に広く市民へ健康増進の働きかけを強化していく必要がある。 ヘルスメイト会員の高齢化とメンバー減少がみられるため、令和3年度はヘルスメイト養成講座を開催し新規会員の確保に努める。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	栄養改善事業を含む各種保健事業の継続実施を通じて健康なると21（第二次）を推進する。 鳴門市自殺対策計画を啓発し、市民の自殺予防に対する認識を深めるとともに、自殺予防対策の包括的な支援となる「生きる支援該当事業」の全庁的な推進について、進捗状況の把握等進行管理を行う。
	令和4年度	上記取り組みを継続する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.48

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	がん検診事業	担当部署	健康増進課

総合計画体系			根拠法令計画など	健康増進法、がん対策基本法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始：昭和　57　年度
(小項目)		保健・医療		
施策	7	健康・医療対策の推進		
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民のがん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を行い、健康の保持及び増進につなげる。	事業内容（R2）	①かかりつけ医や地縁団体、商工会等を通じた受診勧奨リーフレットの配布 ②子宮頸がん・乳がんの検診無料クーポン券を配布。 ③節目年齢や継続受診のない方へ個別通知による受診勧奨。 ④特定健診との同日実施や、介護予防事業開催に合わせたがん検診の実施。 ⑤尿中ピロリ菌検査やメッセージカード作成の機会を捉え、中学生またはその保護者に向けた啓発と受診勧奨
実施方針	①かかりつけ医や関係機関と連携した受診勧奨 ②無料クーポン券の配布 ③個別通知による受診勧奨 ④受診の利便性を図る ⑤中学生またはその保護者への啓発・受診勧奨	当初からの変更点	

指標名			平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標（実施した事業の活動量を示す指標）	1	がん検診受診者数(計)	4,000	3,500	3,500	3500	3,500	人
	2							
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		各がん検診受診率の平均	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送。 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④NHK番組とコラボしての受診勧奨 ⑤医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。	前年度①～⑤に加え、テレビ広報を通じてのがん検診受診勧奨の実施。	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送。 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。 ①～④に加え、テレビ広報で、がん検診受診勧奨の実施。	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	感染症予防事業費等国庫負担金(補助率1/2)
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	05	健康増進費	
事業1	004	健康診査費	事業期間：単年度繰り返し（昭和57年度～　）
事業2	02	がん検診費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	24,000	△ 7,000	17,000	24,000	24,000

事務事業名	がん検診事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	○新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の基づき、子宮頸がん・乳がん検診クーポン券の配布、受診勧奨の個別通知、受診勧奨用のリーフレットの作成・配布を実施。 ○保険課と健保協会と協力し、特定健診とがん検診の同日実施を継続して実施。 ○大腸がん検診検便容器を検診希望者に郵送し検診日に回収する方法に切り替えるなど、受診者の負担の軽減に努めた。 ○がん検診の継続受診をしていない人を対象に個人通知を実施。 ○新型コロナウイルス感染症予防対策として、受付時間帯、また検診の待合室等での密を防ぐため、国が示す指針にのっとり、受付時間を30分ごとに分けグループ分けをするなど対策を取りながら検診を実施した。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	がん検診受診者数(計)	3,695	2,935	3,500	3500	3,500	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		各がん検診受診率の平均	7.4	3.9	5	5	5	%
		目標達成率(実績/目標)		78.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		20,333,084	0	16,894,547	0	16,894,547
	財源内訳	国庫支出金	593,000	0	146,000	0	146,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	264,000	0	133,600	0	133,600
		一般財源	19,476,084	0	16,614,947	0	16,614,947

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	各がん検診受診率の平均		委託健診の受診者数はほぼ横ばい状態であるが、成人の集団がん検診については新型コロナウイルス感染症拡大のため中止、規模の縮小での実施などが影響し実績が落ちた。 それぞれの検診において、少数の症例であるが早期がんの発見等に結びついたこともあり、検診そのものは有用性があったと考えられる。
	目標	5	%	
	実績	3.9	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市の集団がん検診の実績が伸びなかった。今後も感染症が収束するまでの期間は、予防対策を取りながらの実施となる。検診を一度も受診されていない者、また継続受診に繋がっていない者への積極的な受診勧奨を保険課や外部機関とも連携を図りながらさらなる周知啓発が必要と考えられる。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　□ 3.現状維持　☑4.現状維持(新型コロナ)　□ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和3年度	前年度に引き続き、国の新型コロナウイルス感染症予防対策の指針に沿いながらの運営となり、集団がん検診においては規模を縮小しての実施は避けられない。継続受診のない者への個別通知による受診勧奨、健保協会等との連携を図りながら、啓発活動と感染症予防対策を同時に進めていく必要がある。
	令和4年度	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら令和3年同様に進めていく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.49

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て世代支援事業 （鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業）	担当部署	健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	母子保健法、子ども子育て支援法 児童福祉法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		事業期間 終期	未定
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	妊娠期から就学前まで切れ目なく母子保健や育児などに関する総合的な相談や支援を一体的に行う拠点として、関係機関と連携を図りながら子育て支援を行うことにより、母親の不安や負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざす。	事業内容（R2）	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成（14回） ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成（2回） ・産婦健診（産後2週間・産後1か月）費用助成（2回）。 ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業（産後デイサービス・産後ショートステイ）
実施方針	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援を充実し、不安・負担の軽減を図る。 ②妊婦健診、産婦健診、多胎妊婦超音波検査費用を助成し妊産婦の健康管理と負担軽減を図る。 ③心身の不調等により支援の必要な妊産婦に対して、産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業の利用を促し、不安・負担の軽減を図る。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子育て世代包括支援センター利用者数	1,778	1,680	1,750	1780	1,800	人
	2	関係機関との連絡調整回数	14	20	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		鳴門市で子育てをしたい人の割合	94.6	94.6	94.7	94.7	94.8	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 3産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	子ども・子育て支援交付金（2／3補助） 母子保健衛生費国庫補助金（1／2補助）
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	05	母子衛生費	
事業1	001	母子保健事業費	事業期間：単年度繰り返し（↓開始年度のみ）（9年度～　年度）
事業2	06	母子保健型包括支援センター費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	48,933	742	49,675	46,208	46,208

事務事業名	子育て世代支援事業 （鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成（14回） ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成（2回） ・産婦健診（産後2週間・産後1か月）費用助成（2回） ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業（産後デイサービス・産後ショートステイ） ④マタニティー教室(妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減し子育てできるよう助産師・保健師・管理栄養士による保健指導）

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子育て世代包括支援センター利用者数	1,642	1,351	1,500	1550	1,600	人
	2	関係機関との連絡調整回数	18	19	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市で子育てをしたい人の割合	94.5	94.7	94.7	94.8	94.8	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		42,966,590	0	36,635,541	0	36,635,541
	財源内訳	国庫支出金	5,271,000	0	3,941,000	0	3,941,000
		県支出金	1,757,000	0	1,703,000	0	1,703,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	35,938,590	0	36,635,541	0	30,991,541

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市で子育てをしたい人の割合	成果指標に対する所見	子育て世代包括支援推進協議会委員などの関係機関との連携を深めていくことができる。支援の方向性（時期、や方法）について協議する養育支援会議を行うことで、要支援者に対する支援計画、進捗管理を行い早期に支援を行う体制づくりを進めている。
	目標	94.7 %		
	実績	94.7 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染予防による外出自粛から、子育て世代包括支援センターへの来所の減少が見られる。来所だけでない相談についても周知を行い、相談の機会をもつ。妊娠期の相談としてマタニティ相談（中期）の面接の機会を増やし、不安の解消、出産に向けた準備とする。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	令和2年度事業の継続。 マタニティ（中期）相談の案内とアンケートの実施により妊娠中期の相談、指導を行う。
	令和4年度	継続

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.50

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの発達支援事業	担当部署	健康増進課

総合計画体系			根拠法令計画など	母子保健法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 22 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		保健・医療		
施策	7	健康・医療対策の推進		終期：未定
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	子どもの健やかな成長・発達を支援するため、子どもへの継続的な支援体制の整備や保護者への啓発を行う。	事業内容（R2）	①保護者相談 ・行動観察や発達検査に基づく臨床心理士等による個別相談の実施 ・2回目相談において必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②保育所・幼稚園・認定こども園等との連携 ・幼稚園等へ事業説明の実施 ・幼稚園等での集団生活の問診票などの作成 ・幼稚園等へ相談結果のフィードバック ③対象年齢の引き下げ
実施方針	①子どもの発達支援及び保護者の育児支援のため臨床心理士等による保護者相談を実施し子どもの発達特性や対応方法を知ることで不安の軽減を図り、適切な対応行動につなげる。 ②保育所・幼稚園・認定こども園等と連携して就学に向けて支援する。 ③対象年齢の引き下げにより早期からの介入と支援を行う。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染拡大への対策として、密を回避するため 保護者相談の定員数および専門職スタッフの配置について見直しを行った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どもの発達支援事業実施回数	6	6	7	7	7	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		相談事業参加者数	122	92	120	120	120	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②幼稚園等との連携	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②幼稚園等との連携	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②幼稚園等との連携	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	04	母子衛生費	
事業1	001	母子保健事業費	事業期間：平成22年度～
事業2	05	発達障がい児支援事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,399	△ 585	814	1,176	1,176

事務事業名	子どもの発達支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	より早期からの介入支援を目的に令和2年度より事業対象年齢を引き下げた。令和2年度は移行期間として従来の対象年齢に加え、順次年齢を1学年（次年度年少相当児へ）引き下げて実施。昨年に引き続き対象者へは個別通知を行った。実施内容としては集団場面での行動観察や個別の発達検査を行い、心理士による個別相談を実施することで保護者が子どもの発達段階や特性を知ることができ、発達特性に応じた育児ができるよう支援した。また、必要に応じて保育所や幼稚園等の関係機関と情報共有を行い、継続的な支援が実施できるよう努めている。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どもの発達支援事業実施回数	6	7	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		相談事業参加者数	87	87	60	60	60	人
		目標達成率(実績/目標)		72.5	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		852,879	0	735,938	0	735,938
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	852,879	0	735,938	0	735,938

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	相談事業参加者数		成果指標に対する所見	保護者相談参加者の9割以上が詳細な発達検査や相談など継続した支援が望ましいとの結果がでており、事後相談として継続し支援を行っていることからも成果があったと考える。
	目標	120	人		
	実績	87	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	対象年齢を引き下げたことで以前に比べ、より早期に子どもの発達支援及び保護者支援を行うことができる体制となった。保護者相談実施後、必要児には事後相談として発達検査や相談による関わりを継続。今年度の保護者相談利用者のうち、約9割が事後相談の必要性があると判断されており、今後も事後相談等による継続した支援が必要と考えられる。今年度は新型コロナウイルスの影響により事後相談の一部について開催を見合わせたが、今後も現在の対象年齢による事業実施を継続し、就学に向けての支援・準備期間をより長く確保することが望ましい。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	令和2年度に事業対象年齢を引き下げ、より早期からの介入支援に努めている。令和3年度も継続し、就学に向けて準備・支援期間をより長く確保する。
	令和4年度	継続

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.51

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急医療対策事業	担当部署	健康増進課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市救急医療対策事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始：昭和　52　年度
(小項目)		保健・医療		
施策	7	健康・医療対策の推進		終期：未定
基本事業	4	地域医療の確保		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民が安心できる地域医療体制を確保する。	事業内容（R2）	①救急医療の適正利用に関する啓発を消防予防課や医師会と連携して実施する。また、啓発活動として、出生届時等の「小児救急ハンドブック」の配布及び子育て世代へ向けた「防災ハンドブック」を配布する。 ②医師会等関係機関と協議しながら、災害時、候補地となる医療救護所の体制整備を行う。 ③平成24年度購入の医療救護資機材（3セット）の8年目点検を行う。
実施方針	①夜間休日当番医制度の維持 ②二次救急・小児救急医療体制の確保 ③関係者会議の実施 ④適正医療に関する啓発	当初からの変更点	災害時医療救護活動に必要な医薬品および感染予防物品の購入

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	啓発活動（出前講座・連携事業等）	1	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		軽度の救急搬送率	36	36	36	35	35	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	01	保健衛生総務費	
事業1	002・003	救急医療対策事業補助金・救急医療対策事業費	事業期間
事業2	01	救急医療対策事業補助金・救急医療対策事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	14,364	1,369	15,733	14,175	14,175

事務事業名	救急医療対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①救急医療の適正利用に関する啓発を消防予防課や医師会と連携して実施した。啓発活動として、子どもの事故防止に関する啓発資料の配布、子育て世代へ向けて防災に関する啓発資料を配布した。 ②新型コロナウイルス感染症の対応について医師会と協議し、医療の確保、市民への周知に努めた。 ④平成24年度購入の医療救護資機材（3セット）の8年目点検を行った。 ⑤関係者会議として「鳴門市医療懇話会」を開催し、意見交換・情報共有を行った。 ⑥災害時医療救護活動に必要な医薬品および感染予防物品を購入した

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	啓発活動（出前講座・連携事業等）	1	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		軽度の救急搬送率	36	37	35	35	35	%
		目標達成率(実績/目標)		97.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		14,670,144	0	15,515,363	0	15,515,363
	財源内訳	国庫支出金	0	0	1,162,588	0	1,162,588
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	14,670,144	0	14,352,775	0	14,352,775

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	軽度の救急搬送率		救急医療体制を持続していく上で必要な対応ができていると考えるが、市民に対して、救急医療に係る情報提供や啓発活動を継続して実施することが必要である。
	目標	36	%	
	実績	37	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題		市民の安心・安全を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。災害時の対応を含めた新型コロナウイルス感染症対策についても、引き続き医師会等関係団体と協議し連携していくこととする。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐4.現状維持(新型コロナ)　☐ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和3年度	①啓発資料や広報誌および公式ウエブサイト等をにて、救急医療の適正利用に関する啓発を実施する。 ②医師会等関係機関と協議し、災害時医療救護所や新型コロナウイルス感染症対策について体制を整備する。 ③医療救護資機材の点検を行う。
	令和4年度	令和3年度に継続して、医療機関と連携し、救急医療対策事業を実施。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.52

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域医療連携強化事業	担当部署	健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間	開始：平成 29 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると			終期：未定
（小項目）		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	4	医療の充実			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」を広く市民に対して周知・啓発を行うことにより、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める。
実施方針	①条例の推進についての周知 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の運営 ③鳴門病院との連携事業の継続実施
事業内容（R2）	①広報等での特集コラムの掲載や、出前講座等にて条例の推進についてより広く市民に周知する。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催する。 ③鳴門病院との連携事業（市民向け実践講座）については、テーマや開催時期について協議を行い実施する。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民向け実践講座	1	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		連携事業の参加者数	100	150	150	150	150	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①条例推進シンポジウムと徳島県鳴門病院連携事業と合同実施 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の設置	①広報誌へのコラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業（市民公開講座）の開催	①広報紙コラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業（市民公開講座）の開催	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	04	衛生費	
項	01	保健衛生費	
目	01	保健衛生総務費	
事業1	004	地域医療連携強化事業費	事業期間
事業2	01	地域医療連携強化事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	275	0	275	165,657	23,657

事務事業名	地域医療連携強化事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①条例の進捗状況の把握のため、市民の健康づくりに関する取組調査を実施。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催とする） ③鳴門病院との連携事業（市民向け実践講座）は中止

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民向け実践講座	1	0	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		連携事業の参加者数	100	0	150	150	150	人
		目標達成率(実績/目標)		0.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		253,665	0	3,472	0	3,472
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	253,665	0	3,472	0	3,472

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	連携事業の参加者数	
	目標	150	人
	実績	0	人
	評価	D:目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鳴門病院と協議の上、実施を見合わせた

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門病院との連携事業については、テーマや開催時期によって参加人数にバラつきがあるが、市民に定着しつつあるので、継続実施が必要と考える。 条例の推進については、推進協議会、庁内会議、健康なると21推進ワークショップと協議内容について共有しながら進めていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	条例の推進については、出前講座等にてより広く市民に周知する。また、医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議の運営を行う。 鳴門病院との連携事業（市民向け実践講座）については、テーマや開催時期について協議を行い継続実施とする。また、広報誌にて鳴門病院より健康づくりに関するコラムの掲載など連携して情報発信を行う。
	令和4年度	継続

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.53

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	高齢者無料バス優待事業	担当部署	長寿介護課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市高齢者無料バス優待券の交付等に関する条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：昭和　49　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		高齢者福祉		
施策	4	高齢者福祉の推進		終期：未定
基本事業	1	生きがいと健康づくりの推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	日常生活において、交通弱者である高齢者の移動手段を確保することにより、生活圏の拡大を図り、閉じこもりの防止や社会活動参加の機会の増加を促し、高齢者の生きがいや健康づくりに役立てる。	事業内容（R2）	①高齢者の移動手段の確保 鳴門市に住民登録を行っている満70歳以上の希望者に対し無料バス優待券を交付する。 ②実施状況、利用状況の把握 7月と10月に利用者数の調査を行い、利用状況の把握に努める。
実施方針	①高齢者の移動手段を確保する ②実施状況、利用状況を把握する	当初からの変更点	7月と10月の利用実態調査の結果、利用者数が増加し、負担金が当初予算よりも増加した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		鳴門市高齢者等無料バス券発行件数	370	370	370	370	370	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	03	老人福祉費	
事業1	002	高齢者無料バス優待事業費	事業期間
事業2	01	高齢者無料バス優待事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	5,993	315	6,308	6,308	6,308

事務事業名	高齢者無料バス優待事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①高齢者の移動手段の確保 ・市内バス路線における無料優待券の交付 ②実施状況、利用状況の把握 ・7月10月に利用者数の調査を実施 ③窓口における簡易調査の実施

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市高齢者等無料バス券発行件数	360	229	360	360	360	件
		目標達成率(実績/目標)		61.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		6,445,320	0	6,307,700	0	6,307,700
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,445,320	0	6,307,700	0	6,307,700

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券発行件数		成果指標に対する所見	コロナ禍の影響により高齢者の方々の外出機会が減少したため、目標は達成できなかったが、新たに229人の方に無料バス優待券を交付し、高齢者の移動手段の確保に繋げることができた。
	目標	370	件		
	実績	229	件		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」期間中の令和5年度までは引き続き実態を把握したうえで、必要に応じて本事業の評価・検討を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	年2回の利用状況調査を行い事業の実施状況の把握等に努める。
	令和4年度	同上

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.54

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業	担当部署	長寿介護課

総合計画体系			根拠法令計画など	介護保険法及び老人福祉法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：令和　元　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		高齢者福祉		
施策	4	高齢者福祉の推進		終期：～令和２年度
基本事業	1	生きがいと健康づくりの推進		

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	令和3年度～令和5年度を期間とした「第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定する。	事業内容（R2）	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定 ・ニーズ調査等の分析及び課題の把握 ・策定委員の委嘱、策定委員会の開催 ・サービス事業者等を対象とした意見交換会の開催 ・介護サービスの見込量（及び給付費）の推計作業及び第1号被保険者（65歳以上の高齢者）の介護保険料額の設定
実施方針	本市の地域特性を踏まえ、総合的な高齢者福祉施策の展開及び介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を図るため、第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	計画策定に向けた基礎調査実施数	—	2	0	—	—	回
	2	策定委員会開催回数	—	0	5	—	—	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	—	基礎調査の実施	策定	推進	推進	

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	—	①「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を委託により実施する。 ②「在宅介護実施調査」を実施する。	計画の策定	計画の推進	計画の推進

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	03	老人福祉費	
事業1	011	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定費	事業期間
事業2	01	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	4,133	0	4,133	—	—

事務事業名	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	保健・医療・福祉の各関係者や学識経験者、市民団体代表者、被保険者代表者等で構成される「鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会」を設置。計画策定にかかるニーズ調査の分析及び課題の把握、サービス事業者等を対象とした意見交換会を開催したほか介護サービス見込量（及び給付費）の推計作業、第1号被保険者（65歳以上の高齢者）の介護保険料額の設定などを行い鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	計画策定に向けた基礎調査実施数	2	4	—	—	—	回
	2	策定委員会開催回数	0	5	—	—	—	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	基礎調査の実施	策定	—	—	—	
		目標達成率(実績/目標)		—	—	—	—	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,090,000	0	3,601,273	0	3,601,273
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,090,000	0	3,601,273	0	3,601,273

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価	指標名	第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定		成果指標に対する所見	「第8期鳴門市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を計画どおり策定できた。
	目標	策定			
	実績	策定			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.55

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	担当部署	長寿介護課

総合計画体系			根拠法令計画など	介護保険法第115条の45
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始：平成　18　年度
(小項目)		社会保障		終期：未定
施策	10	介護保険制度の円滑な実施		
基本事業	4	介護予防事業の拡充・推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	高齢になっても一人ひとりの市民が地域において自立した日常生活が営めるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を実施し健康状態の維持・増進、介護予防に努める。	事業内容（R2）	①介護予防・生活支援サービス事業の推進 多職種連携による介護予防の取り組みを推進する。 ②効果的な介護予防事業の展開 住民主体の通いの場である「いきいきサロン」の開設及びサロン活動の活性化を支援する。
実施方針	①介護予防・生活支援サービス事業を推進する ②効果的な介護予防事業を展開する	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	介護予防教室参加者数	1,721	1,703	1,750	1750	1,750	人
	2	ボランティアポイント事業登録者数	101	96	100	100	100	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		要介護（要支援）認定率を20%以内にする	19.0	18.8	19.0	19.0	19.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設支援（56か所）や「いきいき百歳大交流大会」の開催、「いき百サポートリーダー」の養成	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいき先生のメニュー増加によるいきいきサロンの充実 ③テレビ広報によるいきいきサロンの普及啓発や開設支援（58か所） ④「中級リーダー」の養成	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設・運営支援の充実	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	14	介護保険事業特別会計	地域支援事業費（介護予防事業費） 国費25%、県12.5%、社会保険診療報酬支払基金27%、第1号被保険者保険料23%
款	04	地域支援事業費	
項	01	地域支援事業費	
目	01	地域支援事業費	
事業1			事業期間
事業2			

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	214,581	0	214,581	216,749	216,749

事務事業名	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①介護予防・日常生活支援総合事業の充実や普及啓発を行った。 ②市内に58か所のサロンが開設されており、すべてのサロンで「いきいき百歳体操」に取り組んだ。 ③いきいきサロンにおいて、「中級リーダー」の養成講座を実施し、28名の中級リーダーを養成した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	介護予防教室参加者数	1,634	1,492	1,750	1750	1,750	人
	2	ボランティアポイント事業登録者数	96	96	100	100	100	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		要介護（要支援）認定率を20%以内にする	18.8	18.8	19.0	19.0	19.0	%
		目標達成率(実績/目標)		101.1	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		195,718,065	0	178,990,283	0	178,990,283
	財源内訳	国庫支出金	63,764,000	0	82,696,400	0	82,696,400
		県支出金	27,947,500	0	26,747,125	0	26,747,125
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	76,057,565	0	42,799,758	0	42,799,758
		一般財源	27,949,000	0	26,747,000	0	26,747,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	要介護（要支援）認定率を20%以内にする		成果指標に対する所見	全体的な数値目標は達成できているが、より効果的な予防活動の実施、方法等について検討し事業を実施する必要がある。
	目標	19.0	%		
	実績	18.8	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、高齢者の外出機会の減少や活動量の低下、各事業の長期にわたる休止などにより、将来、高齢者の方々にフレイルの影響が出ることが懸念される。そのため、コロナ禍でも、感染予防に努めながら、介護予防の取り組みができるよう、支援していく必要がある。また、いきいきサロンの新規開設を推進するため、周知・啓発を継続する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	コロナ禍による事業への影響を最小限とするため、感染対策を徹底し事業を実施する。また、フレイル予防推進事業を新たに実施し、質問票によるフレイルチェックや体成分分析装置を用いて栄養・筋肉の分析を行い、改善が必要な方には専門職による個別相談等を実施する。そのほか、市民向け講演会の開催やフレイルの予防を推進するため、担い手となるフレイルトレーナーやフレイルサポーターの養成に取り組む。
	令和4年度	引き続き、介護予防事業に継続して取り組む。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.56

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)	担当部署	長寿介護課

総合計画体系			根拠法令計画など	介護保険法第115条の45
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 18 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		社会保障		
施策	10	介護保険制度の円滑な実施		
基本事業	5	包括的支援事業及び任意事業の推進	終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	高齢になり介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域において自立した生活を継続できるよう、多様な主体が様々なサービスやサポートを提供する「地域包括ケアシステム」の構築を図る。	事業内容（R2）	①地域包括支援センターの機能強化への支援 ②生活支援体制整備事業の推進 ③在宅医療・介護連携推進事業の推進 ④認知症施策の推進 ⑤地域ケア推進事業 ⑥権利擁護・成年後見制度の利用促進
実施方針	第7期高齢者保健福祉計画及び介護保健事業計画に基づき、医療関係者や介護サービス事業所、地域包括支援センター、行政など、各機関が連携し高齢者を支え合う仕組みづくりを推進する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ケアプラン・権利擁護等研修会の開催	5	8	8	8	8	回
	2	成年後見制度相談窓口相談件数	12	15	18	18	18	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		総合相談件数 （市の総合相談窓口＋地域包括支援センター）	1,694	1,348	1,500	1,500	1,500	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内3箇所の暮らしのサポートセンター開設に向けた支援 ②在宅医療・介護連携推進協議会の設置、あんしん連絡帳の作成・活用	①暮らしのサポートセンターでの生活支援サービス提供への支援 ②顔の見える関係会議の開催及び地域資源マップの更新・全戸配布 ③成年後見制度の啓発	①2層協議体への運営支援及び新たな協議体設置に向けた取り組みの推進 ②地域の医療・介護関係者の連携推進 ③SOSネットワーク協力者等の拡大に向けての制度の周知・啓発	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	14	介護保険事業特別会計	地域支援事業費（包括的支援事業及び任意事業） 国費38.5%、県19.25%、第1号被保険者保険料23%
款	04	地域支援事業費	
項	01	地域支援事業費	
目	01	地域支援事業費	
事業1	003	包括的支援事業及び任意事業費	事業期間
事業2			

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	132,924	0	132,924	135,878	135,878

事務事業名	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和2年度実施内容	①地域包括支援センターの機能強化にかかる支援を行った。 ②生活支援コーディネーターを中心に、有償ボランティア(暮らしのサポーター)による生活支援の仕組みを構築し、各暮らしのサポートセンターにて生活支援サービスを開始した。また、インフォーマルサービスにかかる一覧を作成した。 ③在宅医療・介護連携推進事業を推進するため、推進協議会や多職種研修会などを開催した。 ④認知症地域支援推進員と連携し、認知症サポーターステップアップ講座として、屋外にて認知症高齢者への声掛け訓練を実施し、チームオレンジの立ち上げを支援した。 ⑤高齢者の抱える様々な問題の解決に向け、関係者等が対策を検討を行う地域ケア推進会議を開催した。 ⑥成年後見制度の利用促進を図るため、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職との情報交換会を実施し、第8期計画に利用促進を位置づけた。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ケアプラン・権利擁護等研修会の開催	5	5	8	8	8	回
	2	成年後見制度相談窓口相談件数	12	15	18	18	18	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		総合相談件数 (市の総合相談窓口＋地域包括支援センター)	1,325	1,798	1,500	1,500	1,500	件
		目標達成率(実績/目標)		119.9	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		118,797,871	0	116,712,334	0	116,712,334
	財源内訳	国庫支出金	56,616,335	0	51,129,540	0	51,129,540
		県支出金	25,308,167	0	25,564,770	0	25,564,770
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	11,913,369	0	14,454,024	0	14,454,024
		一般財源	24,960,000	0	25,564,000	0	25,564,000

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	総合相談件数 (市の総合相談窓口＋地域包括支援センター)		高齢者等の問題解決につながるよう、市相談窓口や地域包括支援センターの周知を行った。数値目標は達成することができたが、今後も周知を継続していく。
	目標	1,500	件	
	実績	1,798	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題		生活支援体制整備事業では、暮らしのサポーターによる生活支援サービスを開始したものの利用希望者とサービスのマッチングが課題となっているため、活動に対する継続的な支援が必要である。また、令和2年度に作成したインフォーマルサービス一覧が活用されるよう、事業者と地域の支援者を繋ぐ役割が必要とされる。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□4.現状維持(新型コロナ)　□ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和3年度	各暮らしのサポートセンターにおける生活支援サービスの充実を図るため、担い手の養成や活動の周知啓発等の支援を行うとともに、インフォーマルサービス事業者や地域の支援者との連携を通じて生活支援のニーズ把握、資源開発につなげる。
	令和4年度	引き続き、生活支援体制の整備などに継続して取り組む。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.57

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害時要援護者避難支援登録制度推進事業	担当部署	長寿介護課・社会福祉課

総合計画体系			根拠法令計画など	災害対策基本法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適　住み良い　まちづくり		
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間 開始	平成　24　年度
(小項目)		危機管理・防災		
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進	終期	未定
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	自ら避難することが困難な者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難行動要支援者の把握に努める。また、支援を希望する要援護者の個別支援計画を作成するなど、避難支援者及び地域支援機関と連携し避難行動時の支援体制づくりを推進する。	事業内容（R2）	①避難行動要支援者名簿の作成及び更新 年2回の名簿作成及び随時の異動に伴う追加や削除等を行う。 ②個別支援計画の作成及び更新 新規対象者に対し、制度の案内及び申請書を送付し、個別支援計画の作成を行うとともに更新作業を行う。 ③避難支援体制の整備
実施方針	①避難行動要支援者名簿の作成及び更新を行う ②災害時要援護者避難支援計画（個別支援計画）の作成及び更新を行う ③避難支援体制の整備を推進する	当初からの変更点	

指標名			平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	申請者数	3,158	2,951	3,000	3,050	3,100	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		個別支援計画作成件数	2,408	2,410	2,450	2,500	2,550	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②新システムの導入に伴い登録内容の整理 ③制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②地域支援機関（各民生委員）における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の作成・更新 ②避難支援体制の整備	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	02	総務費	
項	01	総務管理費	
目	01	一般管理費	
事業1	012	防災事業費	事業期間　単年度繰り返し
事業2	01	防災事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,593	0	1,593	1,540	1,540

事務事業名	災害時要援護者避難支援登録制度推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	要援護者登録、個別支援計画の作成及び更新を行うとともに、制度の理解を深めていただき、必要とされている方が申請しやすい環境整備を行い、広報等で市民啓発等を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	申請者数	2,882	2,726	3,050	3,100	3,150	人
	2	広報などによる制度の仕組みについての周知	1	1	1	1	1	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		個別支援計画作成件数	2,372	2,268	2,470	2,520	2,570	件
		目標達成率(実績/目標)		92.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,363,643	0	1,514,396	0	1,514,396
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,363,643	0	1,514,396	0	1,514,396

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	個別支援計画作成件数	
	目標	2,450	件
	実績	2,268	件
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	個別支援計画作成件数は目標には届かなかったが、対象者通知・個別支援計画作成、支援機関への情報提供など、予定していた事務については、計画どおり実施できた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①避難行動要支援者名簿に登載する者の範囲の適正化 ②避難支援者確保の推進 ③要支援者と避難支援等関係者の連携による防災訓練等の実施 ④登録された個別支援計画の内容の更新

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	令和3年5月に災害対策基本法が改正されたことを受け、改定された「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」に基づき、実情に応じた避難行動要支援者の登録や個別避難計画の作成及び更新に取り組む。また、広報等により市民等へ制度の理解を深めていただくため周知や啓発を引き続き行う。
	令和4年度	同上

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.58

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権啓発推進事業	担当部署	人権推進課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		鳴門市人権条例 鳴門パートナーシッププランⅡ（セカンド）ステージ
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始：平成　6　年度
（小項目）		人権		
施策	1	人権の尊重		終期：未定
基本事業	1	人権行政の推進		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「人権」に関して理解と認識を進めることで、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、誰もが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。	事業内容（R2）	①人権セミナー（計3回） ②人権の花運動 ③人権スポーツ事業
実施方針	国の人権啓発活動地方委託金を活用し、人権の花運動、人権セミナー、人権スポーツ事業等、各種人権啓発事業を実施する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー開催回数	3	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		人権セミナーへの参加者数	204	210	210	210	210	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③ふれあい人権スポーツ教室の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	人権啓発活動地方委託事業（10／10）
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	05	人権推進費	
事業1	002	人権推進費	事業期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業2	01	人権推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	337	0	337	2,657	2,657

事務事業名	人権啓発推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①インターネット上での人権侵害をテーマとして人権セミナーを開催した。当初は3回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回のみの開催とし、令和元年度にDVをテーマとして開催した人権セミナーをテレビで放送した。 ②人権の花運動は、対象となる大麻中学校区の堀江北小学校・堀江南小学校・板東小学校で実施した。 ③総合型地域スポーツクラブと連携して、板東小学校の児童を対象とした人権スポーツ事業を実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー開催回数	3	1	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		人権セミナーへの参加者数	210	33	210	140	140	人
		目標達成率(実績/目標)		15.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		279,808	0	225,540	0	225,540
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	275,000	0	224,000	0	224,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,808	0	1,540	0	1,540

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数	成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権セミナーの開催を1回のみとした。開催回数の減少に伴い、参加者数も減少したことから目標を達成することはできなかった。
	目標	210 人		
	実績	33 人		
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。また、人権セミナーによる啓発だけでなく、さまざまな人権啓発活動を総合的に行うため、新規事業の実施をめざす。 引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し継続実施できるよう、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図る。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し、現在注目されている人権課題をテーマに人権セミナーを開催するとともに、より多くの市民が参加できるように総合的な人権啓発活動として、人権フェスティバルの開催をめざす。 各種関係団体等と連携して、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、市民等への啓発活動の充実を図る。
	令和4年度	人権セミナー・人権スポーツ事業・人権フェスティバル等を開催し、人権啓発に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.59

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	男女共同参画推進事業	担当部署	人権推進課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市男女共同参画推進条例 第2次鳴門市男女行動計画（鳴門パートナーシッププランセカンドステージ）
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始：平成　13　年度
（小項目）		男女共同参画		
施策	2	男女共同参画社会の実現		終期：未定
基本事業	2	あらゆる分野での男女共同参画の実践		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	性別によらず、男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、多様性に富んだ豊かで活力ある社会の実現をめざす。	事業内容（R2）	①第2次鳴門市男女行動計画（鳴門パートナーシッププランセカンドステージ）の計画期間が令和2年度末までであるため、第3次鳴門市男女行動計画を策定する。 ②男女共同参画推進条例の説明パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し、男女共同参画の周知啓発を行う。 ③さらに活用しやすい女性人材バンクとするため、人材の登録や更新等について見直しを図る。
実施方針	①鳴門市男女行動計画に基づき、男女共同参画社会づくりに向けた取組を実施する。 ②条例パンフレットや市公式ウェブサイトを活用し、男女共同参画の周知啓発を図る。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	男女共同参画社会づくりのための周知啓発	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定に向けた市民意識調査の実施	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定 ③女性人材バンクの充実と活用	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画に基づく取り組みの実施 ③女性人材バンクの充実と活用	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	05	人権推進費	
事業1	004	男女共同参画推進費	事業期間
事業2	01	男女共同参画推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,865	0	3,865	334	334

事務事業名	男女共同参画推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①第3次鳴門市男女行動計画（鳴門パートナーシッププランサードステージ）を策定した。 ②男女共同参画推進条例の説明パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し、男女共同参画の周知啓発を行った。 ③女性人材バンクの周知に努め、鳴門商工会議所の協力により、会報送付時にチラシを同封してもらうなど、関係各機関に登録者募集を行った。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		条例・計画の周知啓発	10	10	10	10	10	回
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,433,988	0	3,463,994	0	3,463,994
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,433,988	0	3,463,994	0	3,463,994

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	条例・計画の周知啓発	成果指標に対する所見	人権セミナーをはじめ、鳴門市立図書館や市公式ウェブサイト等で広く市民に条例パンフレットの周知啓発を行った。また、小学校6年生を対象に子ども用パンフレットを配布し、若年層の意識啓発を行った。
	目標	10 回		
	実績	10 回		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発、鳴門市男女行動計画による施策を推進することで、性別的役割分担意識をなくし、地域生活や職場において差別なく活躍できる社会の実現をめざす。特に、審議会や管理職の女性登用率を推進することで、意思決定の場での女性の活躍を図る。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。 女性人材バンクの登録や活用について周知啓発を行い、女性の審議会等への登用を促進する。
	令和4年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.60

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	女性子ども支援事業	担当部署	人権推進課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると
(小項目)		男女共同参画
施策	2	男女共同参画社会の実現
基本事業	3	女性に対する暴力の防止・被害者支援の充実

根拠法令計画など	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、鳴門市男女共同参画推進条例、鳴門パートナーシッププランⅡ（セカンド）ステージ、児童福祉法、児童虐待防止法
事業期間 開始	平成　13　年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	DVおよび児童虐待問題について、問題の発生予防から被害者救済に至るまでの支援体制を確立することで安心・充実した市民生活を送れる社会の実現をめざす。
実施方針	①女性子ども支援センター「ぱぁとなー」におけるDV被害者支援および児童虐待対応の充実を図る。 ②DV及び児童虐待防止に関する周知啓発を行う。
事業内容（R2）	①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行う。 ②公認心理師によるカウンセリングを実施する。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行う。 ④関係機関と連携し、ケース会議等を通じて必要に応じた情報を共有する。 ⑤DVおよび児童虐待問題について、意識啓発や相談先の周知を図るためパンフレットを市内の協力事業所に設置する。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	協力事業者等数	30	35	40	45	50	件
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	協力事業者等数	30	35	40	45	50	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	継続	継続

◎積算基礎

予算				
会計	01	一般会計	01	一般会計
款	03	民生費	03	民生費
項	01	社会福祉費	02	児童福祉費
目	05	人権推進費	01	児童福祉総務費
事業1	003	女性政策推進費	010	児童虐待防止推進事業費
事業2	01	女性政策推進費	01	児童虐待防止推進事業費

補助制度（名称、補助率など）

児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金
・DV対策等総合支援事業費補助金（補助率5/10）
・児童虐待防止対策支援事業費補助金（補助率5/10）

事業期間

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,997	0	1,997	13,571	13,571

事務事業名	女性子ども支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行った。 ②相談員との面談を通じて必要と判断された場合に、公認心理師によるカウンセリングを実施した。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行った。 ④関係機関と連携し、ケース会議等を通じて必要に応じた情報を共有した。 ⑤女性子ども支援センター「ぱぁとなー」の情報パンフレットの設置依頼について、商工会議所を通じて協力事業者の募集を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	協力事業者等数	47	52	55	60	65	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		協力事業者等数	47	52	55	60	65	件
		目標達成率(実績/目標)		130.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,319,773	0	1,441,507	0	1,441,507
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	75,000	0	68,000	0	68,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	68,000	0	200,000	0	200,000
		一般財源	1,176,773	0	1,173,507	0	1,173,507

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	協力事業者等数		今年度は商工会議所を通じて情報パンフレット設置の協力依頼を行い、センターの周知に努めた。
	目標	40	件	
	実績	52	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	DV及び児童虐待の未然防止・早期発見のために、協力事業所へのパンフレットの設置を進めるなど啓発活動に努めるとともに、被害者を発見したときには、速やかに関係機関で協議し、早期対応を図る。 DV被害者支援について広域的な対応を図るため、鳴門パートナーシップDV対策会議を通じて、県や藍住町、阿南市、その他関係団体との連携を強化する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。 DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。
	令和4年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。 DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.61

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権文化祭開催事業	担当部署	人権福祉センター

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：昭和 49 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		
(小項目)		人権		
施策	1	人権の尊重		
基本事業	1	人権行政の推進		終期：未定

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	保育所・認定子ども園・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等に人権問題の存在とその解消に向けた取組や人権尊重の大切さを訴えていくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。	事業内容（R2）	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会
実施方針	①鳴門市人権文化祭を開催 ②小学生児童を対象にした同和カルタ大会を開催 ③少子化に伴う展示作品数の減少が懸念されることから、社会福祉法人からの作品展示への参加について協力を継続要請するとともに、パワーポイントによる取組パネル作成と投影など負担軽減策を試行しながら、展示の維持と内容充実に努める。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数	1,528	1,957	2,200	2200	2,200	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	107	130	170	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		人権文化祭来場者数	4,240	4,817	5,000	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	継続	継続

◎積算基礎

予算						補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	01	一般会計	01	一般会計
款	03	民生費	03	民生費	03	民生費
項	01	社会福祉費	01	社会福祉費	01	社会福祉費
目	06	人権福祉センター費	06	人権福祉センター費	06	人権福祉センター費
事業1	002	人権福祉センター管理運営費	003	川崎会館管理運営費	004	立岩集会所管理運営費
事業2	01	人権福祉センター管理運営費	01	川崎会館管理運営費	01	立岩集会所管理運営費

隣保館運営等事業費補助金（3／4）

事業期間：平成14年4月～

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,273	0	1,273	1,277	1,277

事務事業名	人権文化祭開催事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第47回鳴門市人権文化祭を開催し、人権に関する作品等の展示や部落解放同盟徳島県連合会執行委員長を講師に招き、記念講演会を行った。作品展示については、新型コロナウイルス感染防止策として小学校、中学校、高等学校が休校措置により授業数が減少したことに伴い、履修状況に応じた出品数としたこと、記念講演会についても、入場制限を設けたことから、それぞれ前年度と比較して減少することとなった。また、毎年好評であった小学生児童を対象にした同和カルタ大会は中止としたが、人権劇についてはDVDによる上映にするなど工夫を講じた。また、取組パネルの作成については、外注により拡大印刷を行うなど、関係機関の負担軽減を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数	1,957	1,688	2,200	2200	2,200	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	130	80	170	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		人権文化祭来場者数	4,817	3,339	5000	5000	5000	人
		目標達成率(実績/目標)		66.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		915,835	0	673,162	0	673,162
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	321,000	0	468,000	0	468,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	594,835	0	205,162	0	205,162

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数	
	目標	5,000	人
	実績	3,339	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症対策により、一部事業の中止や入場制限を設けるなどしたため、来場者数は目標値を達成できなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成28年12月に部落差別解消推進法が施行され、行政の責務が明確にされる中、差別落書きやインターネットへの悪質な書き込みなどさまざまな人権侵害の事象が発生しており、多様化する人権問題の解消に向けて、今後も人権文化祭開催事業を継続し、市民の人権意識の普及・高揚を図る必要がある。 隣保館デイサービス事業の実施など、市民の社会福祉の向上や人権問題の解決を図るための拠点施設として、また、地域に密着したコミュニティーセンターとしての役割を推進しつつ、市民全体に開かれた人権文化祭の運営形態が求められている。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	少子化の進展による教育施設の統廃合などを起因として、出品作品数は減少傾向にあることから、新たな出品者を模索し、展示作品の充実を図る。
	令和4年度	より一層の人権意識の普及・高揚に努めるとともに、さまざまな媒体を活用して認知度を向上させるほか、参加型イベントの企画をするなど、新たな事業の検討を行い、来場者数の増加を図る。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.62

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域生活支援事業	担当部署	社会福祉課

総合計画体系			根拠法令計画など	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため法律
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 18 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		障がい者福祉		
施策	5	障がい者福祉の推進		終期：未定
基本事業	1	社会参加の促進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	日常生活に関する相談や、社会参加のための支援など、障がい者（児）を対象とした障がい福祉サービスの充実を図ることにより、地域社会における共生の実現をめざす。	事業内容（R2）	①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援、声の広報等発行等。
実施方針	①必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。 ②任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		委託相談支援事業所（3カ所）相談件数	8,803	9,000	9,000	9,000	9,000	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	地域生活支援事業（平成18年度から実施）	地域生活支援事業（平成18年度から実施）	地域生活支援事業（平成18年度から実施）	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	地域生活支援事業費等補助金（補助率、国1／2、県1／4。ただし、国の交付基準に従い国の予算の範囲内。）
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	02	社会福祉費	
事業1	006	地域生活支援事業費	事業期間
事業2			

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	88,996	0	88,996	92,123	92,123

事務事業名	地域生活支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援、訪問入浴サービス、声の広報制作事業等。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		委託相談支援事業所（3カ所）相談件数	7,789	8,238	8,000	8,000	8,000	件
		目標達成率(実績/目標)		91.5	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		65,512,889	0	79,612,493	0	79,612,493
	財源内訳	国庫支出金	14,032,000	0	13,715,000	0	13,715,000
		県支出金	7,624,000	0	6,841,000	0	6,841,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	3,903,000	0	3,903,000
		一般財源	43,856,889	0	55,153,493	0	55,153,493

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	委託相談支援事業所（3カ所）相談件数		成果指標に対する所見	相談件数は成果目標に達していないが、新型コロナウイルス感染症拡大の中、大きな混乱もなく、相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。
	目標	9,000	件		
	実績	8,238	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	○ 共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。 ○ 困難事例も含めた多様な相談に対応できる相談支援体制の構築が必要。 ○基幹相談支援センターを中心とした 地域生活支援拠点の機能の強化が必要。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	現在実施している事業を継続実施していくとともに、基幹相談支援センターを中心に障がい者への相談支援体制を強化を図る。 また、障がい者への理解促進に向けた研修等を実施する。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.63

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	基幹相談支援センター設置・業務委託	担当部署	社会福祉課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため法律	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	令和　2　年度
（小項目）		障がい者福祉			
施策	5	障がい者福祉の推進		終期	未定
基本事業	1	社会参加の促進			

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	障がい者の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え、重層的な障がい者相談支援体制を整えることで、障がい者やその家族が地域で安心して生活できることをめざす。	事業内容（R2）	①基幹相談支援センターを1か所設置し、業務を委託する。
実施方針	地域の障がい者相談支援の拠点として、総合的な相談業務を実施する基幹相談支援センターを設置する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		基幹相談支援センター　設置箇所	0	0	1	1	1	箇所

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	—	—	実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	交付税措置の事業であるが、一部、地域生活支援事業費等補助金（補助率、国1／2、県1／4。ただし、国の交付基準に従い国の予算の範囲内。）の対象。
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	02	社会福祉費	
事業1	006	地域生活支援事業費	事業期間
事業2	01	相談支援事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	10,000	0	10,000	—	—

事務事業名	基幹相談支援センター設置・業務委託

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	令和2年11月に鳴門市基幹相談支援センターを設置し、次の業務を遂行した。 【職員体制】 専門職員（常勤・専従）2名以上、事務職員（常勤）1名を配置した。 【運営時間】 窓口の開設日及び時間　開設日：月～金曜日　時間：午前8時30分から午後5時

			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		基幹相談支援センター　設置箇所	—	1	—	—	—	箇所
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		－	0	9,558,857	0	9,558,857
	財源内訳	国庫支出金	－	0	0	0	0
		県支出金	－	0	0	0	0
		地方債	－	0	0	0	0
		使用料・手数料	－	0	0	0	0
		その他	－	0	0	0	0
		一般財源	－	0	9,558,857	0	9,558,857

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価	指標名	基幹相談支援センター　設置箇所		成果指標に対する所見	令和2年11月1日に、鳴門市基幹相談支援センターを設置した。
	目標	1	箇所		
	実績	1	箇所		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□　1.廃止	□　2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□　5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.64

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業	担当部署	社会福祉課

総合計画体系			根拠法令計画など	障害者基本法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため法律、児童福祉法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：令和 2 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		障がい者福祉		
施策	5	障がい者福祉の推進		
基本事業	2	福祉サービスの充実		終期：

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①障害福祉サービスの提供体制の確保、その他障害者総合支援法に基づく業務の円滑な実施を図る。 ②障がい児への福祉サービスの提供体制の確保、その他障害者総合支援法・児童福祉法に基づく業務の円滑な実施を図る。	事業内容（R2）	計画策定・評価委員会を開催（3回）し、令和2年度末までに「第6期鳴門市障害福祉計画」「第2期鳴門市障害児福祉計画」を策定する。
実施方針	①障害福祉サービスの提供体制の確保、その他障害者総合支援法に基づく業務の円滑な実施を図るため、「第6期鳴門市障害福祉計画」を策定する。 ②障がい児への福祉サービスの提供体制の確保、その他障害者総合支援法・児童福祉法に基づく業務の円滑な実施を図るため、「第2期鳴門市障害児福祉計画」を策定する。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	「第6期鳴門市障害福祉計画」「第2期鳴門市障害児福祉計画」策定	—	—	策定	推進	推進	

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	—	—	計画の策定	計画の推進	計画の推進

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	02	社会福祉費	
事業1	015	障害者計画策定費	事業期間
事業2	01	障害者計画策定費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,944	0	3,944	—	—

事務事業名	障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	○ 計画策定・評価委員会を8月、11月及び2月に開催した。 ○ 当事者・支援者等に対し、ヒアリング調査を実施した。 ○ 市内障がい者支援施設（事業所）に対しアンケート調査を実施した。 ○ 令和3年3月に計画を策定した。 ○ 計画本編冊子及び概要版を作成した。

			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		「第6期鳴門市障害福祉計画」「第2期鳴門市障害児福祉計画」策定	—	策定	—	—	—	
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		－	0	3,520,359	0	3,520,359
	財源内訳	国庫支出金	－	0	0	0	0
		県支出金	－	0	0	0	0
		地方債	－	0	0	0	0
		使用料・手数料	－	0	0	0	0
		その他	－	0	0	0	0
		一般財源	－	0	3,520,359	0	3,520,359

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価	指標名	「第6期鳴門市障害福祉計画」「第2期鳴門市障害児福祉計画」策定		成果指標に対する所見	令和3年3月に、第6期鳴門市障がい福祉計画・第2期鳴門市障がい児福祉計画を策定した。
	目標	策定			
	実績	策定			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.65

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	心身障害者等無料バス優待事業	担当部署	社会福祉課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：昭和 48 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		
(小項目)		障がい者福祉		
施策	5	障がい者福祉の推進		
基本事業	2	福祉サービスの充実		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	障がい者に対して無料バス優待券を交付することにより、外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることを目的とする。	事業内容（R2）	1. 障がい者の移動手段の確保 【対象者】 ①身体障害者手帳の1級から4級の交付を受けている者 ②療育手帳の交付を受けている者 ③精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている者 ④上記①～③に該当し、かつ介護を要する者の介護人 2. 窓口において、手帳交付時に情報提供を行い、利用促進を図る。
実施方針	①障がい者の移動手段を確保する ②事業の周知啓発を図る	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		鳴門市高齢者等無料バス券申請件数（障がい者対象分）	89	90	90	90	90	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	無料バス優待券交付（昭和48年度から実施）	無料バス優待券交付（昭和48年度から実施）	無料バス優待券交付（昭和48年度から実施）	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	02	社会福祉費	
事業1	012	心身障害者等無料バス優待事業費	事業期間
事業2	01	心身障害者等無料バス優待事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,677	0	1,677	1,677	1,677

事務事業名	心身障害者等無料バス優待事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	事業対象者となる障がい者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障がい者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供し、申請を促した。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数（障がい者対象分）		88	48	90	90	90	件
	目標達成率(実績/目標)			53.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,671,642	0	1,337,331	0	1,337,331
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,671,642	0	1,337,331	0	1,337,331

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券申請件数（障がい者対象分）		成果指標に対する所見	障がい者手帳交付時や、障がい者手帳所持者から相談があった際に制度の案内を行っており、希望する方について申請につながっている。 申請者の減少については、新型コロナウイルス感染症拡大も影響していると考えられる。
	目標	90	件		
	実績	48	件		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	路線変更など、バス運行状況の変化が利便性に影響を及ぼす可能性があるが、移動手段としてバスを必要とする方が利用できるよう、無料バス優待制度の案内・周知を行う。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	障がい者の外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることで、障がい者が地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、事業対象者となる障害者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障害者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供するなど、利用促進に向けた取り組みを引き続き実施する。
	令和4年度	継続

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.66

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	生活困窮者自立支援事業	担当部署	社会福祉課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると
（小項目）		低所得者福祉
施策	6	低所得者福祉の推進
基本事業	2	低所得者福祉の充実

根拠法令計画など	生活困窮者自立支援法	
事業期間	開始	平成　27　年度
	終期	未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	子どもの学習・生活支援事業を実施し、子どもたちの学力向上に加え、社会性や自立心を育むことにより、「貧困の連鎖」を防止する。また、努力義務化された任意事業を実施し、支援体制の強化を図る。
実施方針	①子どもの学習・生活支援事業の実施 【対象者】市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 ・生活保護受給世帯・ひとり親世帯のうち非課税世帯 ・自立相談支援センターへの相談者が属する世帯 ・児童扶養手当受給世帯・児童養護施設入所者世帯 ・就学援助受給世帯・その他市長が認める世帯 ②就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施
事業内容（R2）	①子どもの学習・生活支援事業の実施 ・引き続き、徳島県労働者福祉協議会に委託して事業を実施する。 ・生活保護受給世帯への制度周知に加え、児童扶養手当、就学援助それぞれの受給世帯へ案内状を送付する。 ・制度への申請があった場合、対象世帯の要件を満たしているか確認を行い、承認（不承認）通知書を作成、送付する。 ②就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施 ・自立相談支援事業の委託先である徳島県労働者福祉協議会に委託し、3事業を一体的に実施する。
当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、生活困窮者自立支援法施行規則が一部改正（令和2年4月20日施行）され、住居確保給付金の支給対象が拡大された。これに対応するため、令和2年度5月補正予算にて、7,273,000円を計上した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		学習支援事業参加人数	18	30	30	30	30	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認（不承認）通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認（不承認）通知の作成、送付	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認（不承認）通知の作成、送付	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	03	民生費
項	01	社会福祉費
目	02	社会福祉費
事業1	014	生活困窮者自立支援事業
事業2	01	生活困窮者自立支援事業

補助制度（名称、補助率など）

生活困窮者就労準備支援事業費等補助金
・子どもの学習・生活支援事業－補助率1／2
・就労準備支援事業、家計改善支援事業－補助率2／3
※自立相談支援事業、住居確保給付金は国庫負担金（負担率3／4）

事業期間

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	32,853	7,273	40,126	39,028	39,028

事務事業名	生活困窮者自立支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①子どもの学習・生活支援事業の実施 ②就労準備支援事業、家計改善支援事業の実施（自立相談支援事業との一体的実施） ③住居確保給付金の支給（新型コロナウイルス感染症等の影響により、支給対象が拡大）

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		学習支援事業参加人数	29	18	30	30	30	人
		目標達成率(実績/目標)		60.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		19,257,604	0	35,363,275	0	35,363,275
	財源内訳	国庫支出金	12,500,000	0	23,575,228	0	23,575,228
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,757,604	0	11,788,047	0	11,788,047

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	学習支援事業参加人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症に影響により、公民館等が休館したため、事業を一時休止していた期間があったため、参加人数自体は昨年度から減少したものの、一定の需要はあった。
	目標	30	人		
	実績	18	人		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に見舞われたが、学習支援事業には一昨年と同等の参加があり、事業の浸透がある程度図られていると思われるため、今後も継続して事業を実施していく。また、新型コロナウイルス感染書の影響により、生活困窮者の相談自体が増加、多様化しているため、「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施や、「住居確保給付金」の支給により、対応していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	子どもいきいき課、学校教育課の協力の下、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯に対して案内通知を発送する。加えて、生活保護受給世帯の内今年度中学校に入学した子どもがいる世帯や新規申請世帯に対しても、9月、3月に案内通知を発送すると同時に、担当ケースワーカーから積極的な働きかけを行う。 「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」を一体的に実施する。
	令和4年度	令和3年度の実施状況に応じて、事業の継続と課題に対する改善策を検討していく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.67

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どものまち推進事業	担当部署	子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市子どものまちづくり推進協議会活動費補助金交付要綱 鳴門市子ども・子育て支援事業計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始：平成　13　年度
（小項目）		子どものまち		
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援		
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市子どものまちづくり推進協議会を通して、子ども関係グループ・団体及び関係機関が相互連携を図りながら、子どもたちの主体的な活動を支援し、子どもが主役の「子どものまちづくり」を推進する。	事業内容（R2）	①子どものまちフェスティバルの開催 ②ホリデーフリーバス事業の推進 ③子どものまちづくり指導者養成講座の実施
実施方針	①第18回子どものまちフェスティバル ②ホリデーフリーバス事業 ③子どものまちづくり指導者養成講座	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体（市・市教委を除く）	66	68	68	68	68	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	15,000	15,000	10,000	10,000	10,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		子どものまちフェスティバル参加者数	15,000	6,000	10,000	10,000	10,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①子どものまちフェスティバル ②なると再発見子どもバス ③ホリデーフリーバス事業 ④子どものまちづくり指導者養成講座	①子どものまちフェスティバル ②ホリデーフリーバス事業 ③子どものまちづくり指導者養成講座	①子どものまちフェスティバル ②ホリデーフリーバス事業 ③子どものまちづくり指導者養成講座	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	02	児童福祉費	
目	01	児童福祉総務費	
事業1	007	子どものまち推進事業費	事業期間
事業2	01	子どものまち推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	240	0	240	240	240

事務事業名	子どものまち推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	毎年子どものまちづくり推進協議会の主催で開催している子どものまちフェスティバルについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催の際には適切な感染防止対策を講ずることが求められたことから、関係者と開催に向けての協議を行った。その結果、イベントの性格上感染防止対策を徹底することが困難と判断、参加者及び関係者の安全を考慮し、中止とした。 子どものまちづくり推進協議会のもう1つのイベントである、子どものまちづくり指導者養成講座については、参加者の特定が可能なこと、参加人数も少ないイベントであることから、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、3月21日（日）に開催、20名が参加した。 子どもホリデーフリーバスパスポートについては、延べ57件の利用があった。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体 （市・市教委を除く）	66	66	66	66	66	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	6,000	0	5,000	5,000	5,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		子どものまちフェスティバル参加者数	6,000	0	5,000	5,000	5,000	人
		目標達成率(実績/目標)		0.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		264,800	0	22,800	0	22,800
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	264,800	0	22,800	0	22,800

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	子どものまちフェスティバル参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の安全を考慮し中止としたため。
	目標	10,000	人		
	実績	0	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今年度の子どものまちフェスティバルは従来どおり会場をウチノ海公園とし、鳴門のまつりとの同時開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちの安全を確保できず中止せざるを得なかった。次年度以降、開催を検討する際には、感染予防対策に加え、密の回避、参加者の人数制限や把握ができるかどうかを協議する必要がある。従来どおりの開催は難しいため、どうすれば安心安全に子どもたちへの主体的な体験活動を提供できるか、参加団体や関係機関の意見を聞き、十分に検討を行っていく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえたイベントの開催について、関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ることができるよう、検討していく。
	令和4年度	継続して実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.68

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後児童健全育成事業	担当部署	子どもいきいき課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると
（小項目）		児童福祉
施策	2	児童福祉の推進
基本事業	1	子どもの健やかな成長支援

根拠法令計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
事業期間 開始	平成　14　年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①放課後児童の安全・安心な居場所の確保 ②放課後児童の健全育成 ③子育て家庭の仕事と家庭の両立支援
実施方針	①昼間保護者のいない家庭の児童に放課後、学校の余裕教室等を活用し、遊びや生活の場を提供する。 ②学校及び教育委員会と協議・連携し、利用者のニーズに沿った提供体制を整備する。
事業内容（R2）	①事業運営 地域住民等で組織される運営委員会に委託を行い、昼間保護者のいない家庭の児童に放課後の安全・安心な居場所を提供する。 ②施設整備 利用希望者が増加している木津児童クラブ及び撫養児童クラブの施設改善を実施する。 ③利用料免除 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、低所得世帯及び多子世帯の利用児童の利用料を免除する。
当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響で小学校が臨時休業となったことを受け、昼間保護者が家庭にいない小学生の安心な居場所を確保するため、児童クラブの開所時間を延長し、午前中から児童の受入れを行った。また、利用自粛要請に応じていただいた家庭については利用料の減免を行った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童クラブ（支援の単位）数	17	18	19	19	19	クラス
	2	利用料免除延べ児童数	1,132	1477	1,500	1,500	1,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		児童クラブ平均登録児童数	634	635	650	650	650	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①事業運営 ②林崎・桑島児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	①事業運営 ②木津・撫養児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	①事業運営 ②木津・撫養児童クラブの受け入れ体制拡充 ③利用料免除事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	子ども・子育て支援交付金（国1／3） 徳島県放課後児童健全育成事業費補助金（県1／3） 子ども・子育て新制度推進交付金（県1／2） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	03	民生費	
項	02	児童福祉費	
目	02	保育運営費	
事業1	010	放課後児童健全育成事業費	事業期間
事業2	01.02	活動費．管理費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	140,380	3,864	144,244	147,026	147,026

事務事業名	放課後児童健全育成事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和2年度実施内容	地域の児童クラブ運営委員会に事業を委託し、放課後児童の安全と健全な育成を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響による小学校の臨時休業期間においては、午前中から開所を行い、子育て家庭の仕事と子育ての両立を支援し続けた。また、自宅での保育に協力をいただけた児童の世帯に対し、利用料の軽減を行った。 利用ニーズが増加する木津児童クラブ及び撫養児童クラブについては、新たに余裕教室を1教室ずつ追加で活用することで、受入れの拡充を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童クラブ(支援の単位)数	18	19	19	19	19	クラス
	2	利用料免除延べ児童数	1,350	1,290	1,500	1,500	1,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		児童クラブ平均登録児童数	651	598	650	650	650	人
		目標達成率(実績/目標)		92.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		140,142,419	0	144,243,999	0	144,243,999
	財源内訳	国庫支出金	47,409,200	0	51,919,000	0	51,919,000
		県支出金	41,322,000	0	48,600,000	0	48,600,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	51,411,219	0	43,724,999	0	43,724,999

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	児童クラブ平均登録児童数		利用ニーズが増加するクラブについて、受入れ児童数の拡充に取り組んだ。 また、小学校の臨時休業が長期化する中児童クラブ運営委員会の協力のもと、児童の受入れを継続して行った。
	目標	650	人	
	実績	598	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	小学校高学年の受入れができていないクラブについて、徐々に解消に取り組んでいるが、受入れができていないクラブが依然として残っている。今後の児童数の推移を勘案しながら児童クラブ運営委員会、教育委員会及び小学校と協議のうえ受け入れ体制を整える。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	継続して事業に取り組む。
	令和4年度	継続して事業に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.69

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）	担当部署	子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など	子ども・子育て支援法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 22 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると		
(小項目)		児童福祉		
施策	2	児童福祉の推進		
基本事業	3	子育て家庭への支援		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①子育て家庭の負担感の軽減 ②子育て家庭の不安感の軽減 ③児童の健全育成の支援
実施方針	①ひろばの実施 ②出張ひろばの実施 ③おめでとう赤ちゃん訪問事業の実施 ④にこにこマタニティ事業の実施 ⑤赤ちゃん授業の実施
事業内容（R2）	①ひろば・出張ひろばの実施 在宅で子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供する。 ②訪問事業の実施 生後4か月の子どものいる家庭を訪問し、子育てに関する相談や、子育て支援サービスの案内を行う。 ③マタニティ事業の実施 妊婦及びその家族の相談に応じ、子育てのアドバイスを行う。 ④赤ちゃん授業の実施 小学生等に赤ちゃん授業を実施し、自己肯定感等を育む。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数	297	300	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数	312	330	330	330	330	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		ひろば・出張ひろば参加親子数	5,316	5,300	5,300	5,300	5,300	組

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④実施場所移転	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	子ども・子育て支援交付金（国1／3） 子ども・子育て支援事業補助金（県1／3）
款	03	民生費	
項	02	児童福祉費	
目	02	保育運営費	
事業1	003	地域子育て支援センター事業費	事業期間
事業2	01	地域子育て支援センター事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	14,542	0	14,542	14,542	14,542

事務事業名	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	「にこにこ広場」は鳴門市内の子育て家庭に広く根付いてきている。また、「出張にこにこ広場」も地域の子育て家庭が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で相互に交流を図る場となっている。 4月及び5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業を中断したが、6月からは利用者数を制限する等の対応を行うことで、事業を再開した。 「赤ちゃん訪問事業」では、感染症予防に細心の注意を払い、感染拡大時期には玄関先での訪問や訪問時期をずらす等の対策を講じたうえで、本市の子育て支援事業全般の案内を実施し、保護者の育児不安の軽減に繋げた。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数	207	284	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数	283	272	330	330	330	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ひろば・出張ひろば参加親子数	5,483	1,603	5,300	5,300	5,300	組
		目標達成率(実績/目標)		30.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		14,542,000	0	14,542,000	0	14,542,000
	財源内訳	国庫支出金	4,312,000	0	4,360,000	0	4,360,000
		県支出金	4,312,000	0	4,360,000	0	4,360,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,918,000	0	5,822,000	0	5,822,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	ひろば・出張ひろば参加親子数		成果指標に対する所見	子育て家庭同士の交流の場、子育て家庭の相談の場として定着している。令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中断せざるを得ない状況となった期間があった。また、事業再開後も感染症予防対策のため人数制限をして事業を実施した。
	目標	5,300	組		
	実績	1,603	組		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	感染症予防のため、人数制限を行い、利用を予約制としたことから利用者数が大幅に減少することとなった。今後も感染症収束の目処が立っていない中、前年度と同様の対応を行うこととなるため、利用を希望する子育て家庭を全て受入れられず、調整が必要になっている。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	継続して事業に取り組む。利用者が混乱しないよう、中断や利用調整を行う際の周知を徹底する。
	令和4年度	継続して事業に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.70

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て支援体制整備事業（保育所における巡回相談事業）	担当部署	子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市子ども・子育て支援事業計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始：平成　22　年度
(小項目)		児童福祉		
施策	2	児童福祉の推進		終期：未定
基本事業	2	就学前教育・保育環境の充実		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①育児不安を抱える家庭の支援 ②保育士等、子育て支援者のスキルアップ ③軽度の障がいが疑われる児童の早期発見、継続支援体制の構築	事業内容（R2）	市内7施設で巡回相談事業を実施する。
実施方針	①希望する公私立保育施設に対し、医師、臨床心理士及び保健師が訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。 ②軽度の発達障がいが疑われる児童について、継続的な支援に繋げる。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施施設数	10	8	7	7	7	施設
	2	観察を受けた児童数	502	529	400	400	400	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		適切な支援を受けた児童数	60	46	42	42	42	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	子ども・子育て支援新制度推進交付金
款	03	民生費	
項	02	児童福祉費	
目	01	児童福祉総務費	
事業1	007	子どものまち推進事業費	事業期間
事業2	03	子育て支援体制整備事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	510	0	510	510	510

事務事業名	子育て支援体制整備事業（保育所における巡回相談事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	市内7か所の保育施設で巡回相談を実施した。 支援が必要と思われる子どもの保護者に対しては、事業実施の保育施設で個別に声をかける等、保護者相談を積極的に呼びかけた。 子どものエピソードを基に、保育士が医師・臨床心理士などの専門家から指導を受けることにより、支援が必要な児童の保育の質の向上を図るほか、健康増進課の保健師等との連携を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施施設数	8	7	7	7	7	施設
	2	観察を受けた児童数	529	355	400	400	400	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		適切な支援を受けた児童数	46	47	50	50	50	人
		目標達成率(実績/目標)		111.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		576,698	0	504,957	0	504,957
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	288,000	0	100,000	0	100,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	288,698	0	404,957	0	404,957

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	適切な支援を受けた児童数	
	目標	42	人
	実績	47	人
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	保育の現場で気になる子どもの状況を観察し、具体的な関わり方について、エピソードを基に、専門家である医師・臨床心理士から助言及び指導を受けることにより、保育士の意識の向上や保育に関する自信に繋がり、保護者相談では、保護者の育児不安の軽減に繋がった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	相談役である医師や臨床心理士との日程調整を関係課を交えながら綿密に行い、事業実施を希望するすべての保育施設で事業が実施できるように取り組んでいるが、相談件数の多い施設もあり、日程調整に工夫が必要になっている。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	医師・臨床心理士・保健師・保育士等が連携し、育児不安を抱える保護者や発達障がいが疑われる乳幼児に対し、継続した支援を行えるよう、引き続き事業を継続する。
	令和4年度	継続して事業を実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.71

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当部署	子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		子ども・子育て支援法 鳴門市子ども・子育て支援事業計画
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始：平成　17　年度
（小項目）		児童福祉		
施策	2	児童福祉の推進		終期：未定
基本事業	3	子育て家庭への支援		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内において「育児の援助を行いたい者」と「育児の援助を受けたい者」とを会員として登録し、育児の相互援助活動を行う。
実施方針	依頼会員と提供会員、両方会員もそれぞれの役割や理解を得て、地域における子育て支援や仕事と育児の両立、安心して働くことができる環境づくりを目指す。
事業内容（R2）	①ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施する。 ・事業の実施方法として、市広報紙や市公式ウェブサイト、LINEを使用した広報を行う。また、児童手当や子どもはぐくみ医療費助成事業の申請時にリーフレットを配布する。 ・子育て親子が集まる場所での周知や同センター主催の交流会をNPOと共催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進する予定。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年間活動件数	1,735	2,000	2,000	2000	2,000	件
	2	交流会	14	14	14	14	14	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		年度登録会員数（依頼・提供・両方会員）	1,065	1,100	1,100	1,100	1,100	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	子ども・子育て支援交付金 子ども・子育て支援事業補助金
款	03	民生費	
項	02	児童福祉費	
目	01	児童福祉費総務費	
事業1	009	次世代育成支援対策推進事業費	事業期間
事業2	01	次世代育成支援対策推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	9,599	0	9,599	9,599	9,599

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施した。 事業の実施方法として、市広報紙や市公式ウェブサイト、LINEを使用した広報を行った。また、子育て親子が集まる場所での周知や同センター主催の交流会や研修会を開催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進した。（4月、5月については新型コロナウイルス感染症の影響により、交流会を中止した。） 在宅育児応援クーポン事業の継続実施により、クーポンの対象となる親子イベントを開催した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年間活動件数	1,214	959	1,500	1,500	1,500	件
	2	交流会	14	12	14	14	14	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		年度登録会員数（依頼・提供・両方会員）	1,108	1,115	1,100	1,100	1,100	人
		目標達成率(実績/目標)		101.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		9,466,000	0	9,599,000	0	9,599,000
	財源内訳	国庫支出金	2,953,000	0	2,866,000	0	2,866,000
		県支出金	2,953,000	0	2,866,000	0	2,866,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,560,000	0	3,867,000	0	3,867,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	年度登録会員数（依頼・提供・両方会員）		成果指標に対する所見	事業の周知を行うことによって、年度登録会員数は少しずつ増加しており、子育て世帯から必要とされている。
	目標	1,100	人		
	実績	1,115	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業についての周知を図ることにより、認知度を高め、依頼会員、提供会員の会員増加に努める。また、休日預かりなど様々なニーズに対応できる実働人数の増加を目指す。病児病後児預かりサービスについては、ニーズはあるものの、感染予防対策や提供会員への研修、医療機関との連携など、受け入れ体制をどう整えるかが課題となるため、他のセンターを参考に今後も事業実施の方向性について研究していく。 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は減少しているが、今後もサービスが必要な家庭に提供できるよう、感染対策を徹底していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	継続して事業を実施する。
	令和4年度	継続して事業を実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.72

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業	担当部署	子どもいきいき課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると
(小項目)		ひとり親家庭等の福祉
施策	3	ひとり親家庭等の自立支援の推進
基本事業	1	子育て支援及び生活の場の整備

根拠法令計画など：鳴門市補助金等交付条例
鳴門市補助金等交付条例施行規則
鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金

事業期間：開始　令和　元　年度／終期　未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的：子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした「子ども食堂」を運営する団体に初期費用や運営に係る費用を補助する。

実施方針：①子どもが放課後等に食事、学習、団らん等を通じて安心して過ごせる居場所づくりを実施する者に対し、補助金を交付し、子どもたちが健やかに生活できる環境整備をすすめる。
②子どもの未来を応援する首長連合の組織ネットワークを活用し、情報収集や国への要望活動を行う。

事業内容（R2）：子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通した安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金を交付する。
・対象団体　選考会を開催し、補助団体を決定
（継続団体については書類審査のみ）
・対象経費
（初期経費）備品、消耗品等で施設整備にかかる経費
（運営経費）食事提供事業、学習支援事業

当初からの変更点：

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標（実施した事業の活動量を示す指標）	1	補助団体	－	1	4	4	4	箇所
	2	参加者数	－	200	800	800	800	人
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		補助団体	0	1	4	4	4	箇所

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	他の自治体の取り組みを参考にしながら施策の検討を図る。	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の創設 ②選考会を開催し、補助団体を決定	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の創設 ②選考会を開催し、補助団体を決定	継続	実施

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	03	民生費	
項	02	児童福祉費	
目	01	児童福祉費総務費	
事業1	017	子どもの居場所づくり推進事業費	事業期間：令和元年～
事業2	01	子どもの居場所づくり推進事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,039	0	2,039	1,939	1,939

事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通した安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金を交付した。 ・市内で子どもの居場所を設置しようとする団体からの企画提案書を受け、選考会を開催し、補助団体を決定した。 ・令和2年度は2か所で実施。昨年度より継続の1団体について、4、5月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、6月以降毎月1回、子ども食堂（昼食提供）と学習支援を実施した。今年度より新たに実施した1団体については準備期間を経て、9月より18回、子ども食堂（夕食提供）と学習支援を実施した。2か所で大人と子どもを合わせて延べ2，014名が参加した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助団体	1	2	4	4	4	箇所
	2	参加者数	451	2,014	800	800	800	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		補助団体	1	2	4	4	4	箇所
		目標達成率(実績/目標)		50.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		362,382	0	639,466	0	639,466
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	639,000	0	639,000
		一般財源	362,382	0	466	0	466

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	補助団体		地域における居場所の確保を提供してくれる団体の協力が必要不可欠な事業であり、実施箇所数の増加を図るため、今後も広く事業を周知する必要がある。
	目標	4	箇所	
	実績	2	箇所	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	同一団体への補助は3回までとしているため、補助対象年度終了後は、運営をするための新たな財源の確保が必要となり、フードバンクを活用したり、地域住民から余剰食材を提供してもらえるようなつながりを作っていくことが必要とされる。また、継続して実施するためにはボランティアスタッフの確保も課題となる。新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの居場所が少なくなっている中、子ども食堂の利用者は増えているので、実施団体と情報共有をしながら、密の回避や食事中の間隔を空けるなどの感染防止対策を徹底し、安心して子どもたちに過ごしてもらえるような居場所を提供していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	実施団体と連携し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や食中毒発生防止など安全面に気を配りながら、事業を実施する。
	令和4年度	継続して事業を実施する。

各実施計画兼評価シート

経　済　建　設　部

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.73

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅ストックの有効活用	担当部署	まちづくり課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市公営住宅長寿命化計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：平成 18 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると		
(小項目)		居住環境		
施策	1	良好な居住環境の整備		終期：未定
基本事業	1	住宅ストックの有効活用		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	今後も既存市営住宅を効率的に活用していくため、計画的な施設の改修を行っていく。
実施方針	①外壁改修等の改修は、市営住宅やその周辺の住環境を向上させるばかりでなく、今後の管理・修繕費を低減させる効果があるため、効果的な改修を実施する。 ②住宅入居者の高齢化が進行しているため、維持管理団地の共用階段に手摺り設置を行う。
事業内容（R2）	①明神第2団地外部改修工事 ②矢倉団地B棟ほか4棟手摺り設置工事（B・C・D・E・F棟） ③明神第2団地外部改修工事監理業務 ④矢倉団地B棟ほか4棟手摺り設置工事設計業務 ⑤高島団地A棟外部改修工事設計業務
当初からの変更点	3月補正にて工事請負費等の差額5,109千円を減額。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	1	棟
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	1	棟

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	桑島第2団地A棟外部改修工事 矢倉団地手摺り設置工事（G，H棟）	桑島第2団地B棟外部改修工事 矢倉団地手摺り設置工事（A棟）	明神第2団地外部改修工事 矢倉団地B棟ほか4棟手摺り設置工事（B・C・D・E・F棟）	高島団地A棟外部改修工事	高島団地B棟外部改修工事

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	社会資本整備総合交付金　補助対象額×1/2限度
款	08	土木費	
項	07	住宅費	
目	02	住宅建設費	
事業1	001	公営住宅改善事業費	事業期間
事業2	01	公営住宅改善事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	56,540	△ 5,109	51,431	53,320	53,320

事務事業名	住宅ストックの有効活用

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	明神第2団地について外部改修工事を実施し、矢倉団地B～F棟について共有階段手摺設置工事を実施。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	－	棟
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	－	棟
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		53,291,700	0	46,736,800	0	46,736,800
	財源内訳	国庫支出金	3,848,000	0	16,783,000	0	16,783,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	48,500,000	0	26,800,000	0	26,800,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	322,600	0	0	0	0
		一般財源	621,100	0	3,153,800	0	3,153,800

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	屋上・外壁改修棟数		成果指標に対する所見	建物の長寿命化や設備の適切な更新を進めることができ、市営住宅の住環境向上に寄与できたためA評価としたい。
	目標	1	棟		
	実績	1	棟		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長寿命化計画の定める方向性に従い、外部改修工事等を計画的に実施し、建物の長寿命化及び設備の更新を進めていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	高島団地A棟外部改修工事
	令和4年度	高島団地B棟外部改修工事

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.74

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	木造住宅耐震化促進事業	担当部署	まちづくり課

総合計画体系			根拠法令計画など	社会資本整備総合交付金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：平成 16 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると		
(小項目)		居住環境		
施策	1	良好な居住環境の整備		
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の防災意識の向上を図るとともに、大地震における住宅の倒壊等による被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、耐震改修等を実施する市民に対し、その経費の一部について補助を行う。	事業内容（R2）	以下の助成を行う。 ・耐震診断65戸 ・補強計画11戸 ・耐震改修（スマート化工事含む）19戸 ・耐震シェルター設置（スマート化工事含む）3戸 ・住宅の住替え5戸
実施方針	耐震診断の結果、評点が1.0未満の「倒壊する可能性がある」と判定された住宅の耐震改修（スマート化工事含む）、耐震シェルター設置（スマート化工事含む）及び評点が0.7未満の「倒壊する可能性が高い」と判定された住宅の住替えを支援し、耐震化を促進する。	当初からの変更点	申請取り下げに伴い令和2年度3月補正予算額4,172,000円減額。 令和元年度からの繰越金額6,580,000円増額。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	木造住宅耐震診断等	71	110	110	110	110	戸
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数	15	11	19	19	19	戸

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①広報なると及び公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	①広報なると及び公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	①広報なると及び市公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）：1/2 徳島県木造住宅耐震化促進事業費補助金：1/4～1/2
款	08	土木費	
項	07	住宅費	
目	01	住宅管理費	
事業1	003	木造住宅耐震化促進事業費	事業期間：単年度繰り返し（↓開始年度のみ）（平成16年度 ～ 年度）
事業2	01	木造住宅耐震化促進事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	36,700	2,408	39,108	36,701	36,701

事務事業名	木造住宅耐震化促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①広報なると及び公式ウェブサイト等に掲載し、事業実施をお知らせした。 ②戸別訪問による事業の説明やチラシを配布するなど、啓発活動を実施した。 ③住宅安心リフォーム補助金も工事内容が重複しなければ併用することができ、負担が少なくできることを案内した。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	木造住宅耐震診断等	51	57	76	76	76	戸
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数	11	16	19	19	19	戸
		目標達成率(実績/目標)		84.2	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		24,619,749	6,580,000	18,970,802	8,967,200	34,518,002
	財源内訳	国庫支出金	11,547,000	3,040,000	8,976,000	4,184,000	16,200,000
		県支出金	6,793,000	1,820,000	4,954,550	2,391,800	9,166,350
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,279,749	1,720,000	5,040,252	2,391,400	9,151,652

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	－

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数		成果指標である耐震改修について、実績戸数が目標戸数を下回ったため概ねの目標達成とし、B評価としたい。
	目標	19	戸	
	実績	16	戸	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度における補助事業（耐震改修）については、概ね目標を達成できた。一方、徳島県耐震改修促進計画及び鳴門市耐震改修促進計画において耐震化率100%を目指しているが、このままの推移でいくと目標達成には時間を要する状況である。 このことから、今後も耐震化支援事業の申し込み状況等を踏まえた予算配分を検討するなど、多くの方に事業を活用していただけるような取り組みが必要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	戸別訪問等での啓発活動を実施し、耐震改修等に上乗せ補助を拡充したことなどをPRするとともに、市広報紙や公式ウェブサイト等により補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。
	令和4年度	令和3年度と同様に補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.75

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業	担当部署	まちづくり課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまちなると	事業期間	開始	平成 26 年度
(小項目)		居住環境			
施策	1	良好な居住環境の整備		終期	未定
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	住宅・住環境の向上と良好な住宅ストック形成の促進を図るとともに、市民の消費活動と雇用機会の創出を促し地域経済の活性化を図る。	事業内容（R2）	補助率20%、補助限度額20万円で40戸の募集を行い、予算の範囲内で追加募集を行う。
実施方針	市内に住民登録を行い、市税の滞納がなく、補助金の交付を受けようとする者の世帯全員の前年度所得合計金額が550万円未満の者などを対象に、住宅リフォーム経費を助成する。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響による離職者などを対象に、補助率40%、補助限度額20万円で5戸の100万円を9月補正で増額。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙等掲載	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		リフォーム実施戸数	44	40	40	40	40	戸

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	広報紙や市公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知	広報紙や市公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知	広報紙や市公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計	住宅安心リフォーム補助金(補助率：補助対象経費の20%、補助限度額：20万円) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	
款	08	土木費		
項	07	住宅費		
目	01	住宅管理費		
事業1	004	住宅安心リフォーム支援事業費	事業期間	単年度繰り返し
事業2	01	住宅安心リフォーム支援事業費		

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	8,014	1,000	9,014	9,015	9,015

事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙等掲載	2	3	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		リフォーム実施戸数	45	47	45	45	45	戸
		目標達成率(実績/目標)		117.5	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		7,812,816	0	8,561,186	0	8,561,186
	財源内訳	国庫支出金	0	0	200,000	0	200,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,812,816	0	8,361,186	0	8,361,186

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	リフォーム実施戸数		成果指標に対する所見	実施戸数が目標戸数を上回った。
	目標	40	戸		
	実績	47	戸		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	近年、目標戸数を上回る申し込みがあるなど、継続的な需要があるため、申込数の確保に向けた取り組みが必要となっている。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度の周知に努める。
	令和4年度	R3年度の課題を改善し、取り組みを進める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.76

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	空家等対策事業	担当部署	まちづくり課

総合計画体系			根拠法令計画など	空家等の推進に関する特別措置法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり	事業期間	開始：平成 26 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると		
(小項目)		居住環境		
施策	1	良好な居住環境の整備		
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備	終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	災害等により倒壊し、道路の閉塞や隣地等に影響を与えるおそれのある老朽空き家の除却を促進するとともに、空家等の適正管理を促進する。	事業内容（R2）	①老朽危険空き家除却支援事業の実施 ②老朽空き家除却後の土地固定資産税減免制度の実施 ③認定済みの特定空家等に対する措置の実施と、新規認定案件の検討 ④特定空家等以外の、周辺に悪影響を及ぼす空家等の所有者に対する指導 ⑤NPO団体等と連携した空き家に関する相談会やセミナーの開催
実施方針	①補助制度や減免制度による除却の促進 ②特に緊急を要する危険な空家等の特定空家等への認定・措置 ③所有者等への指導や意識啓発による、適正管理・除却の促進	当初からの変更点	3月補正3,835千円減額 （理由）工事請負額等の差額による

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助金・減免相談対応件数	48	41	45	45	45	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）	17	32	25	25	25	戸

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①老朽危険空き家除却支援事業 ②（新）土地固定資産税減免制度 ③特定空家等対策 ④空き家セミナー	①老朽危険空き家除却支援事業 ②（新）土地固定資産税減免制度 ③特定空家等対策 ④空き家セミナー	①老朽危険空き家除却支援事業 ②土地固定資産税減免制度 ③特定空家等対策 ④空き家相談会等	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	空き家対策総合支援事業（国の制度）…補助率1/2（直接補助は2/5） 老朽危険空き家等除却支援事業（県の制度）…補助率1/4
款	08	土木費	
項	07	住宅費	
目	01	住宅管理費	
事業1	006	老朽危険空き家等除却支援事業	事業期間：単年度繰り返し
事業2	01	老朽危険空き家等除却支援事業	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	26,820	△ 3,835	22,985	20,899	20,899

事務事業名	空家等対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①老朽危険空き家除却支援事業を引き続き実施。 ②著しく周辺に悪影響を及ぼしている特定空家等について、略式代執行を実施。 ③空き家除却後の跡地の固定資産税減免を周知。 ④「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携した空き家相談会を実施。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助金・減免相談対応件数	59	48	45	45	45	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）	33	26	30	30	30	戸
		目標達成率(実績/目標)		104.0	－	－	－	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
		計	12,009,800	0	21,124,300	0	21,124,300
	財源内訳	国庫支出金	4,947,000	0	8,608,000	0	8,608,000
		県支出金	2,174,000	0	1,850,000	0	1,850,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,888,800	0	10,666,300	0	10,666,300

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）		成果指標に対する所見	募集戸数以上に実施することができた。
	目標	25	戸		
	実績	26	戸		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・老朽危険空き家除却支援事業は、予算の範囲内でできる限り多く実績を増やしていく必要がある。 ・特定空家等候補についても、特定空家等となる前の段階での解決を目指すため、除却に繋がるよう進めていく必要がある。 ・空き家除却促進のため、空き家除却後の跡地の固定資産税減免やブロック塀等安全対策支援事業等の関連制度の活用について、引き続き周知を行う工夫が必要。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）の目標戸数を30戸とし、制度の周知を図る。 ・特定空家等の候補に対する指導を行う。 ・他の関係団体と連携した空き家相談会等により、意識啓発を行う。 ・空き家実態調査を行い、空き家等の現状把握を行う。
	令和4年度	・R3年度に生じた課題に対し、改善を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.77

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	排水機場樋門整備事業	担当部署	土木課

総合計画体系

基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると
(小項目)		危機管理・防災
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備

根拠法令計画など	河川法	
事業期間 開始	昭和	不明　年度
事業期間 終期	未定	

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	浸水被害を最小限に食い止める。 市民生活の安全確保。 住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減。
実施方針	①現地調査等や定期点検結果の精査 ②事業費の算出や計画年次の決定 ③排水機場長寿命化計画の策定による適正な維持管理
事業内容（R2）	①長寿命化計画の策定 ・市内全排水機場の修繕計画策定 ・年次毎のロードマップ作成 ②事業実施 ・ロードマップに則した修繕を実施 ・フィードバック ③計画の見直し ・事業を実施した結果を基にフィードバックを行い、修正があれば見直しを行う ・見直した計画を基に事業を実施
当初からの変更点	事業の進捗を図るため、補正を行い令和3年度事業に充当を行った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	排水ポンプ更新基数	5	4	4	4	4	基
	2	目標更新基数	4	4	4	4	4	基
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		施設更新達成率	125	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①立岩区画排水機場施設更新工事 ②弁財天排水機場水中ポンプ更新工事 ③黒崎排水機場水中ポンプ更新工事 他2件	①立岩区画排水機場増設工事 他11件	長寿命化箇所実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	08	土木費	
項	03	河川費	
目	02	河川総務費	
事業1	001	排水機場及び樋門管理費	事業期間
事業2	01	排水機場及び樋門管理費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	230,000	137,571	367,571	320,000	300,000

事務事業名	排水機場樋門整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	木津野排水機場改良工事に伴う付帯工事 木津野排水機場改良工事（R2年度からの繰越工事） 大桑島排水機場水中ポンプ更新工事 明神第四排水機場改良工事 市場排水機場水中ポンプ更新工事 林崎第一排水機場施設改良工事 高島山路排水機場水中ポンプ更新工事

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	排水ポンプ更新基数	4	4	4	4	4	基
	2	目標更新基数	4	4	4	4	4	基
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		施設更新達成率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		176,401,560	82,293,000	205,261,100	50,000,000	337,554,100
	財源内訳	国庫支出金	7,872,000	19,948,000	30,701,000	25,000,000	75,649,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	156,900,000	57,800,000	149,800,000	25,000,000	232,600,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	11,629,560	4,545,000	24,760,100	0	29,305,100

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	施設更新達成率	成果指標に対する所見	必要な維持・改良は実施できている。今後も引き続き計画的に維持・改良を実施していく。
	目標	100 %		
	実績	100 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題		社会資本整備総合交付金を活用しポンプ更新事業を推進していたが、採択基準の見直しや要望額に対する交付率の低下が問題となっております。昨年度からは、新たに創設された緊急自然災害防止対策事業債も活用し、事業を実施していますが、今後も有利な補助メニューを模索し検討する。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐4.現状維持(新型コロナ)　☐ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和3年度	排水機場長寿命化計画をもとに事業を実施予定。 ・藻塩橋排水機場更新工事 ・弐軒家第二排水機場改良工事 ・立岩四枚排水機場新設工事など
	令和4年度	排水機場長寿命化計画をもとに事業を実施予定。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.78

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	道路橋梁長寿命化事業	担当部署	土木課

総合計画体系			根拠法令計画など	道路法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：平成 24 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると		
(小項目)		道路		
施策	4	安全で快適な道路の整備		終期：未定
基本事業	3	橋梁の整備		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	既設橋梁は高度経済成長期に大量建設されており、今後急速に、老朽化が進んでいくため、老朽化した橋梁の事後的な修繕・架替から、予防的な修繕・更新へと政策転換し、橋梁の延命化を図ることを目的とする。	事業内容（R2）	①橋梁定期点検、計画策定 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事
実施方針	①橋梁の状態を把握するため、5年/回の点検を計画的に実施 ②計画的な修繕工事実施のため、計画の策定 ③計画に基づいた修繕工事の実施	当初からの変更点	橋梁定期点検により、橋梁2橋が健全度Ⅳ判定結果となり、緊急を要する損傷度であることが判明したため急遽、修繕設計や修繕工事が必要となったことによる変更

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	橋梁長寿命化修繕計画策定進捗率	40	78	100	—	—	%
	2	長寿命化修繕事業の発注橋梁数	8	10	14	19	17	橋
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		主要橋梁健全率	80	85	90	93	96	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①計画策定 ②橋梁点検 ③橋梁長寿命化修繕設計 ④橋梁長寿命化修繕工事	①計画策定 ②橋梁点検 ③橋梁長寿命化修繕設計 ④橋梁長寿命化修繕工事	①計画策定 ②橋梁点検 ③橋梁長寿命化修繕設計 ④橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	道路メンテナンス補助（55%）
款	08	土木費	
項	02	道路橋りょう費	
目	04	橋りょう新設改良費	
事業1	001	国庫補助事業費	事業期間
事業2	01	橋りょう保全整備事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	309,080	30,000	339,080	328,050	300,000

事務事業名	道路橋梁長寿命化事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	計画策定 橋梁点検 橋梁長寿命化修繕設計 橋梁長寿命化修繕工事

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	橋梁長寿命化修繕計画策定進捗率	78	100	—	—	—	%
	2	長寿命化修繕事業の発注橋梁数	10	17	14	19	17	橋
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		主要橋梁健全率	85	90	93	96	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		241,174,020	26,439,800	199,152,700	109,927,300	335,519,800
	財源内訳	国庫支出金	104,010,000	7,150,000	103,510,000	55,990,000	166,650,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	71,600,000	14,300,000	59,500,000	40,800,000	114,600,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	5,017,100	0	4,488,550	0	4,488,550
		一般財源	60,546,920	4,989,800	31,654,150	13,137,300	49,781,250

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	主要橋梁健全率		成果指標に対する所見	橋梁耐震化事業にて選定した主要10橋のうち、令和2年度では、「板東跨線橋」と「学園橋」の延命化措置を実施し、目標を達成することができた。
	目標	90	%		
	実績	90	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業は橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化橋梁の延命化を図っているが、PCB特措法により、PCBが含有した塗膜が使用された橋梁については、その塗膜を令和8年度までに処分しなければならないとされているため、老朽化対策に加え、計画的に対応する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	橋梁長寿命化計画に基づき、老朽化橋梁の延命化を図るとともに、PCB塗膜の処分を計画的に実施する。
	令和4年度	継続

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.79

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	河川改良事業	担当部署	土木課

総合計画体系			根拠法令計画など	河川法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間 開始	昭和　不明　年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると		
(小項目)		河川・海岸		
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備	終期	未定
基本事業	1	河川整備		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内の準用河川・普通河川の改良を行うことにより、以下の目的を達成する。 ①浸水被害を最小限に食い止める。 ②市民生活の安全確保 ③護岸崩壊や吸出しから背後地を守る。	事業内容（R2）	①南浜排水路改良工事　②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事　④三ツ石地区排水路改良工事 ⑤島田川河川改良工事　⑥高島大水尾川河川改良工事 ⑦弁財天排水路改良工事　⑧大須地区排水路改良工事 ⑨西発排水路改良工事
実施方針	①現地調査等や住民要望を集約し優先順位をつける ②事業費の算出や計画年次の決定	当初からの変更点	9月補正　120,000千円（地方債） 3月補正　37,800千円（地方債）

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	事業要望箇所数	9	9	10	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数	7	9	10	10	10	箇所
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		市民要望着手率	77.8	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他4件	①南浜排水路改良工事 ②立岩排水路改良工事 ③徳長排水路改良工事 他6件	要望箇所実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	08	土木費	
項	03	河川費	
目	02	河川改良費	
事業1	001	河川改良事業費	事業期間
事業2	01	河川改良事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	13,000	157,800	170,800	13,000	13,000

事務事業名	河川改良事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	三ツ石地区排水路改良工事　アイノ水尾川護岸改良工事（繰越R3継続） 南浜排水路改良工事 島田地区護岸改良工事 姫田地区排水路改良工事 立岩地区排水路改良工事 徳長地区排水路改良工事 板東地区排水路改良工事

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	事業要望箇所数	10	10	10	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数	9	8	10	10	10	箇所
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市民要望着手率	90	80	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		80.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		12,996,180	0	53,472,900	117,327,100	170,800,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	10,900,000	0	52,300,000	115,700,000	168,000,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,096,180	0	1,172,900	1,627,100	2,800,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	市民要望着手率	
	目標	100	%
	実績	80	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	要望に対して、ほぼ事業に着手ができた。今後も市民要望を可能な限り達成していきたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市街地周辺では、流下能力の劣る未整備水路に生活雑排水が流入にており、滞留し悪臭の原因にもなっている。周辺住民からは水路整備の要望が強く出ており、実効性を持った事業を計画する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	令和3年度においても、要望箇所の早期着手・完成を目指し事業実施を進める。
	令和4年度	要望箇所の選定を行い、重要度に照らし合わせ事業実施をしていく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.80

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	道路舗装修繕計画策定	担当部署	土木課

総合計画体系			根拠法令計画など	道路法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：平成　年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると		
(小項目)		道路		
施策	4	安全で快適な道路の整備		終期：未定
基本事業	1	道路網の整備		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	道路の路面や側溝の老朽化に伴い、機能が低下している箇所について補修を行い、一般交通に支障をきたさないよう、安全を確保することを目的とする。	事業内容（R2）	①路面性状調査・計画策定 ②道路維持補修工事
実施方針	①主要な路線や防災計画上、重要な路線の舗装については、路面性状調査を実施し、「道路舗装修繕計画」を策定し、計画的な舗装修繕に取り組む。 ②路面や側溝の老朽化により機能低下しているなど、緊急性の高い箇所から優先順位を勘案し、計画的に道路の維持補修に取り組む。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	道路舗装修繕計画策定進捗率		39	100	－	－	%
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	道路舗装修繕計画策定			策定	推進	推進	

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	道路維持補修工事	①重要路線等の調査・計画 ②道路維持補修工事	①重要路線等の調査・計画 ②道路維持補修工事	①重要路線等の舗装工事 ②道路維持補修工事	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	社会資本整備総合交付金（50%）
款	08	土木費	
項	02	道路橋りょう費	
目	02	道路維持費	
事業1	001	道路維持補修費	事業期間
事業2	01	道路維持補修費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	46,000	63,533	109,533	74,020	81,000

事務事業名	道路舗装修繕計画策定

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	令和元年度に引き続き路面性状調査を実施し、2か年の調査結果を基に道路舗装修繕計画を策定する。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	道路舗装修繕計画策定進捗率	39	100	—	—	—	%
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		道路舗装修繕計画策定		策定	—	—	—	
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

事業費推移（円）		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
		計	88,783,580	15,296,500	93,217,300	0	108,513,800
	財源内訳	国庫支出金	1,765,000	0	2,430,000	0	2,430,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	87,018,580	15,296,500	90,787,300	0	106,083,800

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	道路舗装修繕計画策定		計画どおり、路面性状調査を実施し、道路舗装修繕計画の策定まで実施することができた。
	目標	策定		
	実績	策定		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	舗装修繕工事の実施するうえで、活用する公共施設等適正管理推進事業債は時限的な措置であり、令和3年度までと設定されていることから、何らかの予算を確保する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新規事業として、道路舗装修繕計画に基づき、舗装修繕設計および舗装修繕工事を計画的に実施する。
	令和4年度	引き続き、道路舗装修繕計画に基づき、舗装修繕設計および舗装修繕工事を計画的に実施する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.81

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道維持管理事業（雨水）	担当部署	下水道課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	昭和 43 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると			
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	3	防災施設・資器材等の整備			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。
実施方針	①優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。 ②施設の適正な維持管理を図るため、ストックマネジメント計画の策定に取り組む。
事業内容（R2）	①ポンプ場 ・施設のストックマネジメント計画の策定に取り組む。 ・施設の耐震・耐津波対策を進める。 ②管渠 ・施設のストックマネジメント計画の策定に取り組む。 ・管渠の長寿命化対策を進める。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管渠の耐震化・長寿命化割合	61	73	85	85	85	%
	2	ポンプ場の耐震化・長寿命化割合	18	18	19	33	43	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		ポンプ場および管きょ等の耐震化長寿命化割合	42	48	55	61	66	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①撫養ポンプ場の津波・耐震対策事業を実施 ②優先度の高い管渠等の長寿命化工事を実施	①ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画の策定に取り組む ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	①ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画の策定に取り組む ②優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計		鳴門市下水道事業会計	防災・安全社会資本整備交付金	
款	01	資本的支出		
項	01	建設改良費		
目	02	雨水管渠建設改良費		
事業1			事業期間	単年度繰り返し
事業2				

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	100,331	49,340	149,671	100,340	100,340

事務事業名	公共下水道維持管理事業（雨水）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	国庫補助金（防災・安全社会資本整備交付金）を活用して、ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画の策定に取り組むとともに、優先度の高い老朽管きょの長寿命化工事を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管渠の耐震化・長寿命化割合	73	89	85	85	89	%
	2	ポンプ場の耐震化・長寿命化割合	18	19	32	43	55	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ポンプ場および管きょ等の耐震化長寿命化割合	48	57	61	66	73	%
		目標達成率(実績/目標)		103.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		102,351,895	49,340,800	100,098,631	0	149,439,431
	財源内訳	国庫支出金	51,040,600	24,670,000	50,000,000	0	74,670,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	41,000,000	24,600,000	38,200,000	0	62,800,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,311,295	70,800	11,898,631	0	11,969,431

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ポンプ場および管きょ等の耐震化長寿命化割合	成果指標に対する所見	目標以上の進捗となったためA評価とした。
	目標	55 %		
	実績	57 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害の未然防止や、施設の適正な維持管理のため、施設の耐震・耐津波化、及び長寿命化を図っており、事業を推進するための国庫補助等財源確保が課題となっている。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	施設の適正な維持管理を図るためスットックマネジメント計画を策定するとともに、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。
	令和4年度	優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の適正な維持管理を円滑に行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.82

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道整備事業（汚水）	担当部署	下水道課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成 13 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると			
(小項目)		生活排水対策			
施策	3	生活排水対策の推進		終期	未定
基本事業	1	公共下水道事業の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	下水道の整備を進めることにより、地域の生活環境や公共用水域の水質改善を図る。	事業内容（R2）	汚水事業 ①第2期および第3期計画区域の整備を進める。 ②供用開始区域を拡大 ③下水道普及率の向上を図る。
実施方針	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の財源確保に努めるとともに、補助金を最大限に活用しながら、下水道整備を進めていく。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	整備面積	159.8	171.6	179.2	186.8	194.4	ha
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		下水道普及率	10.1	10.8	11.3	11.7	12.2	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	第2期事業区域の整備を進めた。	第2期事業区域の整備を進めるとともに第3期事業計画の事業認可を取得し整備を行う。	第2期事業区域及び第3期事業区域の整備を進める。	第3期事業区域の整備を進める。	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計		鳴門市下水道事業会計	社会資本整備総合交付金 補助率 1/2
款	01	資本的支出	
項	01	建設改良費	
目	01	汚水建設改良費	
事業1			事業期間：単年度繰り返し
事業2			

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	341,368	251,964	593,332	314,203	314,203

事務事業名	公共下水道整備事業（汚水）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）を活用して、第2期事業区域及び第3期事業区域の下水道整備にかかる管渠築造工事・舗装復旧工事を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	整備面積	168.9	172.8	186.8	194.4	202.0	ha
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		下水道普及率	10.7	10.9	11.7	12.2	12.7	%
		目標達成率(実績/目標)		96.5	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		255,603,179	251,243,823	52,075,569	281,600,000	584,919,392
	財源内訳	国庫支出金	80,173,870	111,040,000	4,898,850	104,216,900	220,155,750
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	119,200,000	108,700,000	0	177,300,000	286,000,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	8,641,135	0	12,448,400	0	12,448,400
		一般財源	47,588,174	31,503,823	34,728,319	83,100	66,315,242

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	下水道普及率	成果指標に対する所見	目標である下水道普及率の達成状況や有効性・効率性からB評価とした。
	目標	11.3 %		
	実績	10.9 %		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も事業を推進するために、国庫補助等の財源確保を行うことが重要であり、課題となっている。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。
	令和4年度	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.83

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	下水道普及促進事業	担当部署	下水道課

総合計画体系			根拠法令計画など	都市計画法、下水道法、鳴門市下水道条例、鳴門市下水道普及促進対策助成金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：平成 13 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると		
(小項目)		生活排水対策		
施策	3	生活排水対策の推進		
基本事業	2	公共下水道水洗化率の向上		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①環境衛生の向上及び都市の健全な発達、公共用水域の水質の保全に資する。 ②使用料収入の早期確保により、下水道事業の健全経営を実現	事業内容（R2）	①下水道接続工事を実施する方へ助成金の交付 ②下水道供用開始区域に対し、普及促進員によるサポートを実施し、水環境に関する普及啓発に取り組むとともに、下水道水洗化率（加入率）の向上を図る。
実施方針	①下水道接続工事を実施する方へ助成金の交付 ②下水道供用開始区域に対し、普及促進員によるサポートを実施し、水環境に関する普及啓発に取り組む。 ③下水道水洗化率（加入率）の向上を図り、健全経営を図る。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口	2,263	2,478	2,343	2,461	2,580	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		水洗化率（加入率）	38.9	41.1	36.7	37.3	38.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①助成金の交付 ②サポート事業による普及啓発	①助成金の交付 ②サポート事業による普及啓発	①助成金の交付 ②サポート事業による普及啓発	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計		鳴門市下水道事業会計	社会資本整備総合交付金（効果促進事業） 補助率　1/2（普及促進対策助成金）
款	02	下水道事業費用	
項	01	営業費用	
目	03	業務費	
事業1			事業期間：平成21年度～
事業2			

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	17,000	0	17,000	12,000	12,000

事務事業名	下水道普及促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	下水道接続工事を実施に対し助成金を交付した。また、供用開始区域内にお住まいの市民に、普及推進員による戸別訪問を通して、下水道の接続に係る助成制度の内容や水環境ついて説明し、下水道への早期接続をお願いした。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口	2,478	2,573	2,461	2,580	2,697	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		水洗化率（加入率）	41.1	42.5	37.3	38	38.6	%
		目標達成率(実績/目標)		115.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		10,703,960	0	11,768,500	0	11,768,500
	財源内訳	国庫支出金	5,351,980	0	5,884,250	0	5,884,250
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,351,980	0	5,884,250	0	5,884,250

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	水洗化率（加入率）		成果指標に対する所見	職員による周知啓発だけでなく、国庫補助金制度を活用したサポート事業により、効率性は高くなっている。 また、グループ申請制度の周知・普及により、下水道への接続者は増加しており、水洗化率の目標を達成することができた。
	目標	36.7	%		
	実績	42.5	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後とも更なる普及促進に向けて、助成金制度（グループ申請制度）の周知や水環境に関する啓発を行いながら、下水道事業に対する理解を得る必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。
	令和4年度	今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.84

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業	担当部署	下水道課

総合計画体系

基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると
(小項目)		生活排水対策
施策	3	生活排水対策の推進
基本事業	3	合併処理浄化槽の普及促進

根拠法令計画など：水質汚濁防止法、循環型社会形成推進交付金交付要綱、徳島県浄化槽整備事業補助金交付要綱、鳴門市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、鳴門市環境基本計画

事業期間：開始　平成　5　年度／終期　未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①生活環境の改善と水環境の保全 ②合併処理浄化槽の普及
実施方針	①合併処理浄化槽への転換補助の実施 ②汚水処理人口普及率の向上を図る。
事業内容（R2）	①合併処理浄化槽への転換に対し補助金の交付 ②さまざまな機会を通じ、水環境に関する啓発活動に努める。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	転換補助申請受付数	26	14	29	20	20	基
	2							

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	転換補助基数	26	14	29	20	20	基

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①補助金の交付 ②水環境に関する啓発活動	①補助金の交付 ②水環境に関する啓発活動	①補助金の交付 ②水環境に関する啓発活動	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	04	衛生費
項	01	保健衛生費
目	06	環境衛生費
事業1	005	合併処理浄化槽整備事業費
事業2	01	合併処理浄化槽整備事業費

補助制度（名称、補助率など）：循環型社会形成推進交付金　（補助率 1/2、1/3）
徳島県浄化槽整備事業補助金　（補助率4/15、3/15）

事業期間：平成21年度～

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	**17,439**	**0**	**17,439**	**16,993**	**16,993**

事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	前年度と同様に、合併処理浄化槽への転換に係る補助事業を実施した。また、普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示。鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	転換補助申請受付数	14	17	20	20	20	基
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		転換補助基数	14	17	20	20	20	基
		目標達成率(実績/目標)		58.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		5,310,912	0	10,194,807	0	10,194,807
	財源内訳	国庫支出金	4,281,000	0	2,404,000	0	2,404,000
		県支出金	1,108,000	0	2,024,000	0	2,024,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	△ 78,088	0	5,766,807	0	5,766,807

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	転換補助基数	
	目標	29	基
	実績	17	基
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見：転換のタイミングとしては、既存の単独処理浄化槽が壊れた時、家族構成やライフスタイルの変更によるリフォーム時に実施される場合が多い。
R2年度は既存の補助制度の増額や配管工事費の補助制度を新設したが、申請受付数は例年並みであった。
補助金を交付することで、毎年合併浄化槽への転換は進んでいるため、事業全体としては計画通り進んでいると言える。
今後も、新たな制度のもと、周知啓発等をすることで、転換補助基数を増やしていき、数年以内の目標達成を目指す。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	汚水処理人口普及率の向上に向け、個別処理の大半を占める単独処理浄化槽等を合併処理浄化槽に転換していく必要があるが、転換には多額の個人負担を伴うことや、各家庭における設置スペース等の確保が困難な場合もあり、事業促進は容易ではない。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折り込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。
	令和4年度	令和3年度と同様に、補助事業の推進と啓発活動に積極的に取り組んでいく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.85

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ドイツ村公園整備事業	担当部署	公園緑地課

総合計画体系			根拠法令計画など	都市公園法・都市計画法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：昭和 51 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なると		
(小項目)		公園・緑地		
施策	2	緑の保全と創出		終期：未定
基本事業	1	公園の整備		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	第一次世界大戦当時のドイツ兵との交流の歴史を後世に伝えるためにドイツ村公園の整備を行う	事業内容（R2）	ドイツ村公園の環境整備 ①ボランティア委託による管理 ②板東俘虜収容所跡環境改善
実施方針	ドイツ村公園の環境整備	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	生涯学習人権課	4	4	4	4	4	回
	2	文化交流推進課	4	4	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		整備事業進捗率	75	75	80	80	80	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①LED照明設置工事 ②ボランティアによる管理 ③収容所跡環境改善	①LED照明設置工事 ②ボランティアによる管理 ③収容所跡環境改善	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	08	土木費	
項	06	都市計画費	
目	04	公園費	
事業1	001	管理費	事業期間
事業2	01	管理費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,923	0	1,923	2,557	2,557

事務事業名	ドイツ村公園整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	平成30年10月15日付け官報で板東俘虜収容所跡が国指定史跡に指定されたことから、国の史跡にふさわしい環境整備を行うために美化事業を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	生涯学習人権課	4	4	4	4	4	回
	2	文化交流推進課	4	4	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		整備事業進捗率	75	75	80	80	80	%
		目標達成率(実績/目標)		93.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		5,996,738	0	1,762,187	0	1,762,187
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,996,738	0	1,762,187	0	1,762,187

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	整備事業進捗率		成果指標に対する所見	地元民間団体の協力を得て、公園内を良好な状態に維持管理することができた。
	目標	80	%		
	実績	75	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	昭和51年度に総合公園として都市計画決定され、国土交通省の補助事業で整備している。54．3haの内、現在は10．6haが供用開始されている。基本的には実施基本計画の考え方によるが、今後の整備については、社会情勢や公園のニーズなどをもとに総合的に再度検討を加える。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	清掃活動について民間団体との協議を行い、観光資源としての魅力を維持できるように努める。
	令和4年度	清掃活動について民間団体との協議を行い、観光資源としての魅力を維持できるように努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.86

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	担当部署	公園緑地課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定		
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると	事業期間	開始	平成　15　年度
(小項目)		公園・緑地			
施策	2	緑の保全と創出		終期	未定
基本事業	1	公園の整備			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①子どもの主体的な体験学習の支援 ②親子のふれあいの場の提供 ③公園利用者の拡大	事業内容（R2）	①子どもを対象とした事業の実施 ・U－10フットサル大会、キッズサッカー ・児童画作品コンクール展 ・鳴門ウチノ海総合公園季節イベント ②公園利用者を拡大する事業の実施 ・端午の節句、ひなまつり、パークセンターギャラリー ・婚活イベント
実施方針	①子どもを対象とした事業の実施 ②公園利用者を拡大する事業の実施	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動（イベント）開催参加人数	32,639	8,046	18,000	18,000	18,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		活動（イベント）開催件数	8	8	9	9	9	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④鳴門のまつり ⑤婚活イベント　等	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー　等	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー　等	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー　等	未定

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定（100%）
款	08	土木費	
項	06	都市計画費	
目	04	公園費	
事業1	002	ウチノ海総合公園・鳴門総合運動公園管理運営費	事業期間：令和3年度～令和7年度
事業2	01	ウチノ海総合公園・鳴門総合運動公園管理運営費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	4,068	0	4,068	4,168	4,168

事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、中止。 ②新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、端午の節句、ひなまつり、婚活イベントは中止。パークセンターギャラリーは「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携し、規模を縮小しつつも実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動（イベント）開催参加人数	9,946	2,700	18,000	18,000	18,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		活動（イベント）開催件数	8	1	9	9	9	件
		目標達成率(実績/目標)		11.1	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		3,974,482	0	100,720	0	100,720
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	3,974,482	0	100,720	0	100,720
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	未達成

成果指標に対する評価	指標名	活動（イベント）開催件数	
	目標	9	件
	実績	1	件
	評価	D:目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントの中止をせざるを得なかった。今後の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえた上で、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントの実施を模索していく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、平成15年10月に公園の利用促進を図るために設立した「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していくことが不可欠である。 また、イベントを開催するにあたり、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・U－10フットサル大会　・キッズサッカー　・児童画作品コンクール展 ・鳴門ウチノ海総合公園　・ウチノ海総合公園まつり　・端午の節句 ・ひなまつり　・パークセンターギャラリー　・婚活イベント
	令和4年度	・U－10フットサル大会　・キッズサッカー　・児童画作品コンクール展 ・鳴門ウチノ海総合公園　・ウチノ海総合公園まつり　・端午の節句 ・ひなまつり　・パークセンターギャラリー　・婚活イベント

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.87

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）	担当部署	商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	鳴門市中小企業振興基本条例、鳴門市創業支援事業計画、鳴門市中小企業新規チャレンジ検討委員会設置要綱、鳴門市事業拡大支援事業補助金交付要綱等		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成 24 年度
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化		終期	未定
基本事業	1	地場産業の育成と振興			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	中小企業者が活動しやすい環境をつくり、成長を促すことにより収益の向上やそれに伴う雇用の創出、税収の増加を図る。	事業内容（R2）	①企業訪問を随時行い、地元企業の現状・課題の把握、信頼関係の構築や有望企業を発掘するとともに、国県市の中小企業等の支援策等を周知する。 ②がんばる中小企業応援パッケージ事業の周知及び実施。 ③企業訪問により把握した課題やニーズ等をもとに、新規施策の検討や事業の見直しのため、中小企業振興施策検討委員会を開催する。
実施方針	①企業訪問を実施し、把握したニーズや新たな取組等に対する支援策を検討する。 ②中小企業振興基本条例に基づき中小企業を支援するため、鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施。 ③中小企業振興施策検討委員会の開催。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業訪問数（延べ）	115	80	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数（延べ件数）	15	10	5	5	5	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	9	7	5	5	5	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	07	商工費		
項	01	商工費		
目	02	商工業振興費		
事業1	005/003	企業振興推進費/金融対策費	事業期間	単年度繰り返し
事業2	01/01	企業振興推進費/金融対策事業費補助金		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	7,838	0	7,838	7,867	7,867

事務事業名	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・市内企業訪問を実施した。 ・鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施した。 ・中小企業振興施策検討委員会を開催した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業訪問数（延べ）	124	268	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数（延べ件数）	23	23	5	5	5	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	10	6	5	5	5	件
		目標達成率(実績/目標)		120.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		7,472,018	0	2,932,111	0	2,932,111
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,472,018	0	2,932,111	0	2,932,111

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		がんばる中小企業応援パッケージ事業を通じて、地元事業者が実施する事業拡大や販路開拓事業などを支援し、目標を超える成果に結びつけることができた。さらに、今後も引き続き、地元中小企業への支援を積極的に実施していく。
	目標	5	件	
	実績	6	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長期化するコロナウイルス感染症における経済社会の変動に対応できるよう、企業訪問による地元事業者の実態やニーズの把握を行い、適切な経済対策を講じる必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・市内企業訪問の実施。 ・鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業の実施。 ・新規施策の検討や事業の見直しのため、中小企業振興施策検討委員会を開催。
	令和4年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.88

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品振興対策事業	担当部署	商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など	伝統的工芸品産業の振興に関する法律、同法施行規則、鳴門市伝統的工芸品振興事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始：平成　17　年度
(小項目)		産業		
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化		
基本事業	1	地場産業の育成と振興		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国の伝統工芸品に指定されている大谷焼、その他本市が誇る製塩業・製薬業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業・加工品製造業（わかめ加工）等の地場産品を振興するための施策を行う。
実施方針	①伝統的工芸品の大谷焼を振興するための補助 ②鳴門わかめ信頼維持のため県と連携 ③他県へ出向き、地場産品のPR活動などを実施
事業内容（R2）	①伝統的工芸品振興事業補助金を活用し、市内PR事業の開催を支援 ②鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査を実施する。 ③関係機関と連携し、県人会、物産展等のイベントに出展または開催をし、地場産品のPRを行う。
当初からの変更点	コロナ感染症の影響により桐生市交流物産展、各県人会中止のため減額。 ・3月補正　地場産品振興対策事業費 507千円（旅費232千円、委託料275千円）　減額

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数	9	7	4	4	4	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内PRイベントの支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント ④販路開拓のため、展示会出展の費用を補助	①市内PRイベントの支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント ④販路開拓のため、展示会出展の費用を補助	①市内PRイベントの支援 ②鳴門わかめの同位体検査 ③県外でのPRイベント ④販路開拓のため、展示会出展の費用を補助	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	02	商工業振興費	
事業1	007/002	地場産品振興対策事業費/商工団体助成費等	事業期間：単年度繰り返し
事業2	01/05	地場産品振興対策事業費/伝統工芸品振興事業補助金	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,704	△ 507	1,197	1,635	1,635

事務事業名	地場産品振興対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・「三好フォーラム」“おどるとくしま”inおおさか飯盛にVTR参加した。 ・鳴門わかめの地域ブランドを保護するため、わかめの同位体検査を実施した。 ・販路開拓のための制度の周知及び補助を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数	7	2	4	4	4	件
		目標達成率(実績/目標)		50.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,298,545	0	713,349	0	713,349
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,298,545	0	713,349	0	713,349

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		成果指標に対する所見	長期化するコロナウイルス感染症によるイベントの自粛等により地場産品のPRイベントへの参加及び支援の成果目標達成にいたらなかったが、PRイベントにVTRで参加したほか大谷焼イベントでは会場を分散するなどコロナ対策を講じ事業を推進したためほぼ計画通りとする。
	目標	4	件		
	実績	2	件		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長期化するコロナウイルス感染症によるイベントの自粛等により地場産品のPRの機会を逸することのないよう、オンラインでの開催イベントについては、今後も引き続き支援する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・市内外で開催される地場産品をPRするためのイベント等への参加及び開催の支援。 ・鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査の実施。 ・販路開拓のための制度の周知及び助成・補助。
	令和4年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.89

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	就職マッチング事業	担当部署	商工政策課

総合計画体系

基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると
（小項目）		産業
施策	2	雇用の安定
基本事業	1	就業機会の拡大

根拠法令計画など	鳴門市雇用対策協定、鳴門市雇用対策協定運営協議会設置要綱、鳴門市中小企業振興基本条例
事業期間 開始	平成　24　年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	人材を求める市内企業と求職者とのマッチングを促進することで、地場産業の振興に寄与するとともに、地元企業を知る機会を創り出し、地元就職を促進させる。
実施方針	①ハローワークと連携し合同就職面接会等を開催 ②小学生や高校生を対象に、地元企業を知る機会を設けるとともに、勤労観の醸成を図る。
事業内容（R2）	①合同就職面接会「鳴門市マッチングフェア2020」を開催する。 ②鳴門渦潮高等学校と連携しインターンシップ事業を実施する。また、小学生を対象に「お金」や「仕事」について考えるきっかけとするため、関係機関と連携して事業を実施する。
当初からの変更点	コロナ感染症の影響により市内企業おしごと体験事業を中止のため減額。 3月補正　勤労者支援事業費　委託料 555千円減額

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	就職面接会の参加人数	38	27	50	30	30	人
	2							

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	就職者数（臨時雇用も含む）	12	4	10	6	6	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業・ICT活用教育推進事業の実施 ③県外の移住交流センターへのチラシ配布	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業・ICT活用教育推進事業の実施	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	05	労働費
項	01	労働諸費
目	01	労働諸費
事業1	001	勤労者支援事業費
事業2	01	勤労者支援事業費

補助制度（名称、補助率など）	
事業期間	単年度繰り返し

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	893	△ 555	338	1,433	1,433

事務事業名	就職マッチング事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・ハローワークと連携し、就職マッチングフェアを開催した。 ・民間企業と連携し、WEBを活用した面接のノウハウを地元企業に提案した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	就職面接会の参加人数	34	37	30	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		就職者数（臨時雇用も含む）	6	5	6	6	6	人
		目標達成率(実績/目標)		50.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,053,558	0	331,377	0	331,377
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	191,059	0	0	0	0
		一般財源	862,499	0	331,377	0	331,377

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	就職者数（臨時雇用も含む）	成果指標に対する所見	コロナ対策として、就職面接会については、参加企業を例年の半数程度にしたため、目標の半数になった。また、コロナウイルスの影響が長期化していることから、今後は、就職面接会の実施回数を増やすなどして、積極的に雇用施策に取組む。
	目標	10　人		
	実績	5　人		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長期化するコロナウイルス感染症の影響により、例年のような面接会の実施が難しくなっているため、3密の回避等、新しい生活様式に対応した面接会の実施を検討する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・合同就職面接会、ミニ面接会の開催 ・おしごと体験事業
	令和4年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.90

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	企業誘致推進事業	担当部署	商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	鳴門市企業立地奨励条例、同条例施行規則 鳴門市工場立地法地域準則条例、同条例施行規則	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始：平成　11　年度
(小項目)		産業		
施策	2	雇用の安定		終期：未定
基本事業	2	企業誘致の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	県内外の優良企業を誘致することにより、就業機会の増大や地域経済の活性化、市民所得の向上等を図り、活力あるまちづくりを推進する。	事業内容（R2）	①市内への立地希望企業に、鳴門市が把握している遊休資産の情報を提供する。また、空き家バンクを活用した空き事務所等の情報や、宅建協会、地域金融機関、県担当課と連携して、各種の情報を提供する。 ②企業立地奨励条例等による支援措置を実施する。
実施方針	①市内への立地希望企業の要望に応えるため、関係機関と連携しながら、土地建物に関する情報等を収集する。 ②企業立地奨励条例や市外事業者等誘致制度を活用した、企業誘致に取り組む。	当初からの変更点	旅費を要する企業誘致案件がなかったため減額。 3月補正　企業誘致推進費　旅費　82千円減額 企業誘致に資する情報取得のため予算流用。 予算流用　企業誘致推進費　使用料及び賃借料　72千円増額 合計10千円の減額

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業誘致の相談対応案件数	11	6	5	10	10	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		企業進出件数（市内企業の増設を含む。）	1	1	1	1	1	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施 ③ｿﾌﾄﾉﾐｯｸｽﾊﾟｰｸB-1号地の分譲	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例等による支援措置の実施	①関係機関と連携し、土地建物情報等の提供 ②奨励条例等による支援措置の実施 ③ｿﾌﾄﾉﾐｯｸｽﾊﾟｰｸA-1号地の分譲	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	02	商工業振興費	
事業1	004	企業誘致推進費	事業期間：単年度繰り返し
事業2	01	企業誘致推進費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	320	△ 10	310	20,359	20,359

事務事業名	企業誘致推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・市内への立地希望企業へ、遊休資産情報の活用や宅建協会、金融機関、県担当課等と連携し、土地・建物及び手続き関連の情報を提供した。 ・企業立地奨励条例の奨励措置（固定資産税の課税免除）を実施した。 ・企業訪問等を行い、企業立地奨励条例の周知や企業の事業計画の把握を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業誘致の相談対応案件数	10	11	10	10	10	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		企業進出件数（市内企業の増設を含む。）	2	1	1	1	1	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		265,000	0	309,100	0	309,100
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	265,000	0	309,100	0	309,100

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	企業進出件数（市内企業の増設を含む。）		企業進出件数については目標値を達成できたため計画通りとする。今後も引き続き進出した企業の実績精査や効果の検証を行っていく。
	目標	1	件	
	実績	1	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在、本市の産業団地が全て埋まっている状態であることから民有地を活用した立地を促進するため、奨励条例などの支援策の周知に努めている。今後は、コロナ禍において、都市部を中心に会社機能の分散化のため地方へ事業所を設置する動きが高まっている社会情勢を踏まえ、大規模な用地を必要としないサテライトオフィス等の誘致に努める。 また、企業立地奨励制度については、市外企業または市内企業の設備投資を支援することは重要であるが、他方財政負担との兼ね合いもあるため慎重に審査、運用を検討する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・市内への立地希望企業へ、関係機関と連携し、土地・建物及び手続き関連の情報を提供する。 ・企業立地奨励条例等の奨励措置（固定資産税の課税免除、雇用奨励金の交付）を活用した誘致に努める。 ・サテライトオフィス等誘致事業を実施する。
	令和4年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.91

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	移住交流支援事業	担当部署	商工政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	空き家等対策の推進に関する特別措置法、鳴門市お試し滞在助成金交付要綱、鳴門市空き家判定業務支援事業実施及び空き家利活用促進事業補助金交付要綱、鳴門市わくわく移住支援事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると		事業期間 開始	平成　28　年度
(小項目)		シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定
基本事業	3	移住・交流の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内への移住希望者（事業用として空き店舗の活用を希望する者を含む。）に対して、空き家等の情報提供を行うことで、空き家の有効活用を図るとともに、定住人口の増加につなげる。	事業内容（R2）	①移住希望者からの相談内容（居住物件や就職先の紹介など）への対応 ②空き家所有者等へ空き家の利活用について照会。 ③お試し滞在助成や空き家利活用事業の実施。 ④県外での移住相談会へ参加。
実施方針	①移住希望者からの相談受付業務。 ②空き家バンク制度の運用。 ③お試し滞在助成や空き家利活用事業（判定支援、リフォーム）を実施。	当初からの変更点	旅費を要する移住交流支援案件がなかったため減額。 3月補正　地域経済振興費　旅費 51千円減額

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	移住相談件数	95	50	15	50	50	件
	2	移住者数	9	10	10	2	2	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		空き家バンク新規登録件数	19	6	7	5	5	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①空き家バンクの新規登録及び賃貸・売買契約の成立 ②助成金の交付 ③県外での移住相談会に参加	①空き家バンクの新規登録及び賃貸・売買契約の成立 ②助成金の交付 ③県外での移住相談会に参加	①移住希望者からの相談受付業務 ②空き家バンク制度の運用 ③お試し滞在助成や空き家利活用事業 ④県外での移住相談会へ参加	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	・徳島県空き家再生等促進事業補助金 空き家判定業務及び空き家判定業務の検査に要する経費（1/2） ・徳島わくわく移住支援事業費補助金 単身での移住の場合：一世帯あたり60万円（県45万円、市15万円） 世帯での移住の場合：一世帯あたり100万円（県75万円、市25万円）
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	02	商工業振興費	
事業1	009	地域経済振興費	事業期間：単年度繰り返し
事業2	01	地域経済振興費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,944	△ 51	1,893	1,927	1,927

事務事業名	移住交流支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・移住相談者からの移住相談業務（ヒアリング、移住支援制度の紹介、就職先の企業情報提供等） ・空き家バンクに関する業務（現地調査、空き家所有者等との連絡調整、ウェブサイトにより市の魅力や空き家の情報発信） ・JOIN移住・交流＆地域おこしフェア2021(R3.3.14)、徳島県移住相談会in大阪(R3.1.9)にオンライン参加。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	移住相談件数	80	92	50	50	50	件
	2	移住者数	16	4	2	2	2	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		空き家バンク新規登録件数	6	8	5	5	5	件
		目標達成率(実績/目標)		114.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		148,743	0	302,463	0	302,463
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	30,000	0	30,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	110,000	0	110,000
		一般財源	148,743	0	162,463	0	162,463

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	空き家バンク新規登録件数		成果指標に対する所見	コロナ感染症の影響によりイベントのオンライン化等の変更はあったが、成果指標の目標を達成したため計画通りとする。
	目標	7	件		
	実績	8	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成29年度から市に移住相談支援センターを設置し、空き家登録件数や移住相談者数は徐々に増えてきたが、長期化するコロナウイルス感染症の影響を受け、対面での相談からオンライン上での相談を余儀なくされるが、機会ととらえ電話やメールでの相談、またはウェブ上での情報発信を適切に対応する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・移住交流相談会への参加や、移住相談の実施。 ・空き家バンク制度の実施（現地調査、空き家所有者等との連絡調整、ウェブサイトによる市の魅力や空き家の情報発信） ・お試し滞在助成制度、徳島わくわく移住支援事業の活用。
	令和4年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.92

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	中心市街地活性化推進事業	担当部署	商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など	中心市街地活性化法、都市計画法、大店立地法、鳴門市中心市街地活性化基本計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始：平成　12　年度
（小項目）		市街地		
施策	2	活気に満ちた市街地の形成		
基本事業	2	中心市街地の賑わいの創出		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	中心市街地の活性化を図り、事業所の所得向上を目指す	事業内容（R2）	鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、 中心市街地活性化事業を実施。 【実施内容】 大道商店街にて「100円商店街」（夏・冬）と「納涼市」（夏）を開催
実施方針	中心市街地での賑わいの場を創出	当初からの変更点	コロナ感染症の影響により大道商店街イベントがすべて中止のため減額。 ・3月補正　地域経済振興費　委託料 700千円　減額

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		中心市街地での事業実施回数	4	3	3	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①中心市街地活性化事業の実施	①中心市街地活性化事業の実施	①中心市街地活性化事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	02	商工業振興費	
事業1	009	地域経済振興費	事業期間
事業2	01	地域経済振興費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	700	△ 700	0	1,100	1,100

事務事業名	中心市街地活性化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	コロナ感染症の影響により中止。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		中心市街地での事業実施回数	3	0	6	3	3	件
		目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		700,000	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	700,000	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	中心市街地での事業実施回数		コロナ感染症の影響により今年度事業は中止となったため成果指標の目標を達成できなかった。
	目標	3	件	
	実績	0	件	
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長期化するコロナ感染症の影響により今年度は事業が中止となった。今後についてはコロナ感染状況を踏まえながら、鳴門商工会議所等とイベントなどの実施について協議していく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	大道商店街にて「100円商店街」、「納涼市」を実施するとともに、講師を招聘して商店街のブランド創出や今後のまちづくりについて検討する。
	令和4年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.93

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	なると観光ブランド化推進事業（鳴門海峡の世界遺産化に向けて）	担当部署	観光振興課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　21　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	1	観光ブランドづくり			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す取り組みを進めるなど、市内における観光地のブランド化を推進する。	事業内容（R2）	①推進協議会において引き続き学術調査を進め、機運醸成を図るとともに普及啓発活動を実施する。 ②パンフレットやポスター等を用いて、県内外でPRキャンペーン等を実施するとともに、市においては、3つの遺産（鳴門の渦潮・四国遍路・板東俘虜収容所関係資料）を巡る旅行商品の企画・造成に対する助成を行う。
実施方針	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、世界遺産化に向けた取り組みを推進する。 ①自然・文化両分野の学術調査 ②普及啓発活動	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		観光入込客数	1,909,641	1,950,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①学術調査（自然・文化） ②文化コンクール ③国際シンポジウム ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査（自然・文化） ②①をもとに取り纏め文書を作成 ③講演会の開催 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査（自然・文化） ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	07	商工費		
項	01	商工費		
目	03	観光費		
事業1	006	観光振興費	事業期間	
事業2	01	観光振興費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,000	0	3,000	3,000	3,000

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 （鳴門海峡の世界遺産化に向けて）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	協議会においては、昨年度に引き続き、兵庫県は自然分野、徳島県は文化分野から鳴門の渦潮にアプローチすることで、自然・文化の両面から世界遺産登録を目指し、各種取組を推進した。 取組内容としては、兵庫県・徳島県両県において、文献調査をはじめとする学術調査を進めるとともに、パネル展や講演会などの普及啓発活動や海岸清掃などを行った。 市においては、世界遺産化を目指している3つの世界遺産（鳴門の渦潮・四国遍路・板東俘虜収容所関係資料）を巡る旅行商品の企画・造成に対する助成を行ったが、各種キャンペーン活動や渦開きについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施することができなかった。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	8	6	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		観光入込客数	2,333,625	1,151,348	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
		目標達成率(実績/目標)		57.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,682,264	0	2,103,740	0	2,103,740
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,682,264	0	2,103,740	0	2,103,740

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数	
	目標	2,000,000	人
	実績	1,151,348	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発令などにより、観光客が激減したことで、目標を達成できなかった。 今後、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、世界遺産登録に向けて、各種取組を推進する。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在、世界遺産登録に向けて、自然・文化の両面から調査・研究を続けており、今後の暫定リスト入りに向け、より詳細に世界遺産登録基準やOUV（顕著な普遍的価値）等を鑑みながら事業を進めていく必要がある。 また、登録には、長期の期間が必要となってくるため、地域の機運が低下する恐れがあることから、住民への普及啓発を継続的に実施していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	協議会においては、引き続き、調査・研究を進めるとともに、機運醸成を図るため、普及啓発活動に取り組む。 また、市においては、世界遺産にチャレンジしている3つの世界遺産を巡るツアーを引き続き、実施するとともに、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、県内外でのPRを検討・実施する。
	令和4年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.94

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	阿波踊り振興事業	担当部署	観光振興課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　21　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	1	観光ブランドづくり			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	阿波おどりそのものの魅力向上や各種イベント開催、情報発信などを行うことで、県内外からの観光誘客を図り、阿波おどりの振興を通じた交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。 また、関係団体と連携し、阿波おどりの担い手育成を推進する。	事業内容（R2）	①メッセージ花火を実施するとともに、有料観覧席を設置する。 ②鳴門市阿波踊振興協会所属連やゲスト連による舞台形式の阿波おどりを披露する。 ③ゲスト招聘や新たな企画などにより、県内外から誘客を図る。 ④県外の旅行会社等に対し、直接セールスを行うなど誘客を図る。 ⑤関係団体と連携して、担い手育成や阿波踊り連の連員増に向けた取り組みを推進する。 ⑥インターネットやSNS、マスメディア等を活用して、広く情報を発信する。
実施方針	①鳴門市納涼花火大会の開催 ②鳴門市選抜阿波おどり大会の開催 ③鳴門市阿波おどりの開催 ④県内外への情報発信 ⑤阿波おどり担い手育成	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外から多数の方が集まる阿波踊りや納涼花火大会等の事業は中止となった。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	桟敷入場者数	4,572	5,344	6,000	6,000	6,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		鳴門市阿波おどり来場者数	83,000	79,000	80,000	80,000	80,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信	①納涼花火大会 ②選抜阿波おどり大会 ③鳴門市阿波おどり ④情報発信 ⑤担い手育成	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	03	観光費	
事業1	004	観光事業費	事業期間
事業2	01	阿波踊開催事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	13,133	△ 13,133	0	15,545	13,133

事務事業名	阿波踊り振興事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、鳴門市阿波おどりや鳴門市選抜阿波おどり大会など阿波踊り振興事業は中止とした。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	桟敷入場者数	5,344	0	6,000	6000	6,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市阿波おどり来場者数	79,000	0	80,000	80,000	80,000	人
		目標達成率(実績/目標)		0.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		14,223,000	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	14,223,000	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	鳴門市阿波おどり来場者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となった。イベント開催ガイドラインや他のイベント等を参考に、次年度の開催方法の検討を進める必要がある。
	目標	80,000	人		
	実績	0	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた開催方法を検討するとともに、開催にあたっては、これまで以上に「鳴門市阿波おどり」の魅力創出や情報発信を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染拡大状況や、他市のまつり開催状況、鳴門市阿波踊振興協会の意見等の情報収集を行い、感染対策を実施したうえで開催について検討を進める。
	令和4年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.95

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業	担当部署	観光振興課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　19　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	2	国内外の観光客受け入れ態勢の整備			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☑ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	団体から個人単位の旅行に変化していく中で、観光ボランティアガイドに対するニーズが高まっており、観光客と触れあいながら本市の観光資源を紹介・案内する市民参加による「なると観光ボランティアガイド」の育成を図る。	事業内容（R2）	①観光ボランティアガイド養成講座の実施。 ②令和元年度同様、様々な媒体を利用したPRを行い、養成講座受講者数の増加に努める。
実施方針	①観光ボランティアガイドへのニーズに対応するため、観光ボランティアガイド養成講座の実施。 ②養成講座受講者数の増加に向けたPR活動の実施。 ③養成講座受講者がボランティアガイドとして定着するような組織、体制づくりを図る。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光ボランティアガイド養成講座の実施を見送った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	観光ボランティア養成講座実施回数	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		観光ボランティアガイド数	39	45	50	50	50	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	養成講座の開催や、養成講座受講者増加に向けたPR活動	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	07	商工費		
項	01	商工費		
目	03	観光費		
事業1	006	観光振興費	事業期間	
事業2	01	観光振興費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	300	△ 300	0	300	300

事務事業名	観光ボランティアガイド育成事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた観光ボランティアガイド養成講座を開催することができず、新規会員の獲得ができなかったが、「レベルUP研修を兼ねたウォーキング」の開催などにより、活動機会の創出やスキルアップを図ることにより、会員の定着化を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	観光ボランティア養成講座実施回数	10	0	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		観光ボランティアガイド数	47	36	50	50	50	人
		目標達成率(実績/目標)		72.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		300,000	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	300,000	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光ボランティアガイド数	
	目標	50	人
	実績	36	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	会員数は令和元年度と比較して減少したものの、一定の会員数は確保できている。 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、養成講座の開催方法について検討するとともに、開催に当たっては、受講者数増加に向けて、周知に努める。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	会員の高齢化により、毎年、退会者が出ていることから、人材を確保するため、定期的に養成講座を開催する必要がある。 開催にあたっては、若い世代にも参加していただけるよう、周知方法や講座内容等の検討を行う必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、観光ボランティアガイド養成講座の開催を検討する。 また、講座開催の際には、養成講座の受講者増を図るため、十分なPRを行う。
	令和4年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.96

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業	担当部署	観光振興課

総合計画体系

基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると
(小項目)		観光
施策	1	観光・交流のまちづくり
基本事業	3	観光情報の発信強化

根拠法令計画など		
事業期間	開始	平成　25　年度
	終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市への観光客の大半を占める関西圏をターゲットとしたセールスプロモーションを実施することにより、観光客増加を図る。
実施方針	各種のセールスプロモーション事業を実施することにより、観光誘客を図る。 ①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業
事業内容（R2）	①全国放送番組へのアプローチを行い、PR効果を高める。 ②観光資源などの画像を高速バスにラッピングし運行することで観光PRを図る。 ③関西圏を中心とした交通拠点等にイベントポスターやチラシなどを掲出することにより誘客を図る。
当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響により、地方でのロケが行いづらい状況となったことにより、番組制作自体が減少した。 また、都市圏への営業活動も行うことができなかった。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数	4	4	4	4	4	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	観光入込客数	1,909,641	1,950,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	07	商工費
項	01	商工費
目	03	観光費
事業1	006	観光振興費
事業2	04	セールスプロモーション事業費

補助制度（名称、補助率など）

事業期間

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,704	△ 590	3,114	3,274	3,274

事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業

【実績ベース】

◎実施結果（EO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	セールスプロモーション事業は、「ロケ誘致事業」、「走る広告塔事業」、「交通広告事業」の三つを柱として実施してきたが、新型コロナウイルス感染症が都市部を中心に拡大したことにより、令和2年度は、「走る広告塔」事業のみの実施となった。 「走る広告塔事業」では、徳島～関西間を運航する高速バスに、本市の観光資源やベートーヴェン「第九」アジア初演100周年、3つの世界遺産をモチーフにしたラッピングを施し、本市のPRを行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数	3	0	2	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		観光入込客数	2,333,625	1,151,348	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
		目標達成率(実績/目標)		57.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		3,060,920	0	1,980,000	0	1,980,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,060,920	0	1,980,000	0	1,980,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数	
	目標	2,000,000	人
	実績	1,151,348	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光入込客数が大幅に減少することとなった。 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、V字回復期に向け、鳴門市のPRを行う必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの感染者数の増減が繰り返される情勢で、大阪や東京といった都市圏を中心とした誘客活動が難しく、継続したプロモーションを行っていくためには、ターゲットの変更も検討する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	関西圏を中心に、「走る広告塔事業」、「交通広告事業」を継続的に実施することで、本市のPRを行う。なお、「交通広告事業」においては、掲出素材や媒体等の検討も行う。 「ロケ誘致事業」では、多くのテレビ局・制作会社のある東京・大阪にアプローチしていたが、新型コロナウイルスの状況を注視し、場合によっては、近隣県にターゲットを変更する。
	令和4年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.97

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広域観光推進事業	担当部署	観光振興課

総合計画体系

基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると
(小項目)		観光
施策	1	観光・交流のまちづくり
基本事業	4	にぎわいと交流の創出

根拠法令計画など	
事業期間 開始	平成　15　年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	瀬戸内四都市広域観光推進協議会やイーストとくしま観光推進機構など広域連携を推進し、観光情報の効果的発信や周遊ルートの設定、受入環境の整備を進め、訪日外国人を含む全国からの観光客誘致を図る。
実施方針	広域連携による取り組みを推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。 ①インバウンド事業の推進 ②国内観光客誘致事業の推進
事業内容（R2）	①アジア圏域をターゲットに情報発信等を行い、外国人観光誘客を推進する。 ②国内観光客をターゲットに観光プロモーションを行い、観光誘客を図る。 ③観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、官民連携で国内外の商談会へ参加する。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	観光入込客数	1,909,641	1,950,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	03	観光費	
事業1	006	観光振興費	事業期間
事業2	01・02	観光振興費・瀬戸内四都市広域観光推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,110	0	3,110	3,240	3,260

事務事業名	広域観光推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(EO)

事業実施内容	令和2年度実施内容	瀬戸内三都市広域観光推進協議会では、新たに公式ホームページを制作し、各自治体の観光資源をPRするとともに、当該ホームページに誘導するためのバナー広告を掲出する等、情報発信の強化を行った。 また、イーストとくしま観光推進機構では、徳島県内での観光需要喚起のためマイクロツーリズム推進事業を行うとともに、国内外からの誘客促進を図るため、「文化・伝統・食・自然体験」等のコンテンツ造成による受入環境を整備した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		観光入込客数	2,333,625	1,151,348	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人
		目標達成率(実績/目標)		57.6	－	－	－	%

事業費推移(円)	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		3,202,000	0	3,094,000	0	3,094,000
	財源内訳	国庫支出金	888,000	0	746,545	0	746,545
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,314,000	0	2,347,455	0	2,347,455

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数	
	目標	2,000,000	人
	実績	1,151,348	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が激減した。 今後は、V字回復期に向け、観光客の受入環境整備の強化や観光情報の効果的な発信を行う必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染拡大により、現状においては、インバウンド向けの観光誘客については実施が困難な状況であるため、国内向け観光誘客や新型コロナウイルス感染症が収束した後のインバウンド需要を見据えた、受入環境整備を行う必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	瀬戸内三都市広域観光推進協議会では、動画制作やHP・マスメディアを活用した情報発信を強化し、認知度向上及び誘客促進を図る。また、イーストとくしま観光推進機構では、コロナ禍の状況に併せて、まずは近隣からの誘客を図るため、マイクロツーリズム推進事業を実施するとともに、「文化・伝統・食・自然体験」等の魅力を活かしたコンテンツ造成など受入環境整備を展開する。
	令和4年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.98

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コンベンション誘致支援事業	担当部署	観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市コンベンション開催支援助成金交付要綱
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間 開始	平成 12 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると			
(小項目)		観光		終期	未定
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることで市内への交流人口増大及び地域経済の活性化を図る。	事業内容（R2）	①新規コンベンション誘致に努めるとともに、前年度助成対象外であった継続大会への助成を行う。 ②スポーツ大会等を主催する団体に対し、助成内容の案内を行うことにより、本市で定例的に開催されている大会の継続実施を促進する。 ③インバウンドなどに対応した新制度により、コンベンション助成を推進する。
実施方針	①新規コンベンションの誘致に努める。 ②各スポーツ団体や文化活動団体、県内の大学などへ制度の紹介を行うなど、本市での各種会議や大会などの開催促進を行う。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのコンベンションが中止となったことにより、コンベンションの誘致を図ることができなかった。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成金交付件数	8	10	10	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	4,160	4,000	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		コンベンション宿泊数	1,518	3,500	3,700	3,900	3,900	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①助成制度の見直し ②情報発信	①助成制度の見直し ②情報発信	①開催経費に対する助成 ②情報発信	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	07	商工費	
項	01	商工費	
目	03	観光費	
事業1	005	観光団体助成費	事業期間
事業2	03	コンベンション開催支援助成金	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,000	△ 1,500	500	2,000	2,000

事務事業名	コンベンション誘致支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのコンベンションが中止となったことから、コンベンション等の誘致を図ることができなかった。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成金交付件数	12	2	10	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	7,017	928	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		コンベンション宿泊数	3,849	376	3,900	3,900	3,900	人
		目標達成率(実績/目標)		10.2	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,857,500	0	250,000	0	250,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,857,500	0	250,000	0	250,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	コンベンション宿泊数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、コンベンション等の誘致件数は大幅に減少した。 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、県内外に向けて助成金制度の周知等を行うことで、コンベンションの誘致に努め、宿泊者数の増加につなげる。
	目標	3,700	人		
	実績	376	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	定期的な大会等を本市で開催してもらえるよう、関係団体へのアプローチを継続して行うとともに、関係機関と連携しながら本制度の周知及び鳴門市の魅力PRし、新規大会獲得に努める必要がある。 また、ターゲットを近隣県に変更するなど、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、施策の検討を行う必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、誘致対象の精査を行う等、コロナ禍でも継続して実施可能なコンベンション等の誘致方法の検討を行う。
	令和4年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.99

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ブランドの強化	担当部署	農林水産課

総合計画体系			根拠法令計画など	もうかるブランド推進課関係事業補助金交付要綱・鳴門市農林水産振興補助金交付要綱 等
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始：平成 16 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なると		
(小項目)		農林水産業		
施策	3	農業の振興		
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進	終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市農水産物の総合ブランド化と各品目ごとの生産者の所得の確保。次世代の担い手を確保することにより、産業としての足腰の強い農業の持続的発展を目指す。	事業内容（R2）	①鳴門市ブランド産地振興事業補助金 ②れんこん食害対策調査業務 ③地区ごとの人・農地プランの見直し ④農業次世代人材投資資金・青年等就農資金（※）による支援 ⑤経営体育成支援事業による支援等により具体的な新規就農支援 ※平成26年度から新設された制度で、新たに農業経営を営もうとする青年等に対し、農業経営を開始するために必要な資金を長期無利子で貸し付ける制度(借入限度額3,700千円)
実施方針	①農協・漁協、生産者団体、関係機関等と連携し、生産・流通・販売振興に取り組む。 ②鳴門市ブランド産地振興事業補助金を活用しブランド強化 ③各品目ごとに生産者の所得を確保 ④国補助制度を活用し、新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症に関する支援策として、鳴門市インターネット販売支援事業と鳴門市農林漁業者支援給付金給付事業を実施することとしたため、補正予算を計上した。 また、農業人材力強化総合支援事業補助金について、新規申請者がいなかったため、減額補正を行った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新規就農希望者相談・指導件数（経営継承除く）	17	5	14	14	14	人
	2	農業人材力強化総合支援事業補助金 新規申請者数	0	3	3	3	3	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		次世代の担い手の確保（新規・継続含む）	403	406	409	412	415	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	従来より認定を受けられている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保した。 鳴門ブランドである農産物の被害防除の支援を行った。 また認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。	従来より認定を受けられている農家の認定更新を推進しつつ、市内各農協等と連携して、新規で認定を受けられる農家を確保する。 鳴門ブランドである農産物の被害防除の支援を行う。 また認定審査にあたっては、地域内各JA・県農業支援センターと協力し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。	①新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。 ②新規就農者に向けた支援を行う。 ③鳴門ブランドである農産物の産地振興への支援を行う。	継続	継続

◎積算基礎

予算					補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	01	一般会計	鳴門市ブランド産地振興補助金（補助率1／4、10aあたり1万円が上限） 農業次世代人材投資事業（10／10） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	06	農林水産業費	06	農林水産業費	
項	01	農業費	01	農業費	
目	03	農業振興費	03	農業振興費	
事業1	005	ブランド推進事業費	009	農業人材力強化総合支援事業補助金	事業期間
事業2			001	農業人材力強化総合支援事業	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	20,225	16,849	37,074	33,540	33,540

事務事業名	鳴門ブランドの強化

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	市内各JA・県農業支援センターと連携・協力し、認定農業者の認定更新の推進を行い、新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。また、新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。 鳴門ブランド農産品を確立するため、れんこん食害対策への支援によるブランド産地の生産振興を図った。また、かんしょ栽培用の手入れ砂及びレンコン田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する「鳴門市ブランド産地振興補助金」による支援を実施した。 新型コロナウイルス感染症に対する支援策として、外出自粛時にも対応した新たな販路確保を目的として、インターネット販売に取り組む市内農協に対しての支援を行った。また、収入が減少している市内の農業者に対し、本市の農業の持続的な発展を促すことを目的として、農業者が負担している次期作に向けた資材等への支援を行うとともに、市内農協に事務委託を行い、支援事業を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新規就農希望者相談・指導件数（経営継承除く）	6	7	14	14	14	人
	2	農業人材力強化総合支援事業補助金 新規申請者数	3	0	3	3	3	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		次世代の担い手の確保（新規・継続含む）	394	408	412	415	418	人
		目標達成率(実績/目標)		99.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		15,437,909	0	32,111,534	0	32,111,534
	財源内訳	国庫支出金	0	0	17,159,000	0	17,159,000
		県支出金	13,500,000	0	12,750,000	0	12,750,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,937,909	0	2,202,534	0	2,202,534

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	次世代の担い手の確保（新規・継続含む）		成果指標に対する所見	目標に到達できなかったが、今後も各JA・県農業支援センターと協力しながら認定農業者数の増加に向けた取組を増やしていきたい。
	目標	409	人		
	実績	408	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	認定農業者等担い手の育成状況は、特産物等の産地化が定着している地域においては毎年度増加し、新規認定者も確保できている。しかし、山間部や高齢化が進行している集落では担い手の確保が困難であり、農業生産や農地保全に対する合意形成が得られにくい。 新たな担い手の育成と確保については、国補助制度等を活用しながら新規就農者への支援に取り組み、事務体制の整備と関係機関等の協力が必要不可欠となっている。また、農業次世代人材投資資金交付終了者に対し、個別に認定農業者への加入を進めていく。 更なる農産物のブランド化を図っていくためには、農協等の生産者団体をはじめ、県市関係機関の協力体制や連携強化による事務事業の効率性を高めていくことが重要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	市内各JA・県農業支援センターと協力しながら、認定農業者の増加に向けた取組を進める。また、国補助制度を活用しながら、新規就農者に対する支援を行い、新規就農者の確保と営農定着を図る。 農協・生産者等と連携し、主要消費地や市内でのPRをはじめ、生産振興策に取り組むとともに、「鳴門市ブランド産地振興補助金」として、かんしょ栽培用の手入れ砂及びれんこん田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する補助を実施する。
	令和4年度	R3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.100

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コウノトリブランド推進事業	担当部署	農林水産課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　28　年度
(小項目)		農林水産業			
施策	3	農業の振興		終期	未定
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市に飛来している特別天然記念物「コウノトリ」に着目した、地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、生産支援を行う。	事業内容（R2）	①新たなコウノトリブランドの推進に関する情報収集等 ②周辺対策警備業務
実施方針	①「鳴門市コウノトリブランド認証制度」をもとに、鳴門藍住農業支援センター、JAと連携し、ブランド認証の条件となる「エコファーマー」のさらなる認定推進を図る。 ②県や地元住民等で構成する「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、「マナー対策」「餌場確保対策」「新たな商品のブランド化に向けた検討」等に取り組む。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症の影響により、旅費と委託料（周辺対策警備業務）について、減額補正を行った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	コウノトリブランド認証延べ件数	22	22	23	24	25	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		コウノトリブランド認証延べ件数	22	22	23	24	25	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①地元農産物の生産振興と新たな商品のブランド化に向け視野が広まった。 ②ブランド認証制度等の運用について、他市と意見交換等することで知識を深めることができ、効率的な運用方法の確認がで	ブランド認証制度の更なる推進をとともに、周辺対策についても引き続き実施する。	①ブランド認証制度の更なる推進 ②周辺対策の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	06	農林水産業費	
項	01	農業費	
目	03	農業振興費	
事業1	012	コウノトリブランド推進事業費	事業期間
事業2	01	コウノトリブランド推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	4,207	△ 3,048	1,159	4,440	4,440

事務事業名	コウノトリブランド推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①新たな商品のブランド認証を進めることができた。 ②「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、マナー対策等を実施するとともに、巣周辺対策警備業務を見直しを行いながら、引き続き実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	コウノトリブランド認証延べ件数	23	30	32	34	36	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		コウノトリブランド認証延べ件数	23	30	32	34	36	件
		目標達成率(実績/目標)		130.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,259,896	0	481,892	0	481,892
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,259,896	0	481,892	0	481,892
		一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	コウノトリブランド認証延べ件数		成果指標に対する所見	新たな商品のブランド認証やブランド認証団体を増やすことができ、目標を達成できた。
	目標	23	件		
	実績	30	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コウノトリブランド認証制度について、さらなる推進を図れるよう、今後も取り組んで行く必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べて観察者が少ない状況となったが、交通状況やマナーの悪化など、付近の営農者や地元住民に負担がかかっている状況となっていることから、周辺対策警備業務の見直しをするか更なる充実を図るか引き続き検討する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。
	令和4年度	R3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.101

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）	担当部署	農林水産課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	六次産業化法 鳴門市農漁業六次産業化推進支援事業実施要領	
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始：平成　24　年度
(小項目)		農林水産業		終期：未定
施策	3	農業の振興		
基本事業	2	農業の高度化		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	産直市や道の駅に関わる生産者・生産者団体、関係機関等が生産・加工・流通・販売振興に連携して取り組み、産業間の有機的連携を深めることで本市産業の底上げを図り、魅力あふれるまちづくりに努める。	事業内容（R2）	①関西圏等のイベントに生産者、商工事業者、観光協会等と連携し、本市農水産物及び加工品等のPR・キャンペーンに取り組む。 ②農漁業六次産業化推進支援事業により、レンコン等を活用した新商品の開発や産直施設に向けた支援を実施する。
実施方針	農協や漁協が運営主体となっている産直施設を拠点として、農水産物の六次産業化等を進めることで、産直市・道の駅の発展に努める。	当初からの変更点	農漁業六次産業化推進支援事業補助金について、年度初めに、当初予算で計上した金額以上に取組実施の要望があったため、補正予算を計上した。 新型コロナウイルス感染症による農水産物流通・販売への影響が出ている中、農水産物の売上向上を図り販売促進に取り組むため、補正予算を計上した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	2	2	2	2	3	件
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	2	2	2	2	3	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①トップセールスの実施（関西圏のイベント2件） ②農漁業六次産業化推進支援事業により、干し芋の加工に関する機器整備を支援した。	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する。 ③JA大津松茂が進めている産直施設の販促備品の整備に向けた支援を実施する。	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスの実施。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援。 ③JA大津松茂の産直施設に向けた支援。	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	鳴門市農漁業六次産業化推進支援事業補助金（補助率1／2、上限50万円） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	06	農林水産費	
項	01	農業費	
目	03	農業振興費	
事業1	011	農漁業六次産業化推進事業費	事業期間
事業2	01	農漁業六次産業化推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,325	860	2,185	1,825	1,825

事務事業名	連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①本市農水産物をPRするためのブランドパンフレットを新たに作成した。また、新型コロナウイルス感染症による農水産物流通・販売への影響が出ている中、農水産物の売上向上を図ることを目的として、本市特産物を発信する新たな機会を作るため、「なると金時」と「れんこん」のPR動画の作成を行った。 ②農漁業六次産業化推進支援事業により、レンコン等を活用した新商品の開発への支援や農産物直売所えがおで季節ごとの農産物を特設売場での販売促進事業に関する支援等を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	2	4	2	2	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	2	4	2	2	3	件
		目標達成率(実績/目標)		200.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		801,000	0	1,612,400	0	1,612,400
	財源内訳	国庫支出金	0	0	400,000	0	400,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	801,000	0	1,212,400	0	1,212,400

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数		成果指標に対する所見	六次産業化推進支援事業に関する相談が4件あり、相談があった4件への支援を実施した。
	目標	2	件		
	実績	4	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来実施している本市農水産物及び加工品等のPR・キャンペーンに取り組むことができなかった。このような状況が続く中で、販売促進やPRについての新たな手法を検討する必要がある。また、六次産業化事業及び補助事業について、今後新たな展開を進めていけるよう、制度周知にも努めていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスに取り組む。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する。 ③市内産直施設との連携を図っていく。
	令和4年度	R3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.102

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	多面的機能支払交付金事業	担当部署	農林水産課

総合計画体系

基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると
(小項目)		農林水産業
施策	3	農業の振興
基本事業	4	農業生産基盤の整備

根拠法令計画など：多面的機能支払交付金実施要綱
多面的機能支払交付金交付要綱
徳島県多面的機能支払交付金交付要綱

事業期間　開始：平成　26　年度　／　終期：未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等を行うことにより、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図り、地域の農業者、地域住民、都市住民等の多様な主体の参加を得て、効果の高い活動へ支援を行う。
実施方針	一定のまとまりのある地域を対象に、農業者やその他の地域住民を中心とし、JAや土地改良区等の関係団体で組織され、地域ぐるみで農地・農業用水等の保全活動を行っている団体に対し、支援を行う。
事業内容（R2）	令和元年度に引き続き全17地区が活動。 全17地区　対象面積836.01ha 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会　徳長地区資源保全協議会　段関地区資源保全向上活動協議会　小森グリーンネット　大代地区資源保全協議会　馬詰地区資源保全協議会　木津野地域資源保全協議会　矢倉地区資源保全協議会　鳴門町地区資源保全協議会　大幸地区資源保全協議会　長江地区自然保全協議会　折野地区資源保全協議会　三俣地区資源保全協議会　池谷資源保全会　備前島地区資源保全協議会　吉永地区資源保全協議会　市場地区資源保全協議会
当初からの変更点	県からの最終割当内示額に合わせて減額する。また、農地転用等により、交付対象農地から除外された面積に対しても減額する。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	908	803	803	803	803	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	活動人数	11,651	10,698	10,698	10,698	10,698	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	鳴門市内17団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を行った。	鳴門市内17団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行う。	鳴門市内17団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を行う。	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	06	農林水産業費
項	01	農業費
目	05	農地費
事業1	002	施設整備事業費
事業2	04	多面的機能支払交付金事業費

補助制度（名称、補助率など）：国 1/2、県 1/4、市 1/4

事業期間：

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	54,373	△ 3,894	50,479	54,958	54,958

事務事業名	多面的機能支払交付金事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	鳴門市内17団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	888	811	803	803	803	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		活動人数	11,158	8,735	10698	10698	10698	人
		目標達成率(実績/目標)		81.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算見込額	決算見込額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		52,260,985	0	50,101,139	0	50,101,139
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	38,948,744	0	37,528,905	0	37,528,905
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	13,312,241	0	12,572,234	0	12,572,234

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	活動人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動組織における大人数での共同活動を中止もしくは縮減したため、活動人数が目標に達しない結果となった。
	目標	10,698	人		
	実績	8,735	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	多面的機能支払交付金は農業振興地域農用地区域の農地が補助対象であることから、補助対象外の地区等においては市単独での対策が必要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	●農地維持支払交付金 17団体　●資源向上支払交付金(共同活動) 17団体　●資源向上支払交付金(長寿命化) 17団体 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会　徳長地区資源保全協議会　段関地区資源保全向上活動協議会　小森グリーンネット　大代地区資源保全協議会　馬詰地区資源保全協議会　木津野地域自然保全協議会　矢倉地区資源保全協議会　鳴門町地区資源保全協議会　大幸地区資源保全協議会　長江地区自然保全協議会　折野地区資源保全協議会　三俣地区資源保全協議会　池谷資源保全会　備前島地区資源保全協議会　吉永地区資源保全協議会　市場地区資源保全協議会
	令和4年度	R3年度と同様

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.103

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）	担当部署	農林水産課

総合計画体系			根拠法令計画など	徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱、鳴門市農林水産振興補助金交付要綱
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始：平成 12 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると		
(小項目)		農林水産業		
施策	5	林業の振興		
基本事業	1	緑豊かな森林の整備		終期：未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。	事業内容（R2）	継続して鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。
実施方針	①鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会への委託 ②捕獲檻の設置	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、駆除員が頻繁に捕獲檻の見回りに外出しなくてもよいよう、センサー付捕獲檻や、見回り頻度が少なくてすむサル用大型捕獲檻を導入することとした。また、鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会への委託費を増額し、駆除活動の強化を図った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		サル・イノシシ捕獲頭数	367	580	450	450	450	頭

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行った。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行う。	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	06	農林水産業費	
項	02	林業費	
目	02	林業振興費	
事業1	002	鳥獣被害対策事業費	事業期間：単年度繰り返し
事業2	01	鳥獣被害対策事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	412	2,326	2,738	2,340	2,340

事務事業名	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行った。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		サル・イノシシ捕獲頭数	658	550	450	450	450	頭
		目標達成率(実績/目標)		122.2	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		412,000	0	2,644,128	0	2,644,128
	財源内訳	国庫支出金	0	0	1,778,480	0	1,778,480
		県支出金	412,000	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	865,648	0	865,648

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	サル・イノシシ捕獲頭数		捕獲目標頭数において達成、内訳としてもイノシシ497頭・サル53頭と捕獲頭数も増加し農作物被害軽減に繋がっている。 市内各地に捕獲檻を設置することは有効性があったため引き続き継続していく。
	目標	450	頭	
	実績	550	頭	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	主に導入している捕獲檻（スナガ式）については、イノシシ等、四足鳥獣に対して特化しているため、サルの場合になると檻自体になかなか入らないため、捕獲が困難である。 令和2年度に導入した、サル捕獲に有効とされる地獄檻等の追加設置を検討していきたいが、檻の価格が高額、大型になるため、設置箇所、予算配分等を考えていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。
	令和4年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.104

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	海面環境保全推進事業	担当部署	水産振興室

総合計画体系

基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると
(小項目)		農林水産業
施策	6	水産業の振興
基本事業	1	漁業生産基盤の整備

根拠法令計画など：徳島県補助金交付規則
徳島県水産関係事業費補助金交付要綱
鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱

事業期間　開始：昭和　55　年度　／　終期：未定

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	海底に沈降している堆積物や海岸漂着物を除去し、生産基盤である漁場の保全及び漁業生産の向上を図る。
実施方針	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施するとともに、海岸漂着物除去活動の支援を行う。
事業内容（R2）	①漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲量の減少対策として、漁場環境の保全を図るため、小型底曳網漁船を使用して堆積物を除去し、廃棄物処理業者に引き渡し処理を行う。 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動に対し、支援を行う。
当初からの変更点	小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去を実施した結果、回収された廃棄物が見込みより少なかったため、処理に要する経費が減額となった。 また、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動に対する支援についても、国の補助メニューの見直しにより補助対象額が減少し、事業費が縮減されたため、活動回数等が減少した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	13	12	12	5	5	回
	2	参加延人数	564	521	520	290	290	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		廃棄物処理量	236	226	220	116	116	㎥

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②廃棄物処理業者による処理 ③市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	01	一般会計
款	06	農林水産業費
項	03	水産業費
目	02	水産業振興費
事業1	004	海面環境保全推進事業費
事業2	01	海面環境保全推進事業費

補助制度（名称、補助率など）：とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業（海面環境保全推進）補助金
鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱

事業期間：

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,600	△ 1,672	1,928	3,450	3,450

事務事業名	海面環境保全推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	① 小型底曳網漁船を使用して堆積物の処理を行った。 ② 市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行った。 ※ 堂浦海をきれいにする会については、令和2年度で活動を完了することとなった。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	12	10	5	5	5	回
	2	参加延人数	521	407	290	290	290	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		廃棄物処理量	226	146	116	116	116	㎥
		目標達成率(実績/目標)		66.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,069,600	0	1,927,200	0	1,927,200
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,249,000	0	1,245,000	0	1,245,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	820,600	0	682,200	0	682,200

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	廃棄物処理量		成果指標に対する所見	各団体とも積極的な取組を進めたが、気象条件や、国の補助メニューの見直しによる事業費の縮減により、廃棄物処理量は当初の目標に及ばなかった。
	目標	220	㎥		
	実績	146	㎥		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	目標数値である海底堆積物の除去量は、台風・大雨等の自然災害や気象条件に左右される場合が多いが、海底・海面環境を保全し、漁業経営の安定化を図るため、今後も実施していく必要がある。 また、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動についても、海洋ごみに対する意識啓発という面からも継続して実施していく必要がある。 しかしながら、いずれも参加者の高齢化が進んでおり、後継者の育成・確保に取り組まなければならない。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施する。 また、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行う。
	令和4年度	前年度に同じ。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.105

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ブランド産地推進事業（水産）	担当部署	水産振興室

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱 徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始：平成　19　年度
(小項目)		農林水産業		
施策	6	水産業の振興		終期：未定
基本事業	2	漁業経営の安定化とブランド化の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市の特産物「鳴門鯛」「鳴門わかめ」等の販売の促進及び販路の拡大により、本市の基幹産業である水産業の振興を図る。	事業内容（R2）	①新鮮な水産物の捌き方を生産者が直接指導する「旬の魚の捌き方教室」や、「鳴門わかめの料理教室」、県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。
実施方針	①本市水産物の消費促進及び販路拡大のため、市内での料理教室や県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症対策として、下記の施策を実施した。 ①市内漁協によるインターネット販売拡充への支援 ②市内漁業者への支援給付金の給付 ③「鳴門わかめ」PR用動画や農水産物ブランドパンフレットの作成

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	県内外PR活動	4	3	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	7	6	7	7	7	回

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	県内外PR活動来場者数	3,400	2,030	5,000	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	06	農林水産業費	
項	03	水産業費	
目	02	水産業振興費	
事業1	005／006	ブランド推進事業費／沿岸漁業振興事業費	事業期間
事業2	01／01	ブランド推進事業費／沿岸漁業振興事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,782	13,975	15,757	1,782	1,782

事務事業名	ブランド産地推進事業（水産）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	本市水産物のPRのため、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら県内でのPR活動を行うとともに、魚のさばき方教室等の料理教室を実施した。 また、市内の若手漁業者の活動として、県内の小学校児童を対象に、ハマチの餌やり体験を実施した。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、下記の取組を行った。 ○ 市内漁協によるインターネット販売拡充への支援 ○ 「鳴門わかめ」PR用動画や農水産物ブランドパンフレットの作成 ○ 市内漁業者への支援給付金の給付

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	県内外PR活動	3	2	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	6	7	7	7	7	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		県内外PR活動来場者数	2,030	2,000	5000	5000	5000	人
		目標達成率(実績/目標)		40.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,368,461	0	10,798,032	0	10,798,032
	財源内訳	国庫支出金	0	0	9,740,000	0	9,740,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,368,461	0	1,058,032	0	1,058,032

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	県内外PR活動来場者数		新型コロナウイルス感染症の影響で、大消費地でのPR活動や、わかめ収穫期等に開催予定としていたイベントが中止となったため、来場者数としては減少する結果となった。
	目標	5,000	人	
	実績	2,000	人	
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、大消費地でのPR活動や、わかめ収穫期の2月、3月に開催予定としていたイベントや料理教室が中止となったことから、指標である来場者数は減少する結果となった。しかしながら、インターネット販売の支援や漁業者への個人支援など、コロナ禍に対応した施策を実施することにより、産地の維持を図った。 今後も漁業者や市内漁協の状況把握に努め、アフターコロナも見据えた産地の持続的な発展を支援する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援
	令和4年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援

各実施計画兼評価シート

消　防　本　部

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.106

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防団車両・資機材等整備事業	担当部署	消防総務課

総合計画体系			根拠法令計画など	消防法・消防組織法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間 開始	平成 23 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると		
(小項目)		消防		
施策	2	消防体制の充実	終期	未定
基本事業	2	消防力の強化		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防団車両や資機材の整備により地域防災力の充実強化を図る。	事業内容（R2）	①消防団配備の消防ポンプ車及び積載車の状況を踏まえ、以下の3分団の小型ポンプ付積載車等を更新する。 折野分団・市場分団・野黒山分団 ②自動体外式除細動器（AED）を8台整備する。 撫養・里浦・鳴門・瀬戸・大津・北灘・堀江・板東の8地区に1台ずつ配備。
実施方針	消防団車両・資機材等を計画的に更新し、消防力の強化を図る。	当初からの変更点	①夜間活動用器具として投光器・発電機を各41台整備する。 41分団に1台ずつ配備 ②安全装備品として救命胴衣を205着整備する。 41分団に5着ずつ配備。 ③救急救助用器具として油圧切断機を6台整備する。 撫養・鳴門・瀬戸・大津・堀江・板東の6地区に1台ずつ配備。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	小型ポンプ付積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防団資機材整備数	3	8	8	3	3	式
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		小型ポンプ付積載車更新達成率	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	小型ポンプ付積載車更新	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	消防団設備整備費補助金　補助率1/3
款	09	消防費	
項	01	消防費	
目	03	消防設備費	
事業1	001	消防施設整備費	事業期間
事業2	01	消防車両等購入費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	18,293	12,656	30,949	22,440	22,440

事務事業名	消防団車両・資機材等整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①令和2年6月に小型ポンプ付き積載車3台の入札を行い、11月に折野、市場分団と12月に野・黒山分団に配備した。 ②自動体外式除細動器（AED）を各1台ずつ、9月に木津神、里浦北、大毛、島田、大津第一、折野、堀江南、板東南分団に配備した。 ③投光器・発電機を各1個ずつ、2月に里浦南、粟田分団以外の41分団に配備した。 ④救命胴衣を各5着ずつ、2月に里浦南、粟田分団以外の41分団に配備した。 ⑤油圧切断機を各1台ずつ、3月に桑島、高島、北泊、中江、姫田、桧分団に配備した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	小型ポンプ付積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防団資機材整備数	9	301	3	3	3	式
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		小型ポンプ付積載車更新達成率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		22,315,680	0	30,574,500	0	30,574,500
	財源内訳	国庫支出金	466,000	0	4,877,000	0	4,877,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	9,200,000	0	9,800,000	0	9,800,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	12,649,680	0	15,897,500	0	15,897,500

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	小型ポンプ付積載車更新達成率	成果指標に対する所見	効率よく計画どおりに行った。
	目標	100 %		
	実績	100 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防団の小型ポンプ積載車及びポンプ車は46台あり、年3台の更新でも全分団を更新するのに15年以上かかるため計画的に更新していく必要がある。H27年度以降は、社会資本整備総合交付金が適用できなくなるため、有効な地方債（防災対策事業債等）を活用していく。また、消防資機材は、使用頻度、劣化具合を見極めて、優先度の高いものから計画的に更新していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	小型ポンプ付積載車3台（大谷、里浦仲、櫛木分団）を配備予定
	令和4年度	小型ポンプ付積載車3台を配備予定

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.107

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防施設耐震化推進事業	担当部署	消防総務課

総合計画体系			根拠法令計画など	建築基準法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始：平成 26 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると		
(小項目)		消防		
施策	2	消防体制の充実		終期：未定
基本事業	2	消防力の強化		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、消防団詰所で耐震基準を満たしていない建物を対象に、消防施設の耐震化整備を実施する。
実施方針	①大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、消防団詰所及び大麻分署の耐震化整備を実施する。 ②分団の再編に伴って改築する分団詰所についても大規模災害時に使用可能な施設として整備する。
事業内容（R2）	①三俣・板東南分団詰所の改築設計を行う。 ②備前島分団詰所の耐震改修工事行う。 ③折野分団、吉永・中江分団詰所の新築工事を行う。 ④大麻分署建設候補地を検討
当初からの変更点	吉永・中江分団の建築設計等は、建物用地の選定に不測の時間を要し次年度に繰り越した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震診断	2	0	0	0	0	棟
	2	耐震工事（改築設計）・耐震工事（改築工事）	4	5	4	4	3	棟
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		耐震化着手数	5	5	4	4	3	棟

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	【耐震診断】段関、備前島 【耐震設計】矢倉、徳長・長江 【耐震工事】大代	【耐震設計】備前島、折野、吉永・中江 【耐震工事】矢倉、徳長・長江	【耐震設計】三俣・板東南 【耐震工事】備前島、折野、吉永・中江	【耐震工事】板東南 大麻分署のあり方について検討	大麻分署のあり方について検討

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	緊急防災・減災事業費（充当率100%、交付税措置70%）
款	09	消防費	
項	01	消防費	
目	03	消防施設費	
事業1	001	消防施設整備費	事業期間
事業2	02	消防庁舎整備費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	166,884	7,872	174,756	71,537	未定

事務事業名	消防施設耐震化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①三俣・板東南分団詰所建築設計 ②備前島分団耐震改修工事 ③折野分団詰所新築工事 ④吉永・中江分団詰所新築工事

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震診断	0	0	0	0	0	棟
	2	耐震工事（改築設計）・耐震工事（改築工事）	5	4	1	1	1	棟
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		耐震化着手数	4	4	1	1	1	棟
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		141,780,296	7,872,000	142,489,600	0	150,361,600
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	135,400,000	7,800,000	141,300,000	0	149,100,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,380,296	72,000	1,189,600	0	1,261,600

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	耐震化着手数	成果指標に対する所見	達成済み
	目標	4 棟		
	実績	4 棟		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	耐震診断を計画していた分団詰所は全て診断が終了してる。結果耐震性能を満たしていない詰所についても整備予定であるが、建設用地の選定等に検討が必要であり、計画の遅延の可能性がある。また、消防分団の再編についても建設用地の地権者及び地元の理解が得られない場合等には計画の遅延や変更も想定される。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	【新築工事】板東南分団
	令和4年度	【候補地決定】板東分団 【候補地決定】大麻分署

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.108

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急救命士等養成事業	担当部署	警防課

総合計画体系			根拠法令計画など	救急救命士法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始：平成　5　年度
(小項目)		救急		
施策	3	救急救助・医療体制の充実		終期：未定
基本事業	1	救急体制の充実		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	救急出場時の救急救命士乗車率を100%にする。また救急救命士の資格を有する職員が実施できる高度な救命処置（特定行為）についてもその質を確保し、維持向上を図るため、講習、研修等に派遣する。	事業内容（R2）	①新規養成課程に救急救命東京研修所に1名入校 ②気管挿管認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、1名を病院実習に派遣
実施方針	①救急救命士養成のため、研修所に派遣 ②特定行為の認定を得るための病院実習 ③救急救命士、再教育の病院実習	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士（実働数）	17	18	18	18	18	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①救急救命士1名養成 ②指導救命士1名養成 ③気管挿管認定1名養成 ④ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	①救急救命士1名養成 ②指導救命士1名養成 ③気管挿管認定2名養成 ④ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	①救急救命士1名養成 ②気管挿管認定1名養成 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	09	消防費	
項	01	消防費	
目	01	常備消防費	
事業1	002/006/007	消防本部運営費/救急救助活動費/警防活動費	事業期間
事業2	01/02	消防本部運営費/職員被服調整費/救急救助活動費/警防活動費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	3,274	0	3,274	3,105	3,100

事務事業名	救急救命士等養成事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①救急救命東京研修所の新規養成課程に1名入校 ②気管挿管認定を得るため、病院実習に1名派遣 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、病院実習に1名派遣

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士（実働数）	18	17	19	19	19	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
	計		3,857,229	0	2,930,474	0	2,930,474
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,857,229	0	2,930,474	0	2,930,474

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	救命士の乗車率		成果指標に対する所見	目標である救急救命士の乗車率100%を維持することができた。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現状、救急出場と火災・救助出場重複時には、非番招集並びに本部職員で対応しているが十分な救急救命士数とは言えない状況である。今後も救急救命士の救急車乗車率100%を維持しながら救急活動の質を向上させるため、引き続き救急救命士の養成を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の維持向上に努める。
	令和4年度	救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の維持向上に努める。

各実施計画兼評価シート

企　　業　　局

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.109

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業	担当部署	水道企画課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　年度
(小項目)		上水道			
施策	3	安全で強靭な水道の持続		終期	未定
基本事業	1	経営基盤の強化と適正な料金水準の設定			

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	水道事業の経営基盤強化	事業内容（R2）	①水道事業ビジョンの中間報告の作成 ②経営戦略の見直し ③鳴門市水道事業審議会への報告と審議
実施方針	経営戦略に掲げた各種取り組みの推進	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	2	1	2	1	1	回
	2							

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	累積欠損金	0	0	0	0	0	円

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①審議会から料金改定の答申 ②説明会の開催 ③条例改正	①4月から料金改定実施 ②審議会に決算やビジョンの進捗状況の報告	①経営戦略の見直し ②審議会に決算やビジョンの進捗状況の報告	継続	継続

◎積算基礎

予算		補助制度（名称、補助率など）	
会計			
款			
項			
目			
事業1		事業期間	
事業2			

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	－	－	－	－	－

事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①水道事業ビジョンの中間報告の作成 ②経営戦略の見直し ③鳴門市水道事業審議会への報告と審議（新型コロナウイルス感染症対策として審議会開催回数を1回とした）

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	1	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		累積欠損金	0	0	0	0	0	円
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		－	－	－	－	－
	財源内訳	国庫支出金	－	－	－	－	－
		県支出金	－	－	－	－	－
		地方債	－	－	－	－	－
		使用料・手数料	－	－	－	－	－
		その他	－	－	－	－	－
		一般財源	－	－	－	－	－

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	累積欠損金		成果指標に対する所見	料金改定に伴う増収や経費削減により、当年度純利益を計上し、累積欠損金は発生しなかった。
	目標	0	円		
	実績	0	円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	人口減少等により有収水量は減少傾向にある一方で、老朽化に伴う施設更新や防災対策には多額の経費が必要となる。今後も安全で安心な水道を安定的に持続していくために、引き続き経営改革を推進する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進する。
	令和4年度	経営戦略に掲げた各種取り組みを着実に推進する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.110

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	担当部署	浄水場
総合計画体系				根拠法令計画など	水道法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成 21 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			
(小項目)		上水道			
施策	3	安全で強靭な水道の持続		終期	未定
基本事業	3	着実な施設の更新・耐震化と応急給水・復旧体制の整備			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①水道事業の根幹となる施設であり、南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから施設を更新 ②コスト削減等の効果があるため、北島町と浄水場の共同化を実施	事業内容（R2）	①鳴門市・北島町共同浄水場整備事業 ・設計・施工一括発注方式の事業者を選定 ・整備事業の工事等に着手
実施方針	①鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新 ②老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同して進める。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況		発注準備	事業者決定	事業実施	事業実施	—
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		浄水場の更新	基本設計・基本計画案の作成	整備事業の発注準備	整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	—

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①基本計画案の作成 ②浄水場東側の用地取得	①基本計画の策定(R1.8) ②事前検討業務の実施 ③共同浄水場整備事業の発注準備 ④関係機関と協議	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算		補助制度（名称、補助率など）
会計	水道事業会計	厚生労働省　生活基盤施設耐震化等交付金のうち「水道事業運営基盤強化推進等事業」の「水道施設共同化事業」　補助率：1／3
款	資本的支出	
項	建設改良費	
目	浄水施設費	
事業1		事業期間
事業2		

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	4,000	72,600	76,600	1,936,000	1,943,000

事務事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業 ①設計・施工一括発注方式による「鳴門市・北島町共同浄水場整備事業」の実施方針を令和2年4月公表、事業者の募集を7月公告、令和3年2月に事業者を選定 ②令和3年3月に事業者と設計及び建設工事の請負契約を締結し、工事等に着手

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況	発注準備	事業者決定	事業実施	事業実施	事業実施	—
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		浄水場の更新	整備事業の発注準備	整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	—
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		9,655,200	66,000,000	0	0	66,000,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	2,413,800	24,282,500	0	0	24,282,500
		一般財源	7,241,400	41,717,500	0	0	41,717,500

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	浄水場の更新		成果指標に対する所見	設計・施工一括発注方式による共同浄水場整備事業の事業者選定を行い、令和3年3月に事業者を決定
	目標	整備事業の事業者決定			
	実績	整備事業の事業者決定			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業を円滑に進め、双方にとって有益な事業とするため、北島町と必要な事項の検討、関係機関との協議を行う必要がある。 現施設を稼働しながら新施設を建設するため、複雑な工程管理、施工方法等の検討が必要となる。 共同浄水場完成後の維持管理等について、北島町と協議・検討を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）のうち詳細設計及び一部建設工事に着手 ②整備事業の施工監理業務を実施
	令和4年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）のうち建設工事を実施 ②整備事業の施工監理業務を実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.111

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	担当部署	ボートレース企画課 ボートレース事業課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		モーターボート競走法 経営戦略アクションプラン2016
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始：平成　26　年度
(小項目)		行財政運営		
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期：未定
基本事業	2	財政の健全化		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①ボートレース鳴門の更なるイメージアップ ②ボートレース事業の安定的・継続的な運営	事業内容（R2）	①モーニングレース及び薄暮レースの実施 ②トークショーや粗品配布等のファンサービスの実施 ③新聞折込チラシによる宣伝実施 ④キャッシュレスカードの利用促進 ⑤ROKU及びなるちゃんホール等地域開放型施設の運用 ⑥ウズパーク等を活用したイベントの実施 ⑦まちづくりエリア（あらたえの湯）との連携 ⑧徳島阿波おどり空港でのPR事業実施 ⑨観光関係団体や観光産業等地域との連動イベント実施 ⑩SG等ビッグレースの誘致 ⑪外向発売所指定席棟新設 ⑫新たな経営戦略アクションプランの策定
実施方針	①経営戦略アクションプランの着実な実行による健全な経営を図る ②SG等ビッグレースの誘致及びモーニングレース及びサマータイム（薄暮）レースを実施 ③イメージアップ及び新規顧客確保施策の実施	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		経営戦略アクションプランの実行	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	モーニングレース開催（下半期） ＧⅠダイヤモンドカップ開催 プレイパークの整備	モーニングレース開催（下半期） ＧⅡレディースオールスター開催 イベントホール整備 外向発売所（指定席棟）整備	SGオーシャンカップ実施 モーニングレース開催 外向発売所（指定席棟）開設	SG等ビックレースの誘致 モーニングレース開催	継続

◎積算基礎

予算		補助制度（名称、補助率など）
会計		
款		
項		
目		
事業1		事業期間
事業2		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	－	－	－	－	－

事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和２年度実施内容	①モーニングレース（96日）及びサマータイム（薄暮）レース（78日）の実施 ②粗品配布等のファンサービスの実施 ③キャッシュレスカードの利用促進（会員数7,097人うち令和2年度加入者数546人） ④ROKU、なるちゃんホール及びウズホール等地域開放型施設の運用（年間利用人数1,499人） ⑤まちづくりエリア（あらたえの湯）との連携（来客等へのPR） ⑥SG等ビッグレースの誘致（令和3年度にBBCトーナメント開催決定） ⑦外向発売所に指定席棟の整備 ⑧経営戦略アクションプラン2021の策定

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		経営戦略アクションプランの実行	100	100	－	－	－	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		－	－	－	－	－
	財源内訳	国庫支出金	－	－	－	－	－
		県支出金	－	－	－	－	－
		地方債	－	－	－	－	－
		使用料・手数料	－	－	－	－	－
		その他	－	－	－	－	－
		一般財源	－	－	－	－	－

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	経営戦略アクションプランの実行		成果指標に対する所見	モーニングレース、サマータイム（薄暮）レースの開催、SG第25回オーシャンカップの開催により売上は順調で、また令和3年度にプレミアムG1であるBBCトーナメントの開催も決定し、計画通り事業を遂行できた。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和2年度は、電話投票売上が好調である一方、本場の売上は減少傾向にあった。令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響のため、本場売上減の傾向が続くことが予想される。今後については、業界からのガイドラインに沿った感染予防対策を講じるとともに、令和2年度に策定した経営戦略アクションプランに基づき、電話投票売上向上施策や本場への来場促進施策等を検討・実施し、健全な経営を行っていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	経営戦略アクションプランに基づき、健全な経営に取り組む。
	令和4年度	経営戦略アクションプランに基づき、健全な経営に取り組む。

各実施計画兼評価シート

教　育　委　員　会

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.112

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業	担当部署	教育総務課

総合計画体系			根拠法令計画など	食育基本法、学校給食法（学校給食実施基準、学校給食衛生管理基準）
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 17 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると		
(小項目)		教育行政		
施策	1	教育行政の充実		
基本事業	5	学校給食の充実と食育の推進		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	① 子どもたちの望ましい食習慣の形成や食に関する理解促進 ② 給食への愛着や地域理解、郷土愛の醸成	事業内容（R2）	①地域の特産物を用いた学校給食の推進 学校給食への地場産品活用促進 ②給食献立を活用した食育の推進 なると学校食育の日（毎月19日）の実施
実施方針	①地域の特産物を用いた学校給食の推進を図る ②給食献立を活用した食育の重点的な推進を図る	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数	65	68	55	55	55	件
	2	なると学校食育の日を実施	11	11	11	11	11	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		給食の食材のうち地場産品の占める割合	42	49	40	40	40	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施（児童・生徒対象）	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施（児童・生徒対象）	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施（児童・生徒対象）	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	02	事務局費	
事業1	003	一般管理費	事業期間
事業2	01	一般管理費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	40	0	40	40	40

事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・地域の特色を生かした学校給食を実施するため、栄養教諭等が調理実習を実施し、試作品づくりを通して地場産品を活用した献立の作成に努めるとともに、毎月19日を「なると学校食育の日」と定め、「給食発ふるさとの味」をテーマとした地産地消及び食育の推進を図った。 ・「なると学校食育の日」には、地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図るとともに、給食献立の嗜好等の実態を把握し、今後の学校給食運営に役立てるため、児童・生徒を対象にアンケート調査を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数	68	64	55	55	55	件
	2	なると学校食育の日を実施	11	11	11	11	11	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		給食の食材のうち地場産品の占める割合	49	44	40	40	40	%
		目標達成率(実績/目標)		110.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		27,603	0	37,217	0	37,217
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	27,603	0	37,217	0	37,217

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	給食の食材のうち地場産品の占める割合		成果指標に対する所見	給食センターの栄養教諭等と連携し、地場産品の活用に努め、全市的な食育の推進を図った。
	目標	40	%		
	実績	44	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・学校給食における地場産品を活用した献立を増やすことで、郷土に根付いた料理を食べる機会を増やし、次世代を担う子供たちの郷土への愛着を育み、郷土料理についての知識を深める。 ・自分の食生活を見直し、正しい知識や情報に基づいて望ましい食事の取り方を自ら判断できる「食の自己管理能力」を身に付ける。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	地産地消の観点から、地域の特色ある学校給食の実施に向けて、栄養教諭等が試作品づくりを行うとともに、「なると学校食育の日」には、地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図る。
	令和4年度	地産地消の観点から、地域の特色ある学校給食の実施に向けて、栄養教諭等が試作品づくりを行うとともに、「なると学校食育の日」には、地場産物の紹介とレシピを掲載した「なると食育通信」を家庭に配布し、地産地消に向けた周知を図る。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.113

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校安全施設整備事業	担当部署	教育総務課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると
(小項目)		教育行政
施策	1	教育行政の充実
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実

根拠法令計画など：学校教育法第5条、地方自治法第180条の8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条1項第7号、都市公園における遊具の安全確保に関する指針

事業期間：開始　平成　18　年度／終期　未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	安全で安心な教育環境の整備充実
実施方針	①児童・生徒等の安全確保のため計画的な施設整備を推進する ②倒壊等の危険がある箇所の安全対策を推進する
事業内容（R2）	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進 ・現地調査等による改修等が必要な箇所の把握 ②危険箇所の安全対策の推進 ・瀬戸中学校　プール付属建物補修工事 ・明神小学校　進入路擁壁補強工事 ・大津西小学校　消火ポンプ機械室改修工事
当初からの変更点	・第二中学校部室棟解体工事・屋外便所等設置工事 ・精華幼稚園連絡通路（橋）改築設計

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	前年度までに改修や設置を行った件数	208	240	274	298	322	件
	2	改修工事等の完了件数	32	34	24	24	24	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		改修等により改善した設備・遊具等の件数	32	24	24	24	24	件

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②防犯カメラ・センサーライトの設置	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②防犯カメラ・センサーライトの設置 ③危険箇所の設計業務実施	①改修等が必要な施設・設備の整備 ②危険箇所の改修工事等の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算		
会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	02	小学校費、中学校費、幼稚園費
目	01	学校管理費、学校管理費、幼稚園管理費
事業1	002	一般管理費
事業2	04	施設維持補修費

補助制度（名称、補助率など）

大津西小学校消火ポンプ機械室改修工事
とくしまゼロ作戦推進事業補助金　補助率1/2

第二中学校屋外便所等工事
学校施設環境改善交付金（防災機能強化）　補助率1/3

事業期間

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	31,100	40,130	71,230	9,000	9,000

事務事業名	学校安全施設整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進 ・現地調査等による改修等が必要な箇所の把握 ②危険箇所の安全対策の推進 ・瀬戸中学校　プール付属建物補修工事の実施　・明神小学校　進入路擁壁補強工事の実施 ・大津西小学校　消火ポンプ機械室改修工事の実施　・第二中学校　部室棟解体工事・屋外便所設置等工事の実施 ・精華幼稚園連絡通路（橋）改築設計の実施

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	前年度までに改修や設置を行った件数	240	274	316	346	376	件
	2	改修工事等の完了件数	34	42	30	30	30	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		改修等により改善した設備・遊具等の件数	34	42	30	30	30	件
		目標達成率(実績/目標)		175.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		16,245,887	34,971,200	27,158,542	4,400,000	66,529,742
	財源内訳	国庫支出金	0	3,336,000	0	0	3,336,000
		県支出金	0	0	211,000	0	211,000
		地方債	1,800,000	23,500,000	0	0	23,500,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	14,445,887	8,135,200	26,947,542	4,400,000	39,482,742

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	改修等により改善した設備・遊具等の件数		必要な整備を実施することにより、園児・児童・生徒の安全な教育環境を確保することができた。
	目標	24	件	
	実績	42	件	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現地調査やヒアリング等を通じて各学校（園）施設の劣化状況等の把握に努めるとともに、長寿命化計画に基づく改修や保全を考慮し事業を推進する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進。　・建築基準法12条点検の実施。 ・防球ネット他、倒壊や落下等により事故につながる恐れのある、工作物及び機器などの現地調査による安全点検及び改修等が必要な箇所の安全対策の推進。 ②危険箇所の安全対策の推進 ・精華幼稚園連絡通路(橋)改築工事、第一幼稚園旧園舎解体工事設計等。
	令和4年度	①計画的な施設整備の推進 ・設備や遊具、防犯対策設備の修繕、更新など安全対策の推進。 ・防球ネット他、倒壊や落下等により事故につながる恐れのある、工作物及び機器などの現地調査による安全点検及び改修等が必要な箇所の安全対策の推進。 ②危険箇所の安全対策の推進

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.114

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	小中学校特別教室等空調設備整備事業	担当部署	教育総務課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		学校保健安全法	
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始	令和　2　年度
(小項目)		教育行政			
施策	1	教育行政の充実		終期	未定
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	安全で快適な学校施設の整備充実	事業内容（R2）	①快適な学習環境の整備 特別教室等空調設置工事設計（小学校13校、中学校5校）
実施方針	①快適な教育環境で学習できる施設整備を推進する	当初からの変更点	当初は設計業務のみを行う予定であったが、年度途中に設置工事に係る国庫補助の追加内定を受けることができたため、令和2年12月補正にて工事費等を前倒して計上。 ※監理費（委託料）含む。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	設置工事等の進捗状況	—	—	設計業務実施・完了	設置工事	設置工事	—
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	設置工事等の進捗状況	—	—	設計業務実施・完了	設置工事	設置工事	—

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	—	—	小中学校特別教室等の空調整備(設計)（小学校13校、中学校5校）	設置工事	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	学校施設環境改善交付金 大規模改造（空調）　補助率1/3
款	10	教育費	
項	02・03	小学校費、中学校費	
目	03	学校建設費	
事業1	001	校舎等建設事業費	事業期間
事業2	04・07	空調設備整備事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	6,200	303,399	309,599	未定	未定

事務事業名	小中学校特別教室等空調設備整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	特別教室等空調設置工事設計業務の実施（小学校13校、中学校5校） 特別教室等空調設置工事の実施（一部）

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	設置工事等の進捗状況	—	設計業務実施・完了	設置工事実施・完了	—	—	—
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		設置工事等の進捗状況	—	設計業務完了 ・設置工事実施	—	—	—	—
		目標達成率(実績/目標)		—	—	—	—	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算見込額	決算見込額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		—	0	51,771,000	257,799,000	309,570,000
	財源内訳	国庫支出金	—	0	0	67,394,000	67,394,000
		県支出金	—	0	0	0	0
		地方債	—	0	38,800,000	142,700,000	181,500,000
		使用料・手数料	—	0	0	0	0
		その他	—	0	0	0	0
		一般財源	—	0	12,971,000	47,705,000	60,676,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	設置工事等の進捗状況			当初の計画通りに設計業務を完了することができた。加えて、設置工事について、補正予算により一部前倒しで実施ができた。
	目標	設計業務実施・完了			
	実績	設計業務完了・設置工事実施			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	快適な教育環境で学習できる施設整備の推進を図るため、小学校13校、中学校5校の特別教室等へのエアコン設置工事を完了させる。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	快適な教育環境で学習できる施設整備の推進を図るため、小学校13校、中学校5校の特別教室等へのエアコン設置工事を完了させる。
	令和4年度	令和3年度完了

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.115

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校づくり計画推進事業	担当部署	学校教育課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始：平成　20　年度
(小項目)		教育行政		
施策	1	教育行政の充実		終期：未定
基本事業	4	鳴門の学校づくり計画の推進		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「鳴門の学校づくり計画」に位置づけられている、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校の子どもたちが、将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整える。	事業内容（R2）	①鳴門東小学校で学校再編に関する意見交換会を実施する。 ②瀬戸中学校区において、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③「鳴門市教育振興計画審議会」において、今後の公立幼稚園のあり方についての審議を進め、公立幼稚園の再編計画の具体化を図る。
実施方針	「鳴門の学校づくり計画」に基づき、複式学級の解消を図るとともに、公立幼稚園の再編を推進する。	当初からの変更点	歳入：県支出金を5万円補正 歳出：魅力ある学校づくり事業を5万円補正

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	1	1	3	3	3	回
	2	教育振興計画審議会の開催回数	0	4	4	未定	未定	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		複式学級のある小中学校	1	1	1	1	1	校

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①鳴門東小での意見交換会の実施 ②瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の本格実施開始	①鳴門東小での意見交換会の実施 ②瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実を図る ③公立幼稚園のあり方について検討を進める	①鳴門東小での意見交換会の実施 ②瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実 ③公立幼稚園のあり方について検討	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	小中一貫教育推進事業委託金
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	03/02	教育指導費/事務局費	
事業1	009	魅力ある学校づくり事業/学校づくり計画推進事業費	事業期間
事業2	01	魅力ある学校づくり事業/学校づくり計画推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	668	50	718	1,350	1,350

事務事業名	学校づくり計画推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・鳴門東小において学校再編に関する意見交換会を実施した。 ・瀬戸中学校区では、県の「徳島モデル推進事業」に沿った幼小中一貫教育の充実を図った。 ・学校づくり計画を踏まえ、保育所・認定こども園を含めた就学前教育・保育のより具体的なあり方について、「就学前教育・保育のあり方に関する審議会」より出された「鳴門市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」を受け、令和元年度より、「鳴門市教育振興計画審議会」において、公立幼稚園のあり方について審議を進め、「鳴門市公立幼稚園のあり方について」をとりまとめた。 ・策定から5年を経過する「第二期鳴門市教育振興計画基本計画」の見直しのため、第1回鳴門市教育振興計画審議会を開催した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	1	13	1	1	1	回
	2	教育振興計画審議会の開催回数	4	4	2	未定	未定	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		複式学級のある小中学校	1	1	1	1	1	校
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		710,264	0	497,930	0	497,930
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	500,000	0	350,000	0	350,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	210,264	0	147,930	0	147,930

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	複式学級のある小中学校			適正規模への再編を行うためには、保護者・地域の理解を得ることが先決であり、そのための協議を重ねている。
	目標	1	校		
	実績	1	校		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者の理解が得られるよう、丁寧な説明、意見交換を進めていく必要がある。 ・瀬戸中学校区においては、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育について、平成30年度より導入しているスクールワイドPBSによる取組を継続し、さらに充実させる必要がある。 ・「鳴門市公立幼稚園のあり方について」に沿って、令和4年度に公立幼稚園の再編が行われるため、円滑に移行を進める。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を引き続き実施する。 ・瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ・令和4年度の公立幼稚園の再編に向け、円滑に移行を進める。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.116

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	幼児教育支援センター事業	担当部署	学校教育課

総合計画体系			根拠法令計画など	発達障害者支援法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると		
(小項目)		学校教育		
施策	2	幼稚園教育の充実		終期：未定
基本事業	1	教育活動の充実		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内就学前の幼児（3歳～6歳）のうち、特別な支援を必要とする幼児や気がかりな幼児は増加傾向にあるため、子育てに悩み、不安を持った保護者が安心して子育てができる環境づくりを目指す。	事業内容（R2）	3歳～就学前の幼児の保護者を対象に、年8回程度「幼児教育等の専門家による教育相談」を実施する。
実施方針	子育てに悩む保護者が気軽に相談できるよう、定期的に「教育相談」の機会を設ける。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		相談利用者数	24	24	24	24	24	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	教育相談を年8回実施し、24人が利用	教育相談を年8回実施	教育相談を年8回実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	03	教育指導費	
事業1	008	幼児教育支援センター事業費	事業期間
事業2	01	幼児教育支援センター事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	120	0	120	120	120

事務事業名	幼児教育支援センター事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・近年、支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者が増え、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多いことから保護者が気軽に相談できるよう教育相談を実施した。 ・相談者の利用しやすい日時を検討し、土曜日にも実施した。 〇幼児教育等の専門家による教育相談の実施 対象者：3歳～就学前の幼児の保護者　相談人数22人 実施時間：17時30分～19時30分　場所：市教委

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教育相談実施回数	8	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		相談利用者数	24	22	24	24	24	人
		目標達成率(実績/目標)		91.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		120,000	0	110,000	0	110,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	120,000	0	110,000	0	110,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	相談利用者数	
	目標	24	人
	実績	22	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	相談員の都合により、例年より2人分利用者が少ない実施となったが、不安を持つ保護者や、幼稚園・私立幼稚園・保育所等からの教育相談の申込者も多く、ほぼ計画した利用者数を達成した。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	子どもの現状を把握できていない保護者もいることから、専門家による教育相談をそのきっかけづくりの一つとして継続して実施するとともに、相談員とも調整し、保護者の利用しやすい時間帯や曜日において実施する。 また、関係課においても連携しながら、保護者にとって安心して子育てができる環境づくりを推進していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	支援を必要とする幼児や気がかりな幼児が増加傾向にあることや、家庭での保育の低下や子育てに悩んでいる保護者も多いことから、引き続き教育相談を実施する。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.117

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	一時預かり事業	担当部署	学校教育課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	鳴門市立幼稚園における一時預かり事業の実施に関する条例及び施行規則 幼稚園教育要領		
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始	平成　20　年度
(小項目)		学校教育			
施策	2	幼稚園教育の充実		終期	未定
基本事業	3	一時預かり事業の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	幼稚園教育要領に基づく保育終了後、家庭での保育が困難な園児を対象に幼稚園施設を開放して預かり保育を実施することにより、園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。	事業内容（R2）	①市内の公立幼稚園11園で預かり保育を実施 ②4園で土曜日の預かり保育を実施
実施方針	①市内の公立幼稚園で預かり保育を実施 ②土曜日の預かり保育を実施	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	預かり保育実施園	11	11	11	11	11	園
	2	土曜預かり保育実施園	5	4	4	4	4	園
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		一時預かり受入率	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	11園で預かり保育を実施し、うち5園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	11園で預かり保育を実施し、うち4園で土曜日の預かり保育を実施。希望者が全員利用。	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	一時預かり事業補助金（国庫補助金、県補助金）
款	10	教育費	
項	04	幼稚園費	
目	01	幼稚園管理費	
事業1	002	一般管理費	事業期間
事業2	01	管理人及び教員産休病休補充員賃金	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	42,565	0	42,565	54,261	54,261

事務事業名	一時預かり事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	11園で一時預かりを実施するとともに、4園で土曜日の一時預かりを実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	預かり保育実施園	11	11	11	7	7	園
	2	土曜預かり保育実施園	4	4	4	4	4	園
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		一時預かり受入率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		28,330,144	0	38,557,485	0	38,557,485
	財源内訳	国庫支出金	3,258,000	0	3,705,000	0	3,705,000
		県支出金	3,258,000	0	3,705,000	0	3,705,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	15,849,300	0	320,400	0	320,400
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,964,844	0	30,827,085	0	30,827,085

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	一時預かり受入率		成果指標に対する所見	希望者が全員利用できる体制を維持した。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	他市町村においても、幼稚園の臨時職員については人員確保に苦慮している状態である。 本市においても、定期的に勤務条件の改善を行っているが、預かり保育担当職員を含む幼稚園の臨時職員について、継続的に優秀な人員を確保することが課題となっている。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	引き続き、11園（土曜日は4園）で一時預かりを実施し、希望者全員が利用できる体制を整える。また、一時預かりを円滑に実施するため担当職員の適正な人材確保を目指す。
	令和4年度	幼稚園の再編に伴う実施園の減少が見込まれるが、引き続き、希望者全員が利用できる体制を維持する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.118

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学力向上対策推進事業	担当部署	学校教育課

総合計画体系

基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると
（小項目）		学校教育
施策	3	義務教育の充実
基本事業	1	学力向上の推進

根拠法令計画など	
事業期間 開始	平成　28　年度
事業期間 終期	未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	学校と家庭が連携し、市内小中学生の基本的生活習慣や学習習慣の育成を図り、確かな学力の向上と定着を目指す。
実施方針	鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策を検討し、各種施策を実施する。
事業内容（R2）	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催
当初からの変更点	

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標 1	学力向上推進施策の実施	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	未定	未定	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲	39	68	70	75	80	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	01/02/03	教育総務費/小学校費/中学校費	
目	03/02	教育指導費/教育振興費	
事業1	001/010	学校教育指導関係費/教材費/その他の教育振興費	事業期間
事業2	01	学校教育指導関係費/教材費/その他の教育振興費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,681	0	2,681	2,852	2,852

事務事業名	学力向上対策推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策の検討を進めた他、小学校3～6年・中学校1～3年を対象にQUアンケートを実施し、各学校に新聞を配備した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた理数オリンピックについては中止、QUアンケートについては、2回を予定していたところ1回に変更した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学力向上推進施策の実施	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	未定	未定	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		理数オリンピック参加者の次回への参加意欲	68	―	70	70	70	%
		目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算 前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,413,527	0	1,517,461	0	1,517,461
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,413,527	0	1,517,461	0	1,517,461

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、該当事業が実施できなかった。
	目標	70	%		
	実績	―	%		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。また、学力の定着には学校での学習以外に、家庭での過ごし方も深く関係しており、どのようにして家庭での生活習慣や学習習慣を身につけるかが課題である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	・鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収取や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。 ・家庭と連携し、基本的生活習慣と学習習慣の育成を図る。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.119

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特別支援教育推進事業	担当部署	学校教育課・教育支援室

総合計画体系			根拠法令計画など	学校教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると		終期：未定
(小項目)		学校教育		
施策	3	義務教育の充実		
基本事業	4	特別支援教育の充実		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	特別な支援を必要とする児童・生徒が抱える学習や学校活動上の困難を改善・克服するとともに、子どもの発達や特別支援教育に関する保護者や教職員の理解を向上させる。	事業内容（R2）	①特別支援教育支援員を21名配置 ②鳴門教育大学との連携のもと、特別支援教育サポーターを30名程度配置
実施方針	特別支援教育支援員や特別支援教育サポーターを配置	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特別支援教育サポーターの登録人数	23	25	30	30	30	回
	2							

	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	特別支援教育支援員の配置人数	20	21	21	21	21	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①特別支援教育支援員を20名配置 ②特別支援教育サポーターを23名配置 ③市内の全特別支援学級にタブレットを配置	特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置する	特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置する	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	03	教育指導費	
事業1	006	特別支援教育推進事業費	事業期間
事業2	01	特別支援教育推進事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	53,793	0	53,793	62,995	62,995

事務事業名	特別支援教育推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、特別支援教育支援員を21名配置 ・鳴門教育大学との連携のもと、学生の意向を尊重した上で、特別支援教育サポーター21名を配置

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特別支援教育サポーターの登録人数	29	21	30	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		特別支援教育支援員の配置人数	21	21	22	未定	未定	人
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額等	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		32,742,163	0	42,229,698	0	42,229,698
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	32,742,163	0	42,229,698	0	42,229,698

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	特別支援教育支援員の配置人数	成果指標に対する所見	計画通りの人数を配置できた。
	目標	21　人		
	実績	21　人		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	支援員やサポーターを必要とする幼児・児童・生徒の増加等により、学校現場からは支援員の増員を強く求められており、特別支援教育に係る学校現場の人員を確保する必要がある。また、入学後あるいは学年途中でも教育的判断から支援員の配置が必要となった場合に、臨機応変に対応できるような体制の整備が急がれる。 また、特別支援教育に係る学校現場をサポートするため、引き続きサポーターの登録を推進していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、支援員を配置する。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.120

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	担当部署	学校教育課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画 鳴門市学校・幼稚園防災推進計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成 26 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると			
(小項目)		学校教育			
施策	3	義務教育の充実		事業期間 終期	未定
基本事業	6	生命を守る防災安全教育の推進			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市の幼児・児童・生徒及び職員の災害発生時の安全確保対策の推進と一時避難に必要な災害対応備品等を計画的に整備するとともに、防災教育及び防災管理・組織活動の充実と推進を図る。	事業内容（R2）	①学校防災推進会議を開催し、重点取り組み項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を開催し、重点取り組み項目についての取り組みを推進 ③県の委託事業を活用し、拠点校を中心に防災訓練や防災に関する講演を実施する他、関連教材の作成などにより、児童生徒の防災意識を高める
実施方針	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づいた取り組みを推進する。また、学校現場と協力して、授業にフェーズフリーの考え方を取り入れ、児童生徒が災害時に備えた感覚を身に付けられる状態を目指す。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2	実務者部会開催数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		重点取組項目数	2	7	7	7	7	個

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	・学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ・学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進 ・市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援	・学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ・学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	①学校防災推進会議を開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を開催し、取り組みを推進	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	学校安全総合支援事業（10/10）
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	03	教育指導費	
事業1	010	学校防災推進事業費	事業期間
事業2	01	学校防災推進事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,790	0	1,790	396	396

事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	・「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、学校防災推進会議を年度内に2回開催し、重点取組項目を取り決め、取組状況の検証をするとともに、共通理解事項の確認・改善を図った。 ・事務者部会は年度内に3回開催し、各地域の自主防災会と連携した避難所運営支援と、学校防災の意識と知識の更新についての取組を中心に進めた。 ・市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援した。 ・県の委託事業「学校安全総合支援事業」を実施し、拠点校区において防災訓練や防災に関する講演を実施した他、地震津波避難マップや学校でのフェーズフリーに関する冊子等の関連教材を作成し、学校・児童生徒・保護者の防災意識の向上を図った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2	実務者部会開催数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		重点取組項目数	2	7	7	7	7	個
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		128,239	0	1,699,905	0	1,699,905
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	1,400,000	0	1,400,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	128,239	0	299,905	0	299,905

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	重点取組項目数	
	目標	7	個
	実績	7	個
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	防災教育と防災管理の2つの視点から、重点取組項目を設定し、重点的に取り組んだ。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	重点取組項目のそれぞれの項目について、より実効性のある取組にしていく必要がある。学校によって、地域連携しやすい地域とそうでない地域があり、取組に違いがある。今後は、学校・地域・保護者が一丸となって防災教育の取組を推進していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、取組を推進し、実務者部会において、地域連携を強化していく。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.121

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業	担当部署	学校教育課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市，鳴門市教育委員会及び鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始：平成　24　年度
（小項目）		大学連携		
施策	4	大学連携の推進		
基本事業	2	学校教育における連携		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「鳴門市、鳴門市教育委員会及び国立大学法人鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書」に基づき、現在の連携協力校（園）における課題解決や教育・保育の充実・向上を行い、将来的には、市内全域の認定こども園、幼稚園、小学校及び中学校が連携協力校（園）となって、鳴門市学園都市化を目指す。	事業内容（R2）	①実施計画に基づき、鳴門町地区をモデル地区として、地区内の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園での連携・協力を推進する。 ②過去の取り組みを検証し、連携･協力内容について大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。
実施方針	①鳴門教育大学教育拠点校に認定されている鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、教育・保育のより一層の充実・向上を図る。 ②将来的には、連携協力校（園）を市内全域に拡充し、鳴門市学園都市化を目指す。	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学習支援サポーター活動人数	27	30	30	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		連携協力保育所・幼稚園・小学校・中学校	5	5	5	5	5	校

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①5校園で大学による研究事業を実施 ②学習支援サポーター27名及び部活動支援サポーター19名を派遣	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	03	教育指導費	
事業1	011	学園都市化推進事業費	事業期間
事業2	01	学園都市化推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	441	0	441	441	441

事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	令和2年度の取組について定めた鳴門市学園都市化構想実施計画に基づき、鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、鳴門教育大学により研究事業を実施し、教育の充実・向上に取り組んだ。また、学習支援サポーター18名及び部活動支援サポーター11名の派遣を行い、連携・協力を推進した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学習支援サポーター活動人数	19	18	30	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		連携協力保育所・幼稚園・小学校・中学校	5	5	5	5	5	校
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		238,706	0	154,671	0	154,671
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	238,706	0	154,671	0	154,671

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	連携協力保育所・幼稚園・小学校・中学校		成果指標に対する所見	学校（園）は鳴門教育大学から、その教育資源の提供を受けるとともに、大学の教育研究への協力を行うといったように、相互に連携協力を行っており、学校（園）の教育環境の充実・向上が図られている。
	目標	5	校		
	実績	5	校		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門教育大学が鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園を鳴教大研究拠点校に認定したことに伴い、教育・保育の分野において、より一層の充実・向上を図っていく。 また、将来的に、市全体に取組を拡充し、市内の教育・保育の充実・向上を図るために、教育研究拠点校の5校園における課題や効果の検証を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	鳴教大研究拠点校となった鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園と、鳴教大との連携・協力をより推進する。また、これまでの取組を検証し、次年度に向けての連携・協力内容を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。
	令和4年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.122

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	外国語教育推進事業	担当部署	教育支援室
総合計画体系				根拠法令計画など	『英語が使える日本人』育成のための戦略構想」（H14），学習指導要領（H20　3月）等
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じる　まちづくり		事業期間	開始：平成　25　年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると			
(小項目)		学校教育			
施策	1	義務教育の充実		終期	未定
基本事業	6	教育支援体制の充実			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☑SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国際化への対応が求められる中，小・中・高を見通した外国語教育の充実を図り，豊かな国際感覚とコミュニケーション能力をもった「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成する。
実施方針	①達成状況の把握・検証 ②モチベーションの喚起 ③体験の場の設定 ④教員の指導力向上・授業改善 ⑤情報発信
事業内容（R2）	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進研修会・会議の開催 ②英検受験料補助事業の奨励（市内全中学生、全級対象、1人年1回） ③英語力アップ対策講座の実施及び学生サポーターによる指導支援 ④We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ⑤市内小中学生対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑥グローバル人材講演会の実施 ⑦ALTの学校派遣（幼・小・中）・小学校外国語支援員の派遣（小） ⑧イングリッシュ・デイ・キャンプの実施　等
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標（実施した事業の活動量を示す指標）	1	外国語支援員訪問日数（総日数）	594	790	790	790	790	日
	2	研修会参加者数（小中学校教職員）	226	248	250	250	250	人
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		中学3年生時にCEFR　A1レベル（英検3級以上）相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	50	51	54	57	60	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	英検受験料補助事業の奨励、英語力アップ対策講座の実施、児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証、グローバル人材講演会の実施　等	英検受験料補助事業の奨励、英語力アップ対策講座の実施、We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施、児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 グローバル人材講演会の実施　等	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施 等	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	01	教育総務費	
目	04	教育研究所費	
事業1	007	外国語教育推進事業費	事業期間
事業2	01	外国語教育推進事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	7,707	0	7,707	8,286	8,286

事務事業名	外国語教育推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進研修会・会議の開催 ②英検受験料補助事業の奨励（市内全中学生、全級対象、1人年1回） ③英語力アップ対策講座の実施及び学生サポーターによる指導支援 ④市内小中学生対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑤ALTの学校派遣（幼・小・中）・小学校外国語支援員の派遣（小）

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	外国語支援員訪問日数（総日数）	629	742	790	790	790	日
	2	研修会参加者数（小中学校教職員）	248	20	250	250	250	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		中学3年生時にCEFR　A1レベル（英検3級以上）相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	45	47	55	60	60	%
		目標達成率(実績/目標)		87.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		38,346,147	0	6,284,863	0	6,284,863
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	38,346,147	0	6,284,863	0	6,284,863

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	中学3年生時にCEFR　A1レベル（英検3級以上）相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	
	目標	54	%
	実績	47	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため，小・中学校が休校になるなど，授業時数確保の困難さや，児童・生徒の様々な活動の制限があったにもかかわらず，目標おおむね達成できたことは，大きな成果であった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	小中学校での授業改善のために，教員対象の研修の機会を確保し，市内全体で共通理解をしながら授業実践につながるようにする。中学校における新学習指導要領完全実施にあたり，小中高連携外国語教育研究委員会で課題や取組を検討し，各中学校区毎に交流や実践を行い，小中高の円滑な連携につなげる。コロナ禍において，実現可能な方法で，児童生徒の外国語教育に対するモチベーションの喚起を行い，言語活動を中心とした英語力アップ対策講座の充実を図り，外国語が好きな児童数や中学卒業時のCEFFR A1レベルの生徒数の増加を目指す。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	中学校における新学習指導要領全面実施にあたり，小学校高学年の外国語科から中学校への円滑な連携に向け，取組を検証・改善を行う。昨年度，新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった教員研修や事業について，実現可能な方法を探り，工夫して実施し，教員の授業力向上や児童生徒のモチベーションの喚起を図る。英検の受験者数や合格者数，CEFFR A1レベルの生徒数の増加に向け，言語活動を中心とした英語力アップ対策講座の充実を図る。
	令和4年度	「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業の最終年度を迎えるため，目標の達成に向けて，より充実した教員研修の確保や小中高連携ができるように小中高連携外国語教育研究委員会の場を効果的に活用する。学校や鳴門教育大学と連携し，英語力アップ対策講座の参加者や英検受験者を増やし，中学卒業時のCEFFR A1レベルの生徒数が6割達成を目指す。また，これまでの取組と成果について検証を行い，事業の在り方について見直し，今後の方向を決定する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.123

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	校務用・教育用コンピュータ整備事業	担当部署	教育支援室

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じる　まちづくり		IT新改革戦略 教育の情報化ビジョン
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始：平成　22　年度
(小項目)		教育行政		終期：未定
施策	1	教育行政の充実		
基本事業	6	教育支援体制の充実		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☑ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	校務用コンピュータを整備し、教材研究、教材作成、成績処理、文書処理、会計、その他、事務作業等を効率的に行う環境を整備する。また、教育用コンピュータにタブレットを整備し、児童・生徒の学力向上を図る。	事業内容（R2）	①幼小中学校の校務用コンピュータの更新 サポートの終了したWindows7機（193台）を更新 ②全ての小中学校で高速大容量の無線通信ネットワークを整備 ・既存の校内有線LAN設備を10Gbpsでの無線LAN運用に対応可能な設備に更新 ・10Gbpsでの運用が可能な無線LAN設備を全普通教室及び特別教室等に整備 ③1人1台教育用コンピュータ用の充電保管庫を全普通教室等に整備
実施方針	①小中学校の校務用コンピュータの更新 ②全ての小中学校で高速大容量の無線通信ネットワーク整備 ③令和5年までに全学年で児童1人1台の教育用コンピュータ整備	当初からの変更点	文部科学省が提示する「GIGAスクール構想」が加速化されることなり、令和2年度において市内全ての小中学校で高速通信ネットワーク環境整備を行うとともに全ての児童生徒にタブレット端末が整備されることとなった。

			平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	校務用コンピューター更新台数	0	140	193	0	0	台
	2	教育用コンピューター更新台数	0	0	1,245	1,245	1,245	台
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		教育用コンピューター1台あたりの年間活用時間(授業コマ数)	100	100	150	200	250	コマ

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	校務用サーバ19台更新	校務用コンピューター（小学校90台、中学校40台）更新	校務用コンピュータ更新	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	校内LAN環境整備事業補助金で校内LAN整備費の1／2補助見込み 公立学校情報機器整備費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	10	教育費	
項	02,03	小学校費、中学校費、幼稚園費	
目	02	教育振興費	
事業1	007	教育機器整備事業費	事業期間
事業2	01	教育機器整備事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	6,952	358,495	365,447	―	―

事務事業名	校務用・教育用コンピュータ整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	小中学校の校務用コンピュータは3年にわたりWindows7機からWindows10機への更新を実施しており、本年度に全台の更新が完了した。また、文部科学省が提示する「GIGAスクール構想」が加速化されることなり、市内全ての小中学校で高速通信ネットワーク環境整備を行うとともに全ての児童生徒にタブレット端末整備を実施した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	校務用コンピューター更新台数	140	140	―	―	―	台
	2	教育用コンピューター更新台数	0	3,774	―	―	―	台
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		教育用コンピューター1台あたりの年間活用時間(授業コマ数)	157	159	―	―	―	コマ
		目標達成率(実績/目標)		105.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		―	160,600,000	189,369,620	0	349,969,620
	財源内訳	国庫支出金	―	80,300,000	187,252,040	0	267,552,040
		県支出金	―	0	0	0	0
		地方債	―	79,400,000	0	0	79,400,000
		使用料・手数料	―	0	0	0	0
		その他	―	0	0	0	0
		一般財源	―	900,000	2,117,580	0	3,017,580

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価	指標名	教育用コンピューター1台あたりの年間活用時間(授業コマ数)		成果指標に対する所見	デジタル教科書等のICTコンテンツを活用した授業が定着しつつあることに加え、令和2年度よりプログラミング教育が小学校で必修化されたことにより活用時間が増加したものと考えられる。
	目標	150	コマ		
	実績	159	コマ		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.124

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	小中学校電子黒板整備事業	担当部署	教育支援室

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じる　まちづくり		IT新改革戦略 教育の情報化ビジョン
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始　平成　26　年度
(小項目)		学校教育		
施策	1	教育行政の充実		終期　未定
基本事業	6	教育支援体制の充実		

□第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　□次期総合戦略掲載予定の有無　□SRP2020該当の有無

□ふるさと納税寄附金等要求　□ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国をはじめ各自治体など、全国的に教育効果があると報告されている電子黒板、デジタル教科書の導入を進め、教育環境の整備を図る。また、電子黒板を活用することにより、「わかる授業」を展開し、授業の理解度の向上を目指す。	事業内容（R2）	小学校3年生から6年生のデジタル教科書（2年間版）の更新を行う。
実施方針	小中学校の全学年普通教室・特別教室に電子黒板を整備	当初からの変更点	「GIGAスクール構想」が加速化されたことに伴う校内ICT環境整備として、小学1、2年生の普通教室に電子黒板を整備することとした。また、電子黒板の整備にあわせデジタル教科書の導入を行うこととした。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	授業での1台あたりの年間活用時間数（授業コマ数・小学校）	450	460	470	480	490	コマ
	2	授業での1台あたりの年間活用時間数（授業コマ数・中学校）	368	395	410	435	460	コマ
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		電子黒板、デジタル教科書整備台数	36	36	36	71	71	台

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①3・4年生普通教室電子黒板整備 ②3・4年生デジタル教科書整備	①3・4年生普通教室電子黒板整備 ②3・4年生デジタル教科書整備	デジタル教科書更新	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
款	10	教育費	
項	02	小学校費	
目	02	教育振興費	
事業1	007	教育機器整備事業費	事業期間
事業2	01	教育機器整備事業費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	16,832	12,704	29,536	―	―

事務事業名	小中学校電子黒板整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	小学3～6年生のデジタル教科書（国語・算数・理科・社会・英語）の更新を行った。また「GIGAスクール構想」が加速化されたことに伴う校内ICT環境整備として、これまで未整備だった小学1、2年生の普通教室に電子黒板の整備を行うとともにデジタル教科書（国語・算数）を整備を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	授業での1台あたりの年間活用時間数（授業コマ数・小学校）	460	470	―	―	―	時間
	2	授業での1台あたりの年間活用時間数（授業コマ数・中学校）	395	410	―	―	―	時間
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		電子黒板、デジタル教科書整備台数	0	221	―	―	―	台
		目標達成率(実績/目標)		613.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		―	0	24,754,662	0	24,754,662
	財源内訳	国庫支出金	―	0	10,710,480	0	10,710,480
		県支出金	―	0	0	0	0
		地方債	―	0	0	0	0
		使用料・手数料	―	0	0	0	0
		その他	―	0	0	0	0
		一般財源	―	0	14,044,182	0	14,044,182

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価	指標名	電子黒板、デジタル教科書整備台数		成果指標に対する所見	小学3年～6年のデジタル教科書更新に加え、電子黒板未整備だった小学1年～2年に電子黒板およびデジタル教科書の整備を行ったため、大幅に実績が上がった。
	目標	36	台		
	実績	221	台		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.125

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始：昭和　51　年度
(小項目)		文化財		
施策	4	文化財の保護と活用		終期：未定
基本事業	2	文化財の保護と活用		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	全国で唯一、近代化以前の製塩業の姿を残す「福永家住宅」について、必要な保存対策・環境整備を進めながら、建物・塩田の公開活用を行う。これにより、文化財を地域学習の材料としてだけでなく、地域活動及び観光資源として活用することをめざす。	事業内容（R2）	①建造物の適切な保存整備 ・保存活用計画の策定をめざし、文化庁との協議を継続する。 ・緊急性の高い修繕事業の実施。 ②市民等への公開活用の機会を増やす ・地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業（2回）を実施する。
実施方針	①建造物の適切な保存整備をおこなう。 ②市民等への公開活用の機会を増やす。	当初からの変更点	塩田公園排水機場のポンプの故障や、板塀の劣化に対応するため、流用・補正対応により修繕を進めた。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の見学・公開回数	25	20	20	20	20	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		福永家住宅の保存活用	80	80	90	90	90	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①保存活用計画（案）の文化庁との調整協議 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①保存活用計画（案）の文化庁との調整協議 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①保存活用計画（案）の文化庁との調整協議 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①保存活用計画に基づく修理・設備改修の検討 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	10	教育費		
項	05	社会教育費		
目	01	社会教育総務費		
事業1	008	文化財保護関係費	事業期間	単年度繰り越し 昭和51年度　～　継続
事業2	01	文化財保護関係費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	1,569	764	2,333	2,226	1,578

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①保存活用計画（案）について、国庫補助事業や個別の部分の修理に関して文化庁と協議を継続した。 ②自動火災警報器や排水機場ポンプなどの修繕を行った。 ③地域住民やボランティアと協働し、年間2回の一般公開を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止した。 ④事前申し込みによる個別の見学依頼については、新型コロナウイルス感染症の影響から観光ボランティアガイド養成講座の1回のみ開催した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の見学・公開回数	8	1	20	20	20	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		福永家住宅の保存活用	80	80	85	90	90	%
		目標達成率(実績/目標)		88.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,809,357	0	2,186,761	0	2,186,761
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,809,357	0	2,186,761	0	2,186,761

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	福永家住宅の保存活用		施設各所の修繕により、文化財としての価値の保存を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により施設公開などの活用事業が実施できなかったほか、保存活用計画策定を完了させることができなかった。
	目標	90	%	
	実績	80	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	引き続き保存活用計画の最終策定に向けて事業を進めると共に、建造物・設備の修理に向けた検討を進める。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①保存活用計画の策定および防災設備の改修や建物の保存修理に向けた調整 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する
	令和4年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.126

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始：平成 16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると		
(小項目)		文化財		
施策	4	文化財の保護と活用		終期：未定
基本事業	2	文化財の保護と活用		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内にある史跡等地域文化財について、適切な保存管理をおこなうとともに、公開活用に努める。	事業内容（R2）	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ・保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催 ・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキングの実施 ・史跡の環境整備事業を継続 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ・保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催 ③収蔵文化財資料の整理と活用 ④その他未指定文化財等の保存管理と普及活用 ・市内にある板碑（石造物）の文化財指定に向けた検討
実施方針	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	当初からの変更点	新たに指定した文化財（市指定：大麻山峯神社の大杉）の普及啓発用パンフレット作成や板東俘虜収容所跡に関する冊子の増刷を流用・補正対応により行った。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	20	20	25	25	30	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化（平成30年度まで）および保存活用（令和元年度以降）	100	10	20	25	25	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		史跡等地域文化財の保存活用	35	40	45	50	55	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①保存活用検討委員会（鳴門） ②公開事業の実施 ③慰霊碑の保存修復 ④説明板設置（板東）	①保存活用検討委員会（鳴門・板東） ②公開事業の実施 ③普及用冊子発行（板東）	①保存活用検討委員会（鳴門・板東） ②公開事業の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	徳島県文化振興事業費補助金（県50%）
款	10	教育費	
項	05	社会教育費	
目	01	社会教育総務費	
事業1	008	文化財保護関係費	事業期間：単年度繰り越し 平成16年度 ～ 継続
事業2	01	文化財保護関係費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,092	534	2,626	7,885	917

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①大代古墳の一般公開及び古墳ウォーキング（萩原・池谷地区）を行った。 ②「鳴門板野古墳群」保存活用検討委員会を開催した。 ③「板東俘虜収容所跡」保存活用計画検討委員会を開催した。 ④「板東俘虜収容所跡」解説冊子の増刷や「大麻山峯神社の大杉」周知用パンフレットの作成により、地域文化財の普及活動を進めた。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	20	25	25	30	30	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化（平成30年度まで）および保存活用（令和元年度以降）	10	20	20	20	20	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		史跡等地域文化財の保存活用	35	40	45	50	55	%
		目標達成率(実績/目標)		88.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		1,417,375	0	2,069,930	0	2,069,930
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	33,000	0	33,000	0	33,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,384,375	0	2,036,930	0	2,036,930

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用		成果指標に対する所見	「板東俘虜収容所跡」及び「鳴門板野古墳群」保存活用計画については、それぞれ検討委員会を開催して、計画案の作成作業を進めた。また、板東収容所解説冊子の増刷や峯神社の大杉ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを配布するなどし、地域の文化財への周知活動を行った。
	目標	45	%		
	実績	40	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ②史跡指定を受けた「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ③史跡の環境整備事業や史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。 ④収蔵文化財は、資料整理を進めるとともに、幅広く展示や貸し出し等の活用を図っていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 また、獣害防止柵設置や石室レプリカの製作を進め、遺跡の保存・周知するための事業を実施する。 ②収容所跡：保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。
	令和4年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡：保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.127

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権教育推進事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間 開始	平成　4　年度
(小項目)		人権		
施策	1	人権の尊重	終期	未定
基本事業	2	人権教育の推進		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	人権教育・啓発を推進し、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊重される社会の実現をめざす。	事業内容（R2）	①市主催人権問題研修会等の実施 ・人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ・人権教育研究大会（大麻中学校区）の開催 ②人権教育推進協議会の活動支援 ・人権教育推進協議会との連携による啓発活動（研修会等）の実施 ・活動、運営補助 ③その他、人権教育啓発活動の実施 ・「広報なると」を活用した人権啓発記事の掲載等 ・街頭啓発活動の実施
実施方針	①市主催人権問題研修会等の実施 ②人権教育推進協議会の活動支援 ③その他、人権教育啓発活動の実施	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市主催人権問題研修会等の実施回数	3	3	3	3	3	回
	2	人推協主催人権問題研修会等の実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数	974	1,030	1,100	1,100	1,100	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	○人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ○人権教育研究大会（鳴門中学校区）の開催 ○人権教育推進協議会の活動支援 ○その他、人権教育啓発活動	○人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ○人権教育研究大会（瀬戸中学校区）の開催 ○人権教育推進協議会の活動支援 ○その他、人権教育啓発活動	○人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ○人権教育研究大会（大麻中学校区）の開催 ○人権教育推進協議会の活動支援 ○その他、人権教育啓発活動	○人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ○人権教育研究大会（第一中学校区）の開催 ○人権教育推進協議会の活動支援 ○その他、人権教育啓発活動	○人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ○人権教育研究大会（第二中学校区）の開催 ○人権教育推進協議会の活動支援 ○その他、人権教育啓発活動

◎積算基礎

予算					補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	01	一般会計	人権啓発活動地方委託事業
款	10	教育費	10	教育費	
項	05	社会教育費	05	社会教育費	
目	02	人権教育費	02	人権教育費	
事業1	002	人権教育推進費	003	補助金	事業期間　H4年度～
事業2	01	人権教育推進費	01	市人権教育推進協議会運営補助金	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	2,483	0	2,483	2,483	2,483

事務事業名	人権教育推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①人権地域フォーラム（8/21）、ヒューマンライツメッセージなると（11/27）を開催した。 ②人権教育推進協議会の活動を理事会（5/12書面開催）、総会（6/2書面開催）、企業部会総会（6/9書面開催）において支援するとともに、人権啓発を協力して行なった。 ③ 人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載や人権週間に合わせた街頭啓発（12/8）を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市主催人権問題研修会等の実施回数	3	2	3	3	3	回
	2	人推協主催人権問題研修会等の実施回数	3	0	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数	970	220	1,100	1,100	1,100	人
		目標達成率(実績/目標)		20.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		2,413,379	0	2,275,250	0	2,275,250
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	318,000	0	317,000	0	317,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,095,379	0	1,958,250	0	1,958,250

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数	成果指標に対する所見	新型コロナウィルス感染症対策のため、ほとんどの活動が書面開催となり、研修会等を開催できていない。人権に関する多くの課題が残されている中、すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会がその役割を果たせるよう、引き続き取り組む必要がある。
	目標	1,100　人		
	実績	220　人		
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①新型コロナウィルス感染症に関連し、いわれなき偏見や差別が人々を苦しめている。インターネット上での誹謗・中傷など、悪質な差別事象が後を絶たないなか、市人権教育推進協議会との連携を強め、人権地域フォーラムやヒューマンンライツメッセージなると、人権教育研究大会における人権問題研修会の開催や、広報なるとへの記事掲載、街頭啓発などを通じ、「部落差別解消法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。 ②研修会等への参加者が固定化している現状もあり、広く市民に伝わる理解しやすい内容とするなど、啓発方法の研究と改善に取り組む必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①さまざまな差別事象の防止に向け、啓発活動に引き続き取り組む。 ②あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるように、研修テーマや方法などの検討を行う。 ③人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等を活用して、市民の人権意識の向上を図る。
	令和4年度	令和3年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.128

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	社会教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始：昭和　36　年度
（小項目）		生涯学習		
施策	1	生涯学習の推進		終期：未定
基本事業	1	学習活動の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☑次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	女性学級・成人学級・高齢者学級および公民館短期講座を開設することにより、市民の多様な学習ニーズに応え、自主的な学習を通じて市民が豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に過ごすことができる環境を作る。
実施方針	①社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと、学習内容の充実を図る。 ②公民館短期講座については、多様な学習ニーズに合った学習機会の提供に努める。
事業内容（R2）	① 女性学級　8学級 ② 成人学級　4学級 ③ 高齢者学級　8学級 ④ 公民館短期講座　2講座 学級・講座開催に当たっては、市内社会教育施設の積極的な活用を図る。
当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学級開設数	22	22	22	23	23	学級
	2	学級参加延人数	3,085	3,100	3,100	3,200	3,200	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		学級学習の内容を有意義と思った割合	99.1	99.0	99.0	99.0	99.0	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②子育て世代向け講座と歴史文化講座を実施（公民館短期講座） ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①新規短期講座の開設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）	
会計	01	一般会計		
款	10	教育費		
項	05	社会教育費		
目	01	社会教育総務費		
事業1	006	成人教育関係費	事業期間	S36年度～
事業2	01	各種学級開設費		

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	466	0	466	530	595

事務事業名	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①女性学級8、成人学級4、高齢者学級8の計20学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートにより学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習内容の充実に努めた。 ②公民館短期講座では、子育て世代の女性を対象としたライフスタイル講座と、鳴門市で実施された各分野の注目すべき調査研究成果や、最新の学術研究成果について学ぶ、歴史文化講座を開設した。 ③学習満足度・ニーズ等をアンケートにより把握し、学級長や公民館長に結果を還元した。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学級開設数	22	22	24	24	25	学級
	2	学級参加延人数	2,988	1,942	2,300	3,300	3,400	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		学級学習の内容を有意義と思った割合	100.0	100.0	99	99	99	%
		目標達成率(実績/目標)		101.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		394,944	0	295,924	0	295,924
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	394,944	0	295,924	0	295,924

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	学級学習の内容を有意義と思った割合		成果指標に対する所見	学級・講座終了時に受講者を対象に実施したアンケート調査においては、学習内容について「大変よかった」「よかった」と回答したものの割合が成果指標を上回っており、高い満足度を得ている。
	目標	99	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。引き続き、社会教育指導員の人材確保、資質向上が必要である。 ②学習内容のマンネリ化を防ぐため、受講者のニーズに応えた多様な学習内容を積極的に取り入れることが必要である。 ③各種学級の開設は、特定の熱意ある学級長に依存する傾向があり、新たなリーダーの育成が必要である。 ④新たな受講生を増やすために、講座の構成や内容、周知広報の方法の検討を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	各種学級の講座構成や内容について検討を行い、受講生のニーズに沿った学級の増設をめざす。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設を維持するとともに、周知広報の方法についてもより多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。
	令和4年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しをおこない、様々なニーズに対応できる講座の開設を検討する。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.129

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公民館活用推進事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	社会教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 16 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると		
(小項目)		生涯学習		
施策	1	生涯学習の推進		
基本事業	2	公民館活動の推進		終期：未定

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	公民館を地域活動の拠点として実生活に即した教育、学術、文化に関する各種事業を行い、地域住民の教養の向上、健康増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	事業内容（R2）	1. 地域の特色を活かした運営体制づくり ①管理業務の一部を地域に委託し、地域の実情に即した活動・運営を行う 2. 利活用の促進 ①公民館短期講座の継続実施 ②社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ③快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施
実施方針	①地域の特色を活かした運営体制づくり ②利活用の促進	当初からの変更点	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加予定であった全国・中四国地区公民館研究集会が翌年に延期されたことを受け、旅費および参加資料代を減額補正した。 また、公民館に設置しているAED借上料について、契約金額との差額を減額補正した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	公民館で開催している学級数	18	18	18	19	19	学級
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		公民館の利用者数	78,947	82,300	87,500	87,500	87,500	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②里浦、北灘公民館のリニューアル工事実施 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②斎田、里浦公民館自動ドア修繕等 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施	継続	継続

◎積算基礎

予算					補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	01	一般会計	
款	10	教育費	10	教育費	
項	05	社会教育費	05	社会教育費	
目	03	公民館	03	公民館	
事業1	001	公民館管理費	002	公民館活動費	事業期間：H16年度～
事業2					

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	27,386	△ 182	27,204	29,893	27,202

事務事業名	公民館活用推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①地域の特色を活かした運営体制づくり ・管理業務の一部を地域に委託し、地域の実情に即した活動・運営を行う ②利活用の促進 ・公民館短期講座の継続実施 ・社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ・快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	公民館で開催している学級数	18	18	19	19	20	学級
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		公民館の利用者数	73,282	35,811	41,000	83,000	87,500	人
		目標達成率(実績/目標)		40.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		27,567,354	0	27,068,928	0	27,068,928
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	701,259	0	684,265	0	684,265
		一般財源	26,866,095	0	26,384,663	0	26,384,663

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	公民館の利用者数	
	目標	87,500	人
	実績	35,811	人
	評価	D:目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため施設利用の制限を実施したことにより、利用者数の大幅な減少につながった。しかしながら、各種学級の実施回数は前年の約8割であり、継続的な学習機会の創出に努めた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、若い世代の利用が少ないなど、利用者に偏りが見られるため、さまざまな年齢や性別の方が利用できるような取組が必要である。 ②施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備を進める必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施 ④利用者向けインターネット設備の導入
	令和4年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.130

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公民館耐震化事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	社会教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始：平成　28　年度
(小項目)		生涯学習		
施策	1	生涯学習の推進		終期：未定
基本事業	2	公民館活動の推進		

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	公民館の耐震化を実施し、地域の社会教育の拠点となる施設の整備を図る。	事業内容（R2）	①公民館の耐震性能の確保 ・堀江公民館新築移転工事 大麻学校給食センター西隣接の市有地（大谷運動場）に堀江公民館を新築する。
実施方針	公民館の耐震性能の確保	当初からの変更点	堀江公民館新築工事について、設計の協議に時間を要し、履行期間内での履行が困難となったため、当該事業費を繰り越した。 また、監理業務委託料について、契約金額との差額を減額補正した。

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震改修を行った公民館数	1	0	1	0	0	館
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		公民館の耐震化率	75	75	83	83	83	%

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	①大津中央公民館耐震改修工事 ②堀江公民館耐震化のあり方を新築移転と決定 ③川東、瀬戸、北灘、堀江、大津中央のブロック塀撤去工事	①堀江公民館新築移転業務のうち設計業務 建設地地質調査 埋蔵文化財発掘調査	堀江公民館新築移転業務のうち建築工事	耐震性を満たさない公民館の耐震化のあり方を検討	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	05	社会教育費	
目	03	公民館	
事業1	001	公民館管理費	事業期間：H28年度～
事業2	04	その他の管理費	

事業費推移（千円）	年　度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	236,690	12,100	248,790	―	―

事務事業名	公民館耐震化事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	1. 公民館の耐震性能の確保 ①前年度から繰越した堀江公民館新築移転工事設計業務の完了 ②堀江公民館新築移転工事の施工 ③令和3年4月からの運用開始に向けた備品購入等の準備

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震改修を行った公民館数	0	1	―	―	―	館
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		公民館の耐震化率	75	83	―	―	―	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		13,975,366	11,798,000	230,326,980	0	242,124,980
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	7,500,000	10,600,000	202,900,000	0	213,500,000
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,475,366	1,198,000	27,426,980	0	28,624,980

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	完了

成果指標に対する評価	指標名	公民館の耐震化率		成果指標に対する所見	公民館のうち、耐震化を予定していたものは堀江公民館をもってすべて完了した。予定されていない桑島公民館と粟田公民館については、個別施設計画に基づき、近隣施設との集約化などをめざす。
	目標	83	%		
	実績	83	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	
	令和4年度	

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.131

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後子供教室推進事業	担当部署	生涯学習人権課

総合計画体系			根拠法令計画など	徳島県地域と学校の連携・協働強化事業実施要領
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始：平成 19 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なると		
(小項目)		生涯学習		
施策	1	生涯学習の推進		終期：未定
基本事業	3	青少年健全育成の推進		

☐第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、子どもたちがスポーツ・文化活動や学習、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	事業内容（R2）	①新規教室1カ所の開設をめざす。 ②地域コーディネーターで構成される実行委員会を定期的に開催 ③放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所の合同研修会を開催 ④大学生等に対し、活動の周知・勧誘チラシを配布し、人材確保を図る。
実施方針	①地域の特色や人材を活かした安全で安心な居場所づくり ②地域団体等に積極的に働きかけ、指導者・活動場所を確保 ③放課後児童クラブとの一体的または連携した取組の実施	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数	478	529	550	550	570	回
	2	教室の参加児童数	347	383	400	400	420	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
		放課後子供教室利用者の延人数	10,198	10,580	11,000	11,000	11,400	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	市内8小学校区で放課後子供教室を開設した。 堀江南小学校区に新規教室を開設した。	市内8小学校区で放課後子供教室を開設した。	新規教室を1か所開設	既存の放課後子供教室の安定的な実施	新規教室を1か所開設

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	・徳島県社会教育事業補助金（県補助金 1/3） ・学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（国 1/3 ※県間接補助）
款	10	教育費	
項	05	社会教育費	
目	05	青少年育成費	
事業1	004	放課後子ども教室事業費	事業期間：単年度
事業2	01	放課後子ども教室事業費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	6,506	0	6,506	6,583	7,110

事務事業名	放課後子供教室推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①新規に1小学校区を加え、計9小学校区で放課後子供教室を開設した。 ②各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を隔月計6回開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行った。 ③放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催した。 ④放課後子ども運営実行委員会を10月と3月に開催した。 ⑤放課後児童クラブと一体実施している放課後子供教室については、子供の居場所確保や運動不足解消、ストレス解消、心身の健康増進を図るため、新型コロナウイルスに伴う臨時休校期間中においても活動を行った。

		指標名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数	536	480	590	610	610	回
	2	教室の参加児童数	466	560	400	420	420	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		放課後子供教室利用者の延人数	14,656	12,733	16,000	16,500	16,500	人
		目標達成率(実績/目標)		115.8	―	―	―	%

事業費推移	年　度		令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和3年度への繰越額	最終事業費
	計		5,892,043	0	5,542,686	0	5,542,686
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	3,928,000	0	3,695,000	0	3,695,000
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,964,043	0	1,847,686	0	1,847,686

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延人数	成果指標に対する所見	新型コロナウイルスの影響を受けたものの、目標を達成することはできた。 参加児童数（登録児童数）が前年度から増加していることから、事業への認知・理解は年々高まっているといえる。 学校や児童クラブとの連携・協力も進んでおり、A評価とする。
	目標	11,000 人		
	実績	12,733 人		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・利用者増加への対応や教室の継続運営のため安定した人材確保の方策が必要。 ・児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要。 ・更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実情の的確な確認が必要。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和3年度	①現在開設している放課後子供教室の安定した運営及び更なるプログラムの充実を図るとともに、新たな放課後子供教室の開設や、放課後児童クラブとの連携強化に向けて、地域の団体・機関等と調整を行う。 ②実行委員会にて、教室運営・活動プログラム等についての好事例について情報共有を行う。 ③放課後児童対策事業の合同研修会を開催し、事業間の連携を強化する。 ④人材確保策の一環として、大学生への活動の周知広報・勧誘活動を進める。 ⑤安定した人材を図るため、謝金単価の引き上げを行う。
	令和4年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に働きかけ、引き続き指導者及び活動場所の確保に努める。

実施計画兼評価シート（令和2年度事業分）

事業No.132

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業	担当部署	図書館

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると	事業期間	開始	平成 15 年度
(小項目)		図書館			
施策	2	市民参加の図書館運営の推進		終期	未定
基本事業	2	市民参加の図書館運営の推進とサービス向上			

☑第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　☐次期総合戦略掲載予定の有無　☐SRP2020該当の有無

☐ふるさと納税寄附金等要求　☐ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	図書館業務の一部業務委託等により、NPO法人との協働による運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。	事業内容（R2）	①NPO法人との協働による効率的な図書館運営 ・サービス向上策等について定期的に協議を行い、市民に親しまれる図書館運営に繋げる。 ・館内整理日に研修及び図書館業務の確認を行い、業務見直しを継続することにより効率的な図書館運営を図る。 ②移動図書館車の有効利用 ・図書館に来ることが困難な方にサービスを提供するため、こうのとり号の巡回を継続する。
実施方針	①NPO法人との協働による効率的な図書館運営 ②移動図書館車等の有効利用	当初からの変更点	

		指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ボランティア正会員数	136	140	140	140	140	人
	2	図書館での行事件数	272	270	270	270	270	件

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	行事に参加した人数	3,430	5,800	5,900	6,000	6,000	人

事業の実施内容推移	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	各年度の実施（予定）内容	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	NPO法人との協働運営	継続	継続

◎積算基礎

予算			補助制度（名称、補助率など）
会計	01	一般会計	
款	10	教育費	
項	05	社会教育費	
目	04	図書館費	
事業1	001	図書館管理費	事業期間
事業2	01	図書館管理費	

事業費推移（千円）	年度	令和2年度 当初予算額	令和2年度 補正予算額・繰越額等	令和2年度 全体予算額	令和3年度	令和4年度
	計	25,410	0	25,410	27,699	27,699

事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和2年度実施内容	①NPO法人との協働による図書館運営により、市民の視点に立ったきめ細やかなサービスを提供した。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定期間臨時休館するとともに館内の利用制限を実施した。来館者には、マスクの着用や手指の消毒、検温のほか、連絡先記入用紙への氏名や体温等の記入に協力してもらった。さらに、書籍消毒機を購入し、返却された本を消毒し、感染拡大の防止に努めた。 ③休館時は、普段でき難い書庫整理や書架整理、傷んだ本の修理作業などを行った。

指標名			令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ボランティア正会員数	140	140	140	140	140	人
	2	図書館での行事件数	202	158	270	270	270	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		行事に参加した人数	3,408	1,615	3,000	5,000	5,000	人
		目標達成率(実績/目標)		27.4	－	－	－	%

事業費推移		年　度	令和元年度決算	令和2年度決算			
				前年度からの繰越額	決算額	次年度への繰越額	最終事業費
		計	25,410,000	0	25,410,000	0	25,410,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	25,410,000	0	25,410,000	0	25,410,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	行事に参加した人数			新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館やイベントの中止で、行事件数や参加人数が減少した。
	目標	5,900	人		
	実績	1,615	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	利用者からの専門的かつ多岐にわたる要望や図書館の運営業務があるが、NPO法人や市職員の限られた職員数の中、サービスを後退させることなく、円滑な図書館運営業務に努めている。日ごろから図書館運営に携わる者が、より良い図書館運営に向けて、意見交換や情報共有を行う必要がある。				
今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和3年度	①NPO法人に図書館業務の一部業務委託を行う協働による図書館運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や利用制限等を的確に実施する。 ②現在「第4次子どもの読書活動推進計画」の策定を進めており、その計画に中に、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことのできる環境整備に向けた様々な取組を盛り込む。
	令和4年度	①NPO法人に図書館業務の一部業務委託を行う協働による図書館運営を充実させ、利用者へのサービス向上を図る。 ②策定された「第4次子どもの読書活動推進計画」について、全般的な進捗管理や図書館が担当となる取組の効果的な実施に努める。